

AMAZING TOYAMA



富山市公共施設マネジメント アクションプラン 戦略編



富山市

目次

第1章 はじめに	1
1-1 計画策定の背景・目的	1
1-2 計画の位置付け.....	2
1-3 アクションプランの考え方	3
1-4 計画期間	4
1-5 対象施設	5
第2章 再編の基本方針	6
第3章 再編の具体的な手法	9
3-1 施設評価	9
3-2 再編整備方策	14
第4章 施設用途別の分析	17
4-1 集会施設	17
4-2 文化施設	29
4-3 図書館	33
4-4 博物館等	38
4-5 その他社会教育施設	43
4-6 スポーツ施設	45
4-7 レクリエーション・観光施設.....	57
4-8 産業系施設	63
4-9 学校	65
4-10 その他教育施設	77
4-11 幼保・こども園.....	80
4-12 幼児・児童施設（児童館）	89
4-13 高齢者福祉施設.....	92
4-14 障害福祉施設.....	96
4-15 児童福祉施設.....	98
4-16 保健施設・医療施設.....	100
4-17 庁舎等	103
4-18 消防施設	107
4-19 その他行政系施設	111
4-20 公営住宅	114
4-21 その他	118
第5章 地域別の分析	120
5-1 基本的な方針	120
5-2 地域別人口概要.....	121
5-3 地域別公共施設保有量	125
5-4 地域別現状分析.....	128

第6章 アクションプラン（実行編）の進め方	170
6-1 戦略編の活用	170
6-2 具体の見直し検討プロセス.....	170
6-3 課題のある施設の抽出条件	172
6-4 機能維持の方針	173
6-5 再編整備方策.....	176
6-6 実行編の進捗管理	177

(巻末) 14 地域別人口推計 平成 27 (2015) 年～平成 72 (2060) 年

第1章 はじめに

1-1 計画策定の背景・目的

本市における公共施設は、経済成長期から1990年代まで整備が続き、それ以前に整備されたものも含め、今後は一定期間に大規模改修や建替が集中することが想定されます。また、少子高齢化が一層進み、人口全体に対する高齢者人口の割合が上昇する一方で、生産年齢人口と年少人口の割合が低下することから、将来的な財源の不足や余剰施設の増加が想定されます。本市の限られた財源の中で、公共施設で提供されるサービスを将来にわたり持続していくためには、財政状況や社会情勢の変化を考慮しながら、質と量、双方の観点から公共施設の適正化を図っていく必要があります。

この問題意識の下、本市では、平成28年12月に、公共施設等（インフラ含む）の現状及び課題を明らかにするとともに、長期的な視点をもって、公共施設等の更新や統廃合、長寿命化などを計画的に行うことを目的として「富山市公共施設等総合管理計画」（以下「総合管理計画」という。）を策定しました。

「富山市公共施設マネジメントアクションプラン」（以下「アクションプラン」という。）は総合管理計画を基本方針とし、公共施設マネジメントを戦略的かつ具体的に実施していくための計画です。

また、計画の策定に際しては、次の3つの観点を持ちながら、今後の再編を効果的に進めるための基本戦略や実効性ある具体的見直しの方向性を検討することが重要です。

第一に、公共施設の保有量が人口規模に見合っているかどうかの検証を行った上で、地域の実情や市民ニーズに適合した行政サービスをより効率的に提供できるよう施設の適正配置（統廃合や機能の変更、複合化等）についての観点

第二に、公共施設の保有量が財政規模に見合っているかどうかの検証を行った上で、今後も維持していくべき施設については、計画的に保全していくとともに、建物の長寿命化を推進することで、財政負担の軽減・平準化を図ることについての観点

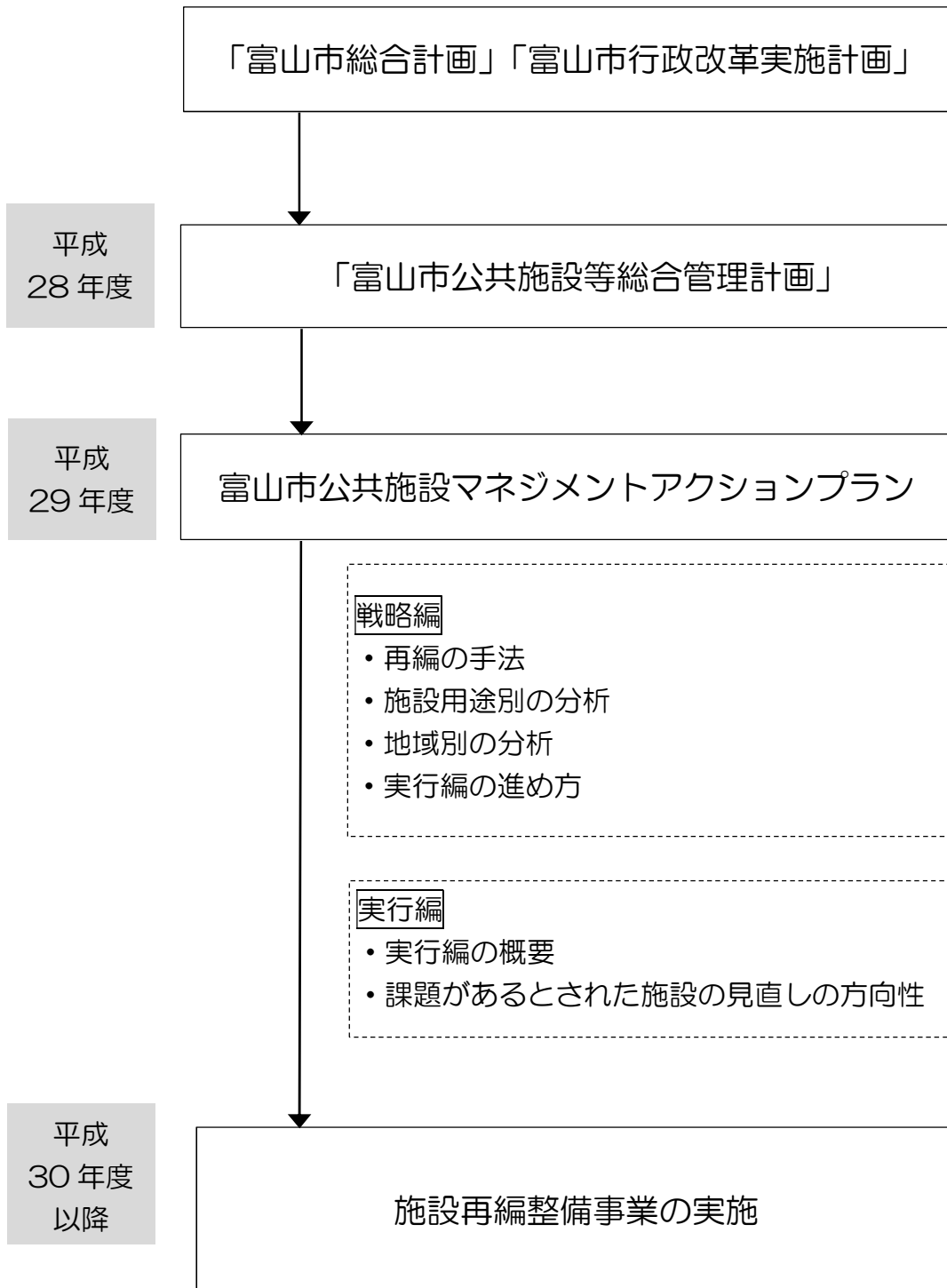
第三に、本市の推進する「コンパクトなまちづくり」という考え方を踏まえ、地域の実情や課題を把握し、市民との合意形成を図りながら、地域にとって望ましい公共施設のあり方についての観点

アクションプランを着実に実施することにより、将来の財政状況とニーズに鑑み、公共施設の質的・量的な適正化、利用者の安全・安心の確保、持続可能な行政サービスの提供や財政の健全化の実現を目指します。

1-2 計画の位置付け

アクションプランは、市の公共施設の基本方針を定めた総合管理計画に基づいて策定するものです。施設や地域の現状分析や施設再編の手法などを提示し、それらを用いて戦略的に公共施設マネジメントを実施していくための具体的な道筋を示しています。

今後は、本計画を基に、施設の再編整備を行っていきます。



1-3 アクションプランの考え方

アクションプランは、総合管理計画をマネジメントの指針とし、市が保有する公共施設を経営戦略的視点から総合的かつ統括的に企画、管理、活用し、具体の施設の整備や適正配置を進めることを目的としています。アクションプランを実行していく中で、資産全体の最適化を図り、本市が目指す拠点集中型のコンパクトなまちづくりと整合性を図り、持続可能な都市の実現の一端を担っていく必要があります。

このアクションプランは、施設と地域の状況分析や総合管理計画期間全体を通しての長期的な施設の再編の進め方を示した「富山市公共施設マネジメントアクションプラン戦略編」（以下「戦略編」という。）と5年ごとの施設の具体的な見直しの方向性を定めた「富山市公共施設マネジメントアクションプラン実行編」（以下「実行編」という。）から構成されています。

1-3-1 戦略編の基本的な考え方

アクションプランの実行には、平成 29(2017)年度から平成 68(2056)年度までの 40 年間にわたる長期的な視点が必要不可欠です。そのため、戦略編では、再編の基本方針を示すとともに「再編の具体的な手法」について定め、「施設用途別の分析」、「地域別の分析」を行い、「施設の保全」についても構想しながらマネジメントを推進します。

「再編の具体的な手法」では、施設評価、施設整備の必要性、利用圏域について検討します。「施設用途別の分析」では、老朽化状況、コスト状況、利用状況の観点からマネジメント対象とするすべての施設に対して施設評価を行い、現状を分析します。また、「地域別の分析」では、本市の都市計画に関する基本的な方針を定めた富山市都市マスタープランに基づく 14 の地域生活圏ごとに地域の将来人口を推計します。ここでは地域ごとの公共施設の保有状況についても明らかにし、それぞれの課題に対応した「地域別実行計画」を作成する際の基礎とします。また、「アクションプラン（実行編）の進め方について」では、分析データ等を用いて、対象施設を抽出し、その見直しの方向性を検討するプロセス等について定めます。

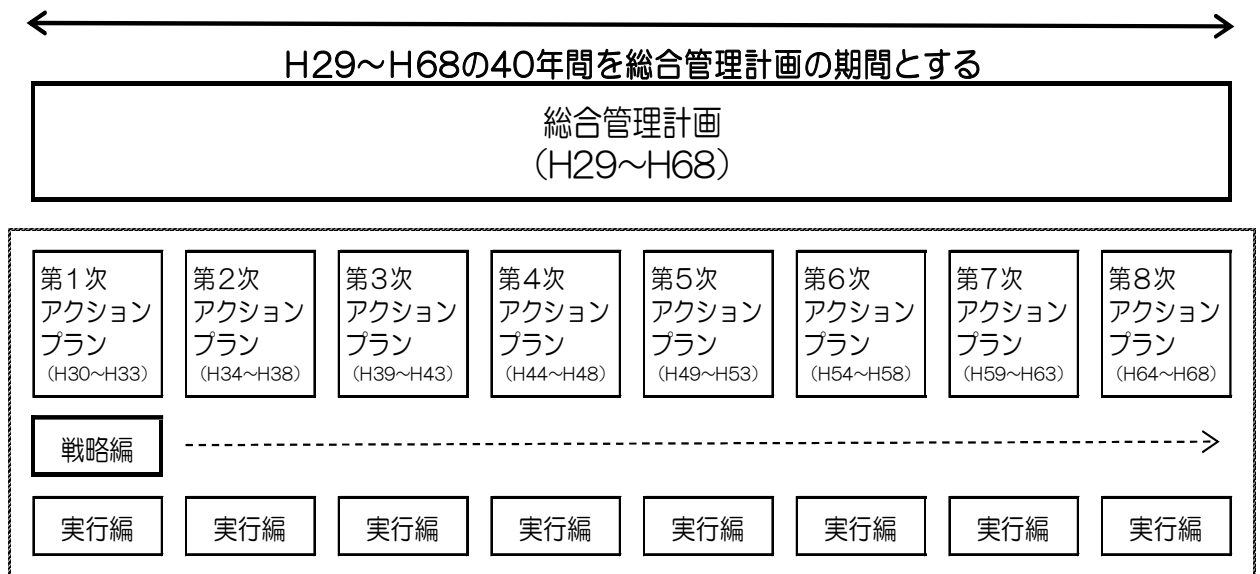
1-3-2 実行編の基本的な考え方

実行編では、戦略編で定めた手法に基づいて、各期において再編を行うべき「課題がある」と判断された施設について、実行編の対象施設として抽出します。さらに対象施設について、機能と施設の両面から検討し、適切な再編の方向性（集約化、複合化、民間への移管、廃止など）を決定します。決定した方向性に基づき、各施設について 5 年間の実効性ある個別施設計画を策定します。

1-4 計画期間

戦略編は、総合管理計画期間全体を通しての長期的な施設の再編の進め方等を示すものであることから、平成 30(2018)年度から平成 68(2056)年度までを計画期間とします。

実行編は、個別具体の施設の実効性ある方向性(方針)を示すものであることから、総合管理計画の期間を全 8 期に分けた 5 年間を計画期間とします。(なお、第 1 次では平成 30(2018)年度から平成 33(2021)年度の 4 年間とします。)



1-5 対象施設

総合管理計画で対象とした本市が保有する公共建築物 1,077 施設のうち公衆トイレや倉庫等の小規模な施設等を除いた 543 施設(平成 27 年 3 月末時点)を対象とします。

施設分類				全施設対象		アクションプラン対象		
大分類	中分類	類型別方針	小分類	施設数	延床面積(㎡)	施設数	延床面積(㎡)	
市民文化系施設	集会施設	集会施設	公民館	83	54,712	83	54,712	
			その他集会施設	21	11,027	21	11,027	
	文化施設	文化施設	ホール	6	43,233	6	43,233	
			その他文化施設	3	11,719	3	11,719	
社会教育系施設	図書館	図書館	図書館	25	16,394	25	16,394	
	博物館等	博物館等	博物館等	31	23,454	31	23,454	
	社会教育センター	その他社会教育施設	社会教育センター	2	3,624	2	3,624	
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	スポーツ施設	体育館	17	66,827	17	66,827	
			プール	13	16,394	13	16,394	
			武道館	6	4,583	6	4,583	
			野球場	4	19,500	2	19,269	
			陸上競技場	1	752	1	752	
			運動広場	12	444	0	0	
			その他スポーツ施設	10	2,757	6	2,711	
	レクリエーション・観光施設	レクリエーション・観光施設	観光施設	26	24,923	24	24,907	
			宿泊・入浴施設	8	27,496	8	27,496	
	産業系施設	産業系施設	産業系施設	産業振興施設	22	66,293	20	66,174
学校教育施設	学校	学校	小学校	65	415,268	65	415,268	
			中学校	26	210,396	26	210,396	
			その他学校	2	5,705	2	5,705	
			給食センター	2	5,344	2	5,344	
	その他教育施設	その他教育施設	その他教育施設	3	8,260	3	8,260	
子育て支援施設	幼保・こども園	幼保・こども園	保育所	42	29,459	42	29,459	
			幼稚園	10	7,467	10	7,467	
	幼児・児童施設	幼児・児童施設	認定こども園	1	1,813	1	1,813	
保健・福祉施設	高齢者福祉施設	高齢者福祉施設	老人福祉センター	8	6,785	8	6,785	
			高齢者福祉施設	2	6,246	2	6,246	
	障害福祉施設	障害福祉施設	障害福祉施設	3	7,001	3	7,001	
	児童福祉施設	児童福祉施設	児童福祉施設	2	4,137	2	4,137	
	保健施設	保健施設・医療施設	保健施設	7	20,089	7	20,089	
医療施設	医療施設	保健施設・医療施設	医療施設	2	2,333	2	2,333	
行政系施設	庁舎等	庁舎等	本庁舎	1	43,471	1	43,471	
			支所	7	24,101	7	24,101	
			事務所	4	2,844	4	2,844	
	消防施設	消防施設	消防署	8	14,822	8	14,822	
			消防分署	9	4,616	9	4,616	
	その他行政系施設	その他行政系施設	—	その他消防	102	8,679	0	0
			—	環境関連施設	17	14,156	10	13,967
公営住宅	公営住宅	公営住宅	—	車庫・倉庫等	99	12,845	0	0
			—	市営住宅	38	310,764	38	310,764
その他	その他	—	公園関連施設	97	5,266	0	0	
			—	供給処理施設	49	12,541	0	0
			—	その他	160	91,568	11	38,594
合計				1,077	1,678,108	543	1,582,983	

第2章 再編の基本方針

公共施設の再編においては、施設総量を縮減していくと同時に、施設や各地域の現状と課題を客観的に分析しつつ、行政サービスが適切に提供されるように、様々な手法を用いて施設整備を行うこととします。再編に当たっては、次の3つの方針を掲げます。

基本方針1：施設機能の再編と総量の縮減

今後も人口減少及び少子高齢化の進行等により、財政状況が厳しくなることが予想される中であって、今あるすべての施設をこれまでと同様に維持していくことは困難です。また、本市の市民1人当たりの公共施設延床面積は、中核市平均が3.2㎡であるのに対し4.0㎡と大きい状況となっており、利用者が少ない施設も見受けられることから、現状の行政サービスが市民のニーズに合ったものとなっているか再検証を行っていく必要があります。

このため、施設機能の再編に着手するとともに、施設総量の縮減を図り、「質」の確保と「量」の適正化を目指します。

(1) 市民ニーズに合わせた施設機能の再編

人口減少や人口構成の変化、社会環境の変化に伴い、市民の行政サービスに対するニーズは変化していきます。こうした状況に対応するためには新たな施設を整備する必要も出てきます。一方、利用者が少ない施設もあることから、今後は各施設について、利用状況やコスト状況等を的確に把握した上で、施設のあり方を含めた見直しを行います。

この場合、公共施設を単に「ハコモノ」として捉えるのではなく、そこで提供されている行政サービスや活動に着目し、施設の持つ機能が利用者のニーズに合ったものとなるように見直しを行います。例えば、公民館は、集会施設、体育館（室）、図書館分館等の複合施設となっていますが、一つの建物でこれらの機能をすべて維持することを前提とせず、地域のニーズに応じて利用頻度の低い機能は廃止し、利用が多く見込まれる機能を新規に整備することなども検討します。

(2) 施設総量の縮減

施設機能の再編と同時に、施設総量の縮減を図ります。施設の延床面積を減らしていくことにより、施設の大規模修繕や建替に必要な財政負担を抑制します。

基本方針2：計画的な保全による施設の長寿命化

市の公共施設の多くは、建築から30年以上が経過しています。一般的に、建物は築後30年を経過しますと、外装や設備の劣化が急速に進むとされており、行政サー

ビスの提供を継続していくためには、施設の安全性や機能性を確保する必要があります。

また、厳しい財政状況の中でこれらすべてのことを推進していくためには、工事の優先順位を定め、緊急性の高いものから順番に実施していく必要があります。また、大きな投資が必要となる改築工事の実施頻度を抑制するために、建物の長寿命化を図ることも必要です。

こうした課題に対応していくため、施設の保全を計画的・予防的に実施し、長寿命化を図ります。

(1) 施設の点検・診断の実施

施設の状況を把握し適切な保全を実施するため、点検・診断を充実します。特殊建築物（建築基準法第2条第2項で定められている建築物をいう）を対象とした法定点検（建築基準法第12条の定期点検をいう）を行うとともに、職員や施設管理者により日常的に点検を行い、その結果を庁内で共有していきます。

(2) 計画的な工事の実施

今後も継続して保有する公共施設については、計画的な予防保全によって長寿命化を図り、工事費用の低減につなげ、財政的な負担を軽減します。

突発的かつ過大な改修を抑え、保全に係る工事費を平準化し縮減していくためには、計画的に改修や修繕を行う必要があります。そのため大規模改修及び修繕について、施設の重要度やその他の要素を総合的に検討し、長期的な視点を持って対象施設の長寿命化改修を実施します。

(3) 耐震性の確保

大規模地震発生に対する地震防災対策として、施設の耐震化を進めます。その際には、防災特性や地域特性等を考慮しながら、優先すべき施設について耐震性を確保していきます。

基本方針3：まちづくりと連動した施設のあり方の検討

民間施設も含め施設の配置やサービス提供のあり方は、それぞれの「まち」のあり方と密接に関わっています。生活に身近な施設や避難拠点となる施設は、地域の中でバランスよく配置されている必要がある一方で、地域を活性化させるために施設を1か所に集約し拠点施設を整備することが有効な場合もあります。また、交通結節点と施設の配置を合わせて、利便性を高める工夫も必要です。

本市は、市の都心地区の他、複数の地域拠点が存在し、それぞれの拠点についてコンパクトなまちづくりを目指しています。地域の実情や課題を細かに把握し、活力があふれ住みやすい「まち」を形成していくことを目指して、公共施設の配置や機能のあり方を検討していきます。

(1) 地域別実行計画の策定

富山市都市マスタープランに定める市内 14 地域について、各地域の公共施設の再編を検討した計画を策定します。

(2) 市民の参画による検討

まちづくりと整合を図った公共施設のあり方の検討に当たっては、より地域の実情を把握していくために、市民の参画を求めていきます。あわせて、市民に身近な施設については、その再編の手法について合意形成を図る必要があります。

第3章 再編の具体的な手法

3-1 施設評価

総合管理計画でマネジメントの対象とした 543 施設すべてについて、施設評価を行います。これにより、対象施設の老朽化度や利用状況、コスト状況が明らかとなり、施設の状況を客観的に比較することが可能になります。

(1) ポートフォリオ分析

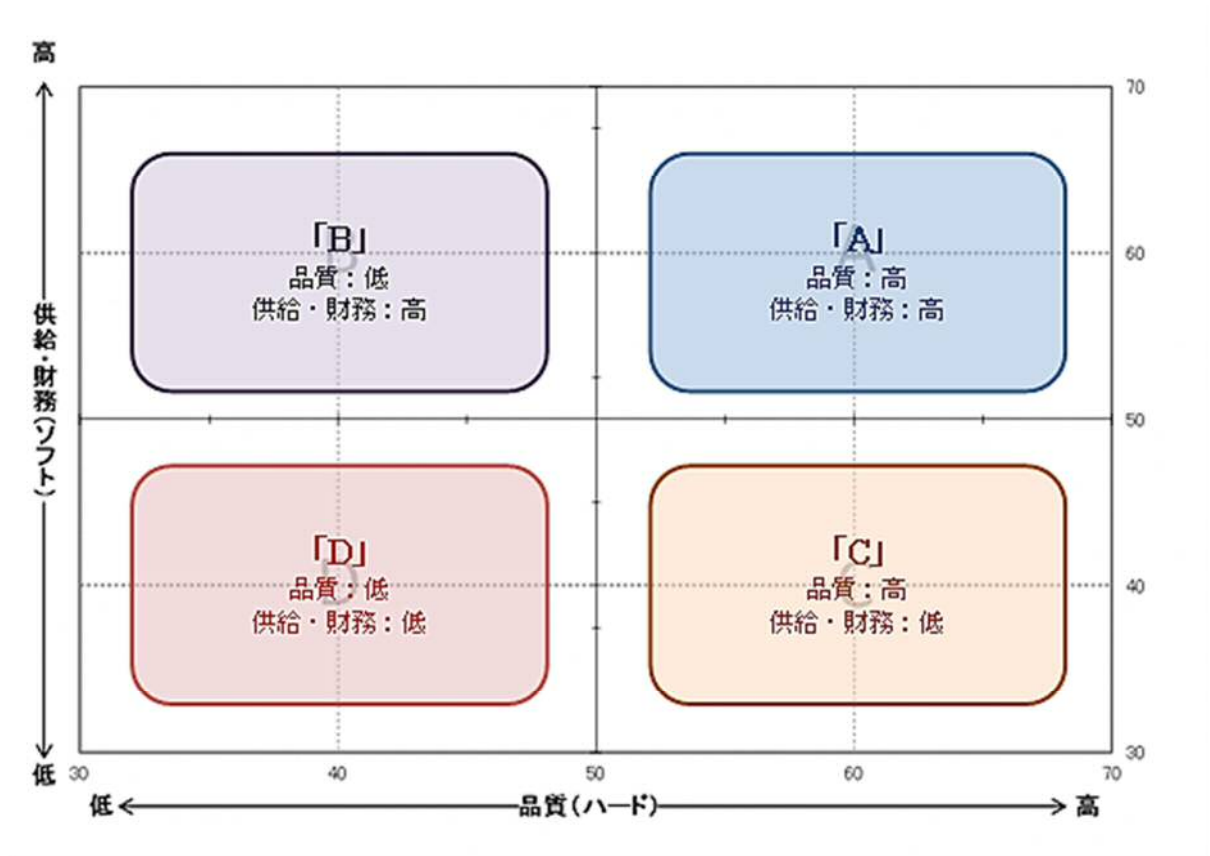
公共施設の状況を「品質（老朽化状況）」、「供給（利用状況）」、「財務（コスト状況）」の3つの観点から、各施設の老朽化度や利用率、運営等に係るコストについてデータを用いて比較・分析を行います。

ここでいう品質とは「市民が安全・快適に施設を利用できるか」を示しており、減価償却費を基に算出される老朽化度を指標とします。供給とは「行政サービスを効率的に提供できているか」を示しており、利用者数や稼働率などを指標とします。財務とは「適切な経費で施設が運営されているか」を示しており、維持管理、事業運営の支出と減価償却費を合計したもものから収入を差し引いた正味コストを指標とします。

これらの指標の偏差値を算出（複数の指標を用いる場合は平均値を算出）し、品質状況（ハード）を横軸に、供給・財務状況（ソフト）を縦軸に、偏差値 50 を中心としたグラフに、各施設の値をプロットします。その位置により、各施設の状況を把握することが可能となります。なお、品質状況（ハード）については、マネジメントの対象とした全施設の偏差値を計算し、供給・財務状況（ソフト）については、施設用途別（小分類別）に偏差値を計算します。

- ※ 正味コスト：(維持管理費) + (事業運営費) + (減価償却費) - (収入)
- ※ 分析に当たっては、建物だけでなく、提供されているサービスについても勘案しています。

ポートフォリオ分析のイメージ



分析結果	分析結果から得られる解釈
「A」分類 品質：高 供給・財務：高	<ul style="list-style-type: none"> ハード面、ソフト面ともに良好な状態にある施設。
「B」分類 品質：低 供給・財務：高	<ul style="list-style-type: none"> ハード面に課題がある施設。 運営状況は良好であり、ソフト面からは効率的なサービスが提供されていると考えられる。
「C」分類 品質：高 供給・財務：低	<ul style="list-style-type: none"> ハード面は良好な状態にある施設。 利用が少ない、コストがかかりすぎている等の課題があり、ソフト面からは効率的な行政サービスの提供に課題があると考えられる。
「D」分類 品質：低 供給・財務：低	<ul style="list-style-type: none"> ハード面に課題があり、改修又は改築が必要な施設。 利用が少ない、コストがかかりすぎている等の課題があり、ソフト面からも効率的な行政サービスの提供に課題があると考えられる。

【富山市が採用する施設評価指標】

評価区分	評価の視点	評価指標	算定方法	評価内容
品質 (ハード)	施設の老朽化度の確認 【劣化状況】	老朽化度	(施設を構成しているすべての棟の減価償却累計額の合計/すべての棟の再調達価額の合計) × 100	施設の老朽化がどの程度進行しているか
供給 (ソフト)	施設の利用状況の確認 【利用状況】	稼働率	(年間利用コマ数/利用可能コマ数) × 100	施設(貸出スペース)が十分に利用されているか
		1日当たりの利用者数	年間利用者数/開館日数	施設利用者数の多寡
		利用者1人当たり面積	延床面積 / (年間利用者数 / 開館日数等)	施設利用者に対して適切な延床面積となっているか(利用者1人当たり面積が大きくなるほど空スペースのあり方を検討する必要がある)
		貸出率	(貸出図書冊数 / 蔵書数) × 100	図書貸出サービスの利用が十分に行われているか
		1人当たりの貸出冊数	(貸出図書冊数 / 利用者(入館)者数)	
入居率	(入居戸数 / 管理戸数) × 100	施設への入居戸数が十分となっているか		
財務 (ソフト)	施設の収支状況の確認 【財務状況】	面積1㎡当たり施設コスト	コスト / 延床面積	延床面積に対してのコスト(施設コスト)が適切となっているか
		利用者1人当たり施設コスト	コスト / 年間利用者数	施設利用者に対してのコスト(施設コスト)が適切となっているか

※利用コマ数とは部屋ごとの貸出単位です。例えば、ある部屋について午前・午後・夜間の3区分で貸出可能な場合は1部屋3コマと計上します。1時間単位での貸出の場合は、9:00~17:00まで貸出可能であれば、1部屋8コマと計上します。

【施設用途別評価指標】

大分類	中分類	小分類	用途別方針	品質	供給					財務		
				老朽化度	稼働率	1日当たりの利用者数	利用者1人当たり面積	貸出率	1人当たりの貸出冊数	入居率	面積1㎡当たり施設コスト	利用者1人当たり施設コスト
市民文化系施設	集会施設	公民館	集会施設	○	○		○				○	○
		その他集会施設		○	○		○				○	○
	文化施設	ホール	文化施設	○	○	○					○	○
		その他文化施設		○	○	○					○	○
社会教育系施設	図書館	図書館	図書館	○		貸出人数/開館日数		○	○		○	○
	博物館等	博物館等	博物館等	○		○					○	○
	社会教育センター	社会教育センター	その他社会教育施設	○		○					○	○
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	体育館	スポーツ施設	○	○	○					○	○
		プール		○		○					○	○
		武道館		○	○	○					○	○
		野球場		○	○	○					○	○
		陸上競技場		○	○	○					○	○
		その他スポーツ施設		○	○	○					○	○
	レクリエーション・観光施設	観光施設	レクリエーション・観光施設	○		○					○	○
		宿泊・入浴施設		○		○					○	○
産業系施設	産業系施設	産業振興施設	産業系施設	○						○		
学校教育施設	学校	小学校	学校	○			○				○	○
		中学校		○			○				○	○
		その他学校		○							○	
	その他教育施設	給食センター	その他教育施設	○							○	
その他教育施設		○								○		
子育て支援施設	幼保・こども園	保育所	幼保・こども園	○			○				○	○
		幼稚園		○			○				○	○
		認定こども園		○			○				○	○
	幼児・児童施設	児童館	幼児・児童施設	○		○	○				○	○

大分類	中分類	小分類	用途別方針	品質	供給						財務		
				老朽化度	稼働率	1日当たりの利用者数	利用者1人当たり面積	貸出率	1人当たりの貸出冊数	入居率	面積1㎡当たり施設コスト	利用者1人当たり施設コスト	
保健・福祉施設	高齢者福祉施設	老人福祉センター	高齢者福祉施設	○		○	○				○	○	
		高齢者福祉施設		○							○		
	障害福祉施設	障害福祉施設	障害福祉施設	○							○		
	児童福祉施設	児童福祉施設	児童福祉施設	○							○		
	保健施設	保健施設	保健施設・医療施設	○		○	○				○	○	
医療施設	医療施設	○								○			
行政系施設	庁舎等	本庁舎	庁舎等	○							○		
		支所		○							○		
		事務所		○								○	
	消防施設	消防署	消防施設	○								○	
		消防分署		○								○	
その他行政系施設	環境関連施設	その他行政系施設	○								○		
公営住宅	公営住宅	市営住宅	公営住宅	○						○	○		
その他	その他	その他	—	○									

(2) 圏域区分による分析

施設を規模や機能に応じて、「広域・市域レベル」、「地域レベル」、「地区レベル」の3段階に分類し、それぞれの施設の提供する機能が、圏域の中で唯一のものである場合は、機能を継続する方向で検討を行います。逆に、圏域の中で複数の機能があり、利用度合いから見て重複があるとされる場合は、最適な配置を検討します。

また、施設機能が不足している地域においては、既存施設と近隣施設との統合を検討し、その機能を確保する必要があります。さらに、利用者が少ない施設については、市民のニーズに見合う機能への転換も検討していきます。

圏域区分と施設の配置基準等

圏域区分	施設の性格	主な施設	適正な配置数
広域・市域レベル (広域・市域拠点施設)	市域全域の中心 的な核となるべ き施設	本庁舎 図書館本館 等	市内で1～2施設程 度の配置
地域レベル (地域生活圏拠点施設)	主に14地域内 での利用を想定す る施設	児童館 体育施設等	地域内で重複しない 程度の配置
地区レベル (生活圏拠点施設)	身近な施設のため 地区内での利用 を想定する施設	公民館 小中学校等	人口動向に応じて、 各地区内に1施設程 度の配置

3-2 再編整備方策

施設の機能（ソフト面）についてはその提供形態、建物本体（ハード面）についてはその整備の手法について定めます。

(1) 機能の提供形態

施設の機能再編に向けて、複合化・集約化・転用等を推進します。

複合化とは、異なる機能の施設を一か所にまとめて再整備することをいいます。これらを同じ建物に配置することにより、ワンストップサービスの提供やスペースの共同利用による管理運営の効率化などの相乗効果を狙います。

集約化とは、既存の同種又は類似機能の施設を一か所にまとめて再整備することをいいます。

転用とは、既存の施設の機能を変え、他の施設として利用することをいいます。

提供主体変更とは、既存の公共施設の提供主体を変更する手法をいいます。

いずれの場合も、必要な機能を維持することにより、行政サービスの低下を招かないように配慮します。また、既存の延床面積を縮減して、財政負担の抑制を図ります。

手法	取組のイメージ	
	実施前	実施後
複合化	<p>児童館 (延床面積：800) 老人福祉センター (延床面積：800)</p> <p>廃止 廃止</p>	<p>児童センター 老人福祉センター 複合施設(他世代交流施設) (延床面積：1200)</p>
	<p>既存の異なる機能の公共施設を合築し、これら機能を有した複合施設として再整備する手法です。</p>	
集約化	<p>A 公民館 (延床面積：400) B 公民館 (延床面積：400)</p> <p>廃止 廃止</p>	<p>C 公民館 集約後施設 (延床面積：600)</p>
	<p>【建替統合】既存の同種・類似機能の公共施設を統合し、一体の施設として再整備する手法です。</p>	
	<p>A 公民館 (延床面積：400) B 公民館 (延床面積：1200)</p> <p>廃止</p>	<p>B 公民館 (延床面積：1200)</p> <p>B 公民館の余剰スペースで A 公民館の行政サービスがまかなえると判断された場合 (延床面積：1200)</p>
<p>【機能集約】既存の同種・類似機能を、1 施設に集約可能と判断された場合、一方の施設を廃止して統合する手法です。</p>		
転用 (変更)	<p>プール (延床面積：4000)</p>	<p>複合施設 (プール+保健施設) (延床面積：4000)</p> <p>介護予防事業等</p>
	<p>既存の公共施設の機能を変更することで、別の施設の機能を確保することが可能と判断された場合、後者の施設を廃止したりすることで施設を抑制する手法です。</p>	
提供主体 変更	<p>市所有 キャンプ施設 (延床面積：3000)</p>	<p>民間等所有 キャンプ施設 (延床面積：3000)</p>
	<p>既存の公共施設の提供主体を民間等に変更する手法です。</p>	
転用 (用途変更)	<p>市営住宅 (延床面積：3000)</p>	<p>特別養護老人ホーム (延床面積：3000)</p>
	<p>既存の公共施設の機能の用途を変え、他の施設として利用する手法です。</p>	

(2) 整備手法

機能の提供形態を踏まえ、施設をハード面からどう再編していくのかといった整備手法について方針を示します。

修繕	使用上、建物機能の障害が発生している場合は適時修繕を行う。
大規模改修工事	機能向上や老朽化への抜本的な対応を行うための工事を行う。躯体の中性化や腐食を抑止し長期間にわたり建物を使用することを目的とした長寿命化も含む。
リニューアル・転用工事	建物の機能を変更することに伴う、内装や設備の変更を行う。
建替	建替を行う。
利活用	当該施設に大きく手を加えることなく、別用途等で活用する。
譲渡	建物を譲渡・売却する。
解体	解体を行う。

第4章 施設用途別の分析

※対象施設は、総合管理計画で対象とした、平成27年3月末時点で市が保有する公共建築物1,077施設のうち、公衆トイレや倉庫等の小規模な施設等を除いた543施設になります。

※総合管理計画との整合性を図るため、施設のデータは平成27年3月末時点のものを使用しています。

※コスト・運営・利用状況等の分析は、平成27年度分の実績データを用いて計算しています。コストについては、第2章、第3章中で定義した「正味コスト」を指標としています。

4-1 集会施設

(1) 概要

- ・集会施設は、84の公民館と21のその他集会施設が整備されています。

■特記事項

公民館のうち、総曲輪公民館は民間からの借上施設。熊野公民館は平成28年6月に富南会館内へ建替移転。奥田公民館は平成28年8月に建替移転。上滝公民館岡田分館、福沢公民館瀬戸分館（瀬戸集落センター）は平成29年3月末で廃止し、地元団体へ無償貸付。倉垣公民館は平成29年7月に建替移転。豊田公民館は平成29年10月建替移転。

その他集会施設の平等集落センター、音川東部地区農村集落多目的共同利用施設、道島地区農村集落多目的共同利用施設は平成28年3月に地元団体へ無償譲渡。

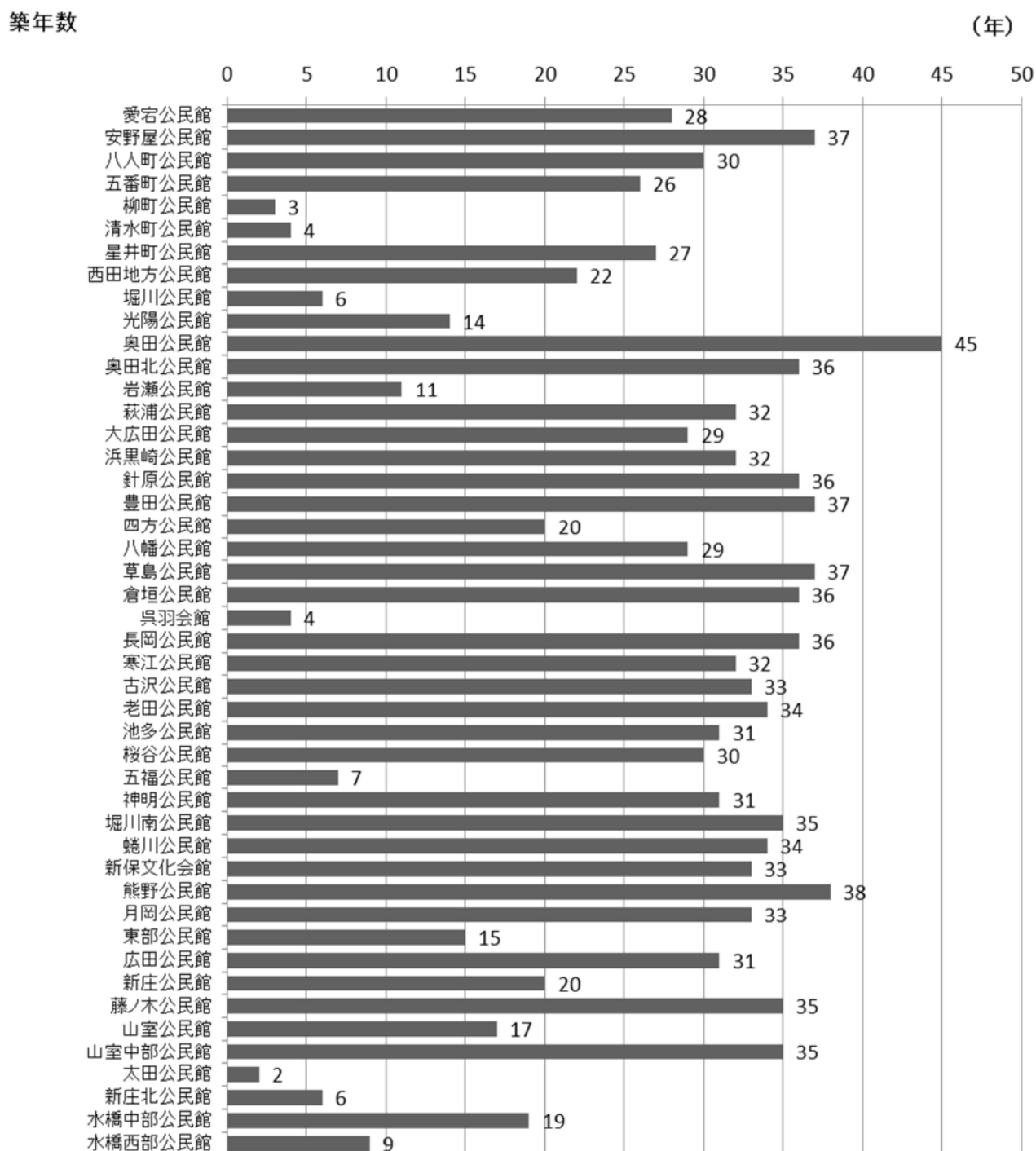
- ・公民館は、地域における学習やコミュニティ活動、交流活動の拠点となっており、多くは住民とフェイス・トゥ・フェイスで行政手続き・窓口業務ができる地区センターを併設しています。また、地区コミュニティセンター、図書館、児童館等を施設内に併設しているものもあります。
- ・平成17年の合併時に、旧町村の公民館のうち、旧富山市の公民館設置条例や利用規程とは異なる施設機能（体育施設等）を持つものを地区コミュニティセンターとして位置付けました。
- ・地区コミュニティセンターは、単独で設置されているものが2施設（笹倉地区コミュニティセンター、細入北部地区コミュニティセンター）、その他の13施設は公民館の併設施設として整備されています。
- ・その他の集会施設は、一定の対象者を中心とした集会の用に供する施設となっています。
- ・公民館は、富山地域では、昭和50年代から小学校区ごとに1館ずつ整備が進み、合併後も同様の方針に基づき整備が進められています。ただし、現在は小学校の統合により、小学校区の数よりも公民館の施設数の方が多くなっています。小学校の統合に合わせ、コミュニティの範囲が統合されるとは限りませんので、小学校区の数に捉わ

れず、人口減少等を見据え、機能の拡充を行うなど公民館の最適な配置を検討する必要があります。

(2) 施設の現状と課題

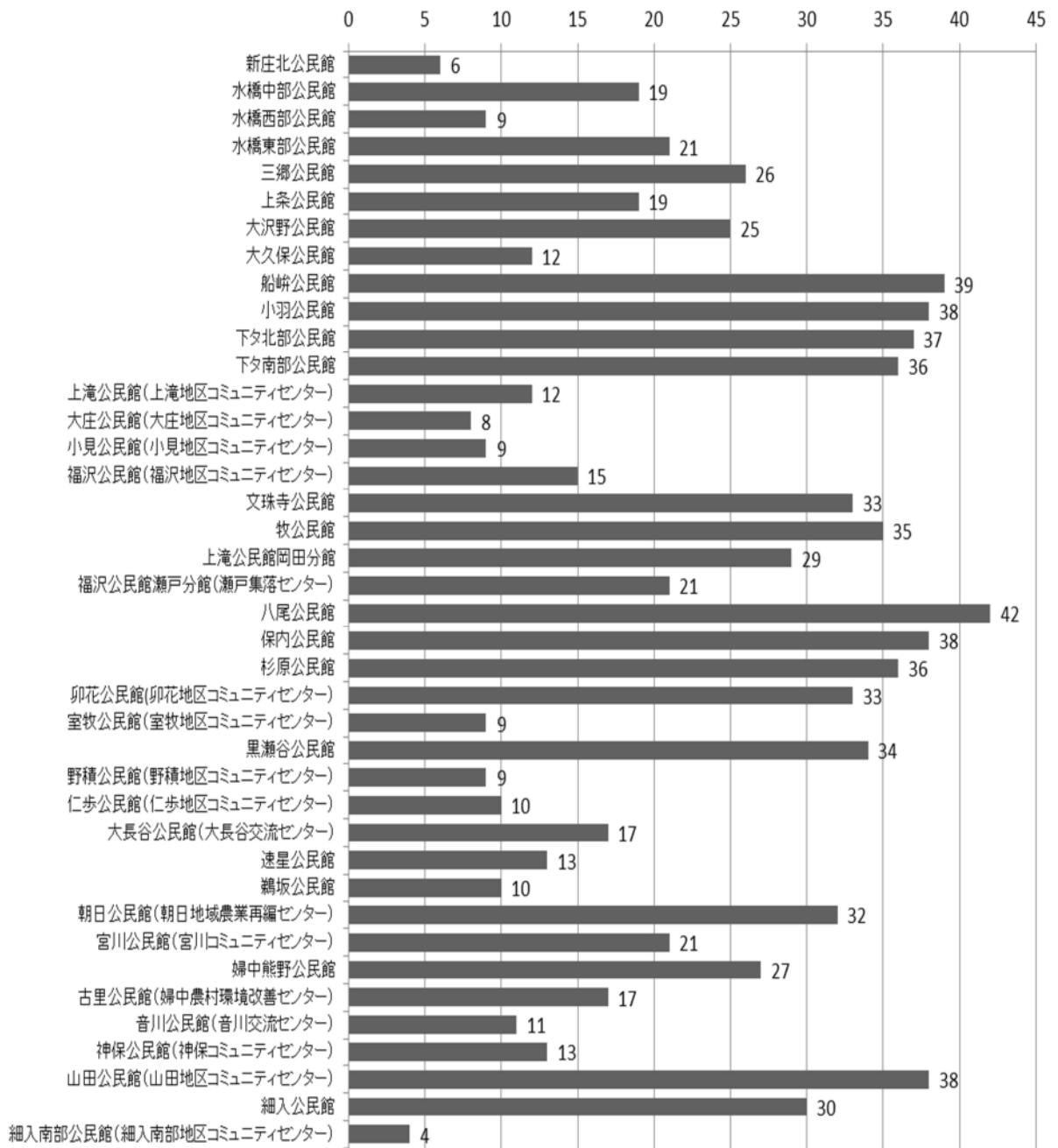
① 老朽化状況

公民館の築年数は平均 24.5 年、その他集会施設の築年数は平均 22.3 年です。築年数 30 年以上のものが公民館には 39 施設、その他集会施設には 4 施設あり、富山市勤労青少年ホーム、八尾農村環境改善センター、大山地域市民センター、大山農村環境改善センターです。



築年数

(年)

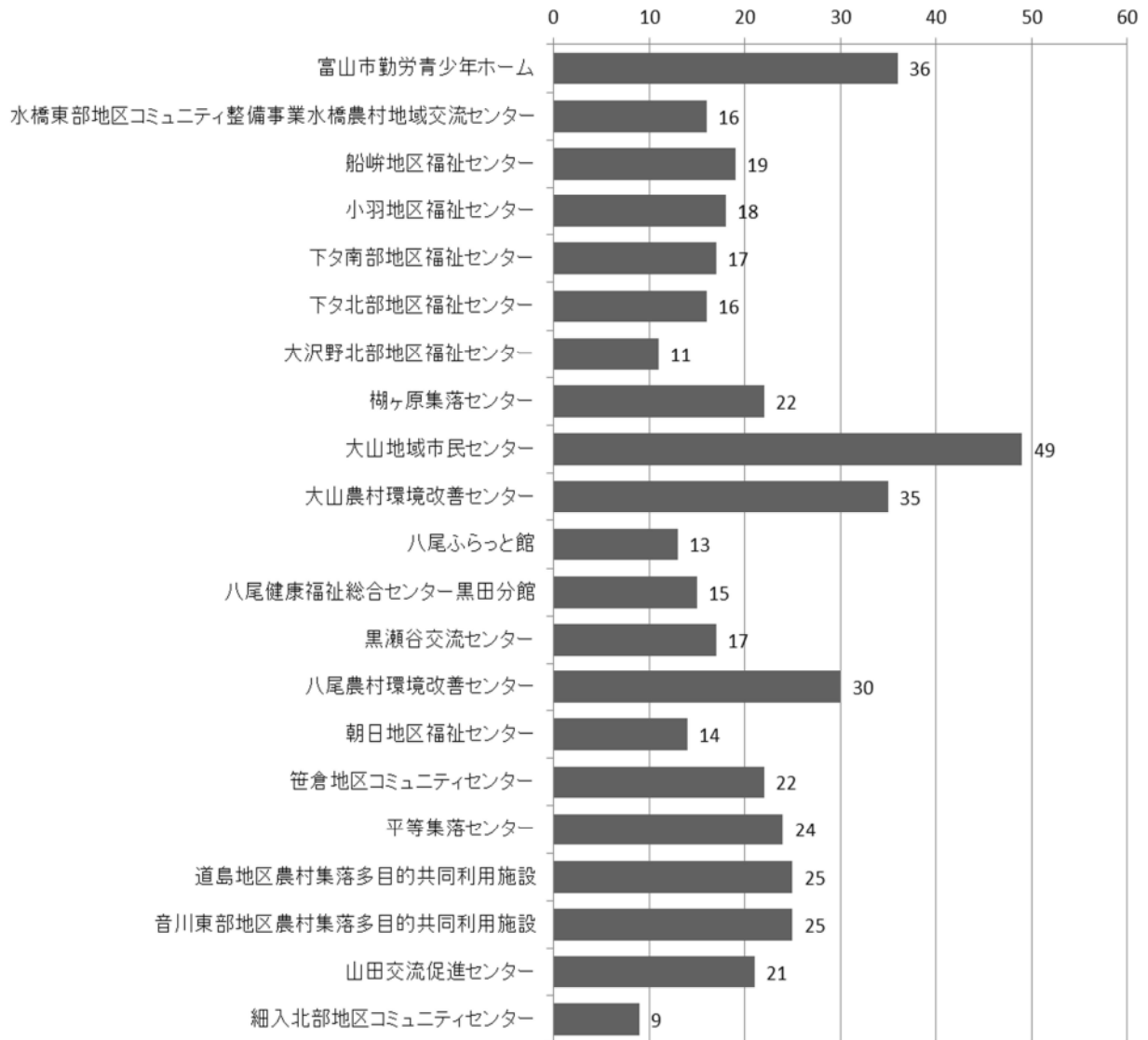


【築30年以上施設一覧】

	施設名	築年数
1	奥田公民館	45
2	八尾公民館	42
3	船嶺公民館	39
4	熊野公民館	38
5	小羽公民館	38
6	保内公民館	38
7	山田公民館(山田地区コミュニティセンター)	38
8	安野屋公民館	37
9	豊田公民館	37
10	草島公民館	37
11	下夕北部公民館	37
12	奥田北公民館	36
13	針原公民館	36
14	倉垣公民館	36
15	長岡公民館	36
16	下夕南部公民館	36
17	杉原公民館	36
18	堀川南公民館	35
19	藤ノ木公民館	35
20	山室中部公民館	35
21	牧公民館	35
22	老田公民館	34
23	蟻川公民館	34
24	黒瀬谷公民館	34
25	古沢公民館	33
26	新保文化会館	33
27	月岡公民館	33
28	文珠寺公民館	33
29	卯花公民館(卯花地区コミュニティセンター)	33
30	萩浦公民館	32
31	浜黒崎公民館	32
32	寒江公民館	32
33	朝日公民館(朝日地域農業再編センター)	32
34	池多公民館	31
35	神明公民館	31
36	広田公民館	31
37	八人町公民館	30
38	桜谷公民館	30
39	細入公民館	30

築年数

(年)



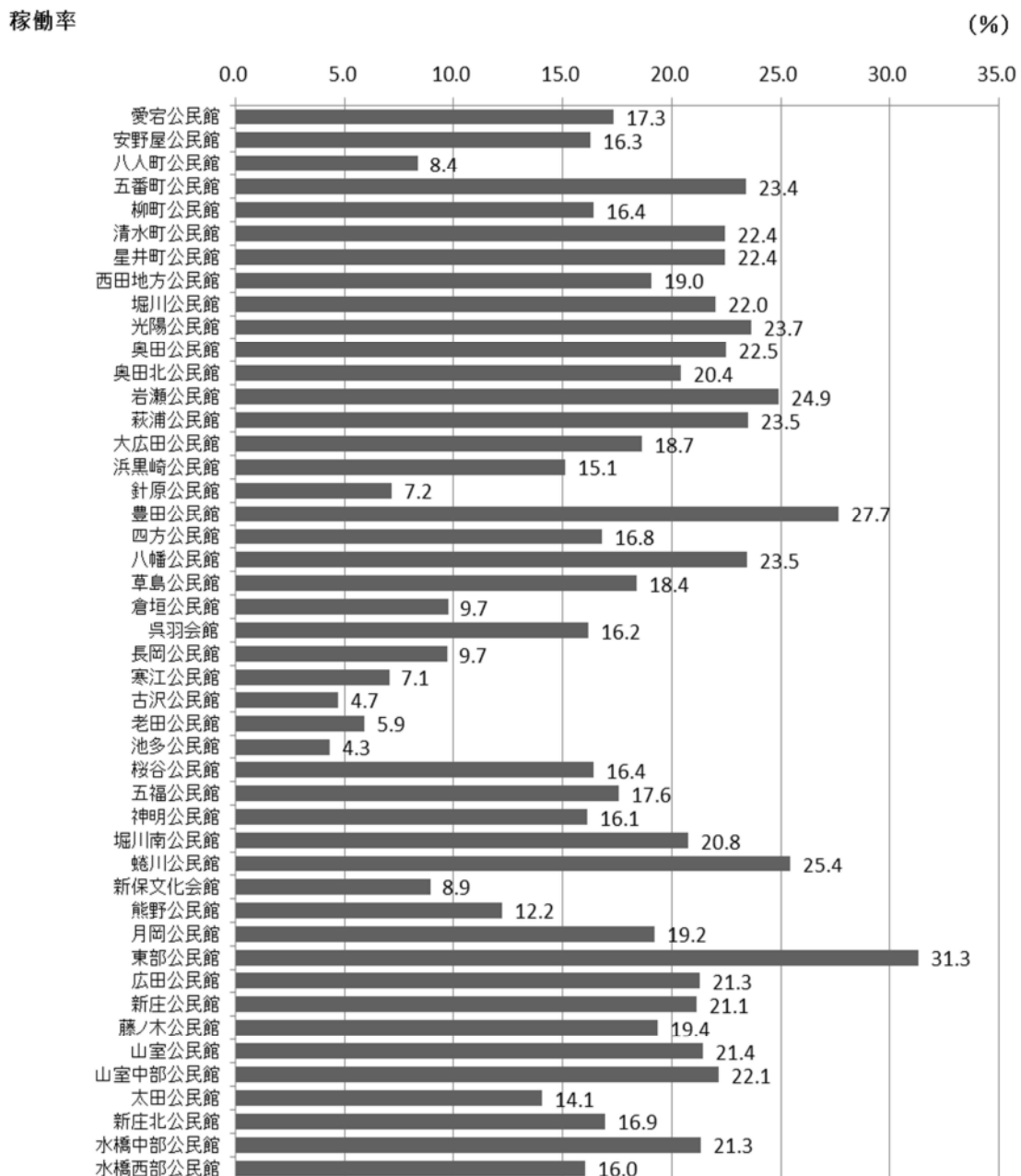
②利用状況

施設の利用状況について、稼働率（*）を調査したところ、公民館は平均 13.7%、その他集会施設は平均 15.0%でした。

公民館は稼働率の良い施設で 30%程度となっており、30%を超えているものは東部公民館と速星公民館の 2 施設となっています。一方で、稼働率が 5%未満というような施設も多く、廃止された施設を除くと 15 施設存在します。

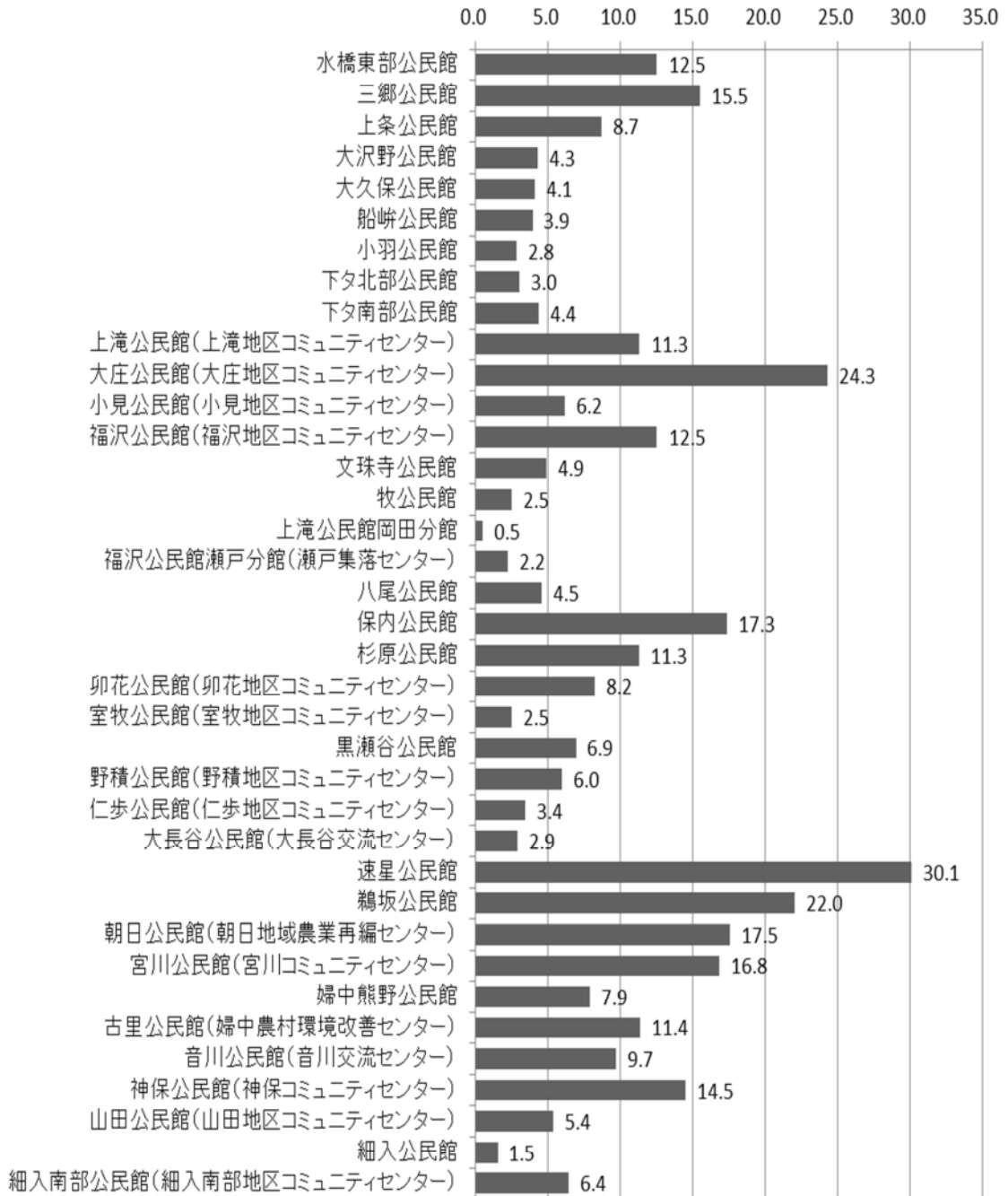
（*）稼働率：施設内の貸部屋（スペース）ごとに調査し、年間利用コマ数を利用可能コマ数で除した指標。

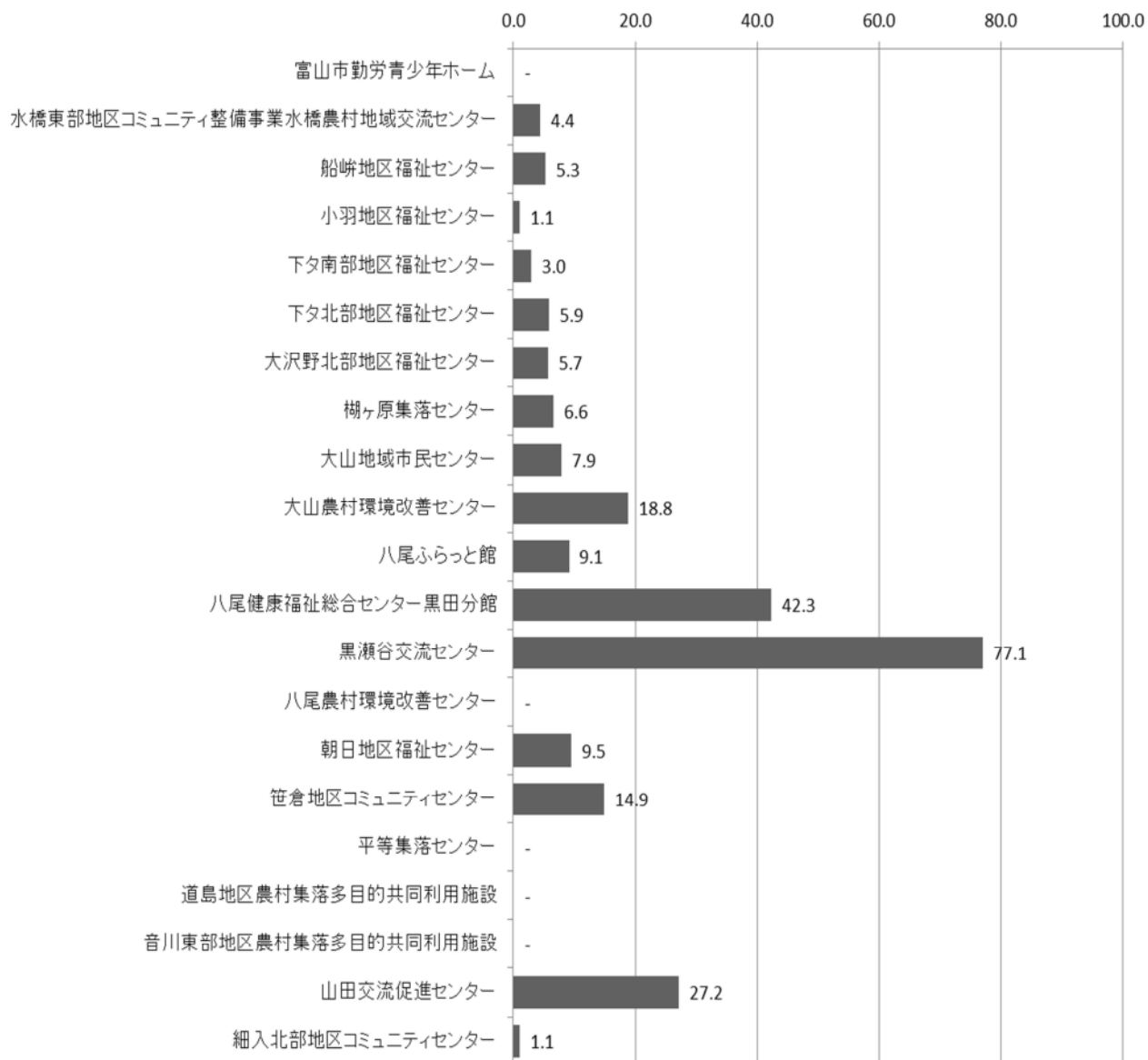
■稼働率 5%未満：古沢公民館、池多公民館、大沢野公民館、大久保公民館、船嶺公民館、小羽公民館、下夕北部公民館、下夕南部公民館、文珠寺公民館、牧公民館、八尾公民館、室牧公民館、仁歩公民館、大長谷公民館、細入公民館（15 施設）



稼働率

(%)





③コスト状況

利用者1人当たりの年間施設コストをみますと、公民館は平均3,987.4円、その他集会施設は平均5,142.0円となっています。

公民館の中では、倉垣公民館、池多公民館、大沢野公民館、大久保公民館、八尾公民館などが高く、その理由を明らかにした上で、必要に応じ改善が求められます。

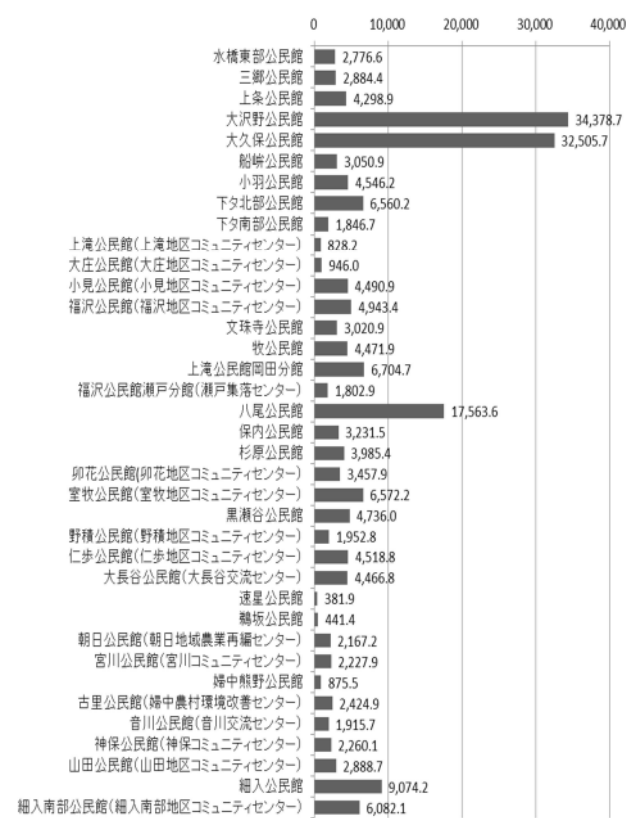
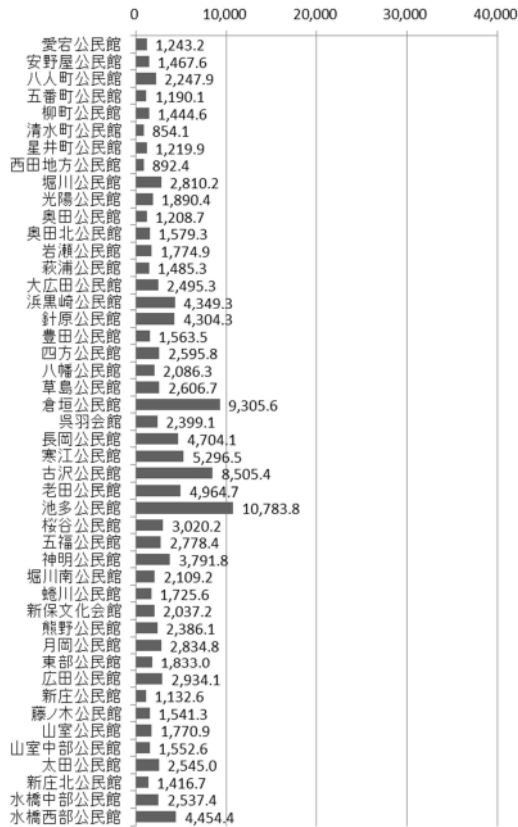
その他集会施設の中では、榑ヶ原集落センター、大山地域市民センター、大山農村環境改善センター、八尾ふらっと館、山田交流促進センターが高くなっています。

利用者1人当たり施設コスト

(円/人)

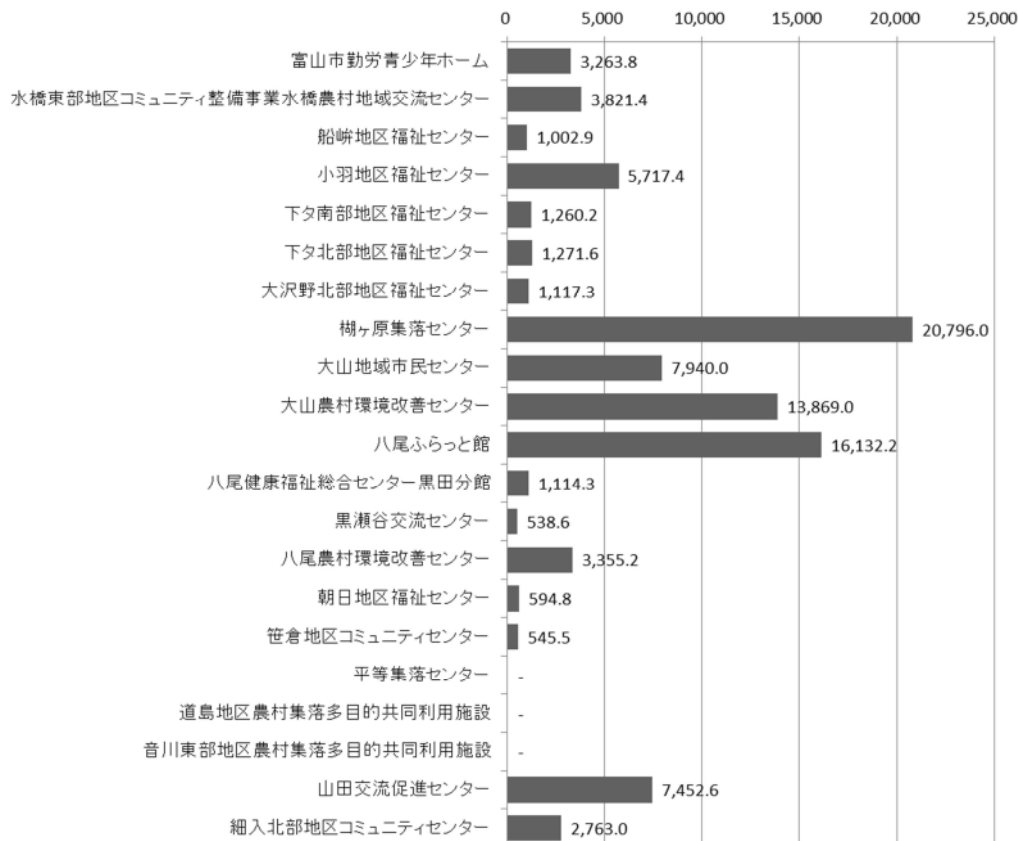
利用者1人当たり施設コスト

(円/人)



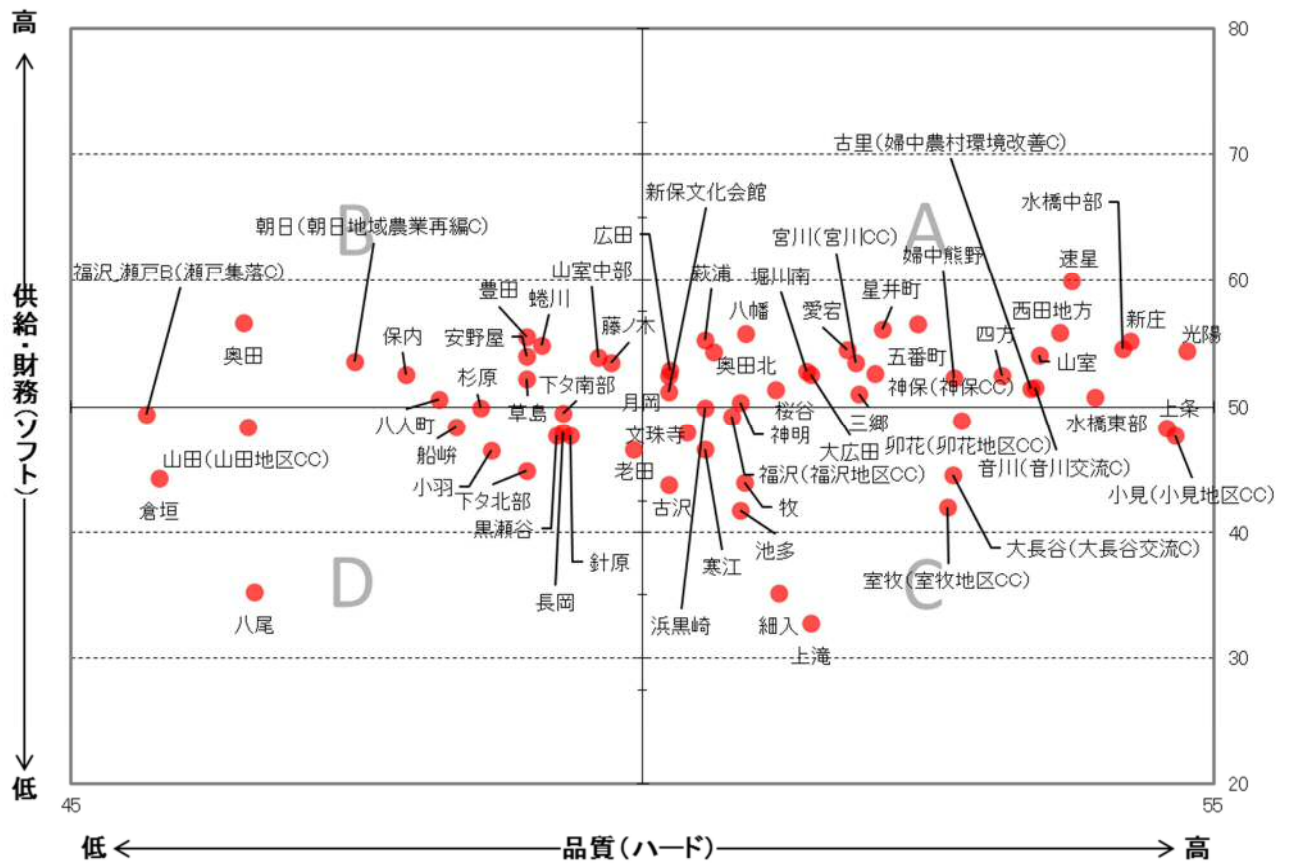
利用者1人当たり施設コスト

(円/人)



【公民館】

	施設名	ポ ー ト フ ォ イ ア 分 析	延床面積	建築年	築 年 数	老 朽 化 度	ハ ー ド 偏 差 値	稼 働 率	稼 働 率 偏 差 値	利用 者 1 人 当 た り 面 積	利用 者 1 人 当 た り 面 積 偏 差 値	面 積 当 た り 施 設 コ ス ト	面 積 当 た り 施 設 コ ス ト 偏 差 値	利用 者 1 人 当 た り 施 設 コ ス ト	利用 者 1 人 当 た り 施 設 コ ス ト 偏 差 値	ソ フ ト 偏 差 値
1	愛宕公民館	A	351.57	昭和 62年度	28	56.0	51.8	17.3	54.6	14.89	55.3	30,050.9	53.1	1,243.2	55.2	54.5
2	安野屋公民館	B	357.23	昭和 53年度	37	74.0	49.0	16.3	53.3	18.37	54.7	28,763.0	53.4	1,467.6	54.8	54.0
3	八人町公民館	B	340.50	昭和 60年度	30	79.0	48.2	8.4	43.1	25.84	53.4	31,312.8	52.7	2,247.9	53.3	50.6
4	五番町公民館	A	350.79	平成 01年度	26	52.0	52.4	23.4	62.4	14.09	55.4	30,397.1	53.0	1,190.1	55.3	56.5
5	柳町公民館	A	557.92	平成 24年度	3	7.9	59.3	16.4	53.5	21.17	54.2	24,569.8	54.5	1,444.6	54.8	54.3
6	清水町公民館	A	498.14	平成 23年度	4	10.6	58.8	22.4	61.2	12.14	55.7	25,330.2	54.3	854.1	55.9	56.8
7	墓井町公民館	A	350.40	昭和 63年度	27	54.0	52.1	22.4	61.1	14.21	55.4	30,899.0	52.9	1,219.9	55.2	56.2
8	西田地方公民館	A	457.60	平成 05年度	22	44.0	53.6	19.0	56.8	15.63	55.1	20,557.3	55.6	892.4	55.8	55.8
9	堀川公民館	A	675.00	平成 21年度	6	15.8	58.0	22.0	60.6	18.90	54.6	53,539.3	46.9	2,810.2	52.2	53.6
10	光陽公民館	A	437.00	平成 13年度	14	36.8	54.8	23.7	62.7	11.35	55.9	59,968.0	45.2	1,890.4	54.0	54.4
11	奥田公民館	B	1,262.84	昭和 45年度	45	90.0	46.5	22.5	61.2	22.48	54.0	19,352.4	55.9	1,208.7	55.2	56.6
12	奥田北公民館	A	485.23	昭和 54年度	36	63.5	50.6	20.4	58.5	11.87	55.8	47,886.6	48.4	1,579.3	54.5	54.3
13	岩瀬公民館	A	610.37	平成 16年度	11	22.0	57.1	24.9	64.3	13.65	55.5	46,822.4	48.6	1,774.9	54.2	55.7
14	萩浦公民館	A	358.30	昭和 58年度	32	64.0	50.5	23.5	62.5	10.74	56.0	49,793.5	47.9	1,485.3	54.7	55.3
15	大広田公民館	A	407.07	昭和 61年度	29	58.0	51.5	18.7	56.3	15.73	55.1	57,093.4	45.9	2,495.3	52.8	52.5
16	浜黒崎公民館	C	357.27	昭和 58年度	32	64.0	50.5	15.1	51.8	26.62	53.3	58,823.9	45.5	4,349.3	49.3	50.0
17	針原公民館	D	408.70	昭和 54年度	36	71.5	49.4	7.2	41.6	29.92	52.7	52,079.8	47.2	4,304.3	49.4	47.7
18	豊田公民館	B	374.46	昭和 53年度	37	74.0	49.0	27.7	67.9	8.38	56.4	67,187.4	43.2	1,563.5	54.6	55.5
19	四方公民館	A	714.22	平成 07年度	20	47.3	53.1	16.8	54.0	20.81	54.3	44,900.7	49.1	2,595.8	52.6	52.5
20	八幡公民館	A	1,192.84	昭和 61年度	29	61.7	50.9	23.5	62.5	34.29	52.0	21,904.9	55.2	2,086.3	53.6	55.8
21	草島公民館	B	354.91	昭和 53年度	37	74.0	49.0	18.4	56.0	15.73	55.1	59,637.7	45.2	2,607.7	52.6	52.2
22	倉垣公民館	D	360.03	昭和 54年度	36	94.7	45.8	9.7	44.9	48.51	49.5	69,055.3	42.7	9,305.6	40.0	44.3
23	呉羽会館	A	1,970.00	平成 23年度	4	8.6	59.2	16.2	53.1	33.88	52.0	25,494.9	54.3	2,399.1	53.0	53.1
24	長岡公民館	D	357.23	昭和 54年度	36	72.0	49.3	9.7	44.9	28.74	52.9	58,914.4	45.4	4,704.1	48.6	48.0
25	寒江公民館	C	357.27	昭和 58年度	32	64.0	50.5	7.1	41.5	31.88	52.4	59,803.5	45.2	5,296.5	47.5	46.6
26	古沢公民館	C	375.54	昭和 57年度	33	66.0	50.2	4.7	38.5	63.68	46.9	48,082.8	48.3	8,505.4	41.5	43.8
27	老田公民館	D	365.01	昭和 56年度	34	68.0	49.9	5.9	40.0	30.95	52.5	57,738.1	45.7	4,964.7	48.2	46.6
28	池多公民館	C	360.55	昭和 59年度	31	62.0	50.9	4.3	38.0	65.26	46.7	59,489.7	45.3	10,783.8	37.2	41.8
29	桜谷公民館	A	368.15	昭和 60年度	30	60.0	51.2	16.4	53.4	18.36	54.7	59,231.3	45.4	3,020.2	51.8	51.3
30	五福公民館	A	681.44	平成 20年度	7	14.1	58.3	17.6	54.9	26.40	53.3	37,881.5	51.0	2,778.4	52.3	52.9
31	神明公民館	A	360.89	昭和 59年度	31	62.0	50.9	16.1	53.1	20.78	54.3	65,698.7	43.6	3,791.8	50.4	50.3
32	堀川南公民館	A	358.77	昭和 55年度	35	58.3	51.4	20.8	59.0	10.98	55.9	69,183.6	42.7	2,109.2	53.5	52.8
33	鯉川公民館	B	407.91	昭和 56年度	34	73.2	49.1	25.4	65.0	9.65	56.2	64,372.0	44.0	1,725.6	54.3	54.9
34	新保文化会館	A	993.92	昭和 57年度	33	66.0	50.2	8.9	43.9	30.62	52.6	23,950.6	54.7	2,037.2	53.7	51.2
35	熊野公民館	B	420.00	昭和 52年度	38	100.0	44.9	12.2	48.1	18.92	54.6	45,392.9	49.0	2,861.1	53.0	51.2
36	月岡公民館	A	400.46	昭和 57年度	33	66.0	50.2	19.2	57.0	17.81	54.8	57,289.1	45.9	2,834.8	52.2	52.5
37	東部公民館	A	507.08	平成 12年度	15	30.1	55.8	31.3	72.5	11.94	55.8	55,247.7	46.4	1,833.0	54.1	57.2
38	広田公民館	A	360.56	昭和 59年度	31	66.0	50.2	21.3	59.7	17.48	54.8	60,414.4	45.0	2,934.1	52.0	52.9
39	新庄公民館	A	581.35	平成 07年度	20	40.0	54.3	21.1	59.5	9.34	56.2	43,650.1	49.5	1,132.6	55.4	55.1
40	藤ノ木公民館	B	427.12	昭和 55年度	35	69.3	49.7	19.4	57.2	9.83	56.1	56,459.5	46.1	1,541.3	54.6	53.5
41	山室公民館	A	513.37	平成 10年度	17	45.2	53.5	21.4	59.9	11.53	55.8	55,307.1	46.4	1,770.9	54.2	54.1
42	山室中部公民館	B	358.30	昭和 55年度	35	70.0	49.6	22.1	60.8	8.59	56.4	65,057.2	43.8	1,552.6	54.6	53.9
43	太田公民館	A	551.88	平成 25年度	2	5.3	59.7	14.1	50.4	24.91	53.6	36,776.1	51.3	2,545.0	52.7	52.0
44	新庄北公民館	A	667.33	平成 21年度	6	12.0	58.6	16.9	54.1	13.26	55.6	38,466.7	50.9	1,416.7	54.9	53.8
45	水橋中部公民館	A	1,221.80	平成 08年度	19	40.4	54.2	21.3	59.7	32.15	52.3	28,412.2	53.5	2,537.4	52.7	54.6
46	水橋西部公民館	A	605.25	平成 18年度	9	23.8	56.8	16.0	52.9	32.07	52.3	50,000.8	47.8	4,454.4	49.1	50.5
47	水橋東部公民館	A	378.43	平成 06年度	21	42.0	54.0	12.5	48.5	20.42	54.3	48,947.0	48.1	2,776.6	52.3	50.8
48	三郷公民館	A	385.46	平成 01年度	26	55.3	51.9	15.5	52.2	17.23	54.9	60,252.7	45.1	2,884.4	52.1	51.1
49	上条公民館	C	391.57	平成 08年度	19	38.0	54.6	8.7	43.6	30.33	52.6	51,017.7	47.5	4,298.9	49.4	48.3
50	大沢野公民館	C	107.25	平成 02年度	25	53.2	52.2	4.3	38.0	40.73	50.9	303,878.8	-19.4	34,378.7	-7.3	15.5
51	大久保公民館	C	168.20	平成 15年度	12	25.5	56.5	4.1	37.7	63.01	47.0	185,719.4	11.9	32,505.7	-3.8	23.2
52	船峠公民館	D	331.20	昭和 51年度	39	78.0	48.4	3.9	37.5	32.31	52.3	33,991.5	52.0	3,050.9	51.8	48.4
53	小羽公民館	D	331.20	昭和 52年度	38	76.0	48.7	2.8	36.0	65.91	46.5	24,830.9	54.5	4,546.2	48.9	46.5
54	下夕北部公民館	D	331.20	昭和 53年度	37	74.0	49.0	3.0	36.3	62.72	47.1	37,654.0	51.1	6,560.2	45.1	44.9
55	下夕南部公民館	D	397.20	昭和 54年度	36	72.0	49.3	4.4	38.0	56.79	48.1	11,706.9	57.9	1,846.7	54.0	49.5
56	上滝公民館(上滝地区コミュ ニティセンター)	A	563.17	平成 15年度	12	24.0	56.8	11.3	46.9	23.81	53.7	12,522.0	57.7	828.2	56.0	53.6
57	大庄公民館(大庄地区コミュ ニティセンター)	A	1,084.57	平成 19年度	8	21.1	57.2	24.3	63.5	17.40	54.8	19,576.4	55.9	946.0	55.7	57.5
58	小見公民館(小見地区コミュ ニティセンター)	C	678.00	平成 18年度	9	37.5	54.7	6.2	40.3	60.8	47.4	26,594.4	54.0	4,490.9	49.0	47.7
59	福沢公民館(福沢地区コミュ ニティセンター)	C	704.74	平成 12年度	15	62.5	50.8	12.5	48.5	66.5	46.4	26,746.0	54.0	4,943.4	48.2	49.3
60	文珠寺公民館	C	423.05	昭和 57年度	33	65.0	50.4	4.9	38.7	81.5	43.9	13,345.9	57.5	3,020.9	51.8	48.0
61	牧公民館	C	482.38	昭和 55年度	35	61.8	50.9	2.5	35.6	144.2	33.2	11,198.6	58.1	4,471.9	49.1	44.0
62	上滝公民館岡田分館															
63	福沢公民館瀬戸分館(瀬戸 集落センター)															
64	八尾公民館	D	1,331.87	昭和 48年度	42	89.4	46.6	4.5	38.2	184.7	26.2	34,233.8	52.0	17,563.6	24.4	35.2
65	保内公民館	B	892.80	昭和 52年度	38	80.9	47.9	17.3	54.6	35.5	51.8	32,905.5	52.3	3,231.5	51.4	52.5
66	杉原公民館	D	971.09	昭和 54年度	36	76.6	48.6	11.3	46.9	50.5	49.2	28,395.9	53.5	3,985.4	50.0	49.9
67	卯花公民館(卯花地区コミュ ニティセンター)	C	1,420.13	昭和 57年度	33	49.6	52.8	8.2	43.0	76.2	44.8	16,389.3	56.7	3,457.9	51.0	48.9
68	室牧公民館(室牧地区コミュ ニティセンター)	C	1,656.05	平成 18年度	9	50.3	52.7	2.5	35.6	161.5	30.2	14,648.1	57.2	6,572.2	45.1	42.0
69	黒瀬公民館(野積地区コミュ ニティセンター)	D	416.97	昭和 56年度	34	72.3	49.2	6.9	41.3	62.4	47.1	27,316.1	53.8	4,736.0	48.6	47.7
70	野積公民館(野積地区コミュ ニティセンター)	C	2,312.49	平成 18年度	9	34.5	55.1	6.0	40.1	73.0	45.3	9,631.2	58.5	1,952.8	53.8	49.4
71	仁歩公民館(仁歩地区コミュ ニティセンター)	C	703.58	平成 17年度	10	29.4	55.9	3.4	36.8	120.7	37.2	13,519.4	57.5	4,518.8	49.0	45.1
72	大長谷公民館(大長谷交流 センター)	C	792.21	平成 10年度	17	50.0	52.7	2.9	36.1	131.7	35.3	12,212.7	57.8	4,466.8	49.1	44.6
73	速星公民館	A	1,429.06	平成 14年度	13	43.3	53.8	30.1	71.0	6.3	56.7	21,892.7	55.2	381.9	56.8	59.9
74	鵜坂公民館	A	1,436.81	平成 17年度	10	20.0	57.4	22.0	60.6	10.4	56.0	15,240.7	57.0	441.4	56.7	57.6
75	朝日公民館(朝日地域農業 再編センター)	B	415.02													



下記については、ハード偏差値が55以上のため欄外

NO.	施設名	ハード偏差値	ソフト偏差値	分布
5	柳町公民館	59.3	54.3	A
6	清水町公民館	58.8	56.8	A
9	堀川公民館	58.0	53.6	A
13	岩瀬公民館	57.1	55.7	A
23	呉羽会館	59.2	53.1	A
30	五福公民館	58.3	52.9	A
37	東部公民館	55.8	57.2	A
43	太田公民館	59.7	52.0	A
44	新庄北公民館	58.6	53.8	A
46	水橋西部公民館	56.8	50.5	A
51	大久保公民館	56.5	23.2	C
56	上滝公民館(上滝地区コミュニティセンター)	56.8	53.6	A
57	大庄公民館(大庄地区コミュニティセンター)	57.2	57.5	A
70	野積公民館(野積地区コミュニティセンター)	55.1	49.4	C
71	仁歩公民館(仁歩地区コミュニティセンター)	55.9	45.1	C
74	鶺坂公民館	57.4	57.6	A
83	細入南部公民館(細入南部地区コミュニティセンター)	59.0	44.6	C

下記については、ハード偏差値が45以下のため欄外

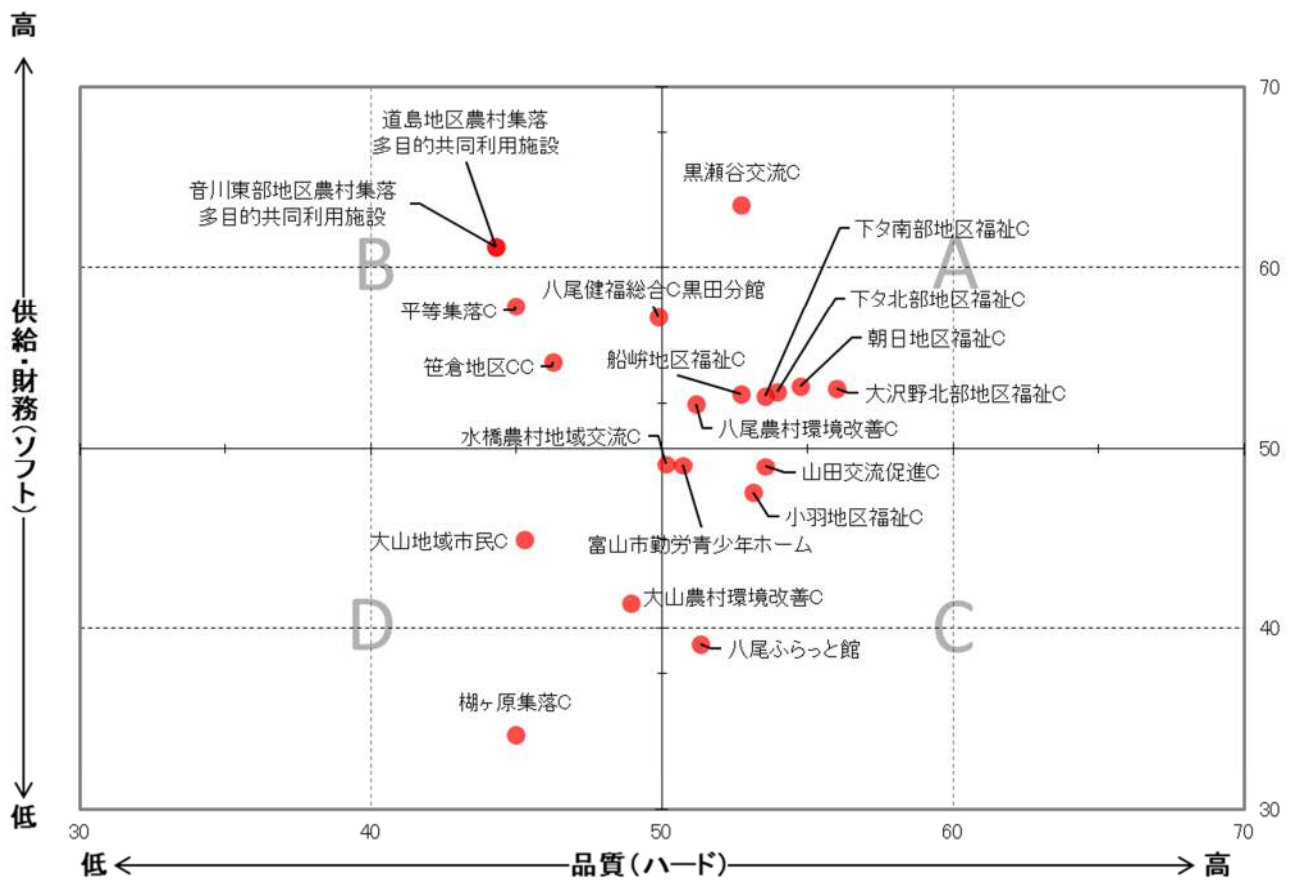
NO.	施設名	ハード偏差値	ソフト偏差値	分布
35	熊野公民館	44.9	51.2	B

下記については、ソフト偏差値が20以下のため欄外

NO.	施設名	ハード偏差値	ソフト偏差値	分布
50	大沢野公民館	52.2	15.5	C

【その他集会施設】

	施設名	ポートフォリオ分析	延床面積	建築年	築年数	老朽化度	ハード偏差値	稼働率	稼働率偏差値	利用者1人当たり面積	利用者1人当たり面積偏差値	面積当たり施設コスト	面積当たり施設コスト偏差値	利用者1人当たり施設コスト	利用者1人当たり施設コスト偏差値	ソフト偏差値
1	富山市勤労青少年ホーム	C	1,261.09	昭和 54年度	36	62.9	50.7	-	-	39.90	57.1	29,364.3	36.9	3,263.8	53.2	49.1
2	水橋東部地区コミュニティ整備事業水橋農村地域交流センター	C	95.85	平成 11年度	16	66.7	50.1	4.4	44.5	156.61	46.1	8,930.6	53.8	3,821.4	52.3	49.1
3	船峯地区福祉センター	A	296.60	平成 08年度	19	50.0	52.7	5.3	44.9	24.99	58.5	11,759.9	51.4	1,002.9	57.1	53.0
4	小羽地区福祉センター	C	217.63	平成 09年度	18	47.4	53.1	1.1	42.7	154.02	46.3	10,876.3	52.2	5,717.4	49.0	47.6
5	下々南部地区福祉センター	A	157.90	平成 10年度	17	44.7	53.5	3.0	43.7	57.05	55.5	6,472.5	55.8	1,260.2	56.7	52.9
6	下々北部地区福祉センター	A	216.22	平成 11年度	16	42.1	53.9	5.9	45.2	42.69	56.8	8,727.2	53.9	1,271.6	56.6	53.2
7	大沢野北部地区福祉センター	A	171.78	平成 16年度	11	29.0	56.0	5.7	45.2	36.90	57.4	8,871.8	53.8	1,117.3	56.9	53.3
8	榎ヶ原集落センター	D	89.40	平成 05年度	22	100.0	44.9	6.6	45.6	162.79	45.5	46,756.2	22.5	20,796.0	23.2	34.2
9	大山地域市民センター	D	1,593.69	昭和 41年度	49	98.0	45.3	7.9	46.3	76.64	53.6	31,910.8	34.7	7,940.0	45.2	45.0
10	大山農村環境改善センター	D	1,016.02	昭和 55年度	35	74.5	48.9	18.8	52.0	357.81	27.1	11,357.1	51.8	13,869.0	35.0	41.5
11	八尾ふらっと館	C	815.20	平成 14年度	13	59.1	51.3	9.1	46.9	134.01	48.2	37,560.1	30.1	16,132.2	31.2	39.1
12	八尾健康福祉総合センター黒田分館	B	126.69	平成 12年度	15	68.2	49.9	42.3	64.3	27.45	58.3	13,923.8	49.6	1,114.3	56.9	57.3
13	黒瀬谷交流センター	A	873.00	平成 10年度	17	50.0	52.7	77.1	82.5	26.55	58.4	7,425.0	55.0	538.6	57.9	63.4
14	八尾農村環境改善センター	A	1,489.58	昭和 60年度	30	60.0	51.2	-	-	82.00	53.1	12,030.2	51.2	3,355.2	53.1	52.5
15	朝日地区福祉センター	施設廃止済														
16	笹倉地区コミュニティセンター	B	233.53	平成 05年度	22	91.7	46.2	14.9	49.9	17.91	59.2	10,966.5	52.1	545.5	57.9	54.8
17	平等集落センター	施設廃止済														
18	道島地区農村集落多目的共同利用施設															
19	音川東部地区農村集落多目的共同利用施設															
20	山田交流促進センター	C	1,506.00	平成 06年度	21	44.8	53.5	27.2	56.4	190.12	42.9	12,465.5	50.8	7,452.6	46.0	49.0
21	細入北部地区コミュニティセンター	-	215.59	-	-	-	-	1.1	42.7	367.83	26.1	2,704.2	58.9	2,763.0	54.1	45.5



細入北部地区コミュニティセンターについては、建築年が明らかでないため偏差値計算できない。

4-2 文化施設

(1) 概要

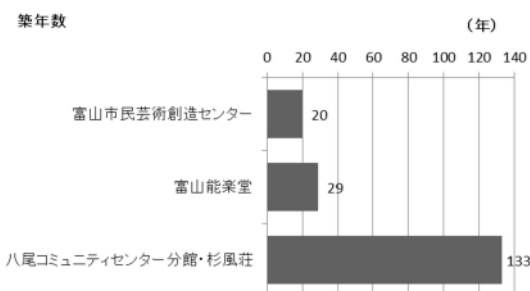
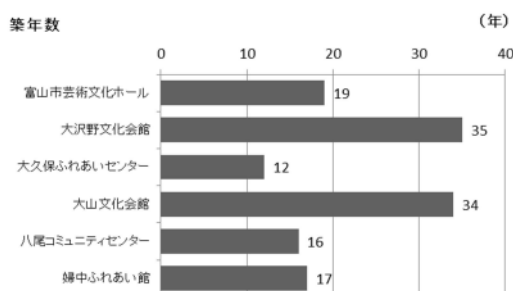
- ・文化施設は富山市芸術文化ホール（オーバード・ホール）、大沢野文化会館、大久保ふれあいセンター、大山文化会館、八尾コミュニティセンター、婦中ふれあい館の6つのホール、富山市民芸術創造センター、富山能楽堂、八尾コミュニティセンター分館・杉風荘の3施設を対象とします。（うち大沢野文化会館は平成28年度末に廃止）
- ・富山市芸術文化ホールは、定員約2,200名の大規模なホールを有するなど、富山県のみならず、日本海側の劇場を代表する芸術文化の発信拠点としての役割を担っています。その他の5つのホールは、音楽や演劇等の鑑賞、研修・集会、体育活動など、地域の文化活動の拠点として整備されています。
- ・富山市民芸術創造センターは、音楽・演劇・舞踊・美術等市民の芸術文化活動を活性化させるために、練習の場を提供する施設であり、富山市内のみならず、県内の芸術文化団体や、各種市民団体の練習の拠点としての役割を担っています。
- ・富山能楽堂は、能楽、狂言、邦楽、茶道等、我が国の優れた伝統芸術を継承保存し、振興普及を図るために設置されています。
- ・八尾コミュニティセンター分館・杉風荘は、短歌や俳句、茶道等の芸術文化活動の場として設置されています。
- ・大沢野文化会館は平成28年度末に廃止しており、大山文化会館は、施設の老朽化や耐震性の不足、利用率の低さなどから、平成30年度末でホール棟は廃止（図書館棟は使用を継続）することとしています。

(2) 施設の現状と課題

① 老朽化状況

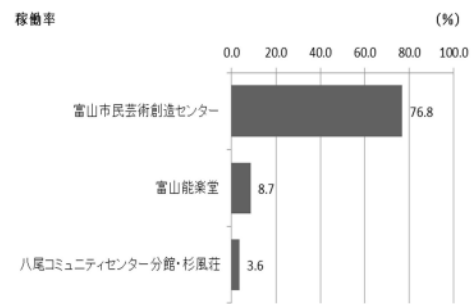
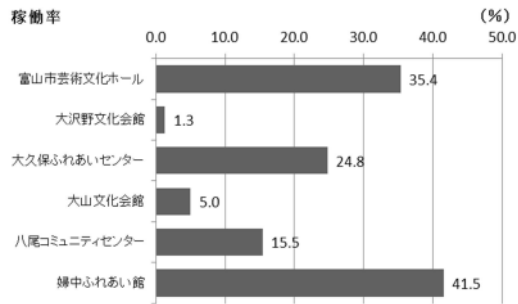
文化施設の築年数をみますと、ホールは平均22.2年、その他文化施設は平均60.7年です。30年を超える施設は、廃止が決定した施設を除きますと、八尾コミュニティセンター分館・杉風荘の1施設です。

文化施設は、その設置目的から音響や舞台照明等一般の公共施設には存在しない特殊な設備を有しており、経年劣化等により更新が必要になってきた際に、多額の費用を要します。



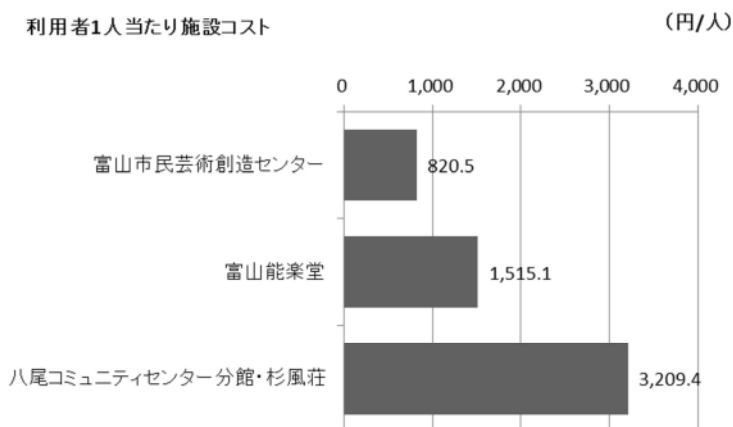
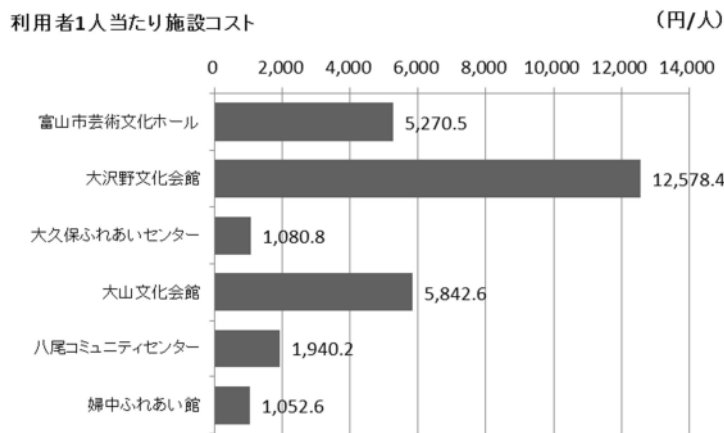
②利用状況

文化施設の稼働率をみますと、ホールは平均 20.5%、その他文化施設は平均 29.7%です。文化施設全体でみますと、稼働率の差が大きく、富山市民芸術創造センターは 76.8%、婦中ふれあい館は 41.5%と高い数字となっている一方、富山能楽堂は 8.7%、八尾コミュニティセンター分館・杉風荘は 3.6%と低い数字となっています。



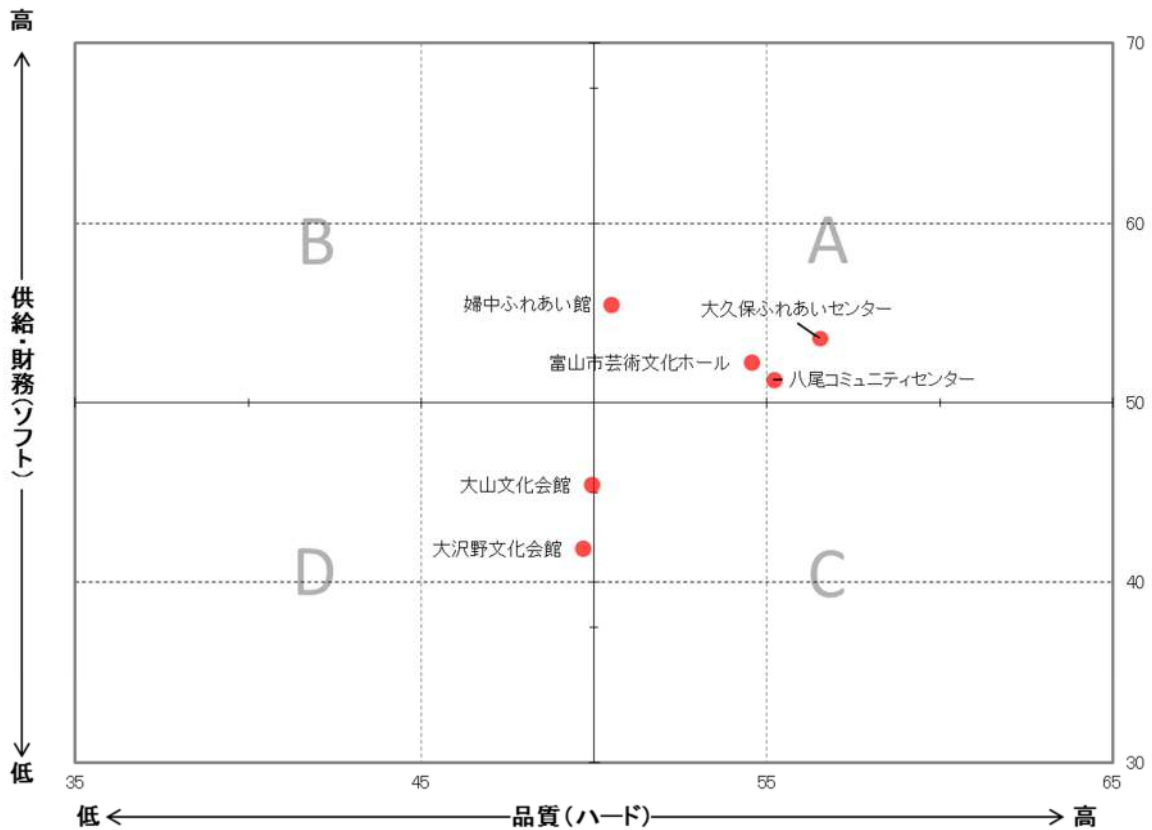
③コスト状況

文化施設の利用者 1 人当たりの年間施設コストをみますと、ホールは平均 4,627.5 円、その他の文化施設は平均 1,848.3 円です。施設間での差が大きく、富山市民芸術文化ホールや八尾コミュニティセンター分館・杉風荘が大きな数値となっています。



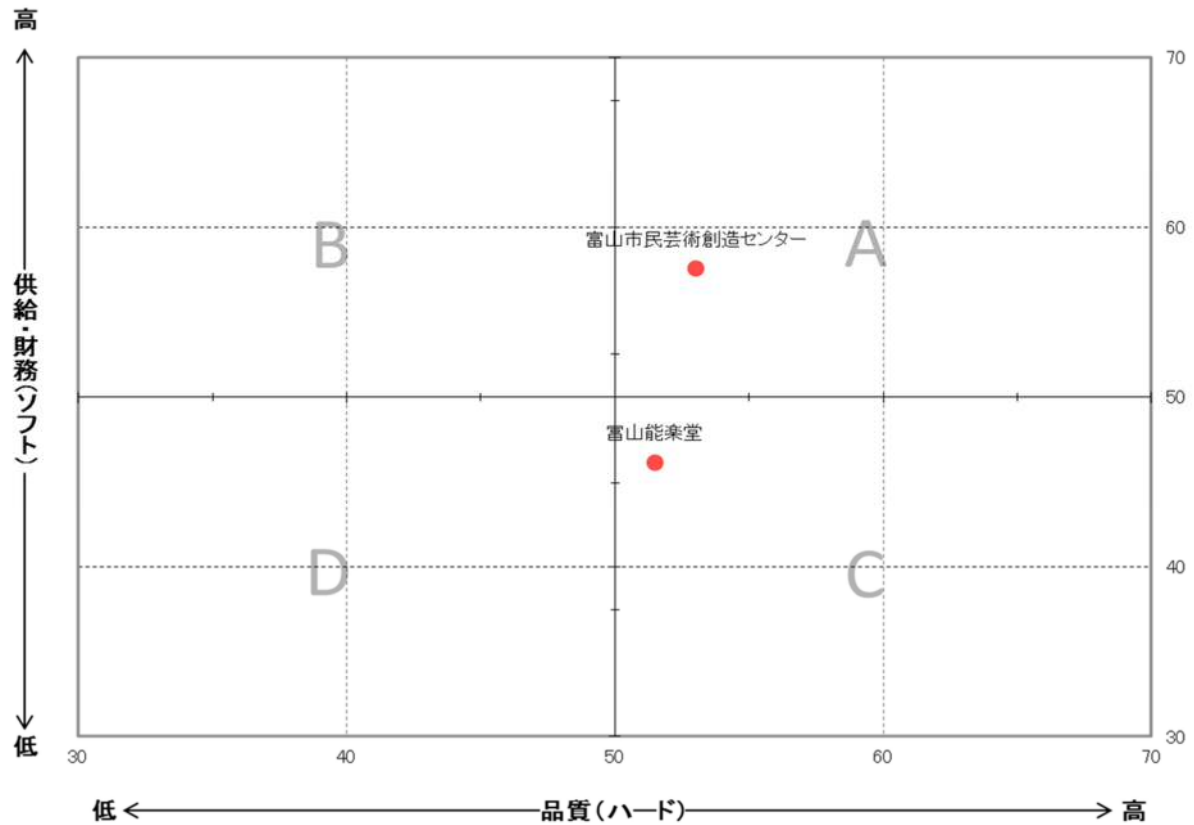
【ホール】

施設名	ポートフォリオ分析	延床面積	建築年	築年数	老朽化度	ハード偏差値	稼働率	稼働率偏差値	1日当たり利用者数	1日当たり利用者数偏差値	面積当たり施設コスト	面積当たり施設コスト偏差値	利用者1人当たり施設コスト	利用者1人当たり施設コスト偏差値	ソフト偏差値
1 富山市芸術文化ホール	A	24,255.57	平成 08年度	19	38.2	54.6	35.4	60.0	505.6	68.8	39,001.9	31.7	5,270.5	48.4	52.2
2 大沢野文化会館	施設廃止済														
3 大久保ふれあいセンター	A	2,213.78	平成 15年度	12	25.5	56.5	24.8	52.8	96.8	45.7	13,992.8	57.1	1,080.8	58.8	53.6
4 大山文化会館	D	2,658.48	昭和 56年度	34	68.0	49.9	5.0	39.5	26.3	41.7	17,269.6	53.8	5,842.6	47.0	45.5
5 八尾コミュニティセンター	A	3,446.70	平成 11年度	16	34.0	55.2	15.5	46.6	81.9	44.8	13,965.8	57.1	1,940.2	56.7	51.3
6 婦中ふれあい館	A	3,934.00	平成 10年度	17	64.4	50.5	41.5	64.1	307.4	57.6	29,361.2	41.5	1,052.6	58.9	55.5



【その他文化施設】

	施設名	ポートフォリオ分析	延床面積	建築年	築年数	老朽化度	ハード偏差値	稼働率	稼働率偏差値	1日当たり利用者数	1日当たり利用者数偏差値	面積当たり施設コスト	面積当たり施設コスト偏差値	利用者1人当たり施設コスト	利用者1人当たり施設コスト偏差値	ソフト偏差値
1	富山市民芸術創造センター	A	9,746.70	平成 07年度	20	48.1	53.0	76.8	64.1	690.7	64.1	20,930.7	42.0	820.5	60.2	57.6
2	富山能楽堂	C	1,627.01	昭和 61年度	29	58.0	51.5	8.7	43.7	68.5	44.0	19,509.4	43.9	1,515.1	53.3	46.2
3	八尾コミュニティセンター分館・杉風荘	D	345.00	明治 15年度	133	283.0	16.5	3.6	42.2	1.5	41.9	4,176.8	64.1	3,209.4	36.4	46.1



下記については、ハード偏差値が30以下のため欄外

NO.	施設名	ハード偏差値	ソフト偏差値	分布
3	八尾コミュニティセンター分館・杉風荘	12.0	45.6	D

4-3 図書館

(1) 概要

- ・図書館は 26 施設が整備されています。本館、とやま駅南図書館、こども図書館の 3 館は市の中央地域に位置する施設です。本館は平成 27 年度に TOYAMA キラリ内に移転開館しました。この他、地域館 6 館と分館 17 館が所在します。(うち福島分館は平成 27 年 10 月に廃止しました) 地域館、分館は公民館などのコミュニティ施設と複合化されています。
- ・本館、とやま駅南図書館、こども図書館は築年数が浅く目立った老朽化は見られません。地域館、分館は昭和 50 年代に建設されたものが半数近くあり、公民館等、入居している施設の建替に合わせ、順次更新を行ってきています。
- ・図書館の間で書籍の相互融通を行ったり、移動図書館で施設等を巡回したりするなど、「みんなに本を地域に図書館を」の方針で事業を行っています。また、一部の学校では、地域の図書館を学校図書館としても使用しています。

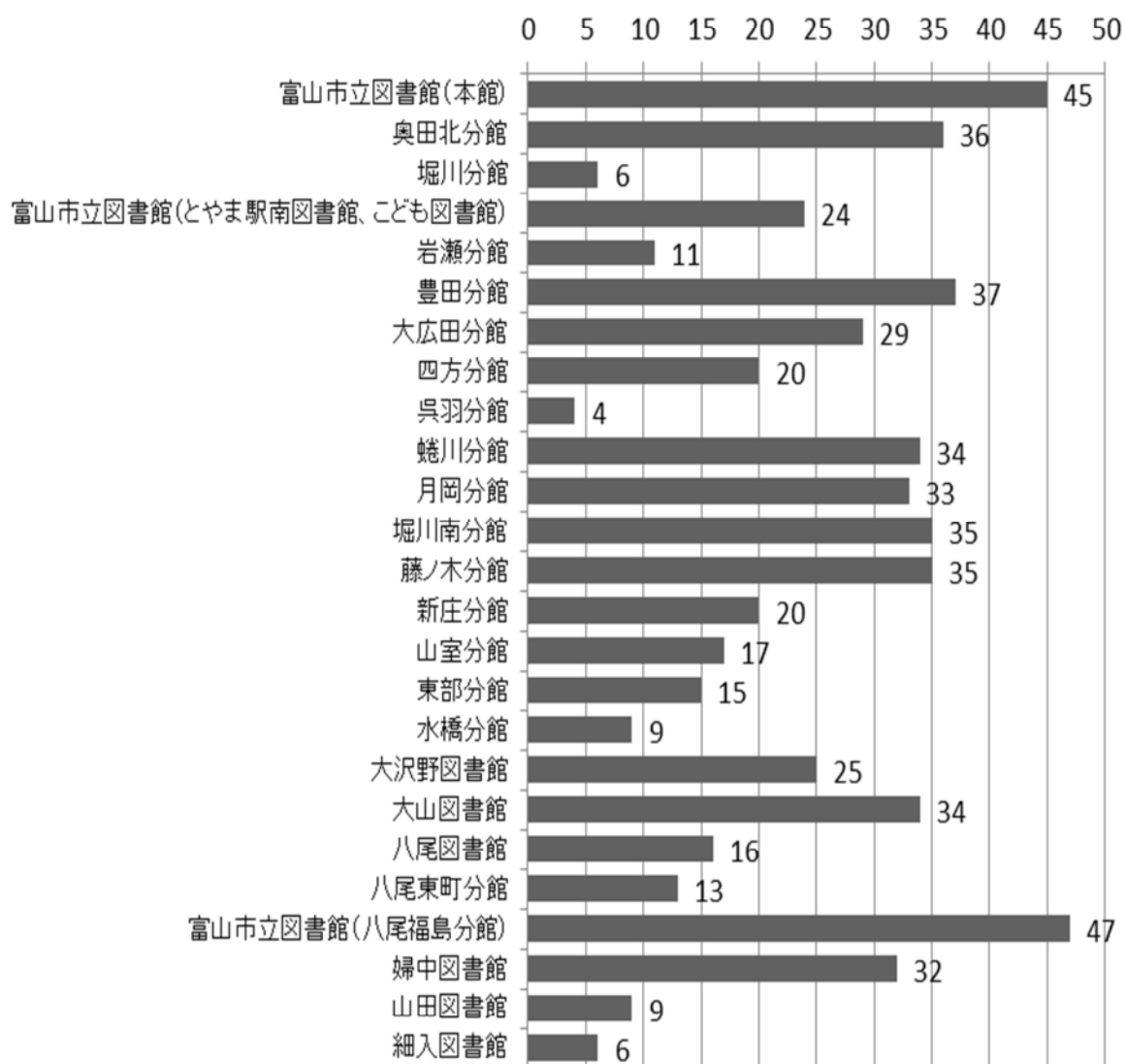
(2) 施設の現状と課題

①老朽化状況

図書館の築年数は平均 23.7 年です。移転、廃止された施設を除きますと、30 年以上のものが 7 施設存在します。(奥田北分館、蜷川分館、月岡分館、堀川南分館、藤ノ木分館、大山図書館、婦中図書館) また、地域館、分館は昭和 50 年代に建設されたものが半数近くあります。

築年数

(年)



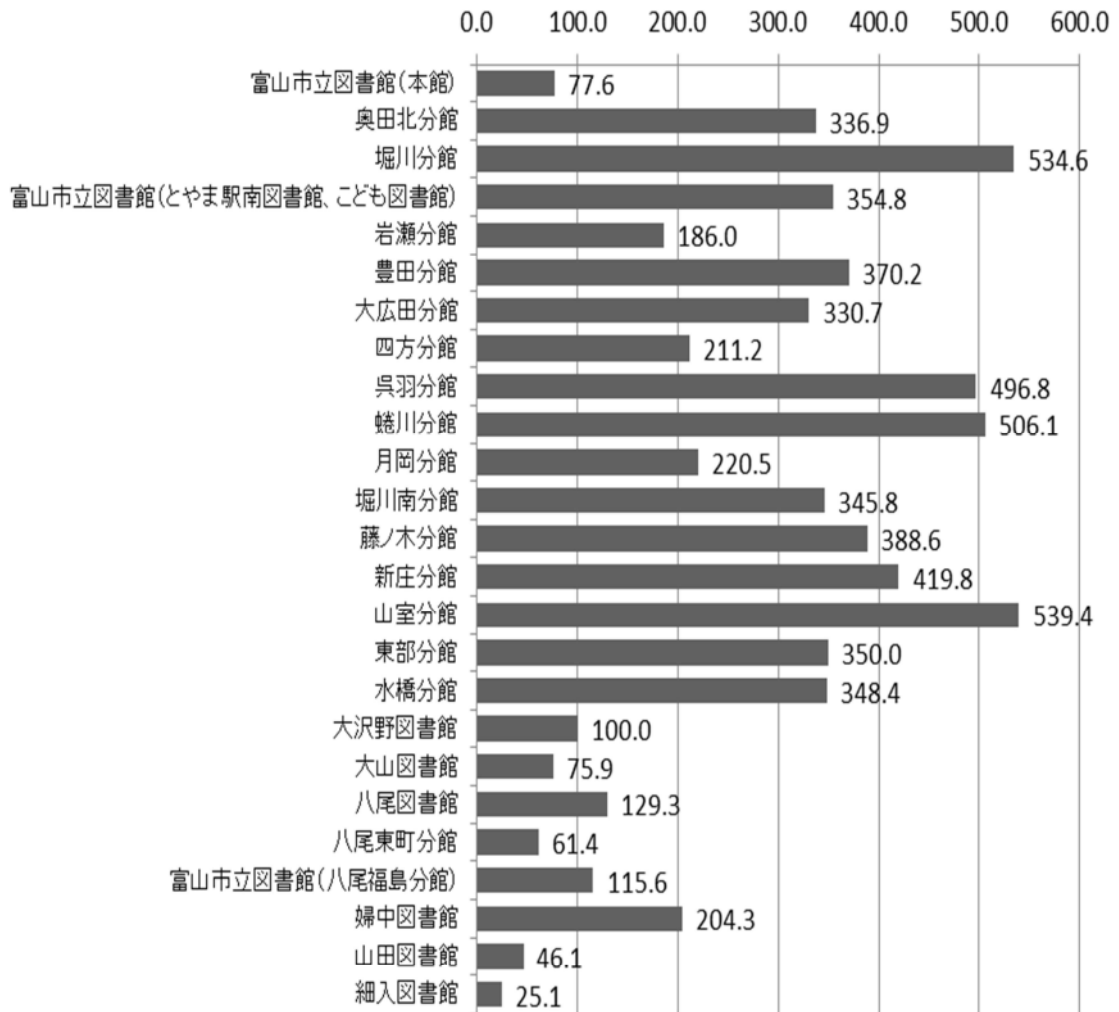
②利用状況

富山市立図書館（本館）を除いた貸出率（*）は、平均 271%です。100%を超えていない施設は、24 施設中 6 施設あり、本館、大沢野図書館、大山図書館、八尾東町図書館、山田図書館、細入図書館です。

（*）貸出率：（貸出図書冊数／蔵書数）×100 で算出。

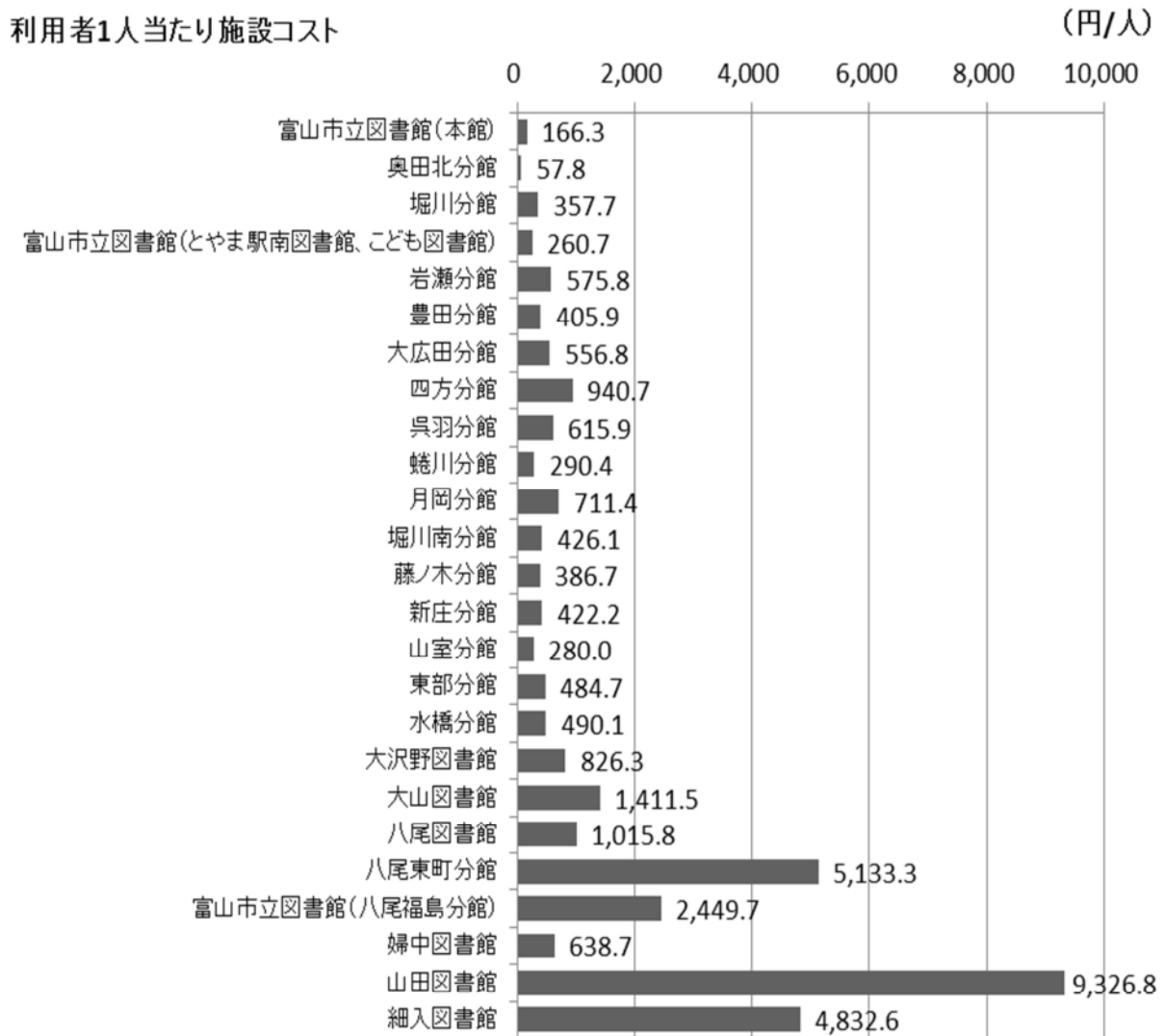
貸出率

(%)



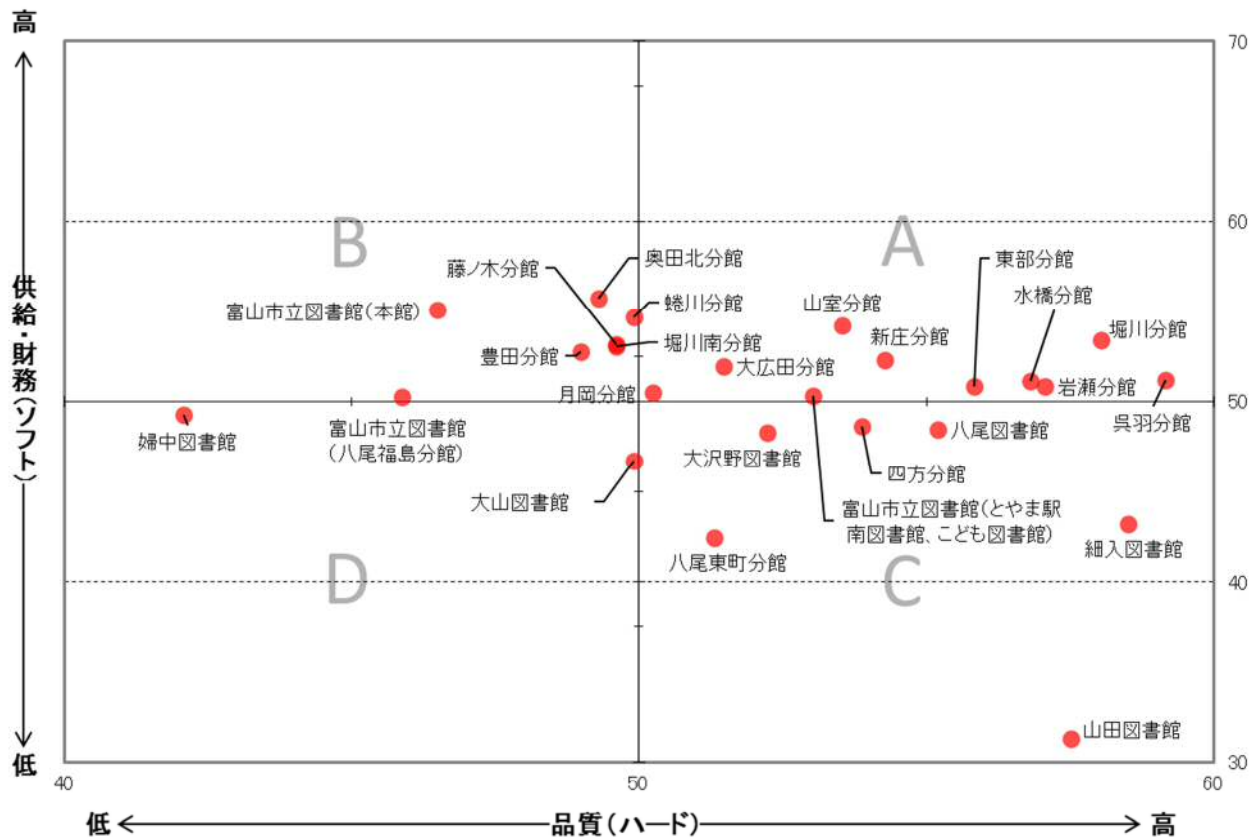
③コスト状況

利用者1人当たりの年間施設コストは、平均1,322.6円ですが、施設間での差がみられます。



【図書館】

	施設名	ポートフォリオ分析	延床面積	建築年	築年数	老朽化度	ハード偏差値	1日当たりの利用者数	1日当たりの利用者数偏差値	貸出率	貸出率偏差値	1人当たりの貸出冊数	1人当たりの貸出冊数偏差値	面積当たり施設コスト	面積当たり施設コスト偏差値	利用者1人当たり施設コスト	利用者1人当たり施設コスト偏差値	ソフト偏差値
1	富山市立図書館(本館)	B	6,961.74	昭和 45年度	45	90.0	46.5	2,032	97.6	77.6	38.0	0.61	20.0	11,891.9	64.4	166.3	55.6	55.1
2	奥田北分館	B	157.00	昭和 54年度	36	72.0	49.3	70	47.3	336.9	54.1	2.22	55.8	8,191.1	65.4	57.8	56.1	55.7
3	堀川分館	A	132.00	平成 21年度	6	15.8	58.0	113	48.4	534.6	66.4	2.22	55.8	98,295.5	41.9	357.7	54.7	53.4
4	富山市立図書館(とやま駅南図書館、こども図書館)	A	1,759.43	平成 03年度	24	48.0	53.0	467	57.5	354.8	55.2	0.72	22.4	24,153.8	61.2	260.7	55.1	50.3
5	岩瀬分館	A	198.00	平成 16年度	11	22.0	57.1	60	47.1	186.0	44.7	2.22	55.8	55,449.5	53.1	575.8	53.6	50.8
6	豊田分館	B	145.00	昭和 53年度	37	74.0	49.0	74	47.4	370.2	56.2	2.22	55.8	66,641.4	50.2	405.9	54.4	52.8
7	大広田分館	A	150.00	昭和 61年度	29	58.0	51.5	58	47.0	330.7	53.7	2.22	55.8	68,620.0	49.7	556.8	53.7	52.0
8	四方分館	C	132.00	平成 07年度	20	42.6	53.9	42	46.6	211.2	46.3	2.22	55.8	95,287.9	42.7	940.7	51.8	48.6
9	呉羽分館	A	173.00	平成 23年度	4	8.5	59.2	104	48.2	496.8	64.0	2.22	55.8	126,953.8	34.5	615.9	53.4	51.2
10	蜷川分館	B	145.00	昭和 56年度	34	68.0	49.9	105	48.2	506.1	64.6	2.22	55.8	67,241.4	50.0	290.4	55.0	54.7
11	月岡分館	A	145.00	昭和 57年度	33	66.0	50.2	42	46.6	220.5	46.9	2.22	55.8	66,524.1	50.2	711.4	53.0	50.5
12	堀川南分館	B	168.00	昭和 55年度	35	70.0	49.6	67	47.3	345.8	54.6	2.22	55.8	54,631.0	53.3	426.1	54.3	53.1
13	藤ノ木分館	B	145.00	昭和 55年度	35	70.0	49.6	76	47.5	388.6	57.3	2.22	55.8	64,434.5	50.7	386.7	54.5	53.2
14	新庄分館	A	127.00	平成 07年度	20	40.0	54.3	83	47.7	419.8	59.2	2.22	55.8	88,614.2	44.5	422.2	54.4	52.3
15	山室分館	A	122.00	平成 10年度	17	44.7	53.5	117	48.5	539.4	66.7	2.22	55.8	85,680.3	45.2	280.0	55.0	54.2
16	東部分館	A	118.00	平成 12年度	15	30.0	55.8	74	47.4	350.0	54.9	2.22	55.8	97,584.7	42.1	484.7	54.0	50.9
17	水橋分館	A	132.00	平成 18年度	9	23.7	56.8	77	47.5	348.4	54.8	2.22	55.8	91,310.6	43.7	490.1	54.0	51.2
18	大沢野図書館	C	1,042.00	平成 02年度	25	53.2	52.2	144	49.2	100.0	39.4	1.66	43.2	39,092.1	57.3	826.3	52.4	48.3
19	大山図書館	D	855.00	昭和 56年度	34	68.0	49.9	84	47.7	75.9	37.9	1.66	43.2	47,418.7	55.2	1,411.5	49.6	46.7
20	八尾図書館	C	1,219.30	平成 11年度	16	34.0	55.2	140	49.1	129.3	41.2	1.66	43.2	39,614.5	57.2	1,015.8	51.5	48.4
21	八尾東町分館	C	288.00	平成 14年度	13	59.1	51.3	17	46.0	61.4	37.0	2.22	55.8	98,708.3	41.8	5,133.3	31.6	42.4
22	富山市立図書館(八尾福島分館)	施設廃止済																
23	婦中図書館	D	976.00	昭和 58年度	32	118.5	42.1	280	52.7	204.3	45.9	1.66	43.2	62,407.8	51.3	638.7	53.3	49.3
24	山田図書館	C	200.00	平成 18年度	9	19.2	57.5	11	45.8	46.1	36.0	1.66	43.2	181,640.0	20.2	9,326.8	11.3	31.3
25	細入図書館	C	501.00	平成 21年度	6	12.8	58.5	10	45.8	25.1	34.7	1.66	43.2	32,043.9	59.2	4,832.6	33.0	43.2



4-4 博物館等

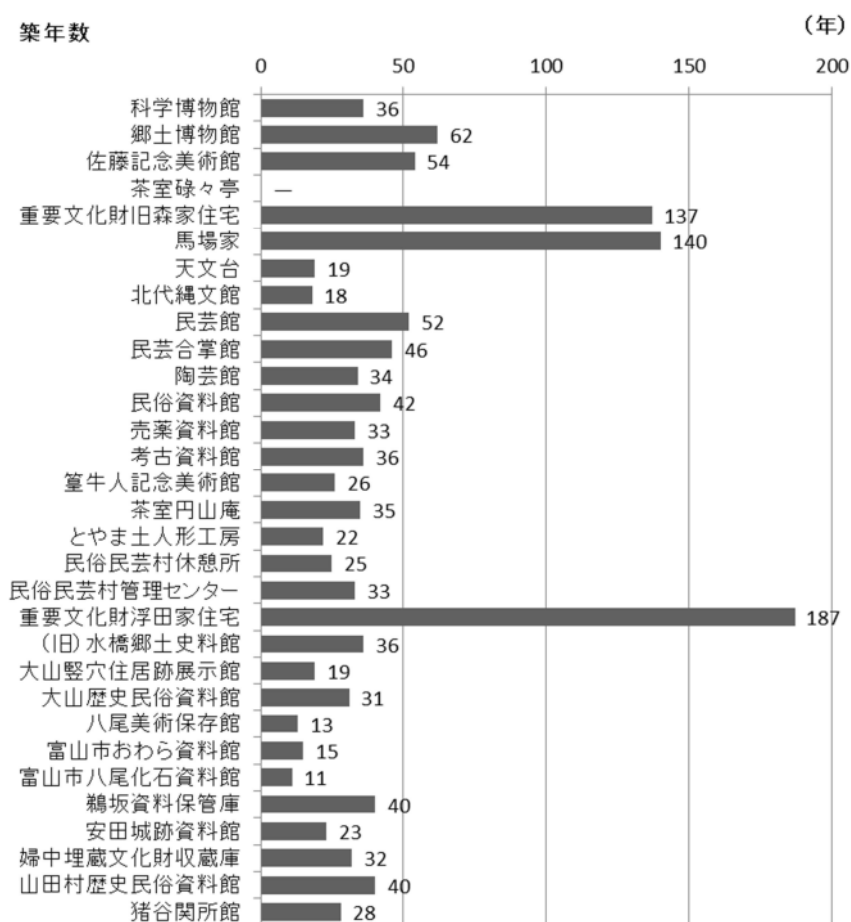
(1) 概要

- ・31施設の博物館等が整備されています。文化財や遺跡、史跡を保存し展示するもの、科学や芸術の資料を保存展示するものなど多様な施設があります。
- ・市内外の利用者の他、一部施設では小学校の学習にも使われています。
- ・合併前に各地域で建設した施設がそのまま存在しており、施設数が多いことから、専門の学芸員を館ごとに専任で配置することができていません。

(2) 施設の現状と課題

① 老朽化状況

国指定重要文化財である旧森家住宅と浮田家住宅はそれぞれ築100年を超えており、歴史的建造物として保存していく必要があります。当該施設を除外した博物館等の築年数は平均35.8年であり、全般に古い施設が多くなっています。

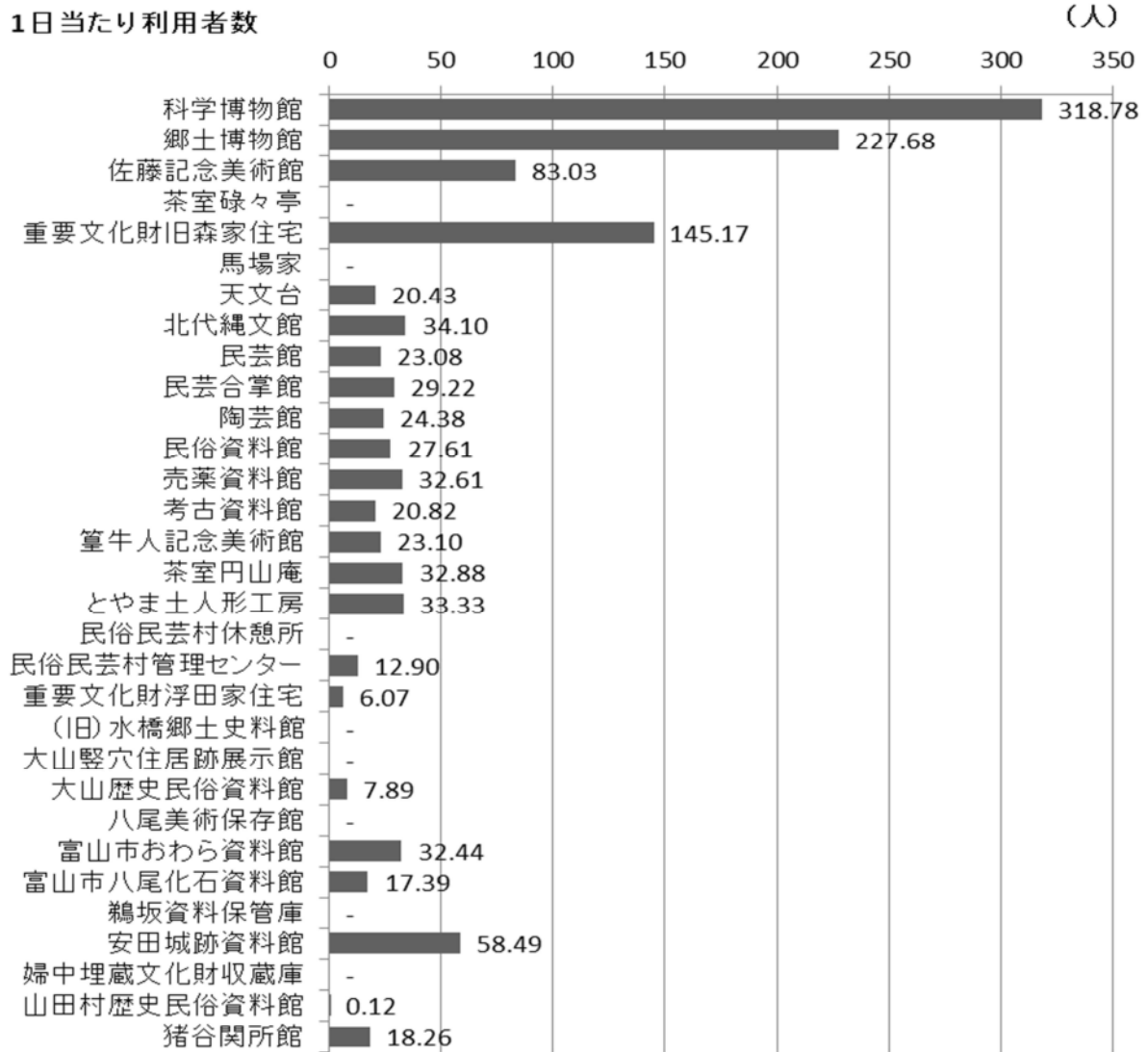


※馬場家は「旧馬場家住宅」として寄附を受けた伝統的建築物のことであり、
建築年の詳細なデータが無いいため、約140年と推定しました。

②利用状況

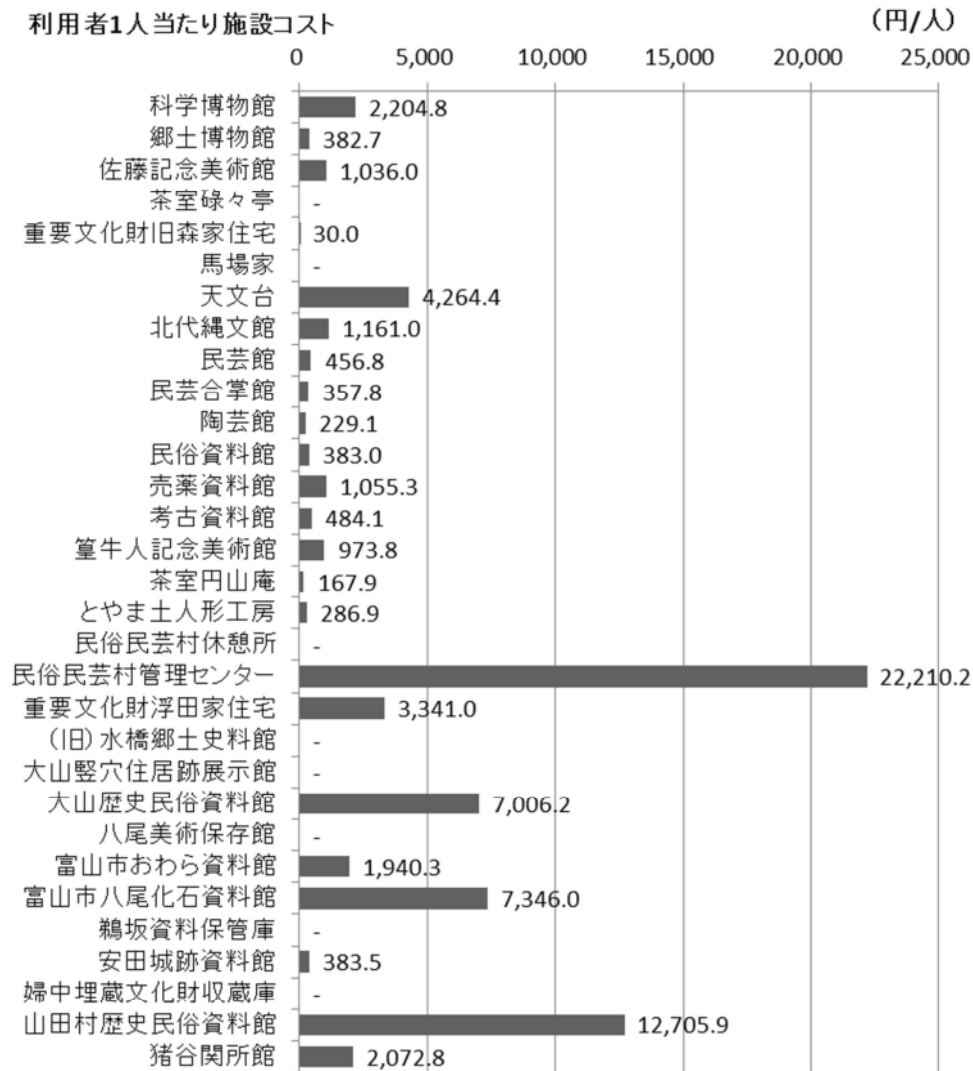
博物館等の1日平均利用者数は53.5人で、施設間で大きな差があります。

なお、民俗民芸村休憩所、(旧)水橋郷土史料館、八尾美術保存館、鶴坂資料保管庫、婦中埋蔵文化財収蔵庫、山田村歴史民俗資料館については収蔵庫として使用しており、一部の施設は利用者数の集計等を行っておりません。また、馬場家及び(旧)水橋郷土資料館については、現在一般開放を行っておりません。



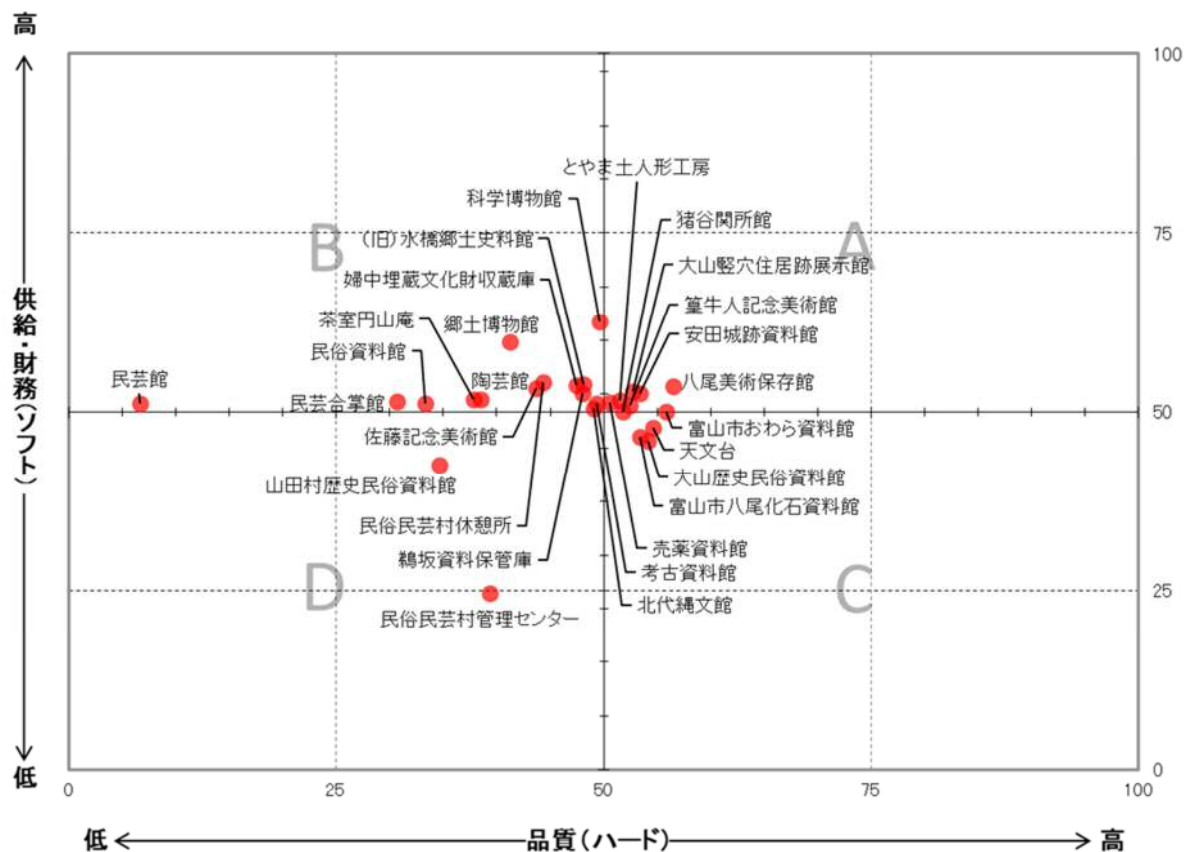
③コスト状況

博物館等の利用者1人当たりの施設コストは、民俗民芸村管理センターと山田歴史民俗資料館が高い状況になっています。



【博物館等】

	施設名	ポート フォリオ 分析	延床面積	建築年	築年 数	老朽化 度	ハード 偏差値	1日当た りの利 用者数	1日当た りの利 用者 数偏差値	面積当た り 施設コスト	面積当た り 施設コスト 偏差値	利用者1人 当たり施設 コスト	利用者1人 当たり施設 コスト偏差値	ソフト 偏差値
1	科学博物館	B	7,912.20	昭和 54年度	36	70.2	49.6	318.8	85.3	31,002.1	51.0	2,204.8	51.7	62.7
2	郷土博物館	B	946.85	昭和 28年度	62	124.0	41.2	227.7	73.2	29,540.1	51.1	382.7	55.3	59.9
3	佐藤記念美術館	B	1,413.54	昭和 36年度	54	108.0	43.7	83.0	53.9	19,411.5	52.2	1,036.0	54.0	53.4
4	茶室碌々亭	-	33.47	-	-	-	-	-	-	440,812.7	7.7	-	-	7.7
5	重要文化財旧森家住宅	B	471.84	明治 11年度	137	645.5	-39.8	145.2	62.2	3,308.3	53.9	30.0	56.0	57.4
6	馬場家	B	1,302.65	明治 前期	140	812.0	-65.7	-	-	5,303.8	53.7	-	-	53.7
7	天文台	C	800.35	平成 08年度	19	38.0	54.6	20.4	45.6	38,431.9	50.2	4,264.4	47.6	47.8
8	北代縄文館	B	327.70	平成 09年度	18	73.9	49.0	34.1	47.4	37,207.8	50.3	1,161.0	53.8	50.5
9	民芸館	B	262.38	昭和 38年度	52	346.7	6.6	23.1	46.0	14,265.6	52.7	456.8	55.1	51.3
10	民芸合掌館	B	247.30	昭和 44年度	46	191.7	30.7	29.2	46.8	15,135.5	52.6	357.8	55.3	51.6
11	陶芸館	B	329.04	昭和 56年度	34	141.7	38.5	24.4	46.1	6,008.4	53.6	229.1	55.6	51.8
12	民俗資料館	B	174.74	昭和 48年度	42	175.0	33.3	27.6	46.6	21,420.4	52.0	383.0	55.3	51.3
13	売薬資料館	A	867.34	昭和 57年度	33	64.1	50.5	32.6	47.2	13,567.9	52.8	1,055.3	54.0	51.3
14	考古資料館	B	336.02	昭和 54年度	36	72.0	49.3	20.8	45.7	10,588.7	53.1	484.1	55.1	51.3
15	鯨牛人記念美術館	A	567.28	平成 01年度	26	52.0	52.4	23.1	46.0	13,719.9	52.8	973.8	54.1	51.0
16	茶室円山庵	B	114.08	昭和 55年度	35	145.8	37.8	32.9	47.3	17,329.9	52.4	167.9	55.7	51.8
17	とやま土人形工房	A	165.71	平成 05年度	22	57.9	51.5	33.3	47.3	20,656.6	52.0	286.9	55.5	51.6
18	民俗民芸村休憩所	B	39.74	平成 02年度	25	104.2	44.3	-	-	-	54.2	-	-	54.2
19	民俗民芸村管理センター	D	292.83	昭和 57年度	33	135.9	39.4	12.9	44.6	352,156.5	17.1	22,210.2	12.2	24.6
20	重要文化財浮田家住宅	D	585.73	文政 11年度	187	878.0	-75.9	6.1	43.7	10,620.9	53.1	3,341.0	49.5	48.7
21	(旧)水橋郷土史料館	B	615.71	昭和 54年度	36	79.6	48.1	-	-	2,808.1	53.9	-	-	53.9
22	大山竪穴住居跡展示館	A	90.00	平成 08年度	19	50.0	52.7	-	-	12,200.0	52.9	-	-	52.9
23	大山歴史民俗資料館	C	806.72	昭和 59年度	31	40.7	54.2	7.9	43.9	21,043.2	52.0	7,006.2	42.2	46.0
24	八尾美術保存館	A	762.23	平成 14年度	13	26.0	56.4	-	-	5,990.3	53.6	-	-	53.6
25	富山市おわら資料館	A	683.00	平成 12年度	15	30.0	55.8	32.4	47.2	33,172.8	50.7	1,940.3	52.2	50.0
26	富山市八尾化石資料館	C	687.20	平成 16年度	11	45.8	53.4	17.4	45.2	11,523.6	53.0	7,346.0	41.5	46.6
27	鵜坂資料保管庫	B	350.68	昭和 50年度	40	80.4	48.0	-	-	14,494.7	52.7	-	-	52.7
28	安田城跡資料館	A	306.44	平成 04年度	23	46.0	53.3	58.5	50.7	22,467.7	51.9	383.5	55.3	52.6
29	婦中埋蔵文化財収蔵庫	B	720.40	昭和 58年度	32	84.2	47.4	-	-	3,853.4	53.8	-	-	53.8
30	山田村歴史民俗資料館	D	331.45	昭和 50年度	40	166.7	34.6	0.1	42.9	651.7	54.2	12,705.9	31.0	42.7
31	猪谷関所館	A	909.68	昭和 62年度	28	56.0	51.8	18.3	45.3	12,771.5	52.9	2,072.8	52.0	50.0



茶室碌々亭については、建築年が明らかでないため偏差値計算できない。

下記については、ハード偏差値が0以下のため欄外

NO.	施設名	ハード偏差値	ソフト偏差値	分布
5	重要文化財旧森家住宅	-39.8	57.4	B
6	馬場家	-65.7	53.7	B
20	重要文化財浮田家住宅	-75.9	48.7	D

4-5 その他社会教育施設

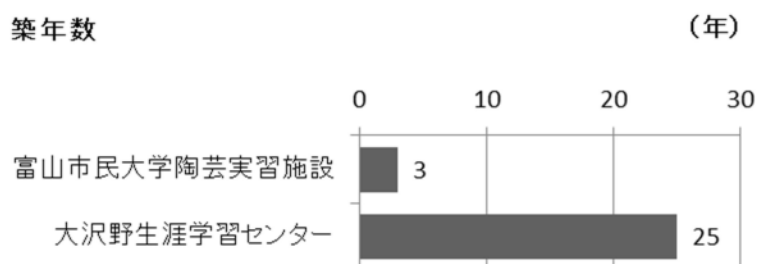
(1) 概要

- ・その他社会教育施設は、市民学習センターと大沢野生涯学習センターの2施設が整備されています。
- ・市民学習センターは、民間からの借上施設である本館と、市が保有する市民大学陶芸実習施設と市民学習センター分室（市民学習センター分室は教育センター内に所在）で構成されています。市民に生涯学習としての機会と場所を提供する施設であり、富山市民と富山市に勤務先している人を対象とし、市民学習センターで開講される講座の受講者は公募しています。

(2) 施設の現状と課題

①老朽化状況

その他社会教育施設は、築年数が30年に満たない比較的新しい施設です。

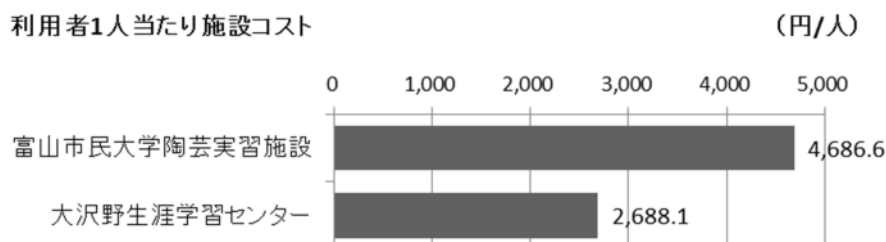


②利用状況

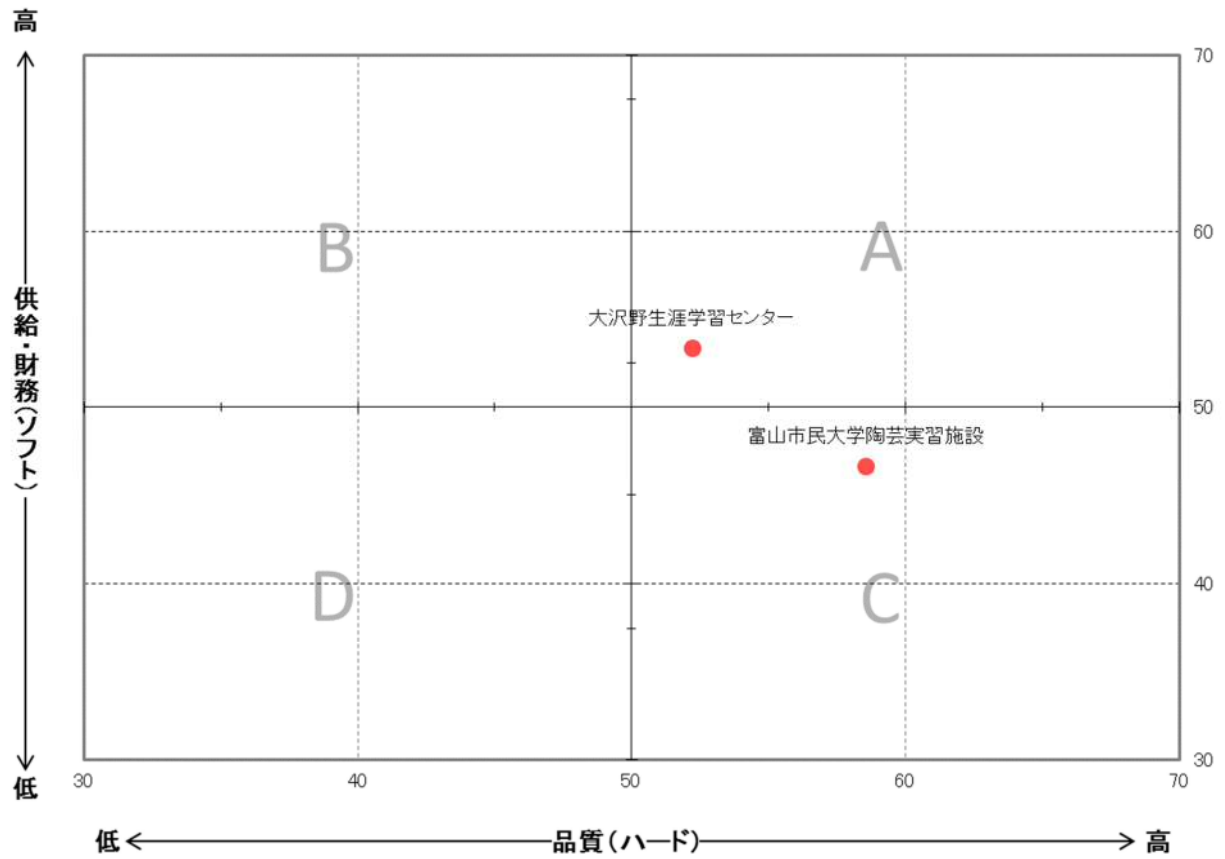
市民大学陶芸実習施設は、1日当たり9.2人、大沢野生涯学習センターは86.8人となっています。

③コスト状況

利用者1人当たりの施設コストは、市民大学陶芸実習施設が4,686.6円、大沢野生涯学習センターが2,688.1円となっています。



	施設名	ポ-ト フォ-材 分析	延床面積	建築年	築 年数	老朽化 度	ハード 偏差値	1日 当 た り の 利 用 者 数	1日 当 た り の 利 用 者 数 偏 差 値	面積 当 た り 施 設 コ ス ト	面積 当 た り 施 設 コ ス ト 偏 差 値	利用 者 1 人 当 た り 施 設 コ ス ト 偏 差 値	利用 者 1 人 当 た り 施 設 コ ス ト	ソフト 偏差値
1	富山市民大学陶芸実習施設	C	106.86	平成 24年度	3	12.5	58.5	9.2	40.0	16,095.8	60.0	4,686.6	40.0	46.7
2	大沢野生涯学習センター	A	3,517.53	平成 02年度	25	53.2	52.2	86.8	60.0	19,773.8	40.0	2,688.1	60.0	53.3



4-6 スポーツ施設

(1) 概要

- ・スポーツ施設は、体育館が17施設（うち牧体育館は平成28年3月廃止）、プールが13施設（うち和合プール、三郷プールは平成29年3月廃止）、武道館が6施設（うち富山錬成館は平成28年3月廃止）、野球場が2施設、陸上競技場が1施設、その他スポーツ施設が6施設整備されています。
- ・昭和40年から50年代に建設された施設が中心で、老朽化が進んでいます。

(2) 施設の現状と課題

①老朽化状況

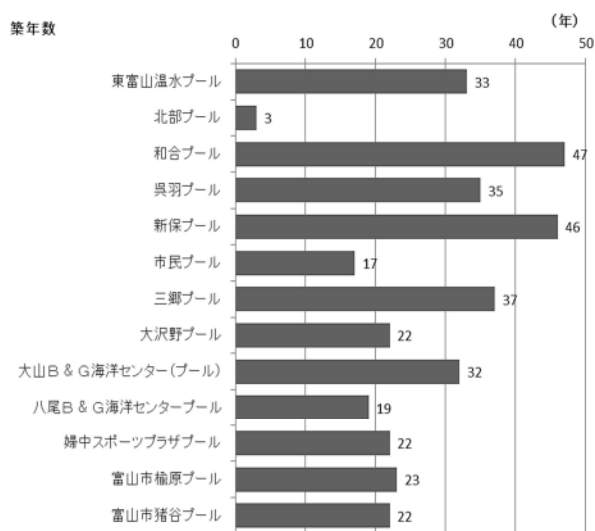
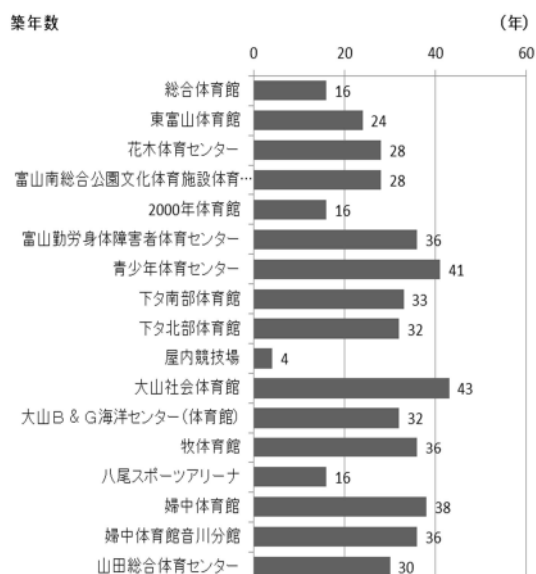
体育館の築年数は平均28.8年です。築年数が30年以上の施設は、廃止された施設を除くと9施設（富山勤労身体障害者体育センター、青少年体育センター、下タ南部体育館、下タ北部体育館、大山社会体育館、大山B&G海洋センター（体育館）、婦中体育館、婦中体育館音川分館、山田総合体育センター）あります。

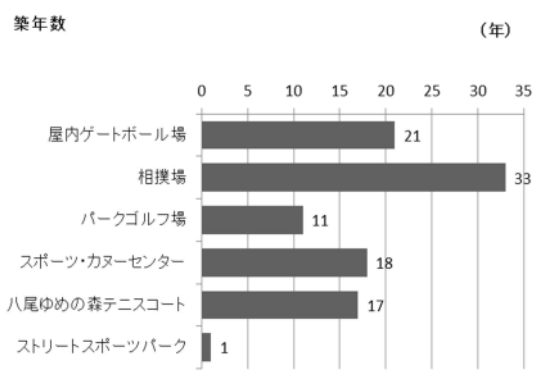
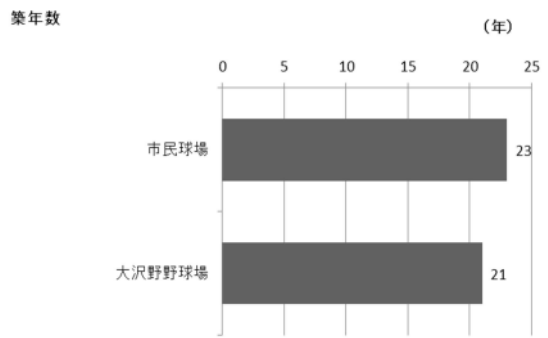
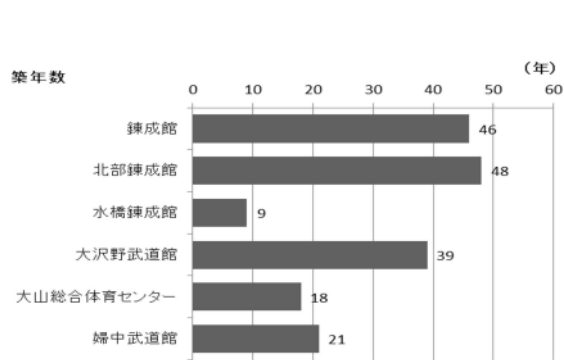
プールの築年数は平均27.5年です。築年数が30年以上の施設は廃止された施設を除くと4施設（東富山温水プール、呉羽プール、新保プール、大山B&G海洋センター（プール））あります。中でも新保プールは築50年近く経過しており、老朽化が進んでいます。

武道館の築年数は平均30.2年で、全般に古い施設が多くなっています。北部錬成館、大沢野武道館はともに築30年以上であり、老朽化が進んでいます。

野球場の築年数は平均22.0年、陸上競技場の築年数は28年です。

その他スポーツ施設の築年数は平均16.8年と比較的新しいですが、相撲場のように築年数が30年以上の施設もあります。





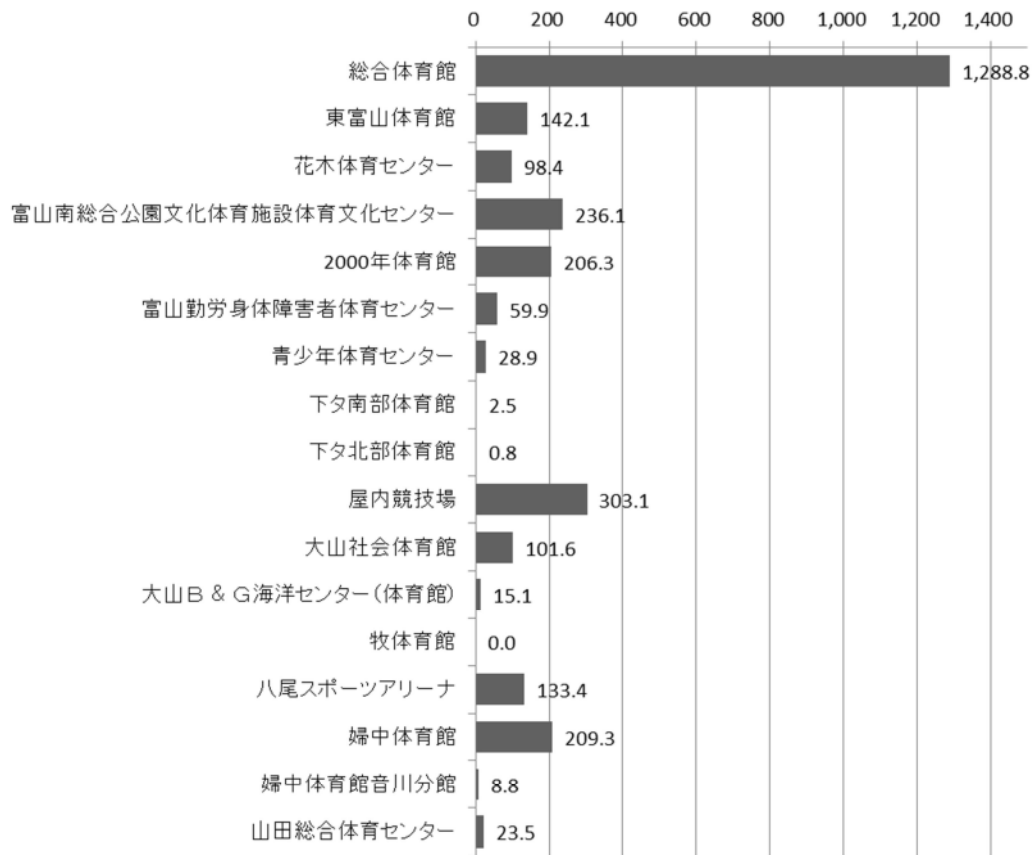
②利用状況

1日当たりの利用者数は、体育館で平均178.8人、プールで平均148.5人、武道館で平均37.2人、野球場で平均174.2人となっています。その他のスポーツ施設では平均75.1人となっています。

施設ごとにみますと、総合体育館や市民プールなどの市域全域の中心的施設の利用者数が最も多くなっています。一方で下タ北部体育館や婦中体育館音川分館、猪谷プールなどは、低い数値になっています。

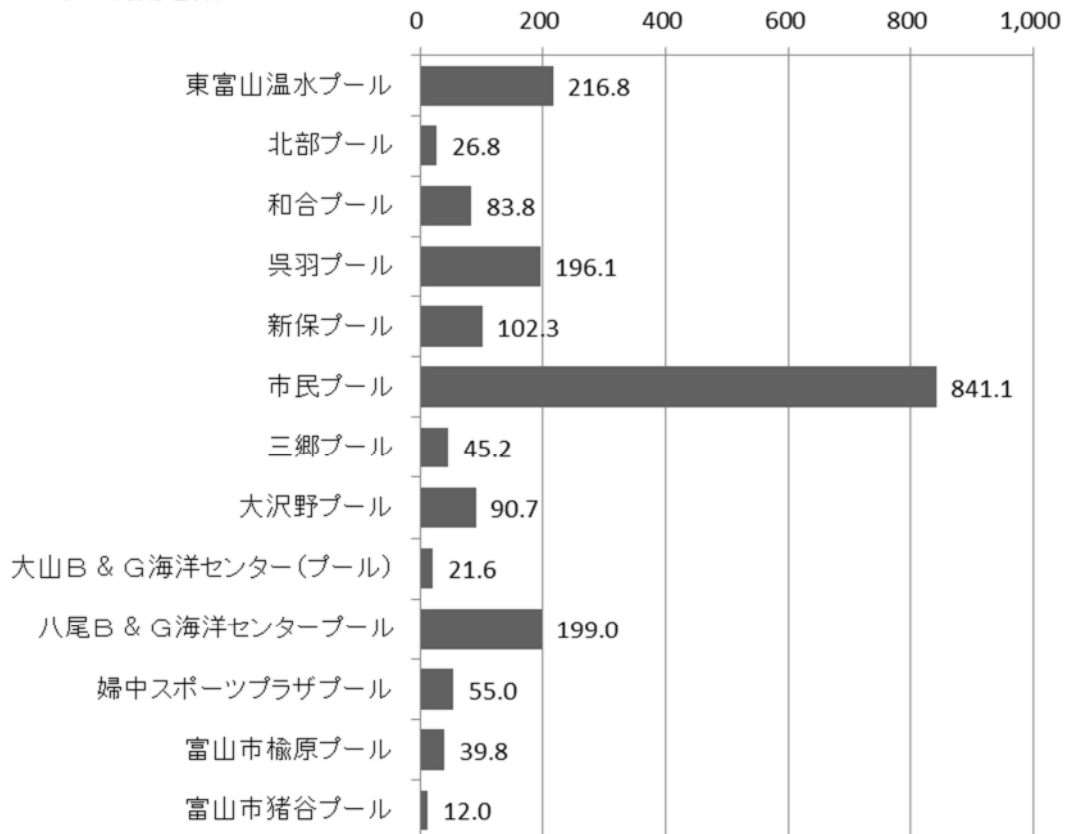
1日当たりの利用者数

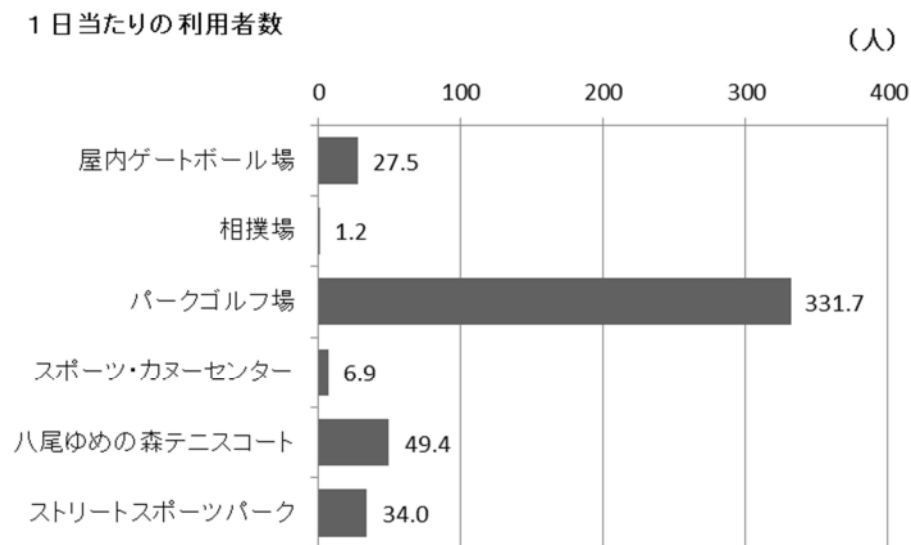
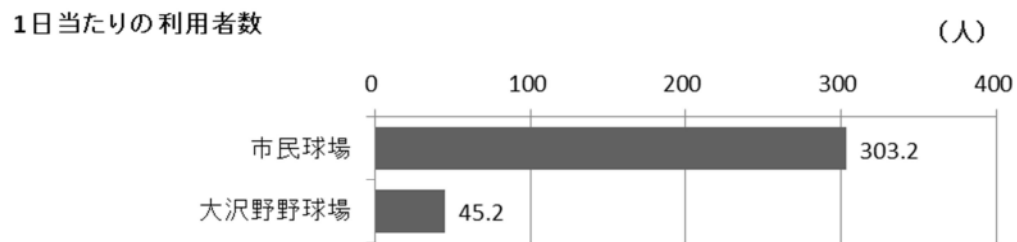
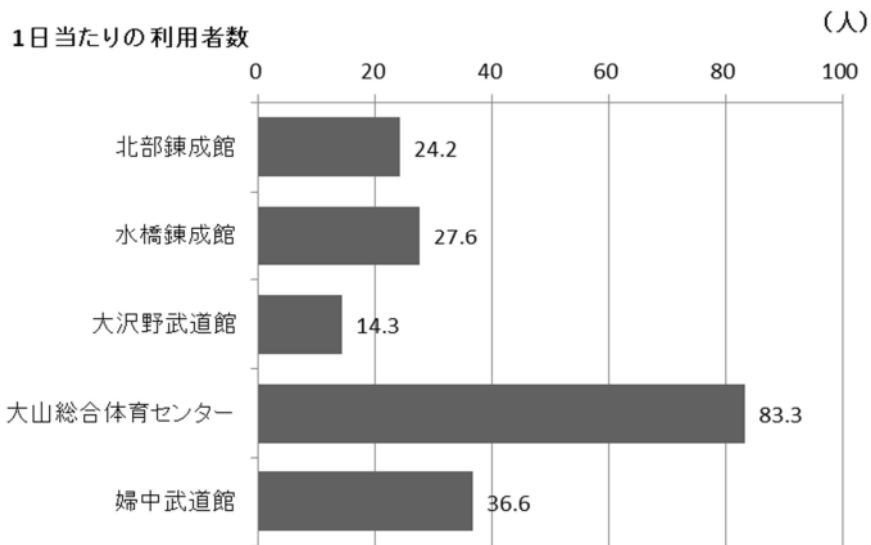
(人)



1日当たりの利用者数

(人)





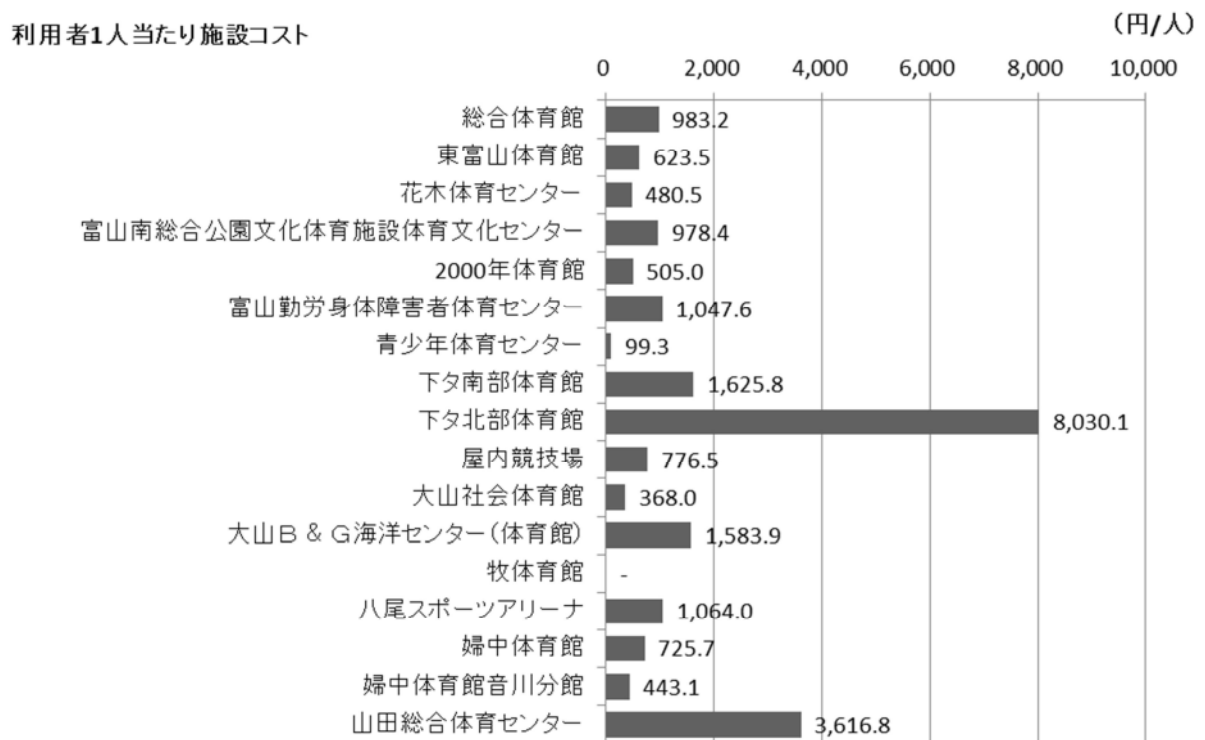
③コスト状況

利用者1人当たりの施設コストは、体育館で平均1,434.5円、プールで平均2,274.9円、武道館で平均677.5円となっており、施設間での差が著しい状況が見受けられます。

体育館の中では、旧町村にある下タ北部体育館、山田総合体育センターなど1日当たりの利用者数の少ない施設について、利用者1人当たりの施設コストが高くなっています。

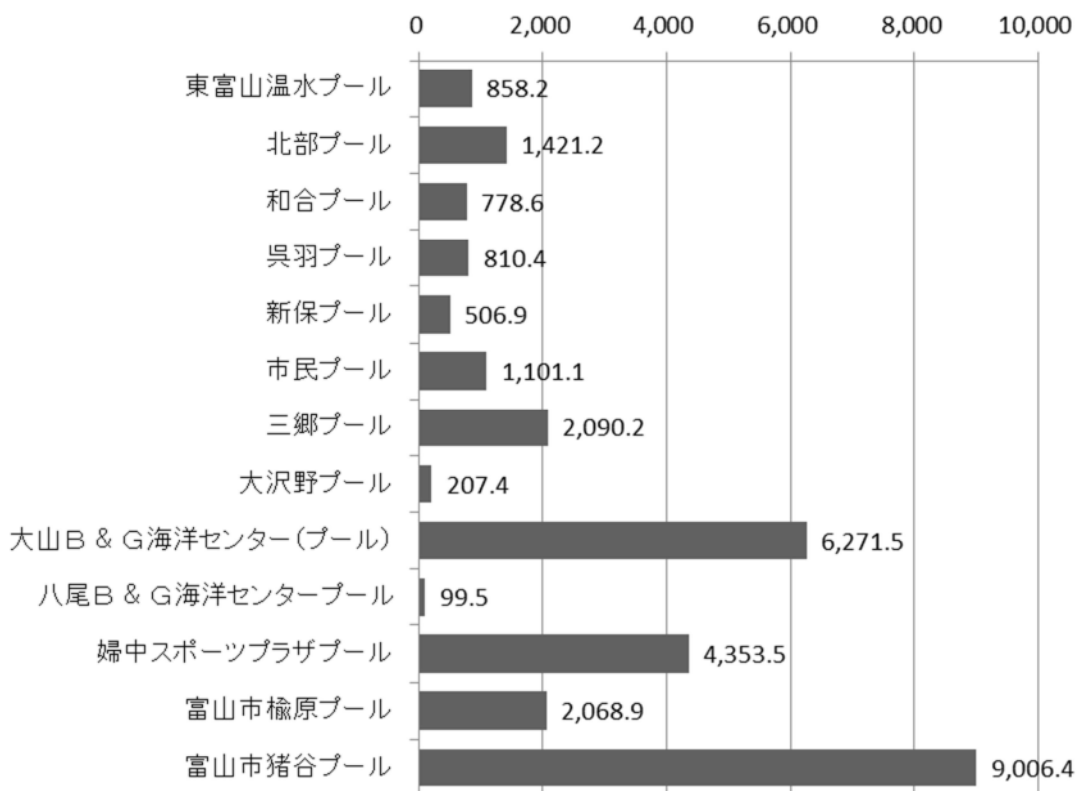
プールについても、大山海洋B&Gセンター（プール）、猪谷プールなど、1日当たりの利用者数の少ない施設について、施設コストが高くなっています。

武道館については、大山総合体育センターの施設コストが高くなっています。



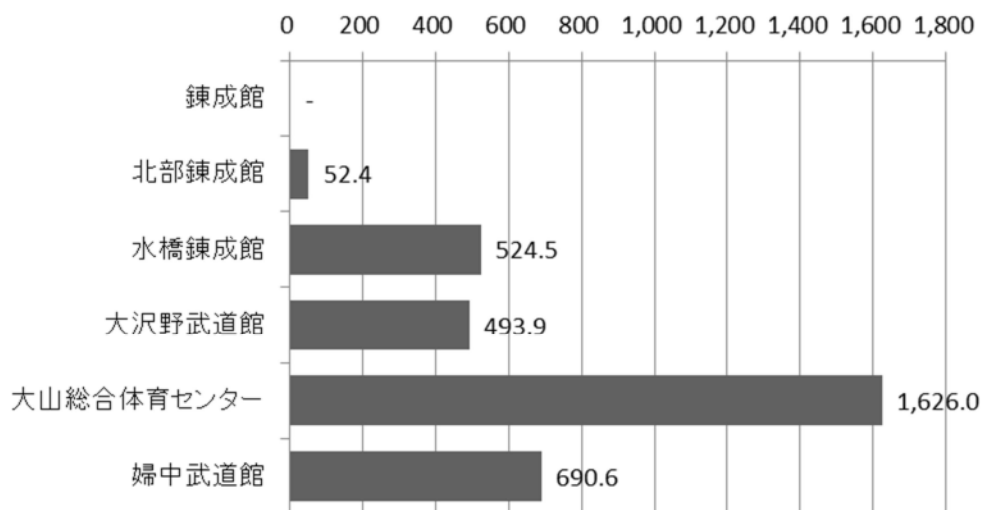
利用者1人当たり施設コスト

(円/人)



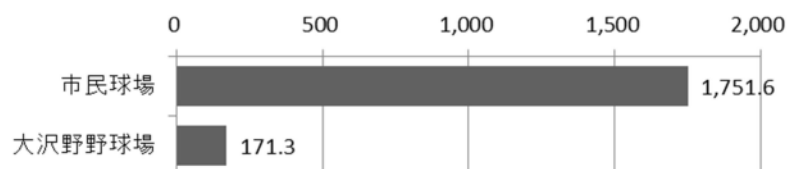
利用者1人当たり施設コスト

(円/人)



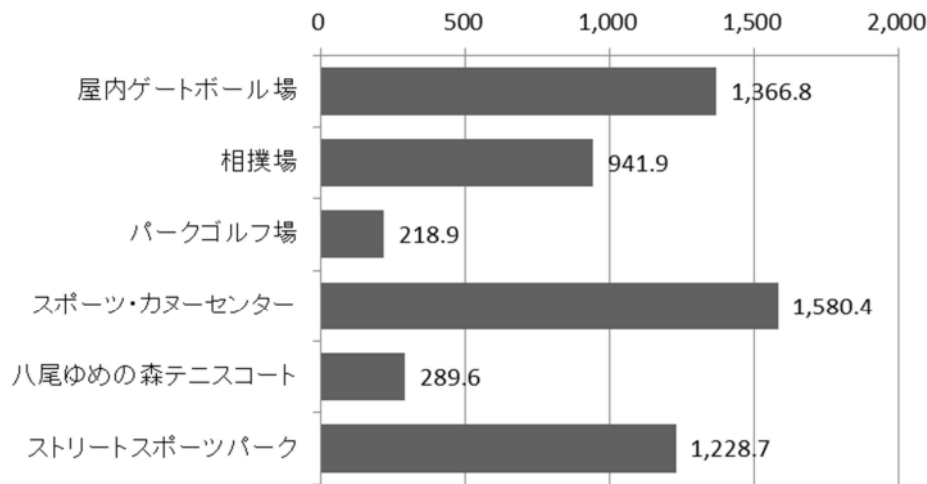
利用者1人当たり施設コスト

(円/人)



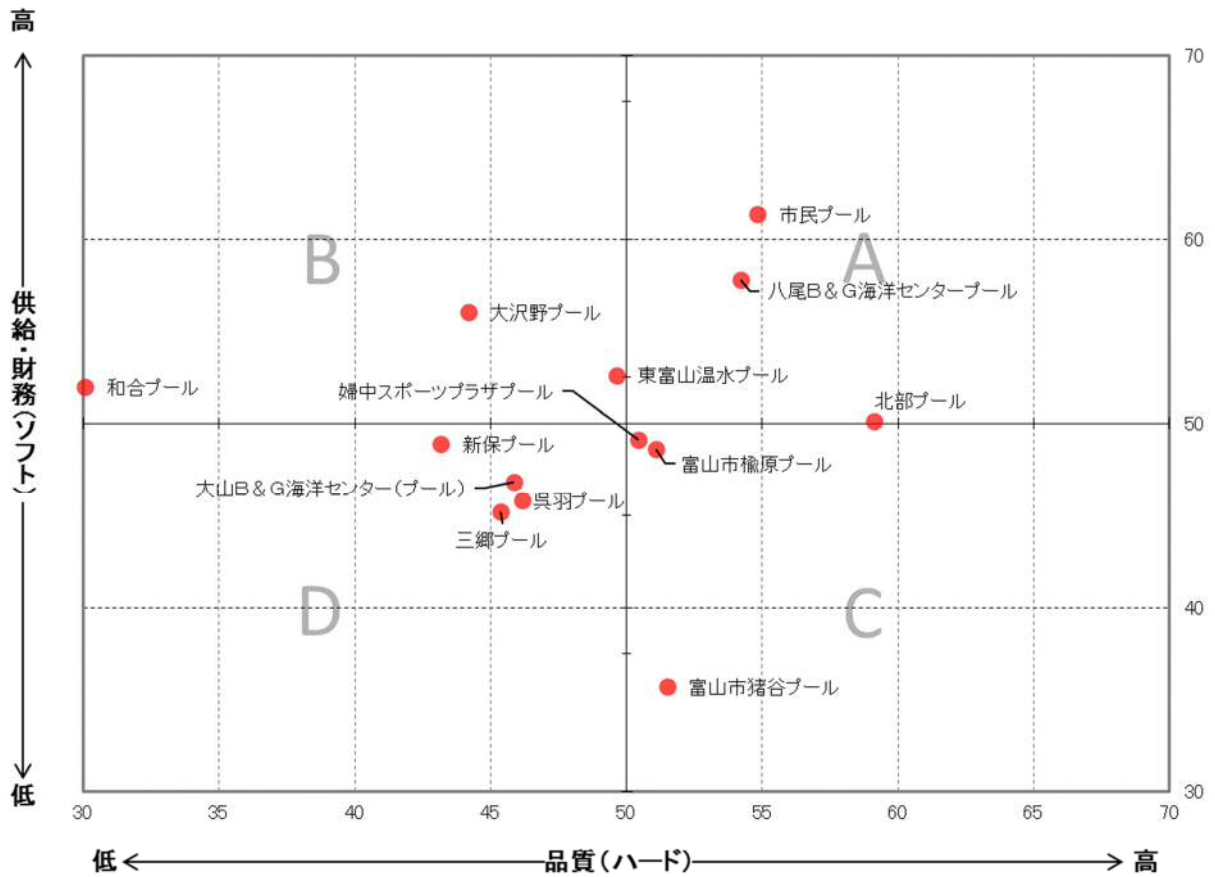
利用者1人当たり施設コスト

(円/人)



【プール】

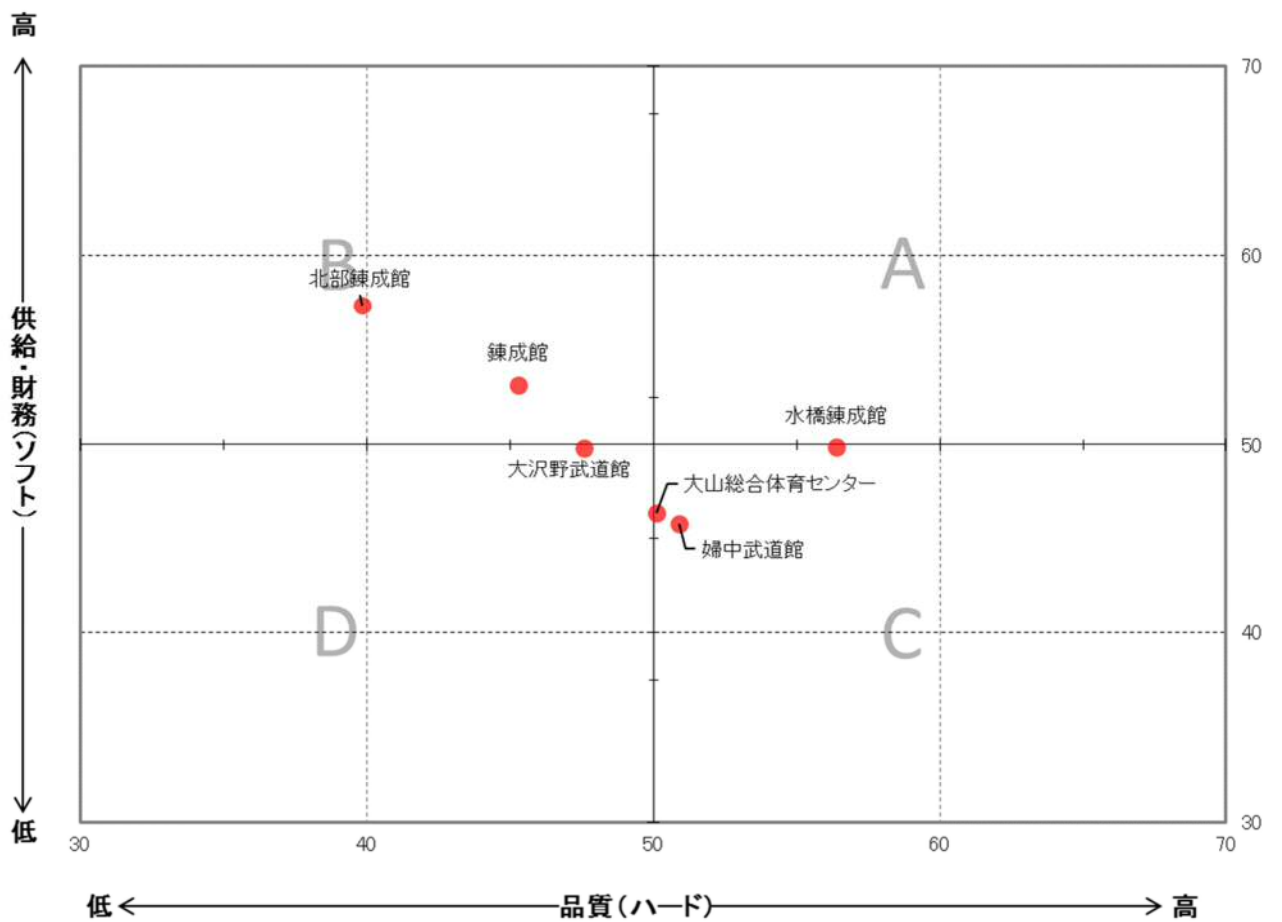
	施設名	ポ-ト フォ-財 分析	延床面積	建築年	築 年数	老朽化 度	ハード 偏差値	1日当たり 利用者数	1日当たり 利用者数 偏差値	面積当たり 施設コスト	面積当たり 施設コスト 偏差値	利用者1人 当たり施設 コスト	利用者1人 当たり施設 コスト 偏差値	ソフト 偏差値
1	東富山温水プール	B	2,135.72	昭和 57年度	33	69.8	49.6	216.8	53.2	31,191.4	49.1	858.2	55.5	52.6
2	北部プール	A	571.05	平成 24年度	3	8.8	59.1	26.8	44.2	23,901.6	52.8	1,421.2	53.3	50.1
3	和合プール	施設廃止済												
4	呉羽プール	D	86.42	昭和 55年度	35	92.1	46.2	196.1	52.3	69,879.7	29.5	810.4	55.7	45.8
5	新保プール	D	43.56	昭和 44年度	46	111.4	43.2	102.3	47.8	45,225.0	42.0	506.9	56.9	48.9
6	市民プール	A	9,261.22	平成 10年度	17	36.5	54.8	841.1	82.8	35,800.8	46.8	1,101.1	54.6	61.4
7	三郷プール	施設廃止済												
8	大沢野プール	B	218.40	平成 05年度	22	105.0	44.2	90.7	47.3	3,873.6	62.9	207.4	58.0	56.1
9	大山B&G海洋センター (プール)	D	958.36	昭和 58年度	32	94.1	45.9	21.6	44.0	5,784.9	62.0	6,271.5	34.5	46.8
10	八尾B&G海洋センタープ-ル	A	1,592.66	平成 08年度	19	40.4	54.2	199.0	52.4	4,452.9	62.7	99.5	58.4	57.8
11	婦中スポーツプラザプール	C	1,152.98	平成 05年度	22	64.7	50.4	55.0	45.6	9,964.6	59.9	4,353.5	41.9	49.1
12	富山市榆原プール	C	110.31	平成 04年度	23	60.5	51.1	39.8	44.9	29,108.9	50.1	2,068.9	50.8	48.6
13	富山市猪谷プール	C	84.34	平成 05年度	22	57.9	51.5	12.0	43.5	49,976.3	39.6	9,006.4	23.9	35.7



【武道館】

施設名	ポート フォリオ 分析	延床面積	建築年	築 年数	老朽化 度	ハード 偏差値	稼働率	稼働率 偏差値	1日当たり 利用者数	1日当たり 利用者数 偏差値	面積当たり 施設コスト	面積当たり 施設コスト 偏差値	利用者1人 当たり 施設コスト	利用者1人 当たり施設 コスト偏差値	ソフト 偏差値
1 錬成館	施設廃止済														
2 北部錬成館	B	431.60	昭和 42年度	48	132.9	39.8	52.7	61.5	24.2	44.6	1,054.2	61.3	52.4	62.0	57.4
3 水橋錬成館	C	595.18	平成 18年度	9	26.5	56.4	-	-	27.6	46.0	8,706.6	50.7	524.5	52.9	49.9
4 大沢野武道館	D	468.00	昭和 51年度	39	83.0	47.6	41.3	48.8	14.3	40.5	4,600.4	56.3	493.9	53.5	49.8
5 大山総合体育センター	C	1,777.32	平成 09年度	18	66.7	50.1	47.0	55.2	83.3	69.1	24,003.0	29.5	1,626.0	31.7	46.4
6 婦中武道館	C	799.27	平成 06年度	21	61.8	50.9	28.4	34.5	36.6	49.8	9,814.0	49.1	690.6	49.7	45.8

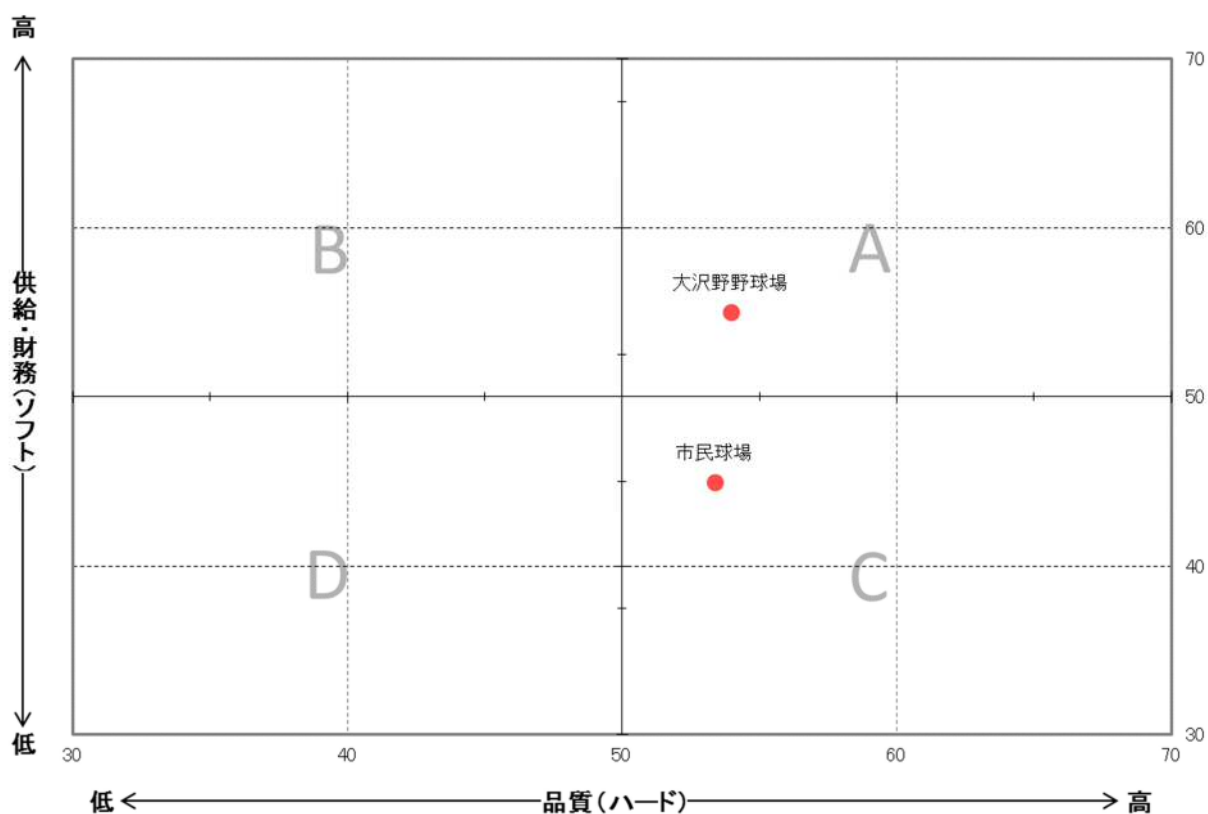
※稼働率については平成28年度の数値



【野球場】

	施設名	ポート フォリオ 分析	延床面積	建築年	築 年数	老朽化 度	ハード 偏差値	稼働率	稼働率 偏差値	1日当たり 利用者数	1日当たり 利用者数 偏差値	面積当たり 施設コスト	面積当たり 施設コスト 偏差値	利用者1 人当たり 施設コスト	利用者1 人当たり 施設コスト 偏差値	ソフト 偏差値
1	市民球場	C	19,048.65	平成 04年度	23	45.9	53.4	29.2	40.0	303.2	60.0	9,982.8	40.0	1,751.6	40.0	45.0
2	大沢野野球場	A	220.00	平成 06年度	21	42.0	54.0	34.2	60.0	45.2	40.0	7,350.0	60.0	171.3	60.0	55.0

※稼働率については平成28年度の数値



【陸上競技場】

	施設名	ポート フォリオ 分析	延床面積	建築年	築 年数	老朽化 度	ハード 偏差値	稼働率	稼働率 偏差値	1日当たり 利用者数	1日当たり 利用者数 偏差値	面積当たり 施設コスト	面積当たり 施設コスト 偏差値	利用者1 人当たり 施設コスト	利用者1 人当たり 施設コスト 偏差値	ソフト 偏差値
1	陸上競技場	-	752.00	昭和 62年度	28	56	51.8	40.4	-	63.7	-	5,059.8	-	285.9	-	-

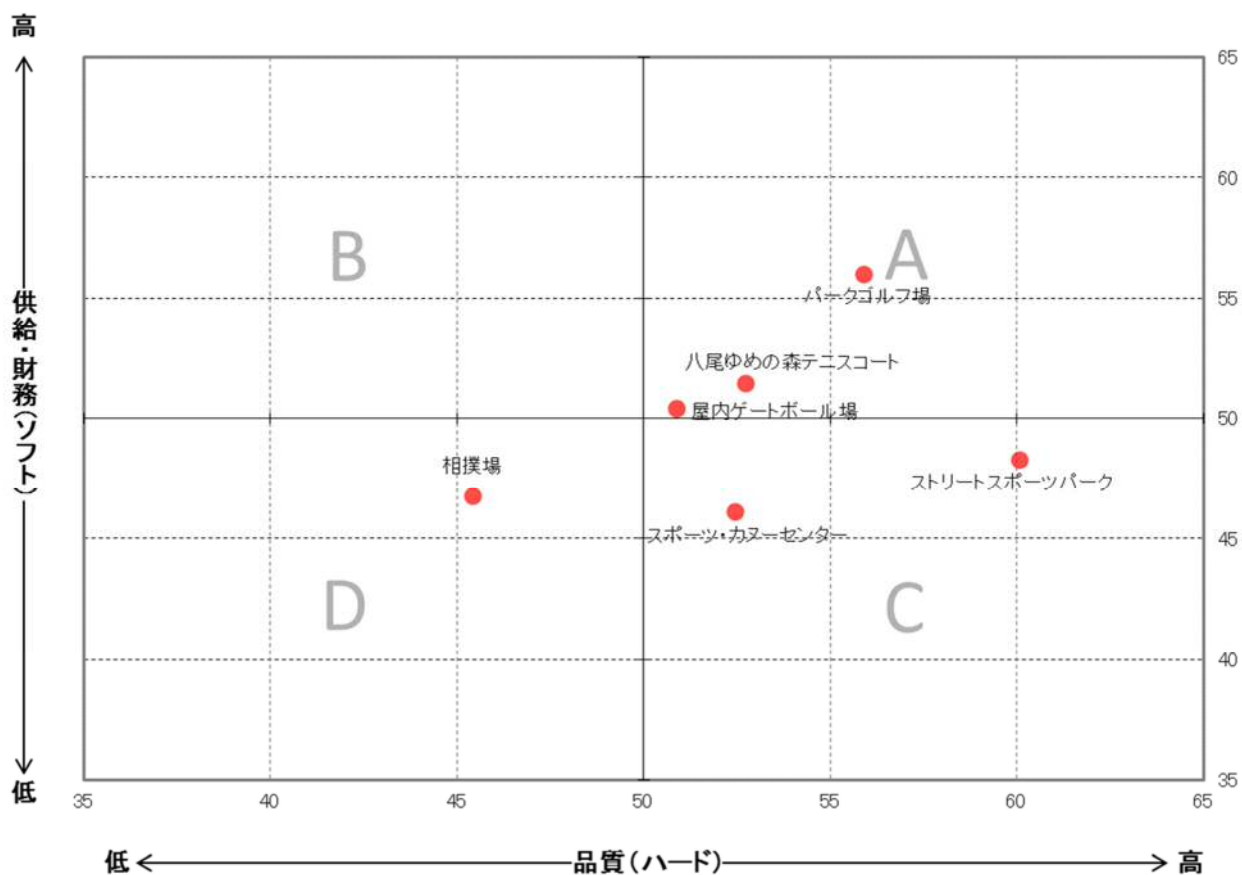
※稼働率については平成28年度の数値

※陸上競技場は小分類内に1つしかなく、ソフト偏差値を相対評価できないため、ポートフォリオは掲載していません。

【その他スポーツ施設】

	施設名	ポート フォリオ 分析	延床 面積	建築年	築 年数	老朽化 度	ハード 偏差値	稼働率	稼働率 偏差値	1日当たり 利用者数	1日当たり 利用者数 偏差値	面積当たり 施設コスト	面積当たり 施設コスト 偏差値	利用者1人 当たり 施設コスト	利用者 1人当たり 施設コスト 偏差値	ソフト 偏差値
1	屋内ゲートボール場	A	1,210.32	平成 06年度	21	61.8	50.9	51.7	58.4	27.5	45.9	11,111.9	55.6	1,366.8	41.7	50.4
2	相撲場	D	81.00	昭和 57年度	33	97.1	45.4	6.8	36.6	1.2	43.6	5,000.0	57.0	941.9	49.9	46.8
3	パークゴルフ場	A	148.28	平成 16年度	11	29.7	55.9	50.9	58.0	331.7	72.1	127,326.7	30.0	218.9	63.8	56.0
4	スポーツ・カヌーセンター	C	596.12	平成 09年度	18	51.7	52.5	-	-	6.9	44.1	6,559.1	56.6	1,580.4	37.6	46.1
5	八尾ゆめの森テニスコート	A	435.00	平成 10年度	17	50.0	52.7	11.6	38.9	49.4	47.8	6,846.0	56.5	289.6	62.5	51.4
6	ストリートスポーツパーク	C	240.39	平成 26年度	1	2.6	60.1	51.0	58.0	34.0	46.5	62,282.1	44.3	1,228.7	44.4	48.3

※稼働率については平成 2 8 年度の数値



4-7 レクリエーション・観光施設

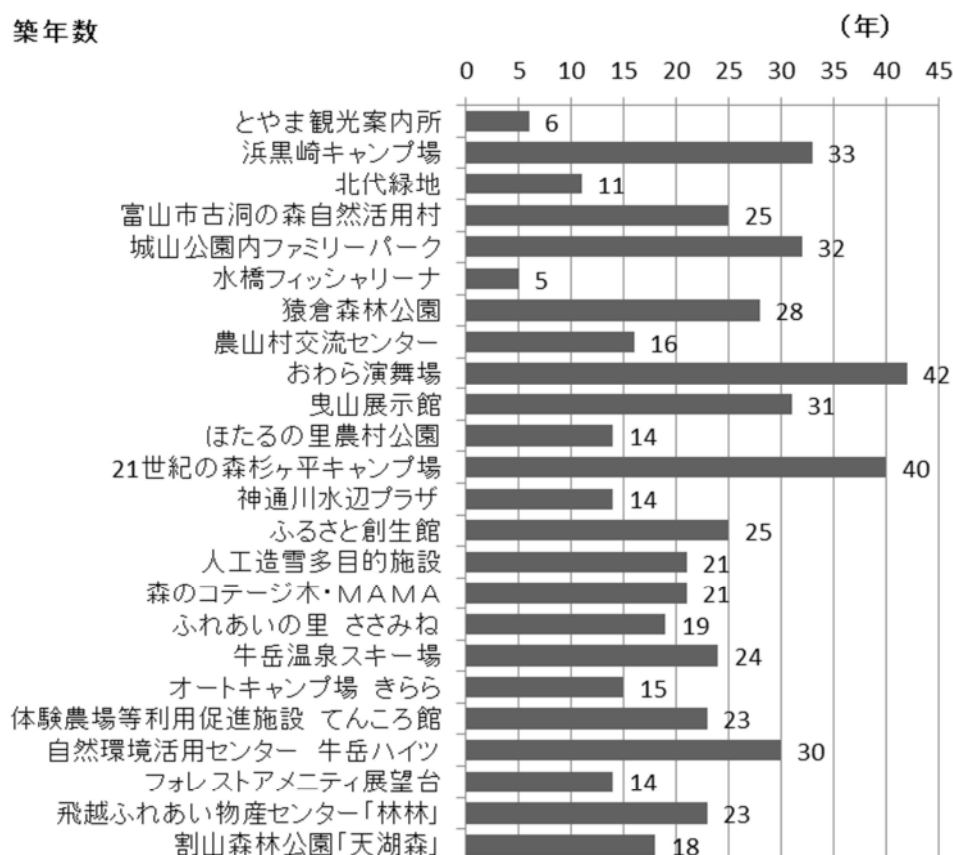
(1) 概要

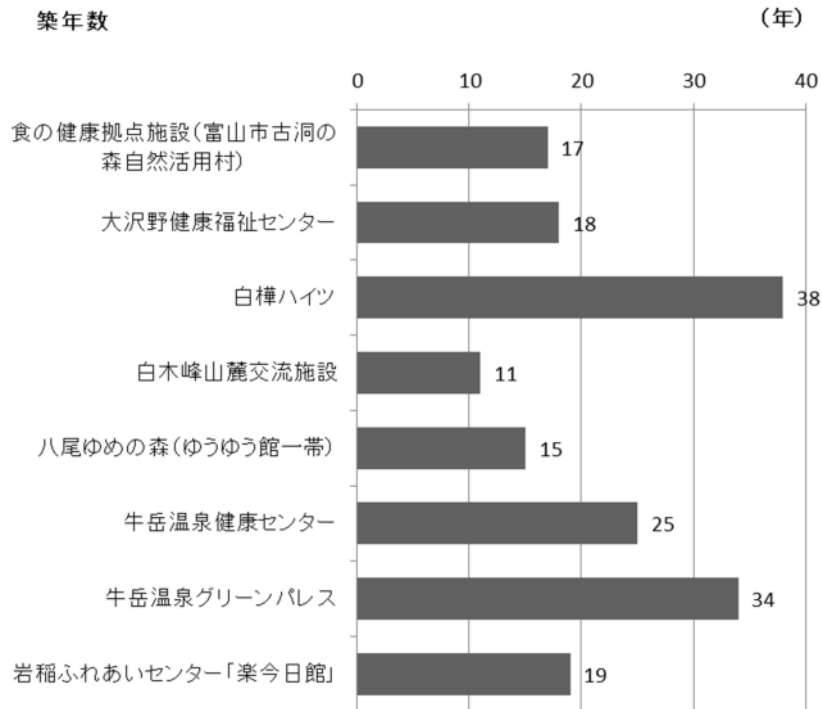
・観光施設は、自然を活用したキャンプ場、農業体験施設、スキー場、公園の展望・休憩施設、市の伝統文化を紹介する施設、道の駅など物産を販売する施設等 24 施設（うち浜黒崎キャンプ場は平成 28 年 3 月民間譲渡。森のコテージ木・MAMA、ふれあいの里ささみねは平成 30 年 4 月から民間貸付。）、宿泊・入浴施設は、健康増進や交流促進等の目的で 8 施設（うち牛岳温泉グリーンパレスは平成 30 年度から冬期間の食堂のみ運営）が整備されています。

(2) 施設の現状と課題

① 老朽化状況

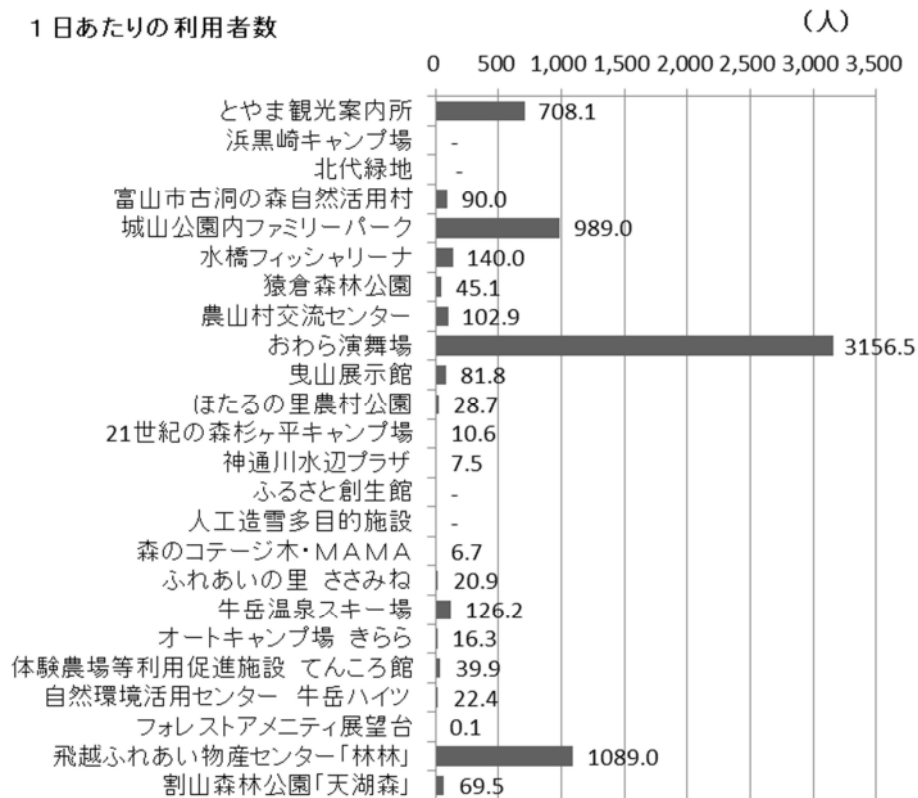
観光施設の築年数は平均 22.1 年、宿泊・入浴施設の築年数も平均 22.1 年となっています。廃止等された施設を除きますと、観光施設は 5 施設（ファミリーパーク、おわら演舞場、曳山展示館、21 世紀の森杉ヶ平キャンプ場、牛岳ハイツ）、宿泊・入浴施設は 1 施設（白樺ハイツ）が、築年数 30 年以上の施設です。





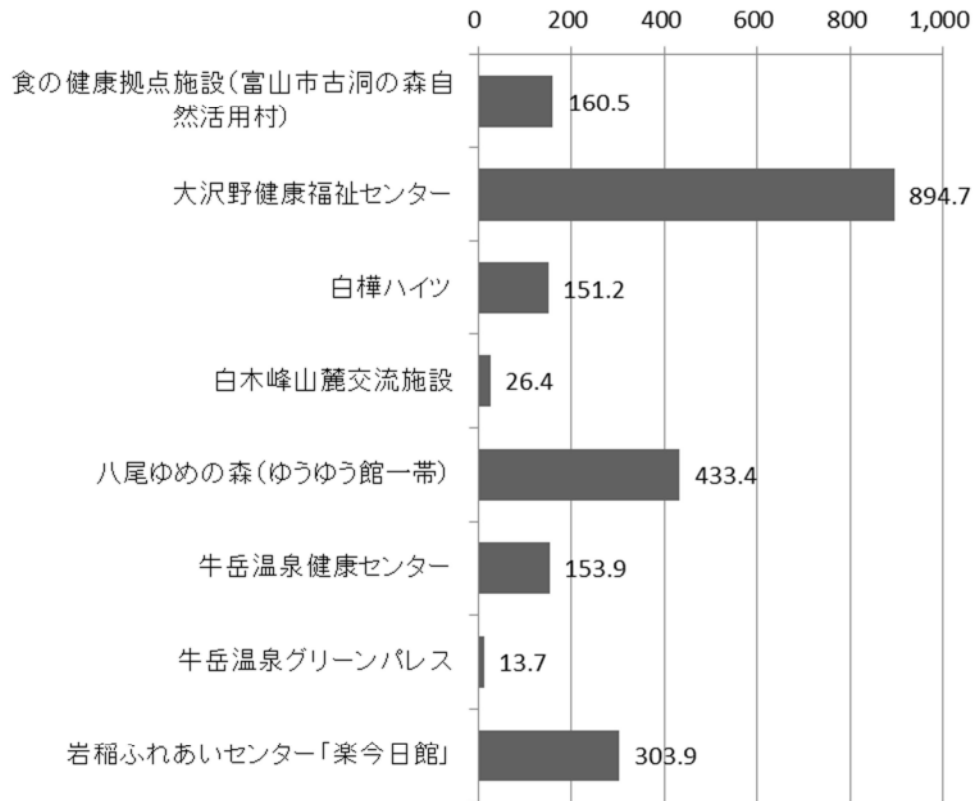
②利用状況

1日当たりの利用者数について、施設ごとに大きく差があります。(一部、施設の利用者数の統計を取っていない施設があります。)



1日当たりの利用者数

(人)

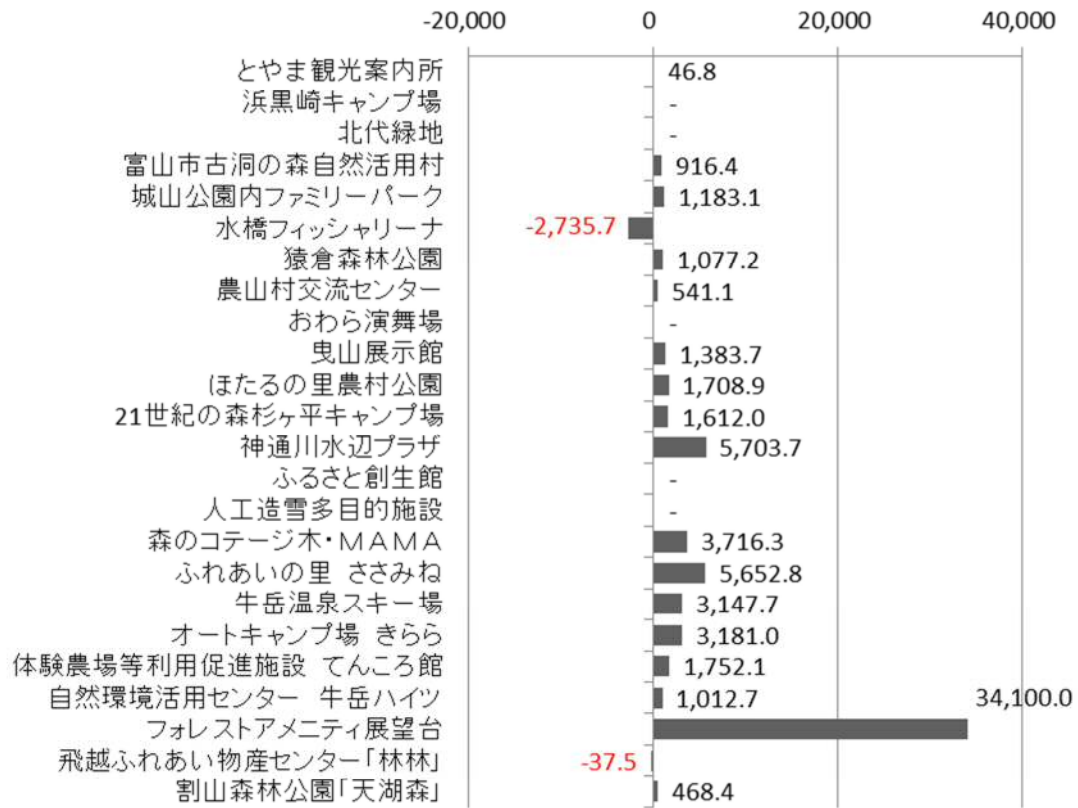


③コスト状況

観光施設の利用者1人当たり施設コストは、平均3,226.7円です。フォレストアメンティ展望台が高い金額となっています。また、宿泊入浴施設の利用者1人当たり施設コストは平均934.2円で、廃止された施設を除きますと、白木峰山麓交流施設が他の施設と比べてやや高くなっています。

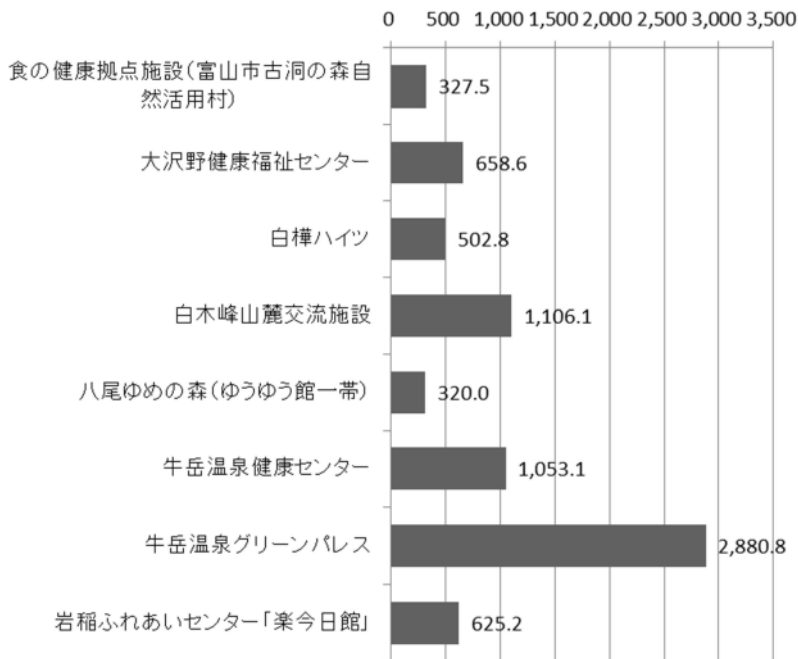
利用者1人当たり施設コスト

(円/人)



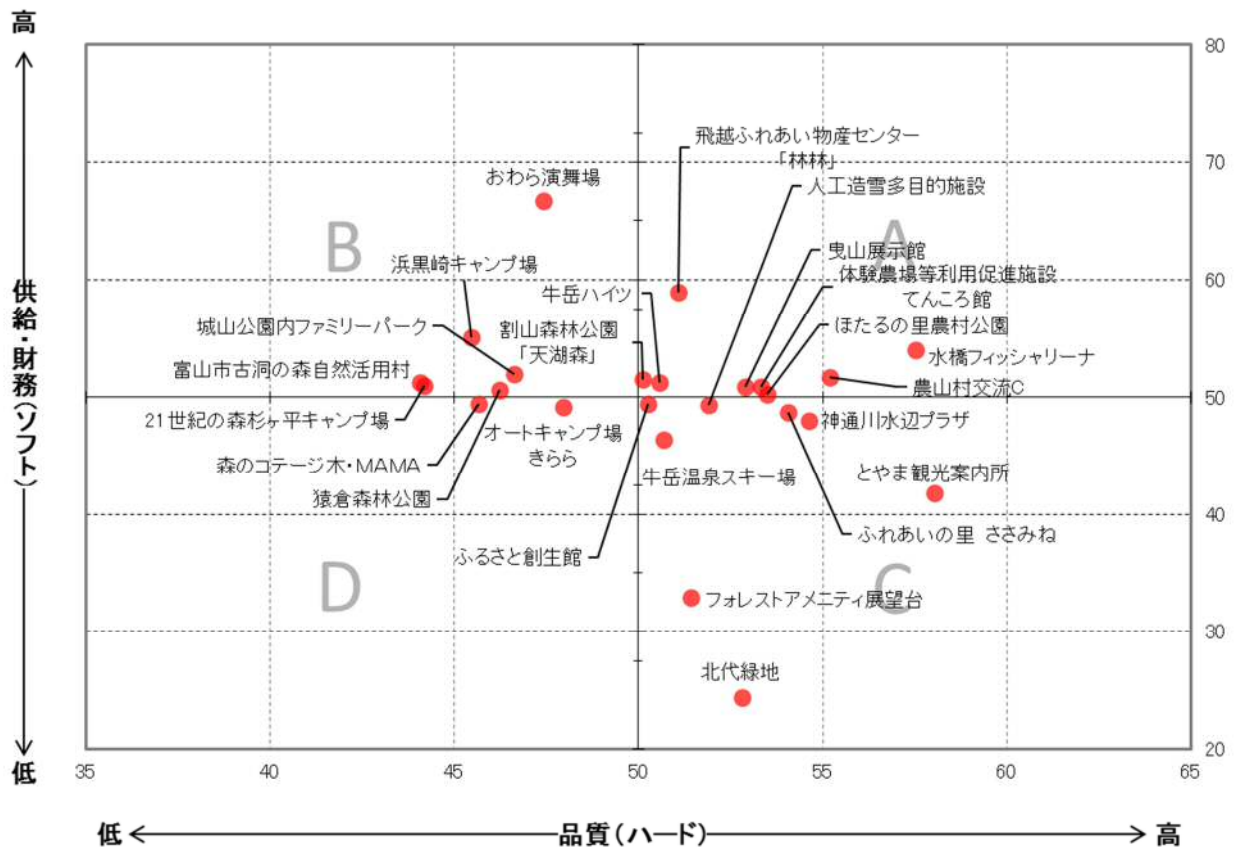
利用者1人当たり施設コスト

(円/人)



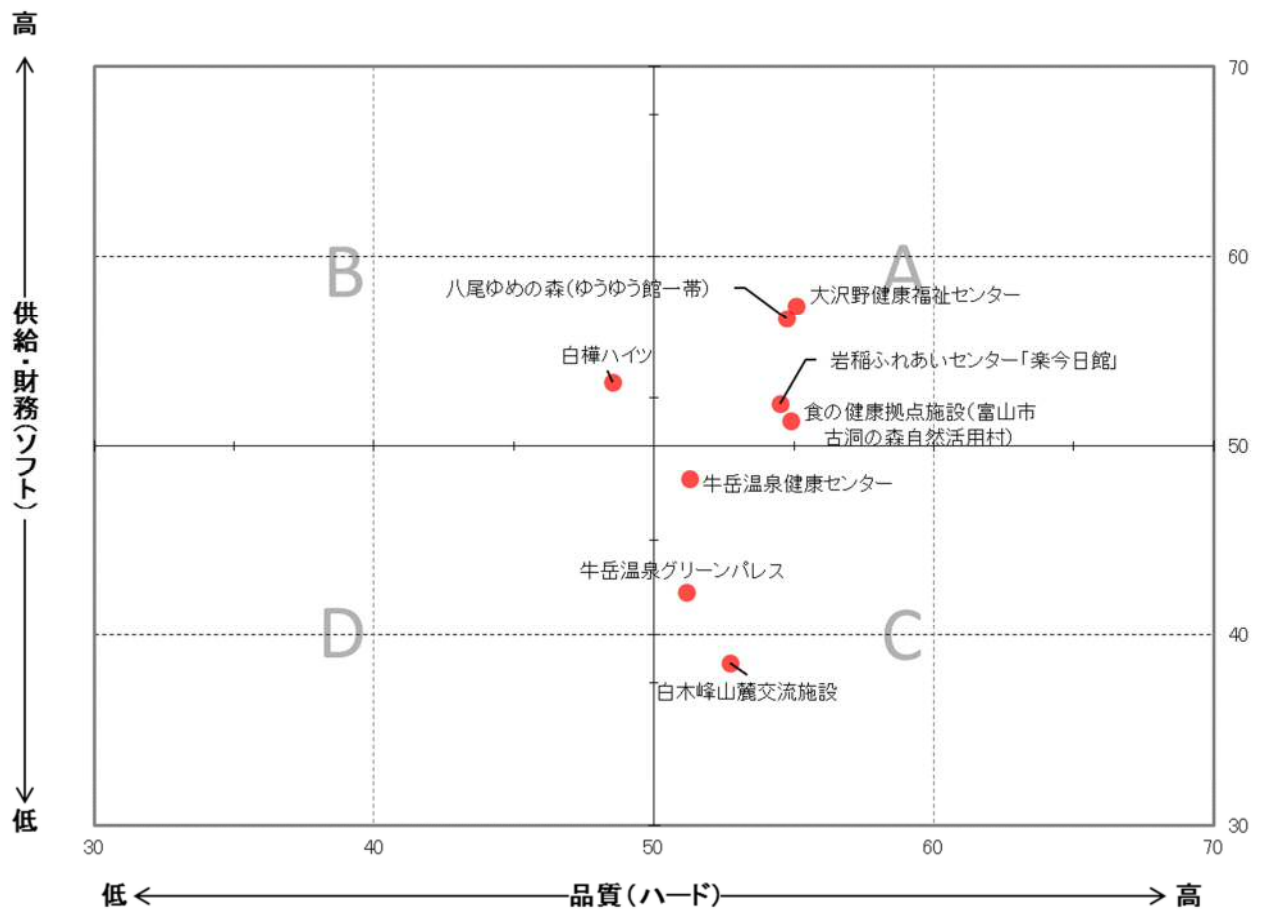
【観光施設】

	施設名	ポートフォリオ分析	延床面積	建築年	築年数	老朽化度	ハード偏差値	1日当たり利用者数	1日当たり利用者数偏差値	面積当たり施設コスト	面積当たり施設コスト偏差値	利用者1人当たり施設コスト	利用者1人当たり施設コスト偏差値	ソフト偏差値
1	とやま観光案内所	C	50.56	平成 21年度	6	15.8	58.0	708.1	55.5	238,765.8	15.7	46.8	54.3	41.8
2	浜黒崎キャンプ場	施設廃止済												
3	北代緑地	C	363.48	平成 16年度	11	49.4	52.8	-	-	187,297.8	24.4	-	-	24.4
4	富山市古洞の森自然活用村	B	2,081.33	平成 02年度	25	105.6	44.1	90.0	46.7	14,110.2	53.8	916.4	53.2	51.2
5	城山公園内ファミリーパーク	B	5,411.23	昭和 58年度	32	89.2	46.6	989.0	59.4	74,169.8	43.6	1,183.1	52.8	51.9
6	水橋フィッシャリーナ	A	156.11	平成 22年度	5	19.1	57.5	140.0	47.4	-2,453.4	56.6	-2,735.7	58.1	54.1
7	猿倉森林公園	B	816.05	昭和 62年度	28	91.8	46.2	45.1	46.1	20,341.9	52.7	1,077.2	52.9	50.6
8	農山村交流センター	A	1,727.26	平成 11年度	16	34.0	55.2	102.9	46.9	10,121.8	54.5	541.1	53.7	51.7
9	おわら演舞場	B	359.84	昭和 48年度	42	84.0	47.4	3156.5	90.0	1,820.3	55.9	103.8	54.3	66.7
10	曳山展示館	A	2,629.04	昭和 59年度	31	48.8	52.9	81.8	46.6	15,504.9	53.5	1,383.7	52.5	50.9
11	ほたるの里農村公園	A	680.96	平成 13年度	14	45.0	53.5	28.7	45.9	19,378.5	52.9	1,708.9	52.1	50.3
12	21世紀の森杉ヶ平キャンプ場	B	548.23	昭和 50年度	40	105.0	44.2	10.6	45.6	5,722.1	55.2	1,612.0	52.2	51.0
13	神通川水辺プラザ	C	591.00	平成 13年度	14	37.6	54.6	7.5	45.6	25,989.8	51.8	5,703.7	46.6	48.0
14	ふるさと創生館	C	149.43	平成 02年度	25	65.8	50.3	-	45.5	15,659.5	53.5	-	-	49.5
15	人工造雪多目的施設	C	1,128.61	平成 06年度	21	55.3	51.9	-	-	40,164.5	49.4	-	-	49.4
16	森のコテージ木・MAMA	D	495.10	平成 06年度	21	95.5	45.7	6.7	45.6	15,928.1	53.5	3,716.3	49.3	49.5
17	ふれあいの里 ささみね	C	2,512.07	平成 08年度	19	41.3	54.1	20.9	45.8	14,887.7	53.6	5,652.8	46.7	48.7
18	牛岳温泉スキー場	C	1,281.15	平成 03年度	24	63.2	50.7	126.2	47.2	84,345.3	41.9	3,147.7	50.1	46.4
19	オートキャンプ場 きらら	D	320.77	平成 12年度	15	80.6	48.0	16.3	45.7	26,685.8	51.6	3,181.0	50.1	49.1
20	体験農場等利用促進施設 てんころ館	A	608.62	平成 04年度	23	46.0	53.3	39.9	46.0	9,883.0	54.5	1,752.1	52.0	50.8
21	自然環境活用センター 牛岳ハイツ	A	1,188.75	昭和 60年度	30	63.8	50.6	22.4	45.8	6,989.7	55.0	1,012.7	53.0	51.3
22	フォレストアムニティ展望台	C	16.01	平成 13年度	14	58.3	51.4	0.1	45.5	63,897.6	45.3	34,100.0	7.9	32.9
23	飛越ふれあい物産センター「林林」	A	456.30	平成 04年度	23	60.5	51.1	1089.0	60.8	-32,189.3	61.6	-37.5	54.5	59.0
24	割山森林公園「天湖森」	A	1,143.36	平成 09年度	18	66.7	50.1	69.5	46.4	10,309.1	54.4	468.4	53.8	51.5



【宿泊・入浴施設】

	施設名	ポータル 分析	延床 面積	建築年	築 年数	老朽化 度	ハード 偏差値	1日当たり 利用者数	1日当たり 利用者数 偏差値	面積当たり 施設コスト	面積当たり 施設コスト 偏差値	利用者 1人当たり 施設コスト	利用者1人 当たり施設 コスト偏差値	ソフト 偏差値
1	食の健康拠点施設(富山市古洞の森自然活用村)	A	1,047.65	平成 10年度	17	36.2	54.9	160.5	46.0	17,861.9	50.2	327.5	57.7	51.3
2	大沢野健康福祉センター	A	8,383.61	平成 09年度	18	34.7	55.1	894.7	73.3	23,966.5	45.3	658.6	53.5	57.4
3	白樺ハイツ	B	3,729.31	昭和 52年度	38	77.0	48.5	151.2	45.7	7,195.7	58.8	502.8	55.5	53.3
4	白木峰山麓交流施設	C	191.47	平成 16年度	11	50.0	52.7	26.4	41.1	47,051.8	26.7	1,106.1	47.8	38.5
5	八尾ゆめの森(ゆうゆう館一帯)	A	4,080.66	平成 12年度	15	37.0	54.7	433.4	56.2	10,603.9	56.1	320.0	57.8	56.7
6	牛岳温泉健康センター	C	2,900.91	平成 02年度	25	59.4	51.3	153.9	45.8	17,654.8	50.4	1,053.1	48.5	48.2
7	牛岳温泉グリーンパレス	C	3,190.00	昭和 56年度	34	60.0	51.2	13.7	40.6	4,530.7	61.0	2,880.8	25.2	42.3
8	岩稲ふれあいセンター「楽今日館」	A	3,972.31	平成 08年度	19	38.4	54.5	303.9	51.4	16,405.1	51.4	625.2	53.9	52.2



4-8 産業系施設

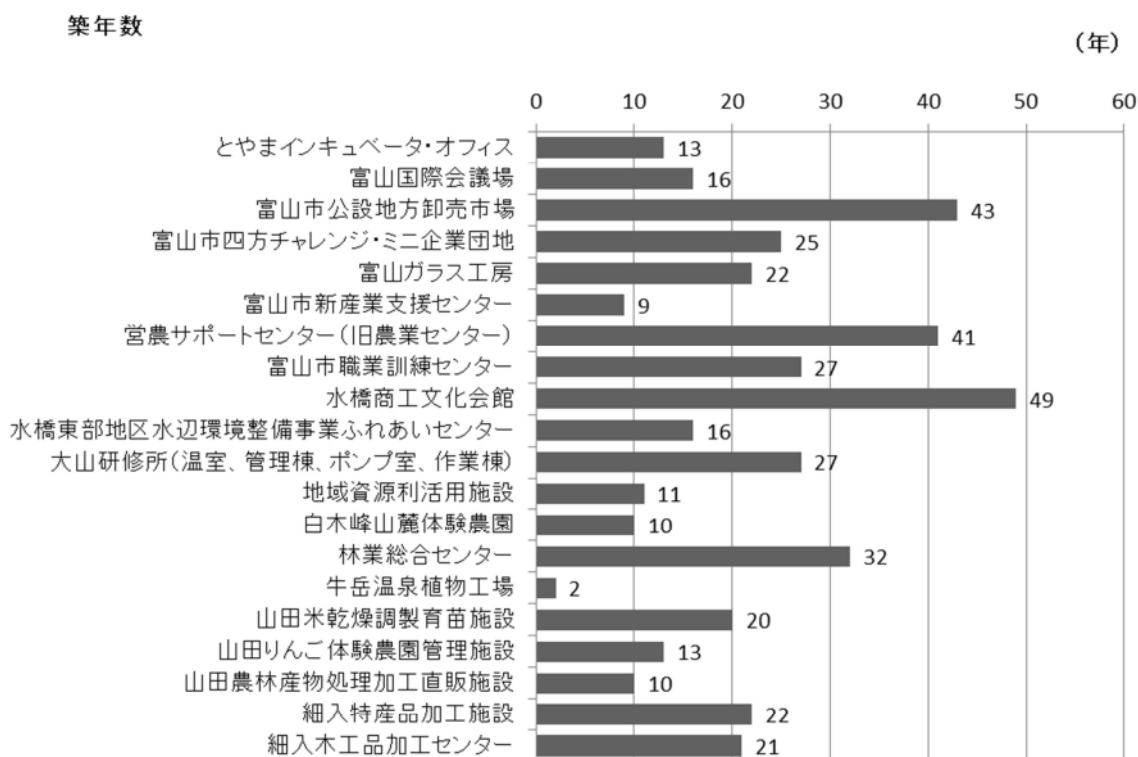
(1) 概要

- ・産業系施設は、会議や研修の場の提供、民間企業の育成支援や市民への産業体験を提供するための施設であり、20施設が整備されています。（うち、水橋商工文化会館は平成28年3月廃止。山田米乾燥調製育苗施設は平成29年4月に譲渡。細入特産品加工施設、細入木工品加工施設は平成28年3月廃止。）
- ・国等の補助金を活用して整備されたものが多くあります。
- ・会議・研修を行う施設で最も大規模なものが、富山国際会議場です。平成11年に整備され、市内のみならず広域のコンベンション機能を担っています。

(2) 施設の現状と課題

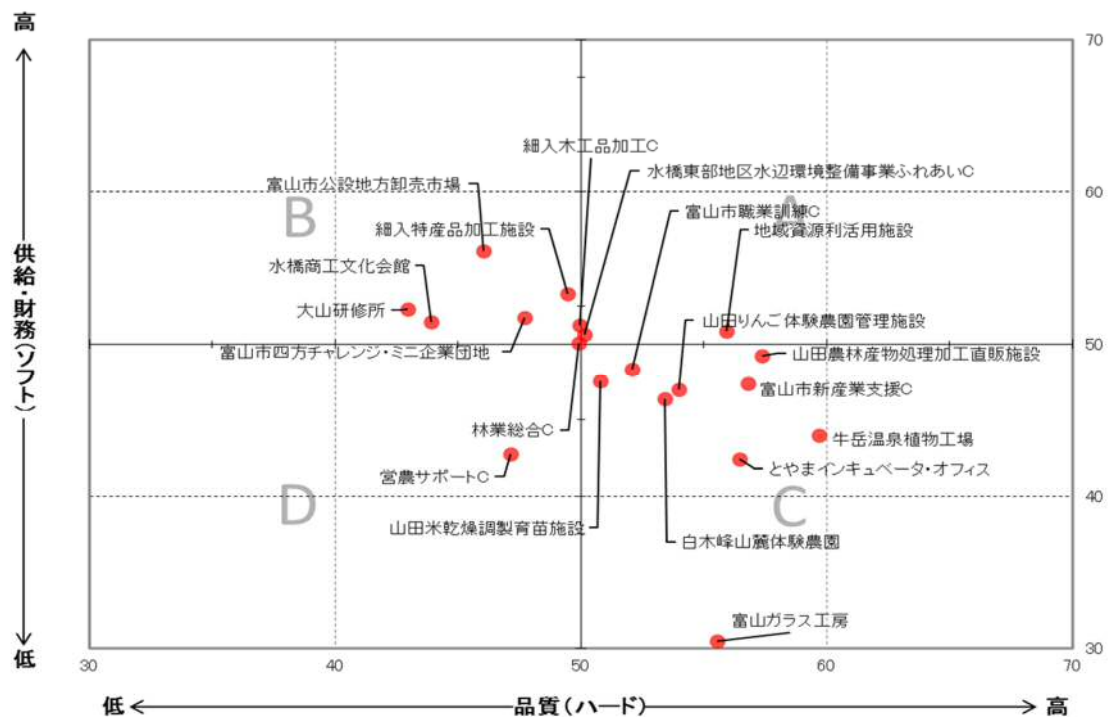
①老朽化状況

産業系施設の築年数は平均21.5年で、築年数30年以上の施設は、廃止された施設を除くと3施設あり、公設地方卸売市場、営農サポートセンター、林業総合センターです。



【産業振興施設】

	施設名	ポートフォリオ分析	延床面積	建築年	築年数	老朽化度	ハード偏差値	面積当たり施設コスト	面積当たり施設コスト偏差値	ソフト偏差値
1	とやまインキュベータ・オフィス	C	241.06	平成 14年度	13	26.0	56.4	24,193.1	42.4	42.4
2	富山国際会議場	A	1,477.81	平成 11年度	16	34.0	55.2	-79,014.9	87.0	87.0
3	富山市公設地方卸売市場	B	36,859.65	昭和 47年度	43	92.9	46.1	-7,494.9	56.1	56.1
4	富山市四方チャレンジ・ミニ企業団地	B	2,358.33	平成 02年度	25	82.3	47.7	2,607.8	51.7	51.7
5	富山ガラス工房	C	3,242.37	平成 05年度	22	31.9	55.5	51,788.7	30.5	30.5
6	富山市新産業支援センター	C	2,016.18	平成 18年度	9	23.7	56.8	12,602.0	47.4	47.4
7	富農サポートセンター(旧農業センター)	D	4,615.81	昭和 49年度	41	85.9	47.1	23,353.4	42.8	42.8
8	富山市職業訓練センター	C	2,340.45	昭和 63年度	27	54.0	52.1	10,476.6	48.3	48.3
9	水橋商工文化会館	施設廃止済								
10	水橋東部地区水辺環境整備事業ふれあいセンター	A	95.02	平成 11年度	16	66.7	50.1	5,220.0	50.6	50.6
11	大山研修所(温室、管理棟、ポンプ室、作業棟)	B	830.16	昭和 63年度	27	113.0	42.9	1,239.5	52.3	52.3
12	地域資源利活用施設	A	6,506.64	平成 16年度	11	29.4	55.9	4,644.9	50.8	50.8
13	白木峰山麓体験農園	C	183.42	平成 17年度	10	45.5	53.4	15,042.0	46.3	46.3
14	林業総合センター	B	593.50	昭和 58年度	32	68.1	49.9	6,490.3	50.0	50.0
15	牛岳温泉植物工場	C	823.67	平成 25年度	2	5.3	59.7	20,524.0	44.0	44.0
16	山田米乾燥調製育苗施設	施設廃止済								
17	山田りんご体験農園管理施設	C	247.52	平成 14年度	13	41.9	54.0	13,586.8	47.0	47.0
18	山田農林産物処理加工直販施設	C	462.08	平成 17年度	10	20.0	57.4	8,437.9	49.2	49.2
19	細入特産品加工施設	施設廃止済								
20	細入木工品加工センター	施設廃止済								



下記については、ソフト偏差値が70以上のため欄外

NO.	施設名	ハード偏差値	ソフト偏差値	分布
2	富山国際会議場	55.2	87.0	A

4-9 学校

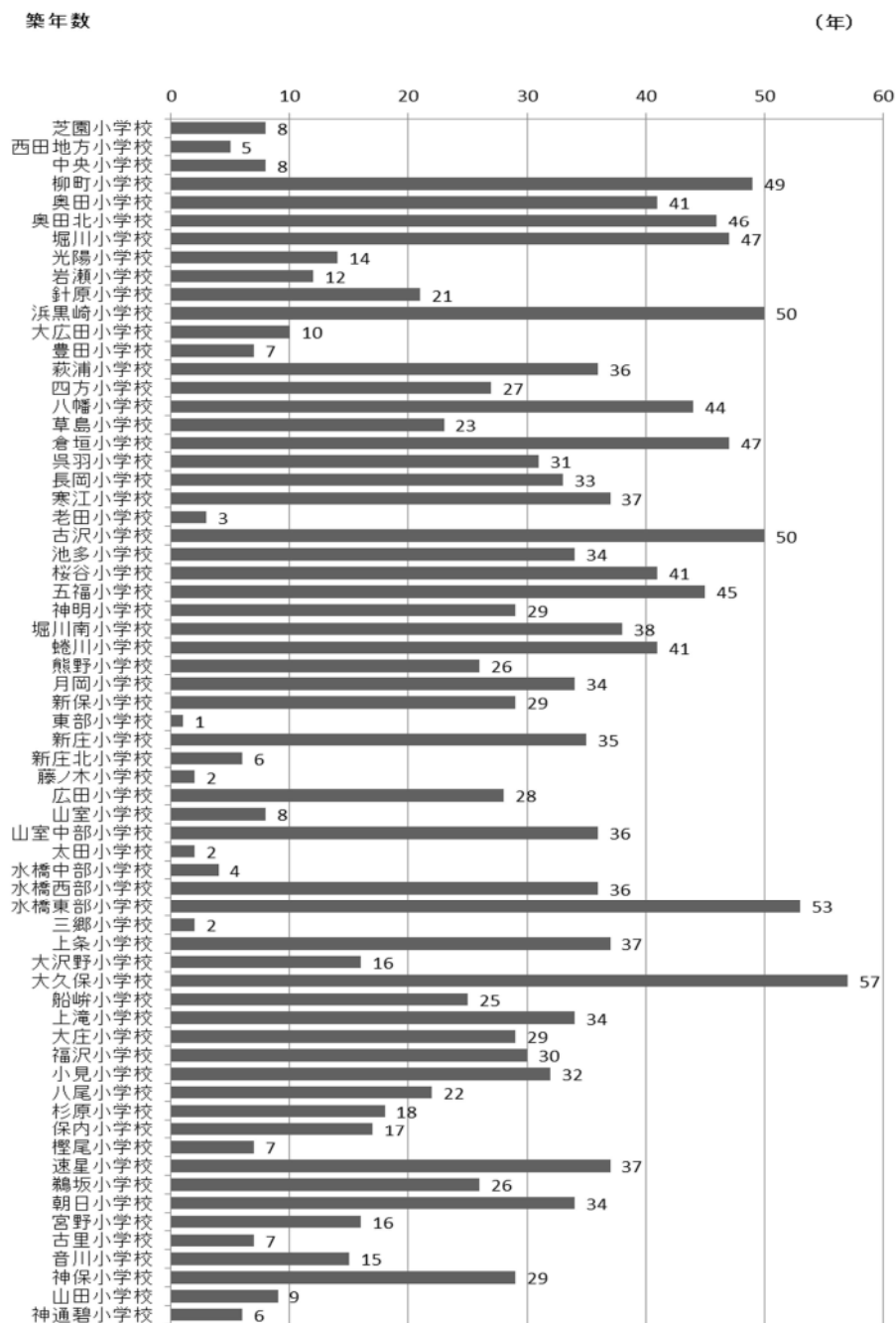
(1) 概要

- ・小学校は 65 施設、中学校は 26 施設、その他の学校は 2 施設整備されています。市の保有する公共施設の面積に占める学校の割合は約 4 割近くに達しており、最も大規模かつ保有総量が多い公共施設といえます。

(2) 施設の現状と課題

①老朽化状況

小学校の築年数の平均は 25.9 年、中学校の平均は 29.9 年です。築年数 30 年以上の施設は、小学校で 29 施設、中学校で 18 施設となっています。

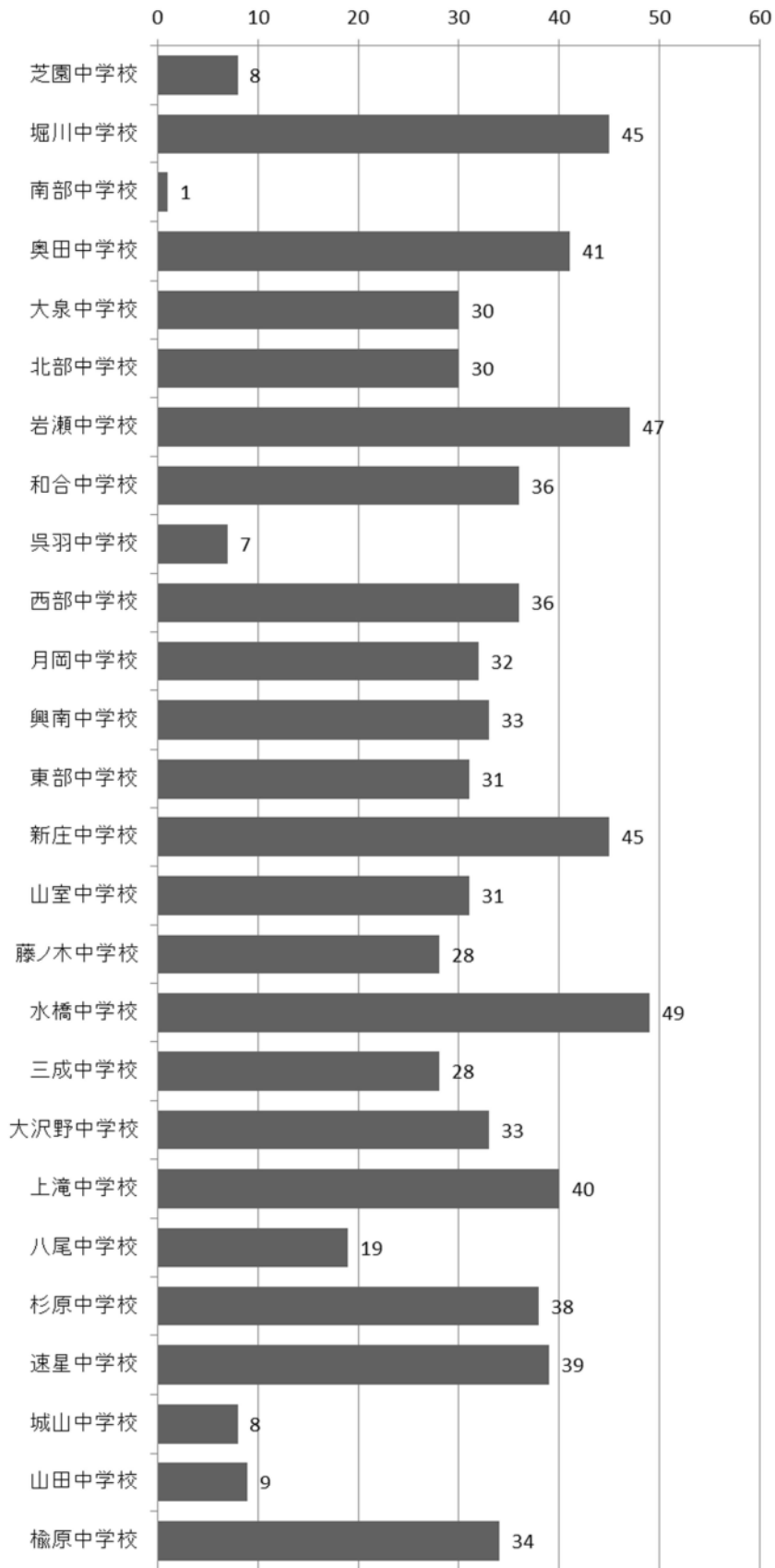


【築30年以上施設一覧】

	施設名	築年数
1	大久保小学校	57
2	水橋東部小学校	53
3	浜黒崎小学校	50
4	古沢小学校	50
5	柳町小学校	49
6	堀川小学校	47
7	倉垣小学校	47
8	奥田北小学校	46
9	五福小学校	45
10	八幡小学校	44
11	奥田小学校	41
12	桜谷小学校	41
13	蜷川小学校	41
14	堀川南小学校	38
15	寒江小学校	37
16	上条小学校	37
17	速星小学校	37
18	萩浦小学校	36
19	山室中部小学校	36
20	水橋西部小学校	36
21	新庄小学校	35
22	池多小学校	34
23	月岡小学校	34
24	上滝小学校	34
25	朝日小学校	34
26	長岡小学校	33
27	小見小学校	32
28	呉羽小学校	31
29	福沢小学校	30

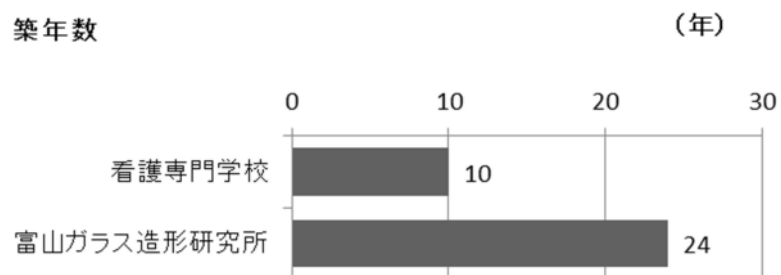
築年数

(年)



【築30年以上施設一覧】

	施設名	築年数
1	水橋中学校	49
2	岩瀬中学校	47
3	堀川中学校	45
4	新庄中学校	45
5	奥田中学校	41
6	上滝中学校	40
7	速星中学校	39
8	杉原中学校	38
9	和合中学校	36
10	西部中学校	36
11	榆原中学校	34
12	興南中学校	33
13	大沢野中学校	33
14	月岡中学校	32
15	東部中学校	31
16	山室中学校	31
17	大泉中学校	30
18	北部中学校	30



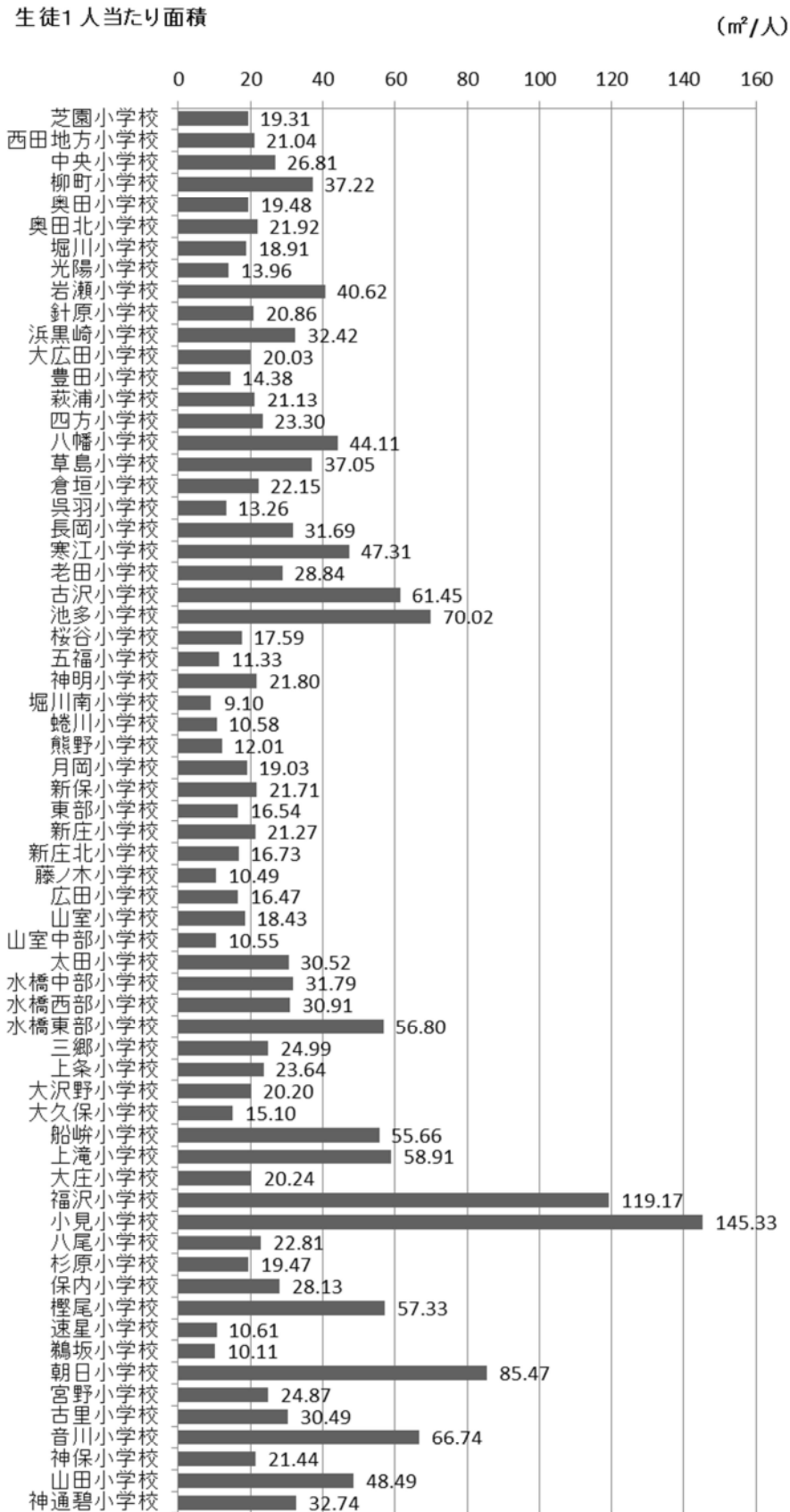
②利用状況

生徒1人当たり面積は、小学校で平均 31.28 m²、中学校で 28.19 m²となっています。施設によっては生徒1人当たり面積が大きい小学校、中学校が見られます。

小学校では、福沢小学校、小見小学校が高く、朝日小学校、池多小学校、音川小学校

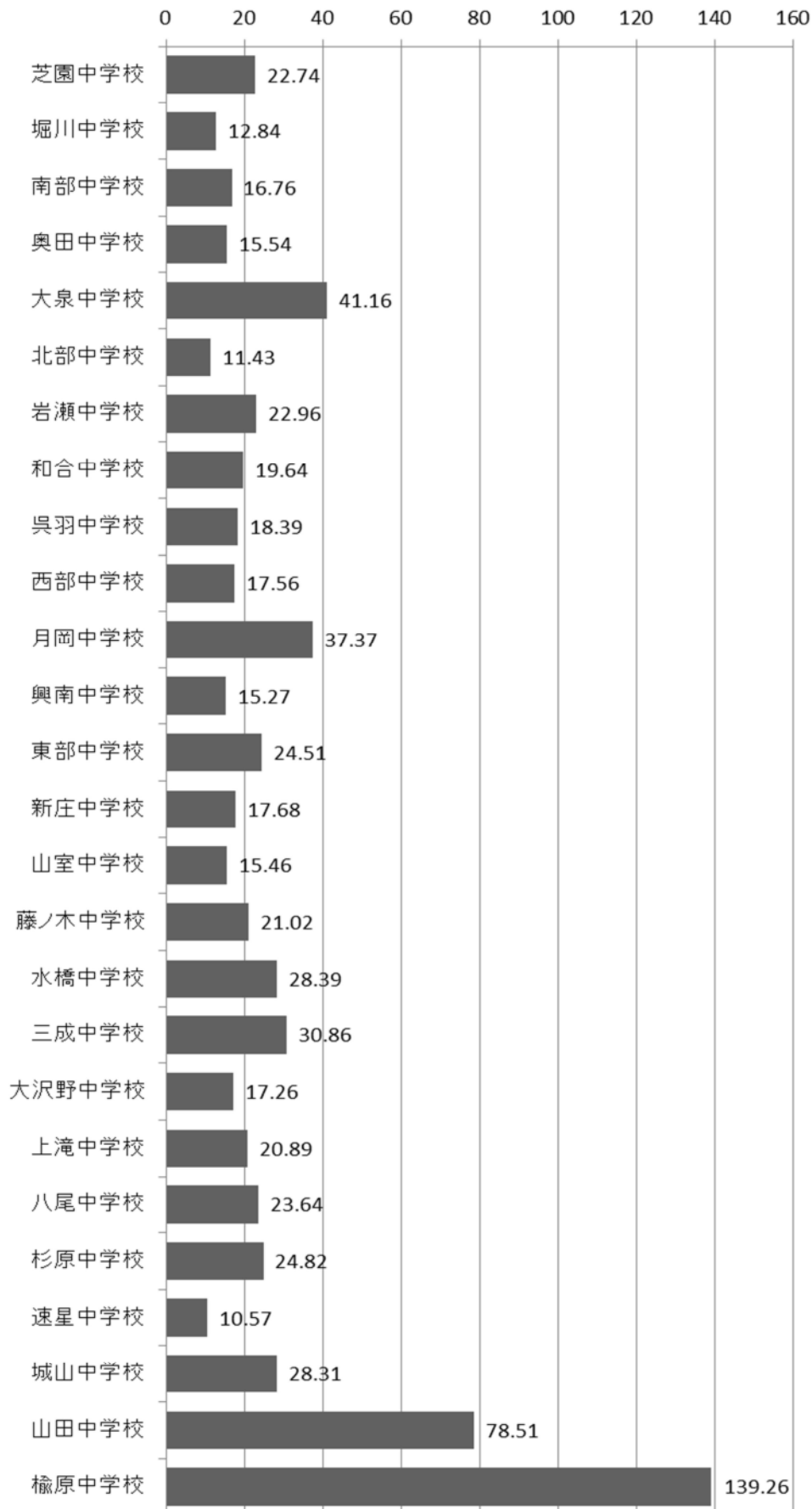
などがそれに続きます。

中学校では、楡原中学校が大きく、山田中学校、大泉中学校、月岡中学校と続きます。



生徒1人当たり面積

(㎡/人)

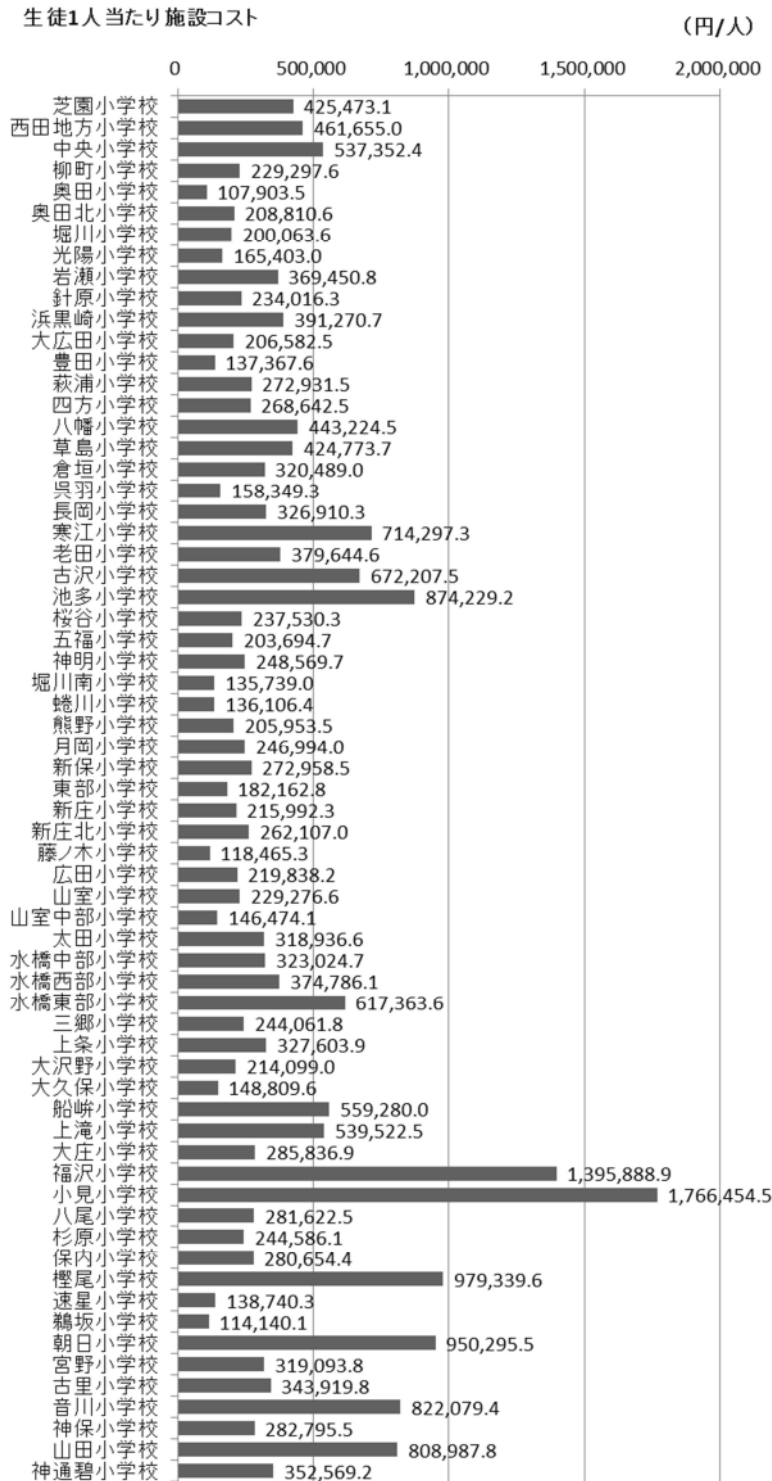


③コスト状況

生徒1人当たり施設コストは小学校で平均 378,872.3 円、中学校で 300,731.5 円となっています。

小学校では、小見小学校、福沢小学校、檜尾小学校、朝日小学校などが高くなっています。

中学校では、旧町村地域では山田中学校、楡原中学校、富山地域では芝園中学校等が高くなっています。



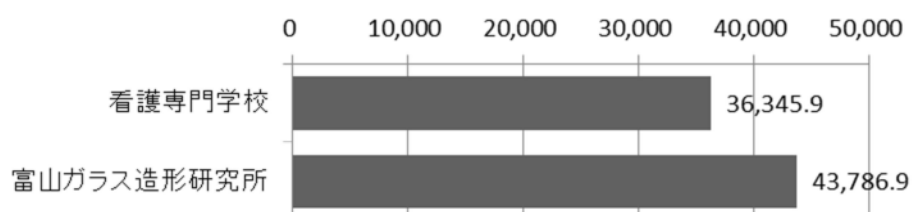
生徒1人当たり施設コスト

(円/人)



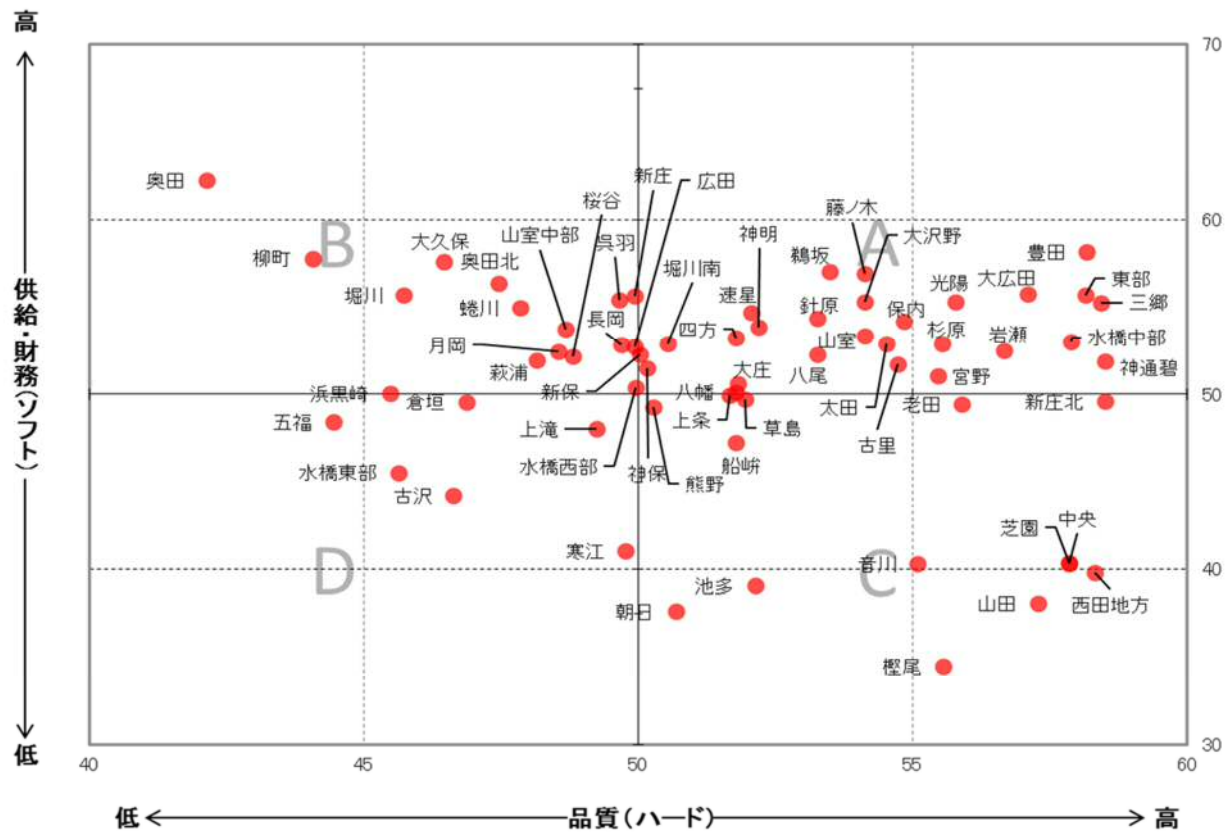
その他の学校については、面積 1 m²当たりの施設コストが看護専門学校は 36,345.9 円、富山ガラス造形研究所は 43,786.9 円となります。

面積当たり施設コスト

(円/m²)

【小学校】

	施設名	ポ-ト フォ-分析	延床 面積	建築年	築 年数	老朽化 度	ハード 偏差値	児童1人 当たり 面積	利用者1人 当たり面積 偏差値	面積当たり 施設コスト	面積当たり 施設コスト 偏差値	児童1人当 たり施設コスト	利用者1人 当たり施設 コスト偏差値	ソフト 偏差値
1	芝園小学校	C	12,207.00	平成 19年度	8	17.0	57.8	19.31	54.9	22,028.3	17.7	425,473.1	48.4	40.3
2	西田地方小学校	C	6,585.00	平成 22年度	5	13.9	58.3	21.04	54.2	21,943.5	18.0	461,655.0	47.2	39.8
3	中央小学校	C	10,806.00	平成 19年度	8	17.0	57.8	26.81	51.8	20,040.1	24.4	537,352.4	44.7	40.3
4	柳町小学校	B	6,253.00	昭和 41年度	49	105.6	44.1	37.22	47.6	6,160.6	70.8	229,297.6	55.0	57.8
5	奥田小学校	B	10,502.00	昭和 49年度	41	118.1	42.1	19.48	54.8	5,538.0	72.9	107,903.5	59.1	62.3
6	奥田北小学校	B	7,871.00	昭和 44年度	46	83.9	47.4	21.92	53.8	9,523.9	59.6	208,810.6	55.7	56.4
7	堀川小学校	B	9,812.00	昭和 43年度	47	95.0	45.7	18.91	55.1	10,582.2	56.0	200,063.6	56.0	55.7
8	光陽小学校	A	8,488.00	平成 13年度	14	30.3	55.8	13.96	57.1	11,847.9	51.8	165,403.0	57.1	55.3
9	岩瀬小学校	A	4,956.00	平成 15年度	12	24.6	56.7	40.62	46.2	9,094.6	61.0	369,450.8	50.3	52.5
10	針原小学校	A	5,111.00	平成 06年度	21	46.5	53.3	20.86	54.3	11,217.8	53.9	234,016.3	54.8	54.3
11	浜黒崎小学校	B	4,312.00	昭和 40年度	50	96.6	45.5	32.42	49.5	12,068.4	51.1	391,270.7	49.6	50.1
12	大広田小学校	A	8,243.00	平成 17年度	10	21.8	57.1	20.03	54.6	10,312.9	56.9	226,582.5	55.8	55.8
13	豊田小学校	A	11,190.00	平成 20年度	7	14.9	58.2	14.38	56.9	9,550.7	59.5	137,367.6	58.1	58.2
14	萩浦小学校	B	6,170.00	昭和 54年度	36	79.5	48.1	21.13	54.2	12,916.7	48.2	272,931.5	53.5	52.0
15	四方小学校	A	4,823.00	昭和 63年度	27	56.1	51.8	23.30	53.3	11,530.0	52.9	268,642.5	53.7	53.3
16	八幡小学校	A	4,323.00	昭和 46年度	44	56.1	51.8	44.11	44.7	10,047.7	57.8	443,224.5	47.8	50.1
17	草島小学校	C	5,076.00	平成 04年度	23	54.9	52.0	37.05	47.6	11,464.5	53.1	424,773.7	48.5	49.7
18	倉垣小学校	D	4,032.00	昭和 43年度	47	87.6	46.9	22.15	53.7	14,466.5	43.0	320,489.0	52.0	49.6
19	呉羽小学校	B	8,314.00	昭和 59年度	31	69.7	49.7	13.26	57.4	11,941.9	51.5	158,349.3	57.4	55.4
20	長岡小学校	B	4,944.00	昭和 57年度	33	69.5	49.7	31.69	49.8	10,315.1	56.9	326,910.3	51.7	52.8
21	寒江小学校	D	3,501.00	昭和 53年度	37	69.0	49.8	47.31	43.4	15,098.0	40.9	714,297.3	38.8	41.0
22	老田小学校	C	4,787.00	平成 24年度	3	29.6	55.9	28.84	51.0	13,165.0	47.4	379,644.6	50.0	49.5
23	古沢小学校	D	3,257.00	昭和 40年度	50	89.1	46.6	61.45	37.6	10,938.6	54.8	672,207.5	40.2	44.2
24	池多小学校	C	3,361.00	昭和 56年度	34	53.8	52.1	70.02	34.1	12,485.3	49.7	874,229.2	33.4	39.1
25	桜谷小学校	B	4,645.00	昭和 49年度	41	75.1	48.8	17.59	55.6	13,500.1	46.3	237,530.3	54.7	52.2
26	五福小学校	D	4,715.00	昭和 45年度	45	103.2	44.4	11.33	58.2	17,971.8	31.3	203,694.7	55.9	48.4
27	神明小学校	A	5,318.00	昭和 61年度	29	53.4	52.2	21.80	53.9	11,404.2	53.3	248,569.7	54.4	53.8
28	堀川南小学校	A	7,219.00	昭和 52年度	38	64.0	50.5	9.10	59.1	14,910.8	41.5	135,739.0	58.1	52.9
29	蟻川小学校	B	7,553.00	昭和 49年度	41	81.4	47.8	10.58	58.5	12,866.4	48.4	136,106.4	58.1	55.0
30	熊野小学校	C	5,683.00	平成 01年度	26	65.8	50.3	12.01	57.9	17,141.7	34.1	205,953.5	55.8	49.2
31	月岡小学校	B	6,393.00	昭和 56年度	34	76.8	48.5	19.03	55.0	12,981.4	48.0	246,994.0	54.4	52.5
32	新保小学校	A	4,711.00	昭和 61年度	29	67.3	50.0	21.71	53.9	12,573.1	49.4	272,958.5	53.5	52.3
33	東部小学校	A	7,112.00	平成 26年度	1	15.1	58.1	16.54	56.0	11,013.8	54.6	182,162.8	56.6	55.7
34	新庄小学校	B	11,060.69	昭和 55年度	35	67.9	49.9	21.27	54.1	10,154.5	57.5	215,992.3	55.4	55.7
35	新庄北小学校	C	10,474.00	平成 21年度	6	12.8	58.5	16.73	56.0	15,665.4	39.0	262,107.0	53.9	49.6
36	藤ノ木小学校	A	10,276.00	平成 25年度	2	40.9	54.1	10.49	58.5	11,297.8	53.6	118,465.3	58.7	57.0
37	広田小学校	B	7,331.00	昭和 62年度	28	67.9	49.9	16.47	56.1	13,344.4	46.8	219,838.2	55.3	52.7
38	山室小学校	A	9,527.00	平成 19年度	8	41.0	54.1	18.43	55.3	12,442.1	49.8	229,276.6	55.0	53.4
39	山室中部小学校	B	7,545.00	昭和 54年度	36	76.0	48.7	10.55	58.5	13,880.6	45.9	146,474.1	57.8	53.7
40	太田小学校	A	6,257.00	平成 25年度	2	38.4	54.5	30.52	50.3	10,449.4	56.5	318,936.6	52.0	52.9
41	水橋中部小学校	A	5,150.00	平成 23年度	4	16.8	57.9	31.79	49.8	10,161.2	57.4	323,024.7	51.9	53.0
42	水橋西部小学校	B	5,347.00	昭和 54年度	36	67.8	50.0	30.91	50.2	12,126.1	50.9	374,786.1	50.1	50.4
43	水橋東部小学校	D	3,124.00	昭和 37年度	53	95.6	45.6	56.80	39.5	10,869.1	55.1	617,363.6	42.0	45.5
44	三郷小学校	A	4,449.00	平成 25年度	2	13.2	58.4	24.99	52.6	9,764.7	58.8	244,061.8	54.5	55.3
45	上条小学校	C	3,640.00	昭和 53年度	37	56.8	51.7	23.64	53.1	13,860.2	45.1	327,603.9	51.7	50.0
46	大沢野小学校	A	11,835.78	平成 11年度	16	40.9	54.1	20.20	54.5	10,600.2	56.0	214,099.0	55.5	55.3
47	大久保小学校	B	6,585.11	昭和 33年度	57	90.3	46.5	15.10	56.6	9,852.7	58.5	148,809.6	57.7	57.6
48	船峯小学校	C	4,174.16	平成 02年度	25	56.0	51.8	55.66	40.0	10,049.0	57.8	559,280.0	44.0	47.3
49	上瀧小学校	D	6,539.00	昭和 56年度	34	72.3	49.2	58.91	38.7	9,158.4	60.8	539,522.5	44.6	48.0
50	大庄小学校	A	6,578.42	昭和 61年度	29	55.8	51.8	20.24	54.5	14,121.5	44.2	285,836.9	53.1	50.6
51	福沢小学校	C	3,217.67	昭和 60年度	30	63.8	50.6	119.17	14.0	11,713.1	52.2	1,395,888.9	16.0	27.4
52	小見小学校	D	3,197.24	昭和 58年度	32	68.1	49.9	145.33	3.3	12,154.9	50.8	1,766,454.5	3.6	19.2
53	八尾小学校	A	7,916.00	平成 05年度	22	46.6	53.3	22.81	53.5	12,345.0	50.1	281,622.5	53.3	52.3
54	杉原小学校	A	8,139.45	平成 09年度	18	31.9	55.5	19.47	54.8	12,560.7	49.4	244,586.1	54.5	52.9
55	保内小学校	A	6,105.13	平成 10年度	17	36.4	54.8	28.13	51.3	9,975.5	58.1	280,654.4	53.3	54.2
56	櫻尾小学校	C	3,038.44	平成 20年度	7	31.8	55.5	57.33	39.3	17,082.8	34.3	979,339.6	29.9	34.5
57	速星小学校	A	10,414.34	昭和 53年度	37	54.3	52.1	10.61	58.5	13,082.3	47.7	138,740.3	58.0	54.7
58	鶴坂小学校	A	8,873.68	平成 01年度	26	45.1	53.5	10.11	58.7	11,293.5	53.6	114,140.1	58.9	57.1
59	朝日小学校	C	3,760.48	昭和 56年度	34	63.1	50.7	85.47	27.8	11,119.1	54.2	950,295.5	30.9	37.6
60	宮野小学校	A	6,367.74	平成 11年度	16	32.3	55.5	24.87	52.6	12,828.4	48.5	319,093.8	52.0	51.0
61	古里小学校	A	6,463.02	平成 20年度	7	37.0	54.7	30.49	50.3	11,281.3	53.7	343,919.8	51.2	51.7
62	音川小学校	C	4,204.54	平成 12年度	15	34.8	55.1	66.74	35.5	12,317.9	50.2	822,079.4	35.2	40.3
63	神保小学校	A	5,660.20	昭和 61年度	29	66.5	50.2	21.44	54.0	13,190.0	47.3	282,795.5	53.2	51.5
64	山田小学校	C	3,976.00	平成 18年度	9	20.7	57.3	48.49	43.0	16,684.4	35.6	808,987.8	35.6	38.1
65	神通碧小学校	A	2,128.29	平成 21年度	6	12.8	58.5	32.74	49.4	10,767.8	55.4	352,569.2	50.9	51.9

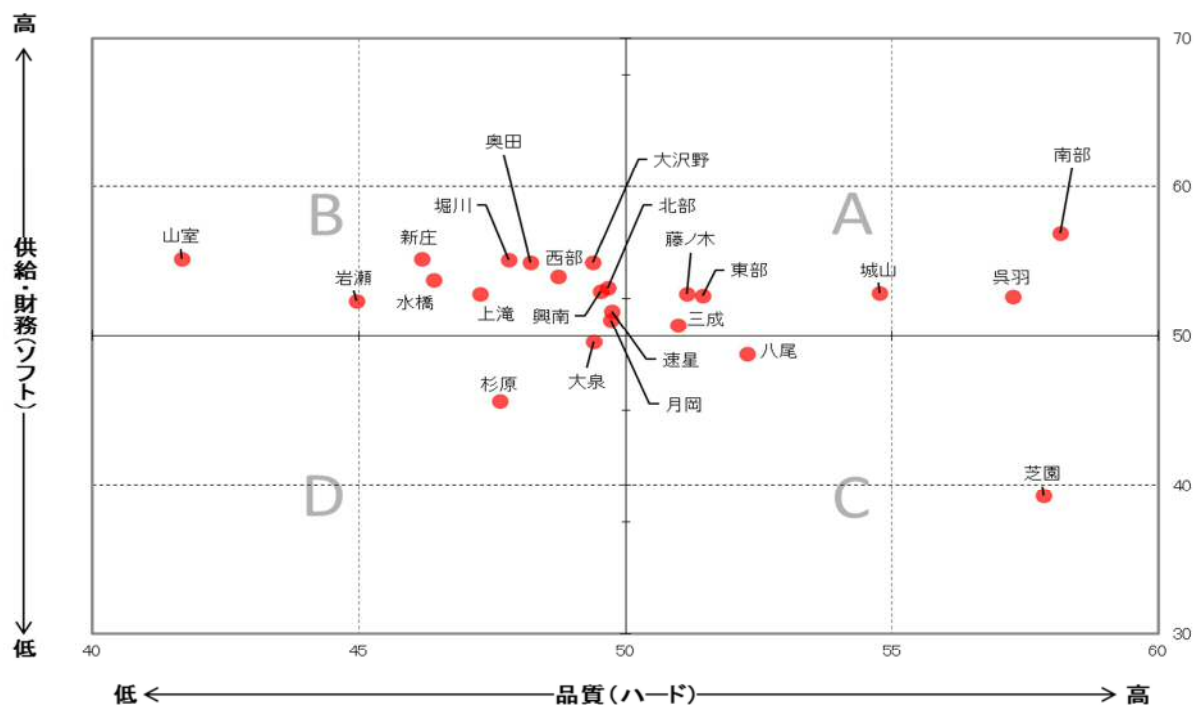


下記については、ソフト偏差値が30以下のため欄外

NO.	施設名	ハード偏差値	ソフト偏差値	分布
51	福沢小学校	50.6	27.4	C
52	小見小学校	49.9	19.2	D

【中学校】

	施設名	ポ-トフォリオ分析	延床面積	建築年	築年数	老朽化度	ハード偏差値	生徒1人当たり面積	生徒1人当たり面積偏差値	面積当たり施設コスト	面積当たり施設コスト偏差値	生徒1人当たり施設コスト	生徒1人当たり施設コスト偏差値	ソフト偏差値
1	芝園中学校	C	8,618.00	平成 19年度	8	17.0	57.8	22.74	52.1	21,174.9	20.5	481,490.8	45.1	39.3
2	堀川中学校	B	12,381.00	昭和 45年度	45	81.5	47.8	12.84	55.9	8,217.7	54.1	105,542.5	55.3	55.1
3	南部中学校	A	8,768.00	平成 26年度	1	15.0	58.2	16.76	54.4	5,703.5	60.6	95,617.6	55.5	56.9
4	奥田中学校	B	11,436.00	昭和 49年度	41	78.9	48.2	15.54	54.9	7,831.4	55.1	121,684.8	54.8	54.9
5	大泉中学校	D	6,257.00	昭和 60年度	30	71.3	49.4	41.16	45.0	8,012.6	54.6	329,835.5	49.2	49.6
6	北部中学校	B	7,877.00	昭和 60年度	30	69.7	49.7	11.43	56.5	10,420.2	48.4	119,129.2	54.9	53.3
7	岩瀬中学校	B	7,989.00	昭和 43年度	47	99.9	45.0	22.96	52.0	8,836.7	52.5	202,862.1	52.6	52.4
8	和合中学校	B	7,503.00	昭和 54年度	36	167.9	34.4	19.64	53.3	7,937.8	54.8	155,908.4	53.9	54.0
9	呉羽中学校	A	12,228.00	平成 20年度	7	20.8	57.3	18.39	53.8	9,469.7	50.8	174,127.8	53.4	52.7
10	西部中学校	B	7,375.00	昭和 54年度	36	75.6	48.7	17.56	54.1	8,362.4	53.7	146,840.5	54.2	54.0
11	月岡中学校	B	6,204.00	昭和 58年度	32	69.3	49.7	37.37	46.4	7,417.8	56.2	277,228.9	50.6	51.1
12	興南中学校	B	5,482.00	昭和 57年度	33	70.5	49.5	15.27	55.0	9,832.7	49.9	150,147.6	54.1	53.0
13	東部中学校	A	7,598.00	昭和 59年度	31	58.2	51.4	24.51	51.4	8,227.0	54.1	201,641.9	52.7	52.7
14	新庄中学校	B	11,827.00	昭和 45年度	45	92.1	46.2	17.68	54.1	7,180.6	56.8	126,943.2	54.7	55.2
15	山室中学校	B	10,372.00	昭和 59年度	31	121.0	41.7	15.46	54.9	7,631.9	55.6	117,970.2	54.9	55.2
16	藤ノ木中学校	A	7,967.00	昭和 62年度	28	60.1	51.2	21.02	52.8	8,796.0	52.6	184,902.4	53.1	52.8
17	水橋中学校	B	7,268.00	昭和 41年度	49	90.6	46.4	28.39	49.9	6,560.8	58.4	186,265.6	53.1	53.8
18	三成中学校	A	5,554.00	昭和 62年度	28	61.2	51.0	30.86	49.0	8,840.7	52.5	272,783.3	50.8	50.7
19	大沢野中学校	B	10,876.51	昭和 57年度	33	71.4	49.4	17.26	54.2	7,465.5	56.0	128,887.3	54.6	55.0
20	上滝中学校	B	6,392.00	昭和 50年度	40	85.0	47.3	20.89	52.8	8,796.8	52.6	183,754.9	53.2	52.9
21	八尾中学校	C	8,937.00	平成 08年度	19	52.8	52.3	23.64	51.8	12,027.0	44.2	284,351.9	50.4	48.8
22	杉原中学校	D	5,486.00	昭和 52年度	38	82.6	47.7	24.82	51.3	14,714.7	37.3	365,271.5	48.3	45.6
23	速星中学校	B	9,989.38	昭和 51年度	39	69.2	49.7	10.57	56.8	12,266.5	43.6	129,666.7	54.6	51.7
24	城山中学校	A	8,069.30	平成 19年度	8	36.8	54.8	28.31	50.0	7,381.3	56.2	208,989.5	52.5	52.9
25	山田中学校	C	2,512.22	平成 18年度	9	20.1	57.4	78.51	30.5	21,872.3	18.7	1,717,125.0	11.8	20.3
26	楡原中学校	D	5,430.95	昭和 56年度	34	72.0	49.3	139.26	6.9	9,694.8	50.3	1,350,051.3	21.7	26.3



下記については、ハード偏差値が40以下のため欄外

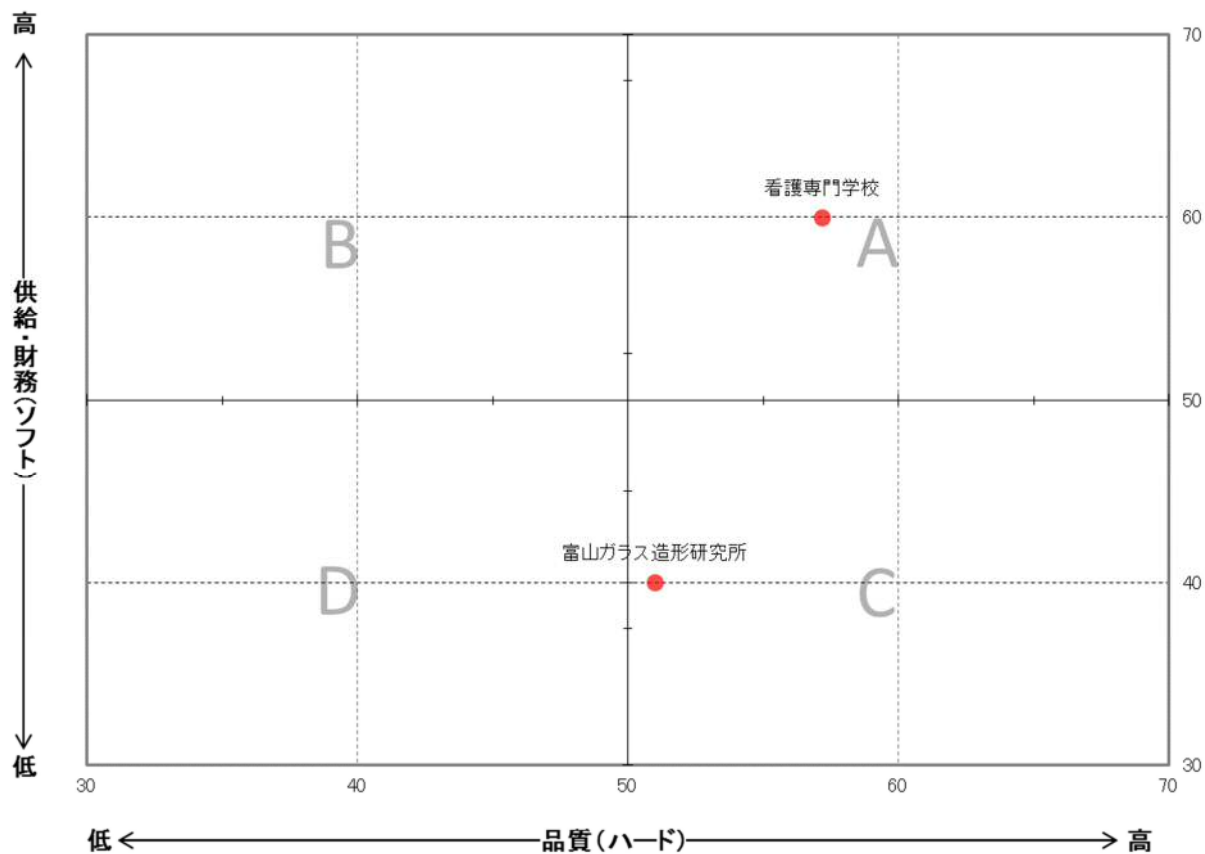
NO.	施設名	ハード偏差値	ソフト偏差値	分布
8	和合中学校	34.4	54.0	B

下記については、ソフト偏差値が30以下のため欄外

NO.	施設名	ハード偏差値	ソフト偏差値	分布
25	山田中学校	57.4	20.3	C
26	楡原中学校	49.3	26.3	D

【その他学校】

	施設名	ポート フォリオ 分析	延床 面積	建築年	築 年数	老朽化 度	ハード 偏差値	面積当たり 施設コスト	面積当たり 施設コスト 偏差値	ソフト 偏差値
1	看護専門学校	A	2,980.03	平成 17年度	10	21.3	57.2	36,345.9	60.0	60.0
2	富山ガラス造形研究所	C	2,724.74	平成 03年度	24	61.0	51.0	43,786.9	40.0	40.0



4-10 その他教育施設

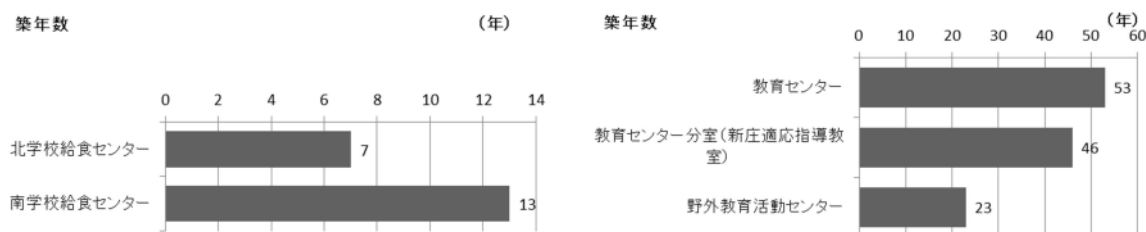
(1) 概要

- ・その他教育施設は、給食センターが2施設、教育センター、野外教育活動センターです。
- ・給食センターは、19校の中学校と1校の小学校へ調理・配食を行っています。
- ・教育センターは、研修、調査研究、教育相談、視聴覚事業を行っています。
- ・野外教育活動センターは、自然環境の中での集団生活を通じて、心身ともに調和のとれた健全な少年の育成を図るため、平成4年に設置されました。

(2) 施設の現状と課題

①老朽化状況

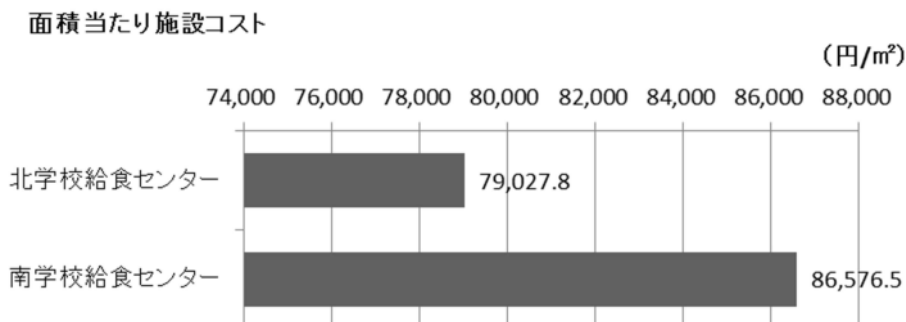
給食センター2施設の築年数は、7年と13年であり、比較的新しい施設です。その他教育施設は教育センター、教育センター分室（新庄適応指導教室）は、ともに築30年を超えており、老朽化が進んでいます。野外教育活動センターは築23年となっています。



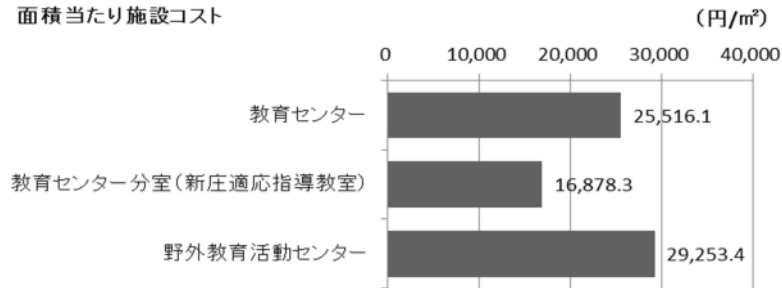
②コスト状況

給食センターの面積1㎡あたり施設コストは北学校給食センターが79,027.8円、南学校給食センターが86,576.5円です。

その他教育施設の面積1㎡あたり施設コストは平均23,882.6円です。

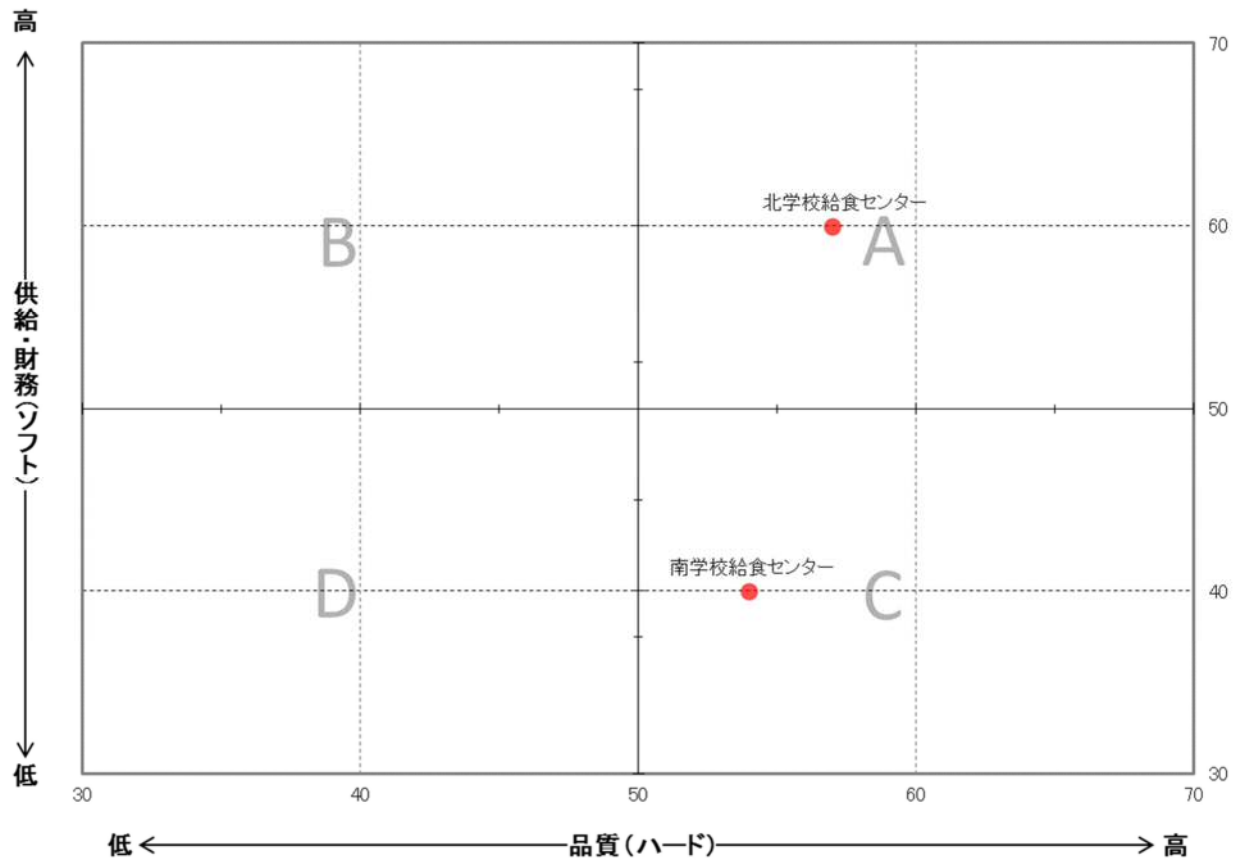


面積当たり施設コスト



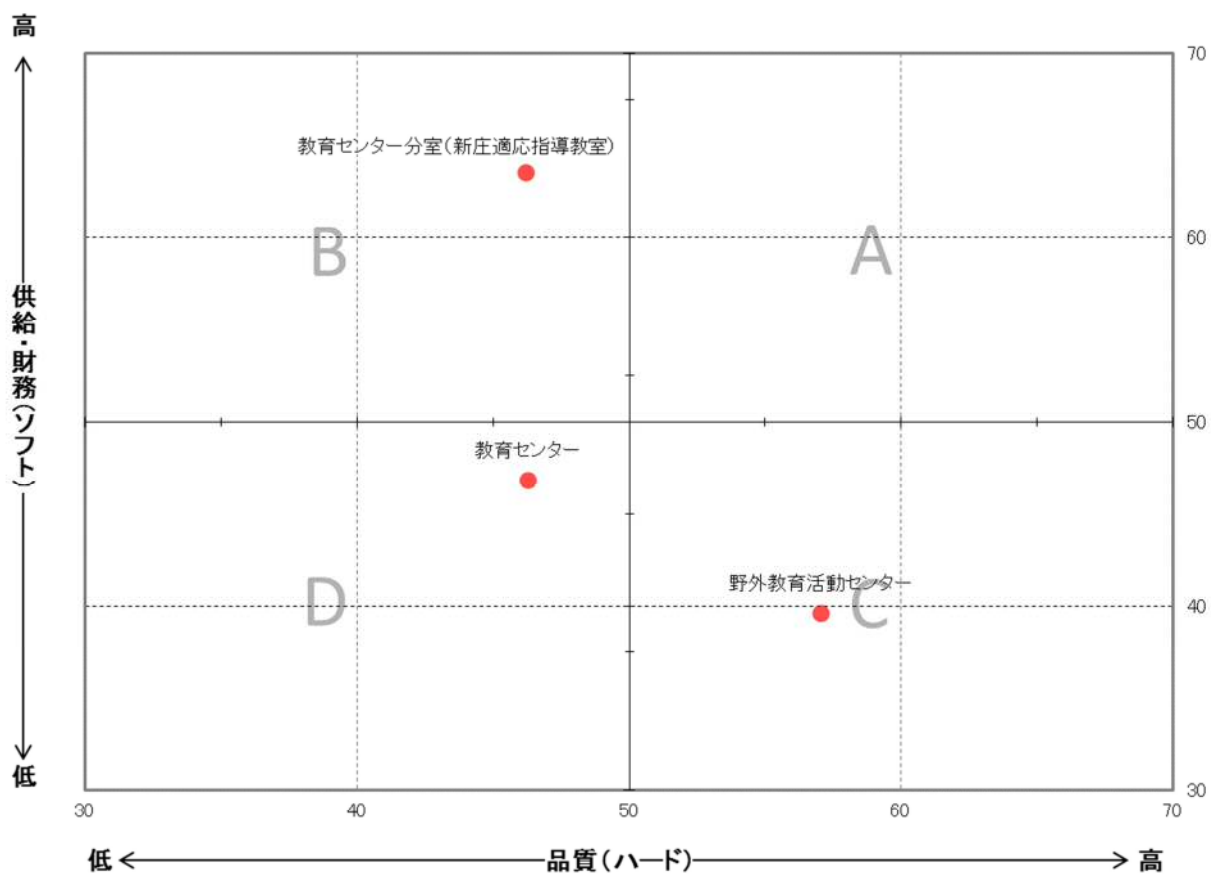
【給食センター】

	施設名	ポ-ト フォ-カ 分析	延床 面積	建築年	築 年数	老朽化 度	ハード 偏差値	面積当たり 施設コスト	面積当たり 施設コスト 偏差値	ソフト 偏差値
1	北学校給食センター	A	2,840.38	平成 20年度	7	22.6	57.0	79,027.8	60.0	60.0
2	南学校給食センター	C	2,503.96	平成 14年度	13	41.9	54.0	86,576.5	40.0	40.0



【その他教育施設】

	施設名	ポータル フォロ 分析	延床 面積	建築年	築 年数	老朽化 度	ハード 偏差値	面積当たり 施設コスト	面積当たり 施設コスト 偏差値	ソフト 偏差値
1	教育センター	D	4,048.00	昭和 37年度	53	91.4	46.3	25,516.1	46.8	46.8
2	教育センター分室(新庄適応 指導教室)	B	570.85	昭和 44年度	46	92.0	46.2	16,878.3	63.5	63.5
3	野外教育活動センター	C	3,641.08	平成 4年度	23	22.3	57.0	29,253.4	39.6	39.6



4-11 幼保・こども園

(1) 概要

- ・ 保育所が 42 施設、幼稚園が 10 園（西田地方保育所は平成 27 年 7 月建替移転。上滝幼稚園は平成 28 年 3 月廃止。豊田保育所は平成 28 年 7 月建替移転。福島保育所は平成 29 年 7 月建替移転。）、認定こども園が 1 園整備されています。
- ・ 市の直営以外にも保育所、認定こども園など民間で 57 の保育施設が存在します。

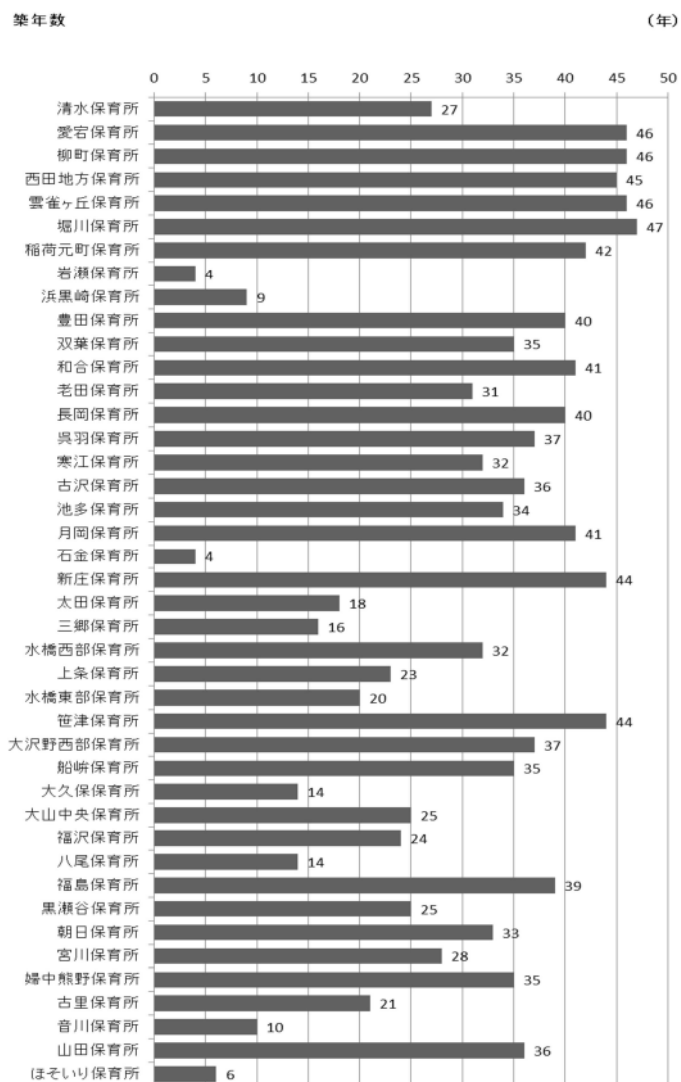
(2) 施設の現状と課題

① 老朽化状況

認定こども園の築年数は 4 年であり、新しい施設です。

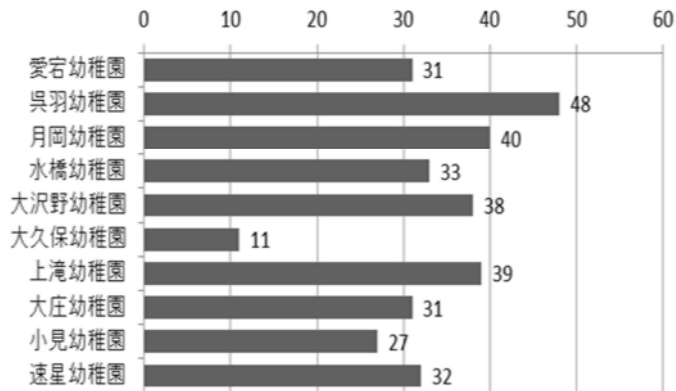
保育所の築年数は平均 30.0 年で、建替されたものを除きますと、築 30 年以上の施設が 24 施設と半数を超えており、施設の老朽化が進行しています。

幼稚園の築年数の平均は 33 年、そのうち廃止された施設を除くと築 30 年以上の施設が 7 施設（愛宕幼稚園、呉羽幼稚園、月岡幼稚園、水橋幼稚園、大沢野幼稚園、大庄幼稚園、速星幼稚園）となっています。



築年数

(年)



【築 30 年以上施設一覧】

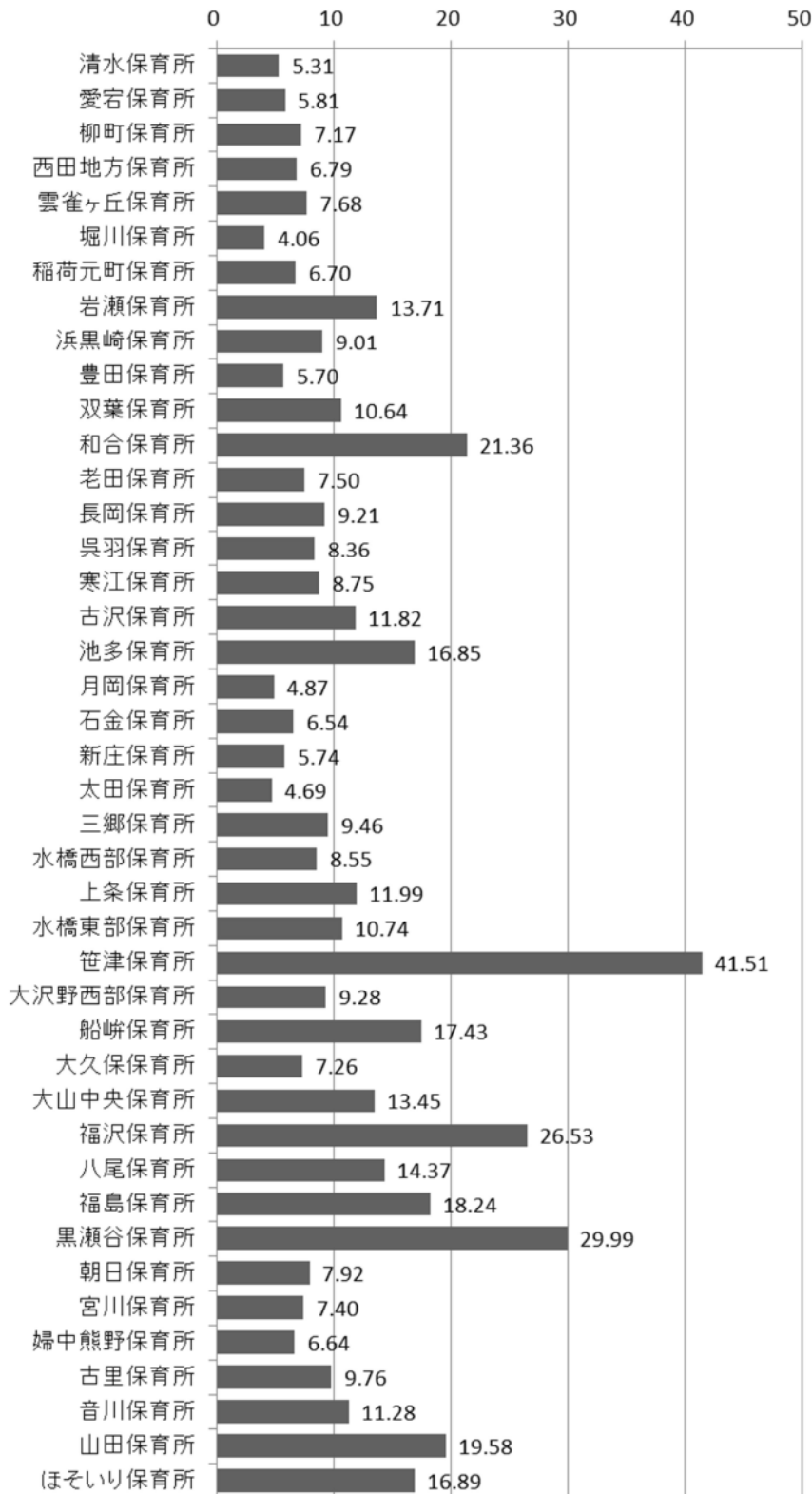
	施設名	築年数
1	堀川保育所	47
2	愛宕保育所	46
3	柳町保育所	46
4	雲雀ヶ丘保育所	46
5	西田地方保育所	45
6	新庄保育所	44
7	笹津保育所	44
8	稻荷元町保育所	42
9	和合保育所	41
10	月岡保育所	41
11	長岡保育所	40
12	福島保育所	39
13	呉羽保育所	37
14	大沢野西部保育所	37
15	古沢保育所	36
16	山田保育所	36
17	双葉保育所	35
18	船嶺保育所	35
19	婦中熊野保育所	35
20	池多保育所	34
21	朝日保育所	33
22	寒江保育所	32
23	水橋西部保育所	32
24	老田保育所	31

②利用状況

利用者1人当たり面積は、保育所で平均 11.58 m²、幼稚園で平均 36.97 m²です。
 保育所では、笹津保育所、黒瀬谷保育所などの面積が大きくなっています。
 幼稚園は小見幼稚園などの面積が大きくなっています。

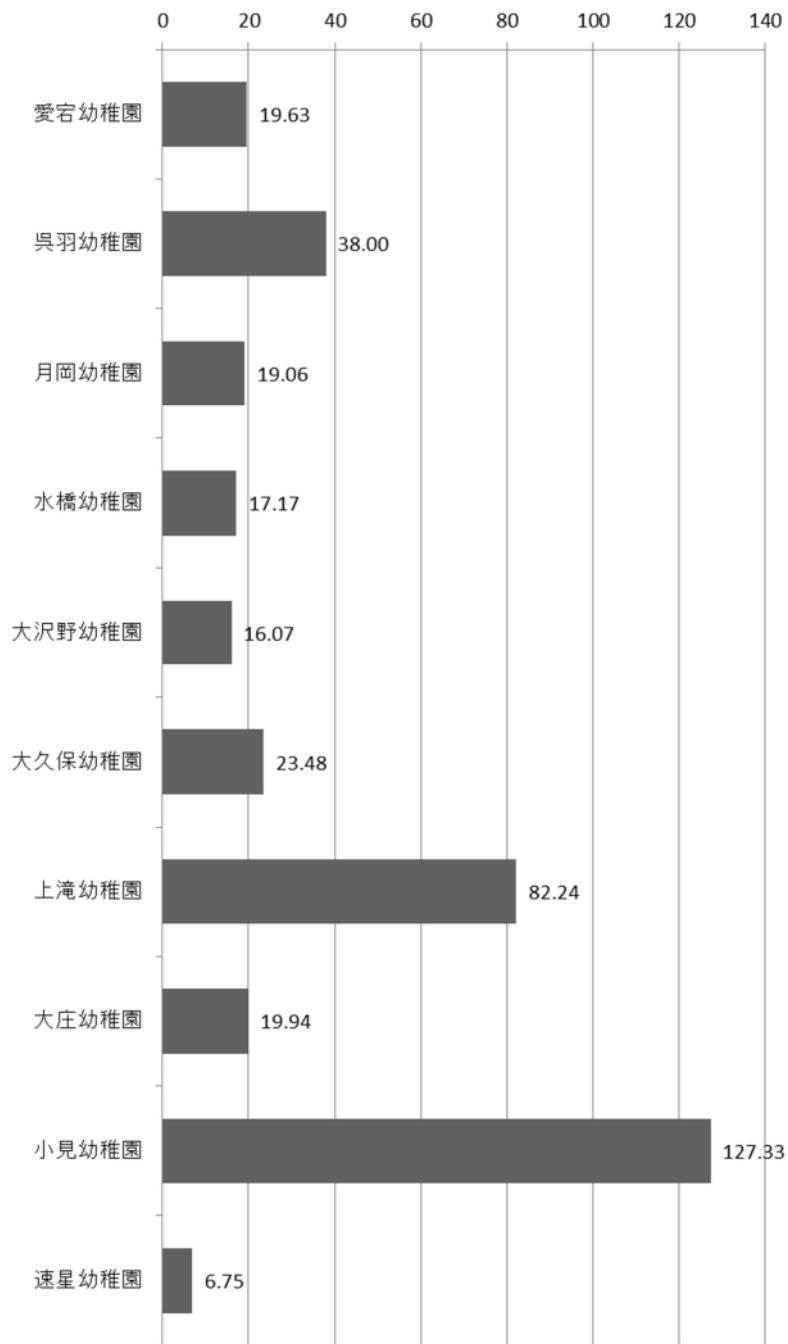
利用者1人当たり面積

(m²/人)



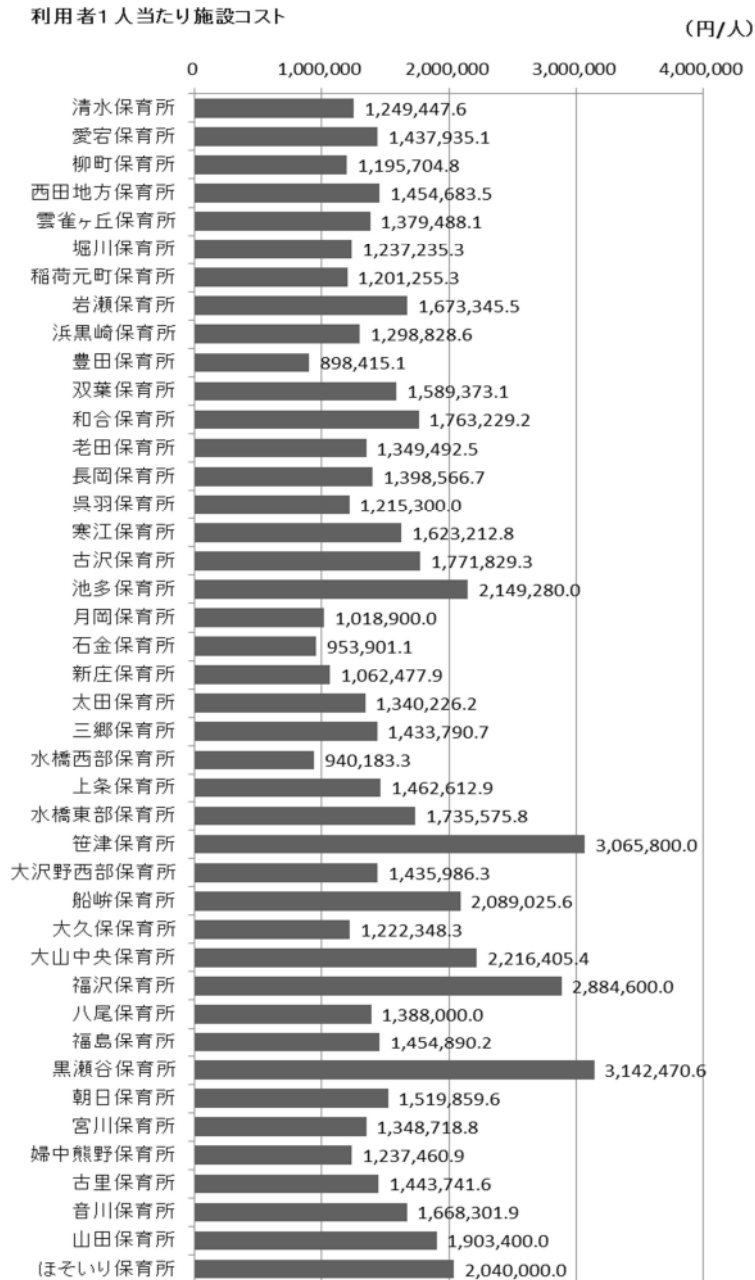
利用者1人当たり面積

(㎡/人)



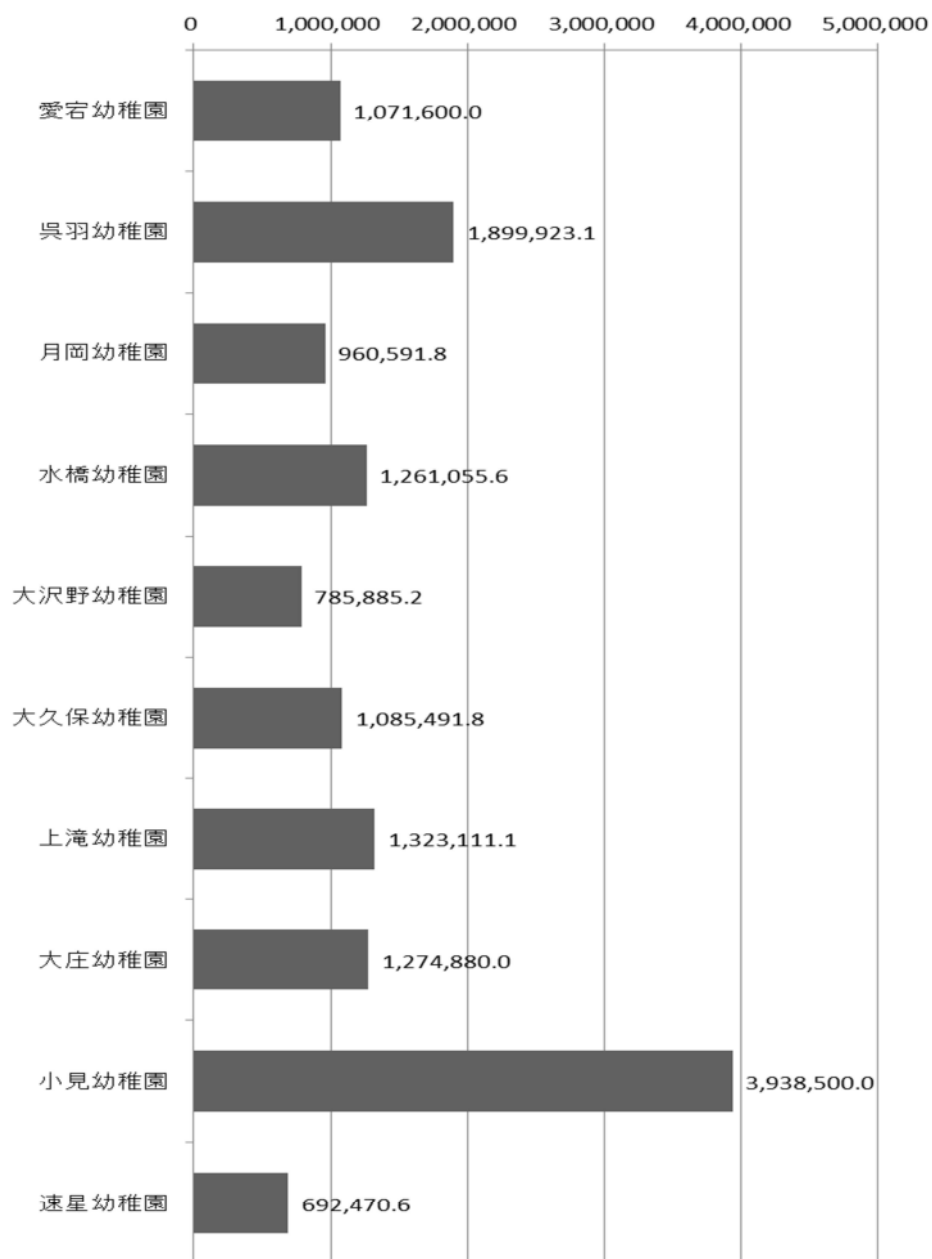
③コスト状況

利用者1人当たり施設コストは、保育所で平均 1,568,935.7 円、幼稚園で平均 1,429,350.9 円ですが、施設間での差が著しいです。保育所は笹津保育所、黒瀬谷保育所、幼稚園は小見幼稚園が高くなっています。



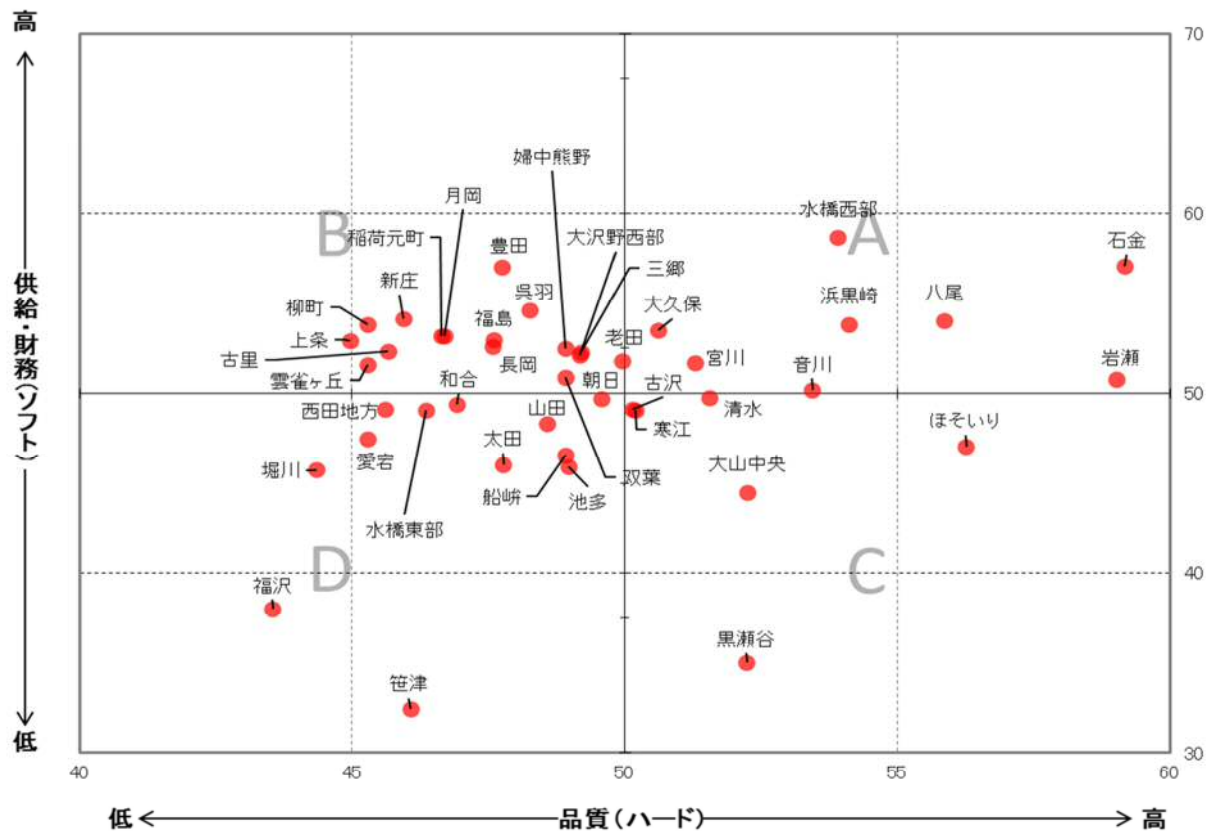
利用者1人当たり施設コスト

(円/人)



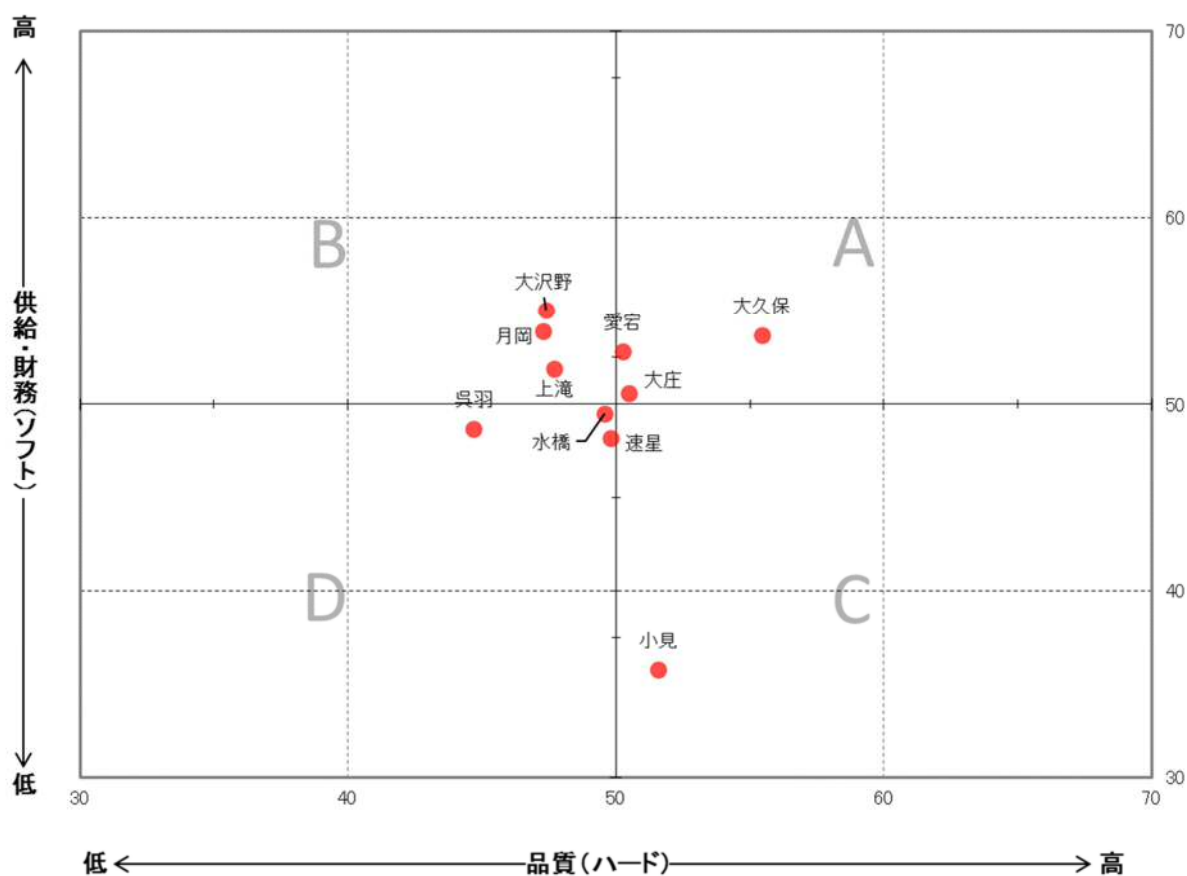
【保育所】

	施設名	ポ-ト フォ-カ 分析	延床 面積	建築年	築 年数	老朽化 度	ハード 偏差値	利用者1人 当たり面積	利用者1人 当たり面積 偏差値	面積当たり 施設コスト	面積当たり 施設コスト 偏差値	利用者 1人当たり 施設コスト	利用者1人当 たり施設コス ト偏差値	ソフト 偏差値
1	清水保育所	C	557.56	昭和 63年度	27	57.5	51.5	5.31	58.5	235,296.6	34.5	1,249,447.6	56.2	49.7
2	愛宕保育所	D	447.53	昭和 44年度	46	97.9	45.3	5.81	57.8	247,404.6	32.1	1,437,935.1	52.6	47.5
3	柳町保育所	B	752.93	昭和 44年度	46	97.9	45.3	7.17	56.0	166,747.2	48.3	1,195,704.8	57.3	53.8
4	西田地方保育所	D	943.45	昭和 45年度	45	95.7	45.6	6.79	56.5	214,320.8	38.7	1,454,683.5	52.2	49.1
5	雲雀ヶ丘保育所	B	645.49	昭和 44年度	46	97.9	45.3	7.68	55.3	179,517.9	45.7	1,379,488.1	53.7	51.6
6	堀川保育所	D	483.59	昭和 43年度	47	103.9	44.3	4.06	60.1	304,454.2	20.7	1,237,235.3	56.5	45.8
7	稲荷元町保育所	B	629.66	昭和 48年度	42	89.1	46.6	6.70	56.6	179,331.7	45.7	1,201,255.3	57.2	53.2
8	岩瀬保育所	A	754.00	平成 23年度	4	9.5	59.0	13.71	47.1	122,061.0	57.2	1,673,345.5	48.0	50.8
9	浜黒崎保育所	A	630.40	平成 18年度	9	41.0	54.1	9.01	53.5	144,222.7	52.8	1,298,828.6	55.3	53.8
10	豊田保育所	B	906.36	昭和 50年度	40	81.9	47.8	5.70	57.9	157,606.2	50.1	898,415.1	63.1	57.0
11	双葉保育所	B	712.96	昭和 55年度	35	74.5	48.9	10.64	51.3	149,360.4	51.8	1,589,373.1	49.6	50.9
12	日和保育所	D	1025.22	昭和 49年度	41	87.3	46.9	21.36	36.8	82,553.0	65.1	1,763,229.2	46.2	49.4
13	老田保育所	B	502.73	昭和 59年度	31	67.8	49.9	7.50	55.5	179,850.0	45.6	1,349,492.5	54.3	51.8
14	長岡保育所	B	552.53	昭和 50年度	40	83.1	47.6	9.21	53.2	151,872.3	51.2	1,398,566.7	53.3	52.6
15	呉羽保育所	B	1086.97	昭和 53年度	37	78.7	48.3	8.36	54.3	145,348.1	52.6	1,215,300.0	56.9	54.6
16	寒江保育所	C	411.38	昭和 58年度	32	66.2	50.2	8.75	53.8	185,451.4	44.5	1,623,212.8	48.9	49.1
17	古沢保育所	C	484.65	昭和 54年度	36	66.7	50.1	11.82	49.7	149,891.7	51.6	1,771,829.3	46.0	49.1
18	池多保育所	D	421.32	昭和 56年度	34	74.1	49.0	16.85	42.9	127,532.5	56.1	2,149,280.0	38.7	45.9
19	月岡保育所	B	632.97	昭和 49年度	41	88.8	46.7	4.87	59.1	209,262.7	39.7	1,018,900.0	60.8	53.2
20	石金保育所	A	1786.01	平成 23年度	4	8.5	59.2	6.54	56.8	145,808.3	52.5	953,901.1	62.0	57.1
21	新庄保育所	B	780.63	昭和 46年度	44	93.6	45.9	5.74	57.9	185,103.1	44.6	1,062,477.9	59.9	54.1
22	太田保育所	D	393.63	平成 09年度	18	81.8	47.8	4.69	59.3	286,002.1	24.4	1,340,226.2	54.5	46.0
23	三郷保育所	B	406.64	平成 11年度	16	72.7	49.2	9.46	52.9	151,615.7	51.3	1,433,790.7	52.6	52.3
24	水橋西部保育所	A	513.06	昭和 58年度	32	42.3	53.9	8.55	54.1	109,950.1	59.7	940,183.3	62.3	58.7
25	上条保育所	B	371.54	平成 04年度	23	99.9	45.0	11.99	49.5	122,035.3	57.2	1,462,612.9	52.1	52.9
26	水橋東部保育所	D	354.47	平成 07年度	20	90.9	46.4	10.74	51.1	161,576.4	49.3	1,735,575.8	46.7	49.1
27	笹津保育所	D	830.18	昭和 46年度	44	92.8	46.1	41.51	9.7	73,858.7	66.9	3,065,800.0	20.7	32.4
28	大沢野西部保育所	B	677.23	昭和 53年度	37	72.7	49.2	9.28	53.1	154,787.9	50.7	1,435,986.3	52.6	52.1
29	船峠保育所	D	679.80	昭和 55年度	35	74.5	48.9	17.43	42.1	119,847.0	57.7	2,089,025.6	39.8	46.5
30	大久保保育所	A	1292.99	平成 13年度	14	63.6	50.6	7.26	55.8	168,275.1	48.0	1,222,348.3	56.8	53.5
31	大山中央保育所	C	497.79	平成 02年度	25	53.0	52.2	13.45	47.5	164,742.2	48.7	2,216,405.4	37.3	44.5
32	福沢保育所	D	265.28	平成 03年度	24	109.1	43.5	26.53	29.9	108,737.9	59.9	2,884,600.0	24.3	38.0
33	八尾保育所	A	1322.09	平成 13年度	14	29.8	55.9	14.37	46.2	96,586.5	62.3	1,388,000.0	53.5	54.0
34	福島保育所	B	1495.97	昭和 51年度	39	83.0	47.6	18.24	41.0	79,748.3	65.7	1,454,890.2	52.2	53.0
35	黒瀬谷保育所	C	509.82	平成 02年度	25	53.2	52.2	29.99	25.2	104,786.0	60.7	3,142,470.6	19.2	35.0
36	朝日保育所	D	451.17	昭和 57年度	33	70.2	49.6	7.92	54.9	192,016.3	43.2	1,519,859.6	51.0	49.7
37	宮川保育所	A	473.44	昭和 62年度	28	59.2	51.3	7.40	55.6	182,320.9	45.1	1,348,718.8	54.3	51.7
38	婦中熊野保育所	B	849.57	昭和 55年度	35	74.5	48.9	6.64	56.7	186,441.4	44.3	1,237,460.9	56.5	52.5
39	古里保育所	B	869.03	平成 06年度	21	95.4	45.7	9.76	52.5	147,858.0	52.1	1,443,741.6	52.4	52.3
40	音川保育所	A	598.00	平成 17年度	10	45.5	53.4	11.28	50.4	147,859.5	52.1	1,668,301.9	48.1	50.2
41	山田保育所	D	783.10	昭和 54年度	36	76.6	48.6	19.58	39.2	97,223.9	62.2	1,903,400.0	43.5	48.3
42	ほそい保育所	C	675.41	平成 21年度	6	27.3	56.3	16.89	42.9	120,815.5	57.5	2,040,000.0	40.8	47.0



【幼稚園】

	施設名	ポートフォリオ分析	延床面積	建築年	築年数	老朽化度	ハード偏差値	利用者1人当たり面積	利用者1人当たり面積偏差値	面積当たり施設コスト	面積当たり施設コスト偏差値	利用者1人当たり施設コスト	利用者1人当たり施設コスト偏差値	ソフト偏差値
1	愛宕幼稚園	A	687.00	昭和59年度	31	66.0	50.2	19.63	54.8	54,593.9	49.6	1,071,600.0	54.0	52.8
2	呉羽幼稚園	D	494.00	昭和42年度	48	101.8	44.7	38.00	49.7	49,998.0	51.7	1,899,923.1	44.7	48.7
3	月岡幼稚園	B	934.00	昭和50年度	40	85.1	47.3	19.06	55.0	50,395.1	51.5	960,591.8	55.2	53.9
4	水橋幼稚園	D	618.00	昭和57年度	33	70.2	49.6	17.17	55.5	73,459.5	41.1	1,261,055.6	51.9	49.5
5	大沢野幼稚園	B	980.28	昭和52年度	38	84.3	47.4	16.07	55.8	48,903.4	52.2	785,885.2	57.2	55.0
6	大久保幼稚園	A	1,432.09	平成16年度	11	32.4	55.5	23.48	53.7	46,236.6	53.4	1,085,491.8	53.8	53.6
7	上滝幼稚園	施設廃止済												
8	大庄幼稚園	A	498.58	昭和59年度	31	64.3	50.5	19.94	54.7	63,925.5	45.4	1,274,880.0	51.7	50.6
9	小見幼稚園	C	509.33	昭和63年度	27	57.5	51.6	127.33	25.0	30,930.8	60.3	3,938,500.0	22.0	35.7
10	速星幼稚園	D	573.85	昭和58年度	32	68.8	49.8	6.75	58.4	102,570.4	28.0	692,470.6	58.2	48.2



【認定こども園】

	施設名	ポートフォリオ分析	延床面積	建築年	築年数	老朽化度	ハード偏差値	利用者1人当たり面積	利用者1人当たり面積偏差値	面積当たり施設コスト	面積当たり施設コスト偏差値	利用者1人当たり施設コスト	利用者1人当たり施設コスト偏差値	ソフト偏差値
1	認定こども園	-	1,813.00	平成23年度	4	8.5	59.2	8.84	-	108,352.5	-	958,258.5	-	-

※認定こども園は小分類内に1つしかなく、ソフト偏差値を相対評価できないため、ポートフォリオは掲載していません。

4-12 幼児・児童施設（児童館）

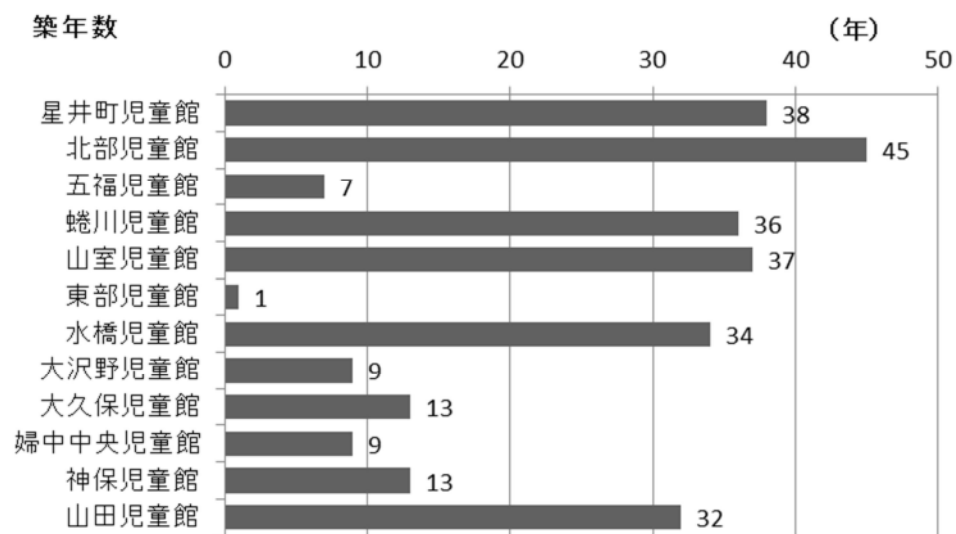
(1) 概要

- ・児童館は、12 施設整備されています。（北部児童館は平成 29 年 3 月建替移転）
- ・単独設置されている児童館もありますが、公民館に併設している児童館も存在します。
- ・児童館は、児童の学習場所・遊び場所を提供するとともに、子育てしている親への相談対応等を行っています。一部の児童館は、地域児童健全育成事業の機能や子育て支援センターの機能を持っています。どの施設も中学生までの児童を中心に一定の利用者が存在します。

(2) 施設の現状と課題

①老朽化状況

児童館の築年数は平均 22.8 年であり、廃止や建替された施設を除きますと、築 30 年以上の施設は、星井町児童館、蜷川児童館、山室児童館、水橋児童館、山田児童館の 5 館となっています。



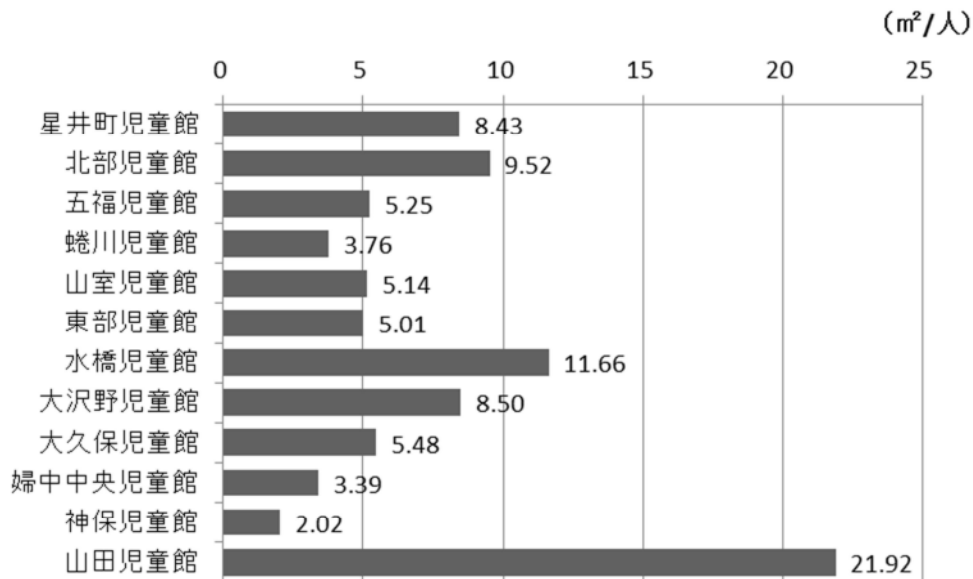
②利用状況

児童館の1日当たり利用人数は平均88.8人ですが、施設ごとに差があります。北部児童館、水橋児童館、山田児童館の利用人数が少ない状況です。

児童館の利用者1人当たり面積は平均7.51㎡です。

山田児童館が大きくなっており、富山地域においては、水橋児童館、北部児童館も大きい傾向にあります。

利用者1人当たり面積

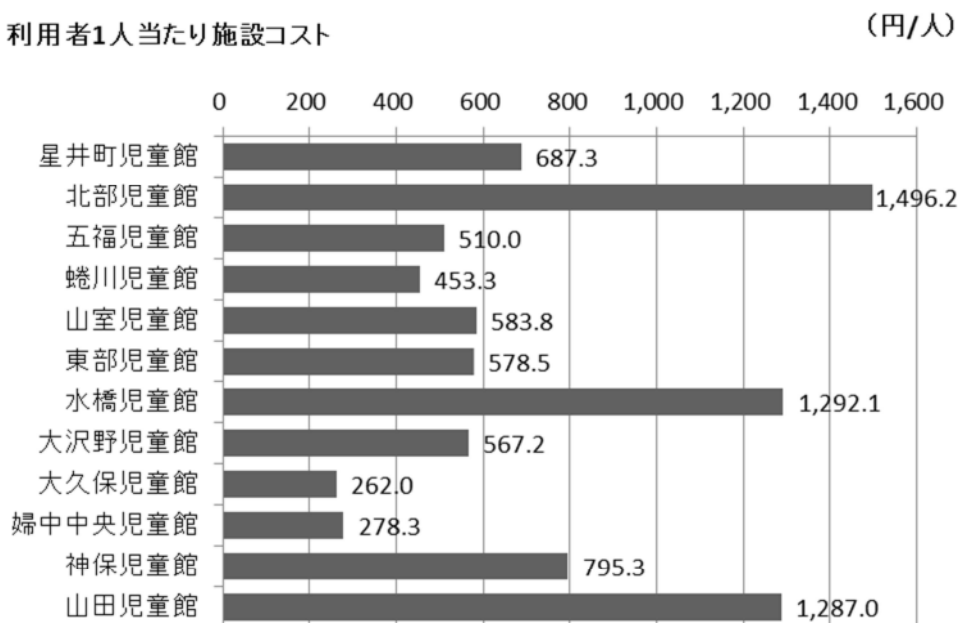


③コスト状況

利用者1人当たり施設コストは平均732.6円です。

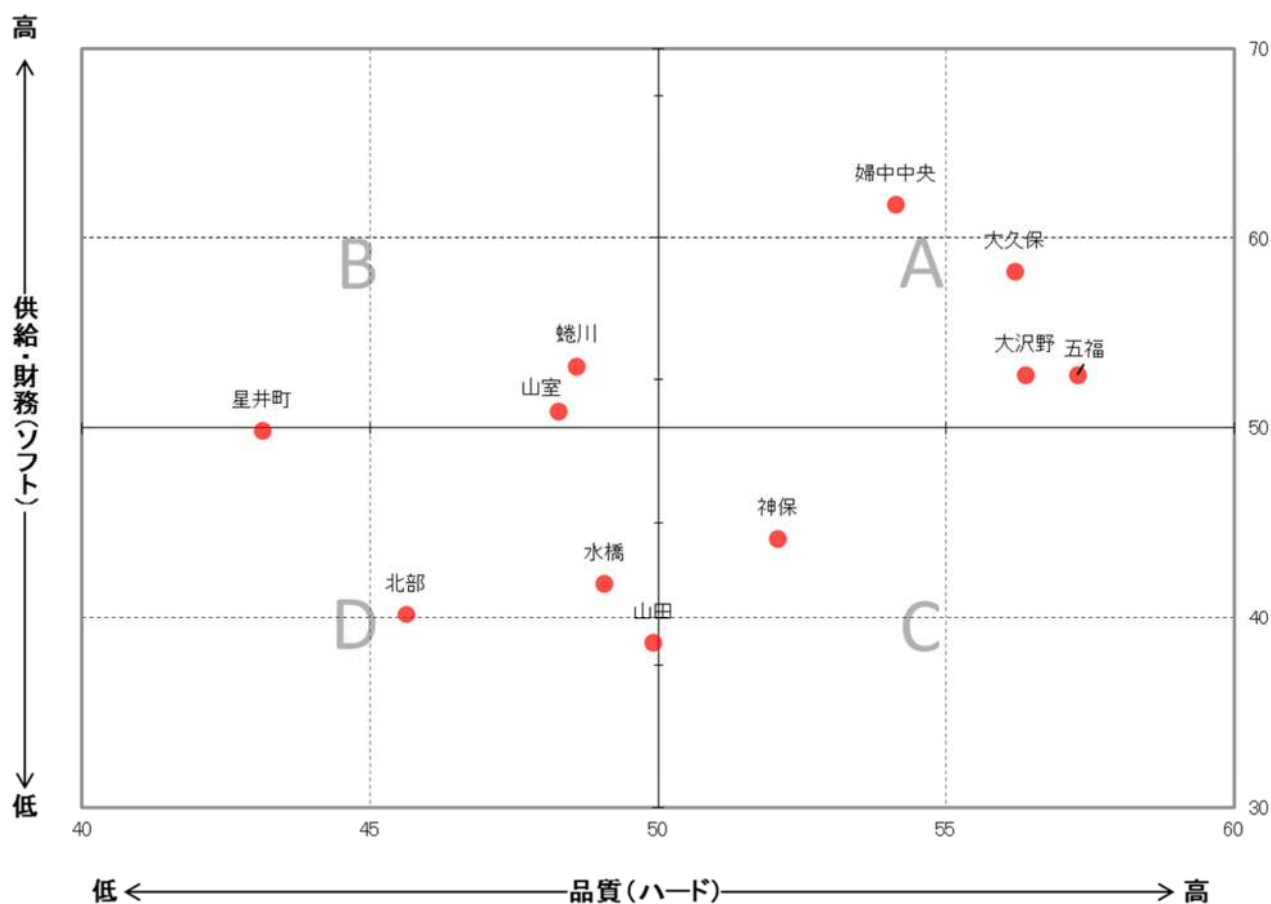
北部児童館、山田児童館、水橋児童館が高くなっています。

利用者1人当たり施設コスト



【児童館】

	施設名	ポータル分析	延床面積	建築年	築年数	老朽化度	ハード偏差値	1日当たりの利用者数	1日当たりの利用者数偏差値	利用者1人当たり面積	利用者1人当たり面積偏差値	面積当たり施設コスト	面積当たり施設コスト偏差値	利用者1人当たり施設コスト	利用者1人当たり施設コスト偏差値	ソフト偏差値
1	星井町児童館	D	549.00	昭和 52年度	38	111.8	43.1	65.2	45.6	8.43	48.2	29,200.4	54.5	687.3	51.2	49.9
2	北部児童館	D	259.20	昭和 45年度	45	95.7	45.6	27.2	38.5	9.52	46.1	56,435.2	45.7	1,496.2	30.5	40.2
3	五福児童館	A	417.24	平成 20年度	7	20.6	57.3	79.4	48.3	5.25	54.4	34,471.8	52.8	510.0	55.7	52.8
4	蛭川児童館	B	305.62	昭和 54年度	36	76.6	48.6	81.3	48.6	3.76	57.3	43,289.1	49.9	453.3	57.1	53.3
5	山室児童館	B	300.91	昭和 53年度	37	78.7	48.3	58.5	44.4	5.14	54.6	40,889.3	50.7	583.8	53.8	50.9
6	東部児童館	A	797.14	平成 26年度	1	2.1	60.2	159.0	63.1	5.01	54.9	41,301.4	50.6	578.5	53.9	55.6
7	水橋児童館	D	322.98	昭和 56年度	34	73.5	49.1	27.7	38.6	11.66	41.9	39,795.0	51.1	1,292.1	35.7	41.8
8	大沢野児童館	A	869.54	平成 18年度	9	26.5	56.4	102.3	52.5	8.50	48.1	23,902.3	56.2	567.2	54.2	52.7
9	大久保児童館	A	739.88	平成 14年度	13	27.7	56.2	135.0	58.6	5.48	54.0	17,109.5	58.4	262.0	62.0	58.2
10	婦中中央児童館	A	718.80	平成 18年度	9	40.9	54.1	212.3	73.0	3.39	58.1	29,426.8	54.4	278.3	61.6	61.8
11	神保児童館	C	164.70	平成 14年度	13	54.2	52.1	81.5	48.6	2.02	60.7	139,738.9	18.8	795.3	48.4	44.1
12	山田児童館	D	781.19	昭和 58年度	32	68.1	49.9	35.6	40.1	21.92	21.8	21,024.3	57.1	1,287.0	35.8	38.7



下記については、ハード偏差値が60以上のため欄外

NO.	施設名	ハード偏差値	ソフト偏差値	分布
6	東部児童館	60.2	55.6	A

4-13 高齢者福祉施設

(1) 概要

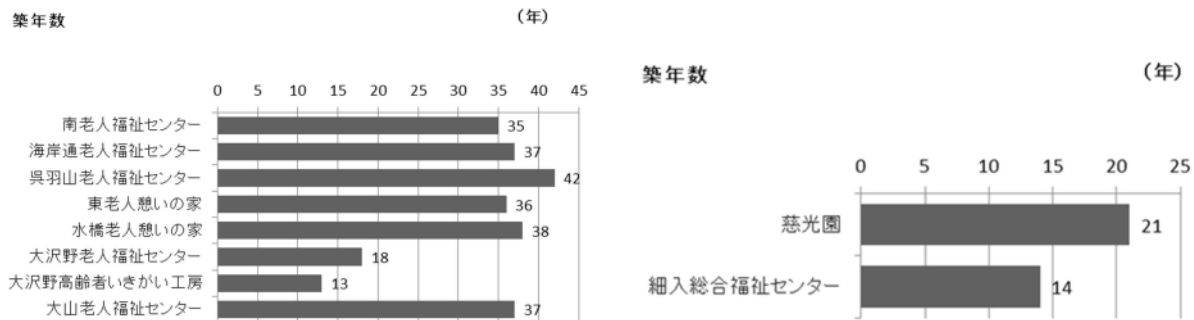
- ・高齢者福祉施設は、高齢者の自立支援や市民の交流を総合的に推進し、市民の福祉及び健康の増進に資する施設で、老人福祉センターが8施設、慈光園、細入総合福祉センターの2施設が整備されています。
- ・老人福祉センターと老人憩いの家は、高齢者を対象に、入浴サービスや、レクリエーションスペースの提供等を行っており、老人憩いの家は、老人福祉センターと比べて小規模な施設となっています。
- ・老人福祉センターと老人憩いの家の利用者は、主に各施設の周辺に居住している住民です。
- ・慈光園は、養護老人ホームであり、母子生活支援施設である和光寮、児童養護施設の愛育園に隣接しています。

(2) 施設の現状と課題

① 老朽化状況

老人福祉センターの築年数は平均32.0年であり、30年以上の施設は南老人福祉センター、海岸通老人福祉センター、呉羽山老人福祉センター、東老人憩いの家、水橋老人憩いの家、大山老人福祉センターの6施設で、施設全体の2/3を占め、老朽化が問題になっています。

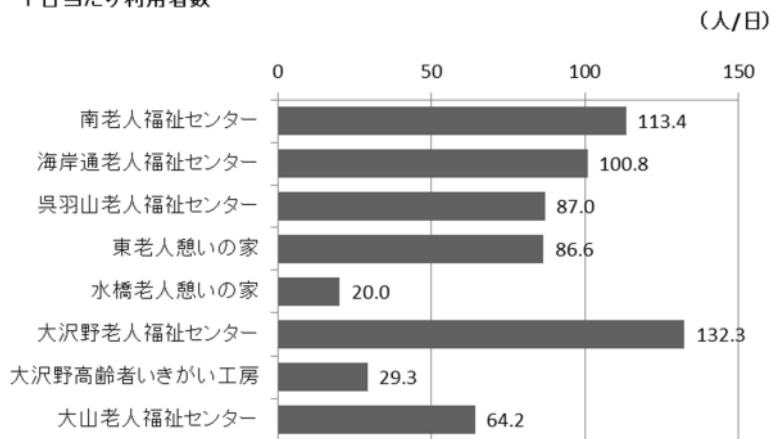
慈光園、細入総合福祉センターの2施設の築年数はそれぞれ21年と14年です。



② 利用状況

老人福祉センターの1日当たり利用者数は、平均79.2人です。施設によって利用者数にばらつきがあります。憩いの家は老人福祉センターと比べ規模が小さい施設ですが、利用者数については、老人福祉センターとほとんど差のないものも存在します。

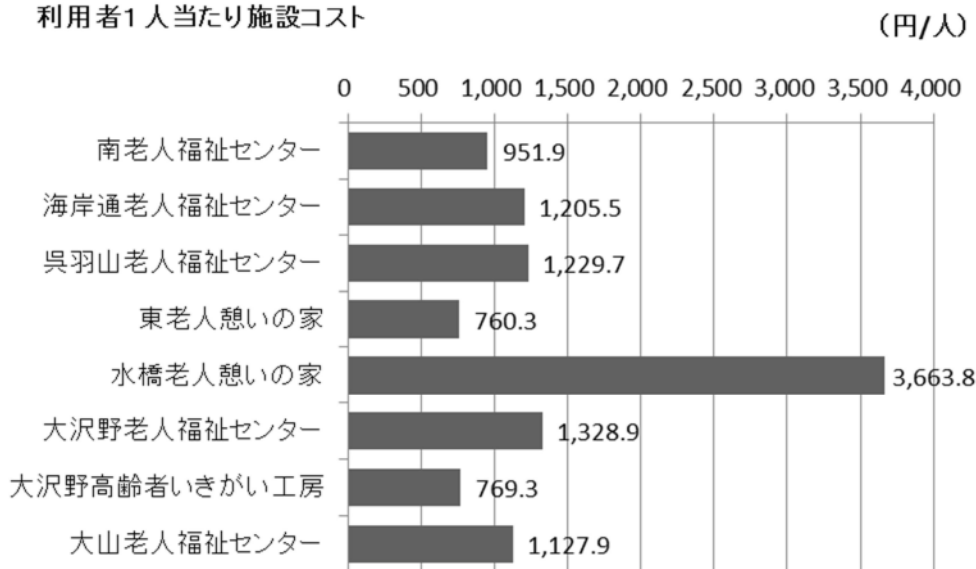
1日当たり利用者数



③コストの状況

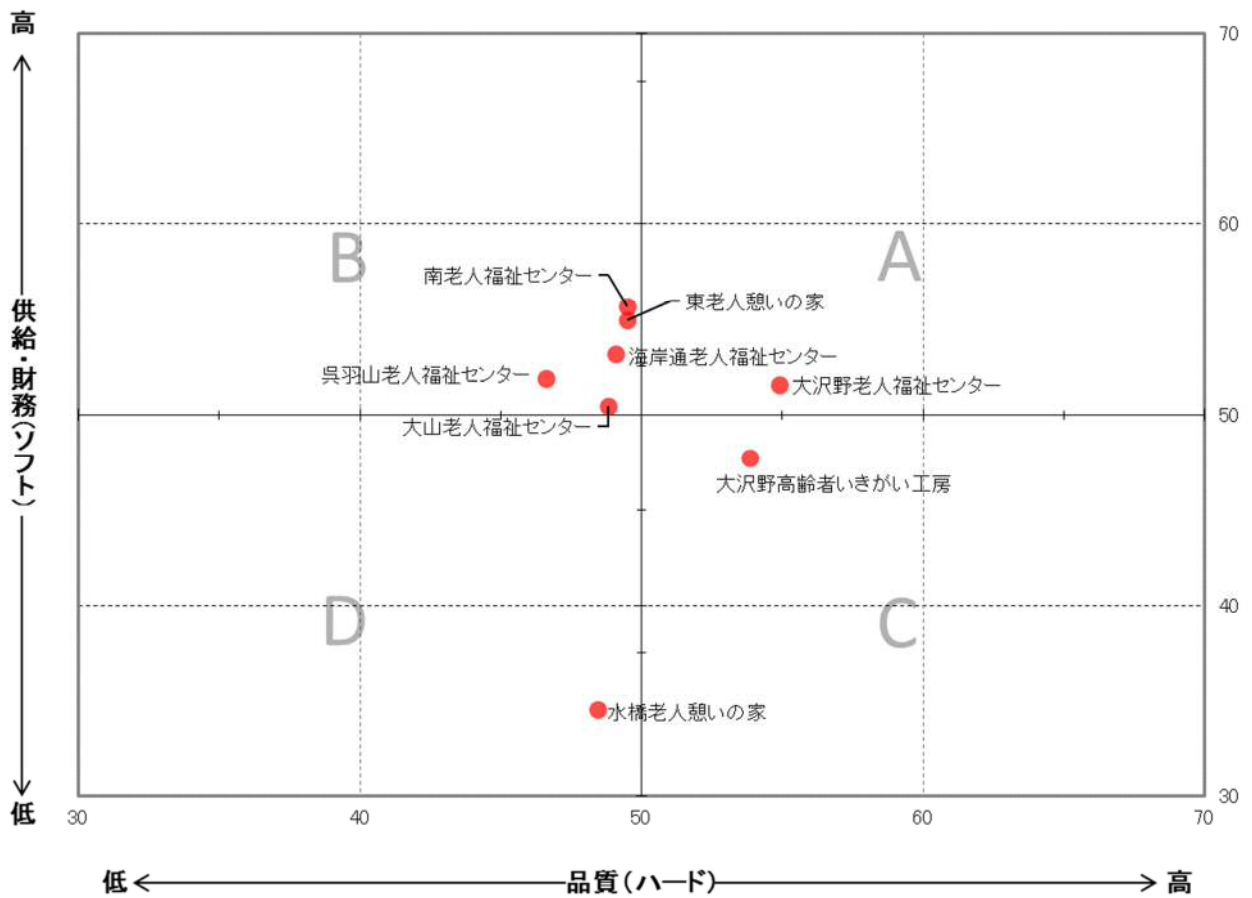
老人福祉センターの利用者1人当たり施設コストは、平均1,379.7円です。
施設別に比較しますと、利用者の少ない水橋老人憩いの家が高くなっています。

利用者1人当たり施設コスト



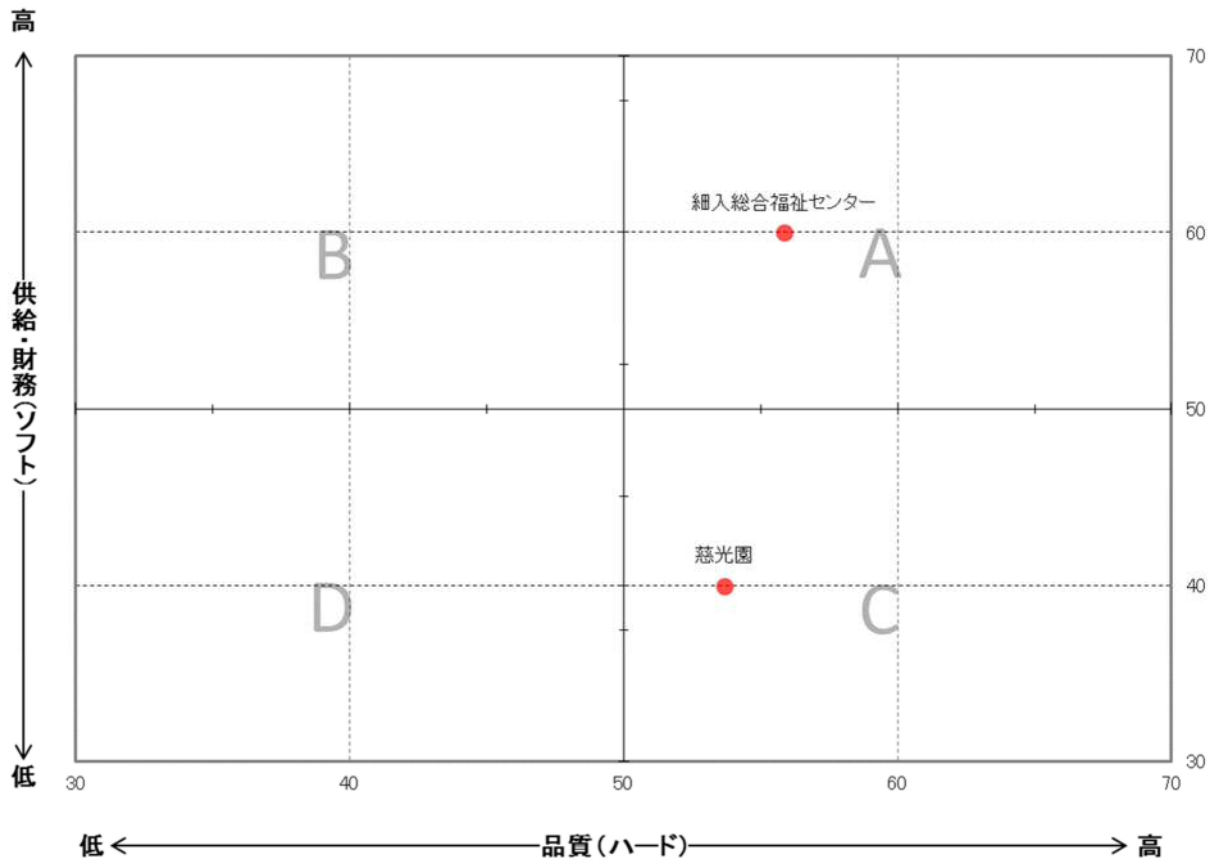
【老人福祉センター】

	施設名	ポ-ト フ-リ 分析	延床 面積	建築年	築 年数	老朽化 度	ハード 偏差値	1日当たりの 利用者数	1日当たりの 利用者数 偏差値	利用者1人 当たり面積	利用者 1人当たり 面積偏差値	面積当たり 施設コスト	面積当たり 施設コスト 偏差値	利用者 1人当たり 施設コスト	利用者1人 当たり施設コ スト偏差値	ソフト 偏差値
1	南老人福祉センター	B	964.09	昭和 55年度	35	70.7	49.5	113.4	59.3	8.50	57.6	39,961.0	50.9	951.9	54.8	55.7
2	海岸通老人福祉センター	B	1,192.46	昭和 53年度	37	73.3	49.1	100.8	55.9	11.83	52.7	36,686.3	52.2	1,205.5	52.0	53.2
3	呉羽山老人福祉センター	B	1,221.04	昭和 48年度	42	89.4	46.6	87.0	52.1	14.03	49.4	31,544.4	54.3	1,229.7	51.7	51.9
4	東老人憩いの家	B	578.69	昭和 54年度	36	70.7	49.5	86.6	52.0	6.68	60.3	40,951.1	50.5	760.3	57.0	54.9
5	水橋老人憩いの家	D	449.85	昭和 52年度	38	77.6	48.4	20.0	33.9	22.44	36.9	58,779.6	43.3	3,663.8	24.2	34.6
6	大沢野老人福祉センター	A	619.71	平成 09年度	18	36.0	54.9	132.3	64.5	4.68	63.3	96,732.3	27.9	1,328.9	50.6	51.6
7	大沢野高齢者いきがい工房	C	721.04	平成 14年度	13	42.7	53.9	29.3	36.4	24.65	33.6	7,583.5	64.0	769.3	56.9	47.7
8	大山老人福祉センター	B	1,038.39	昭和 53年度	37	75.2	48.8	64.2	45.9	16.19	46.2	25,086.9	56.9	1,127.9	52.8	50.5



【高齢者福祉施設】

	施設名	ポ-ト フォ-リ 分析	延床 面積	建築年	築 年数	老朽化 度	ハード 偏差値	面積当たり 施設コスト	面積当たり 施設コスト 偏差値	ソフト 偏差値
1	慈光園	C	4,757.16	平成 06年度	21	43.9	53.7	40,969.6	40.0	40.0
2	細入総合福祉センター	A	1,489.30	平成 13年度	14	29.8	55.9	26,335.2	60.0	60.0



4-14 障害福祉施設

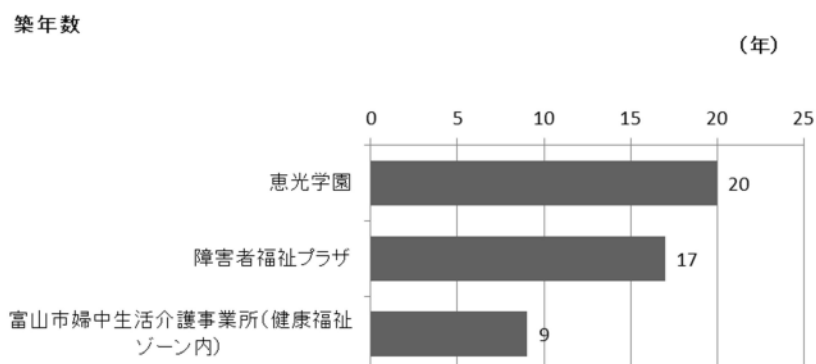
(1) 概要

- ・ 恵光学園、障害者福祉プラザ、婦中生活介護事業所の3施設が整備されています。
- ・ 恵光学園は、知的障害がある未就学児を対象に、通園型で、集団生活に対応するための訓練等を行っています。
- ・ 障害者福祉プラザは、運動室、プール、デイサービス、通所作業センター、生活介護事業所など、複数の機能を持ち、在宅の障害者を対象に、総合的な福祉サービスを提供しています。
- ・ 婦中生活介護事業所は、知的障害者の生活支援として、入浴等の介護や各種訓練を行っています。

(2) 施設の現状と課題

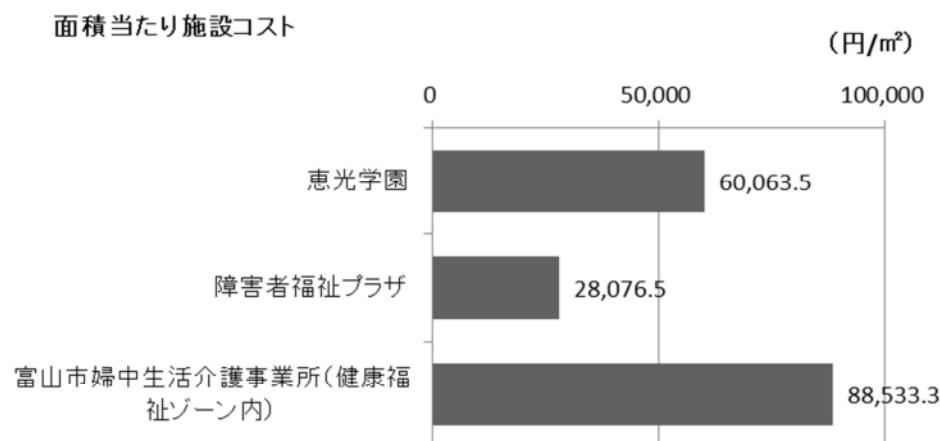
① 老朽化状況

障害福祉施設の築年数は比較的浅いですが、恵光学園は木造で約20年が経過しており、屋根や床の老朽化が見られます。

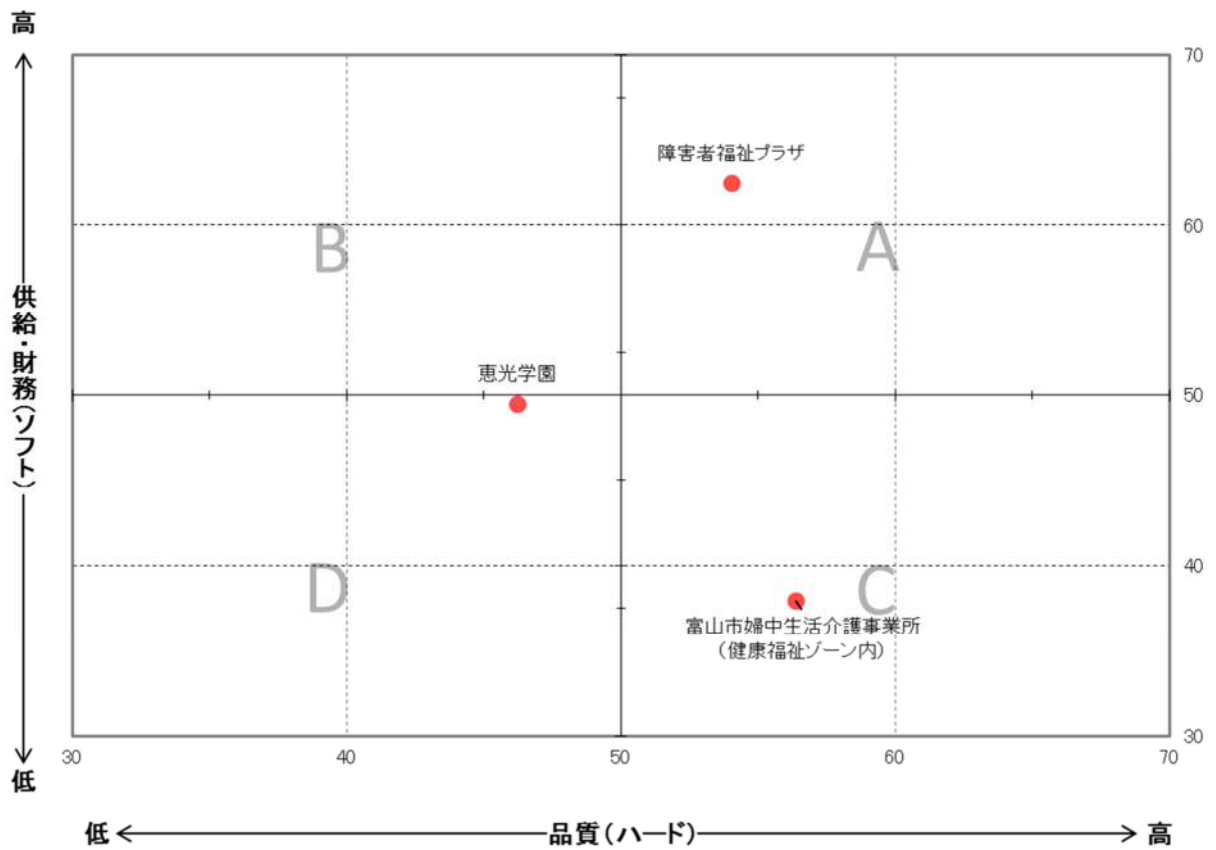


② コスト状況

面積1㎡当たり施設コストは、障害者福祉プラザは比較的低い金額ですが、その他の2施設は障害者福祉プラザの2～3倍になっています。



	施設名	ポート フォリオ 分析	延床 面積	建築年	築 年数	老朽化 度	ハード 偏差値	面積当たり 施設コスト	面積当たり 施設コスト 偏差値	ソフト 偏差値
1	恵光学園	D	884.93	平成 07年度	20	91.9	46.2	60,063.5	49.5	49.5
2	障害者福祉プラザ	A	5,606.19	平成 10年度	17	41.5	54.0	28,076.5	62.5	62.5
3	富山市婦中生活介護事業所 (健康福祉ゾーン内)	C	509.39	平成 18年度	9	26.5	56.4	88,533.3	38.0	38.0



4-15 児童福祉施設

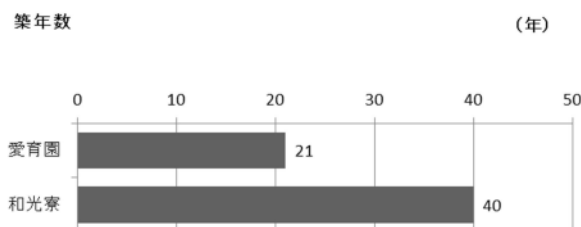
(1) 概要

- ・愛育園と和光寮の2施設が整備されています。
- ・愛育園は、保護者がいないなど養護を必要とする児童（乳児を除く）を育成し、自立を支援するための施設です。
- ・和光寮は、母子家庭などの母と子を保護し、生活を支援することにより、自立を促進するための施設です。平成28年中に建替移転し、愛育園に併設されました。
- ・愛育園と和光寮は養護老人ホーム慈光園との複合施設となり、世代間交流を図るとともに、地域との交流の推進にも努めています。

(2) 施設の現状と課題

①老朽化状況

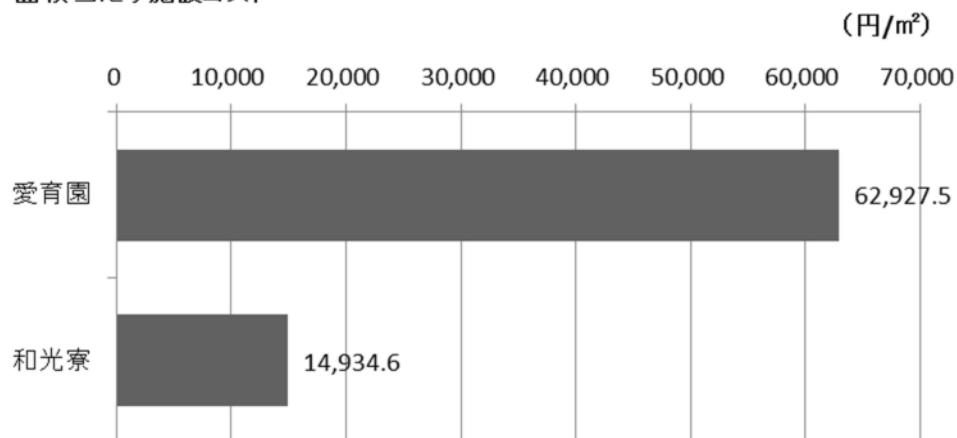
愛育園の築年数は21年です。



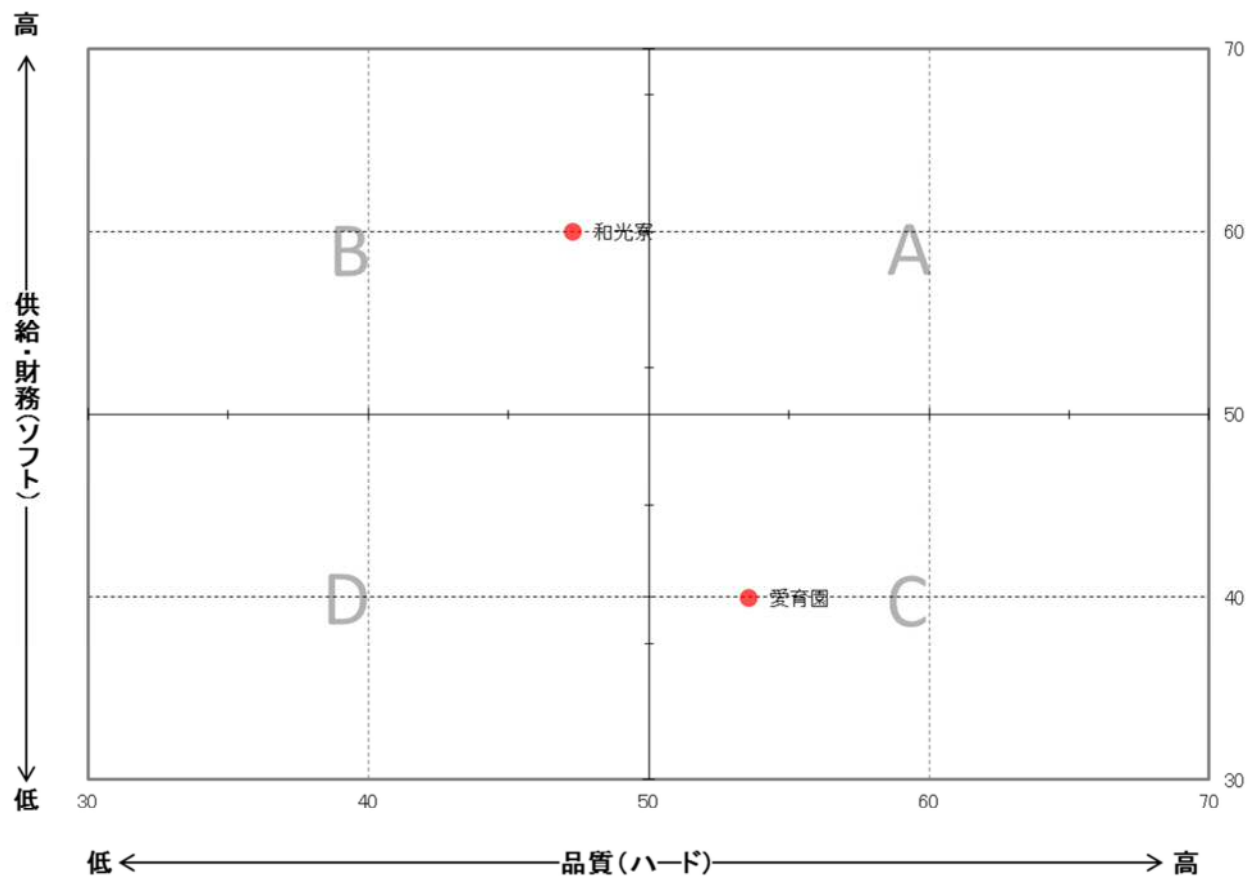
②コスト状況

面積1㎡当たり施設コストは、愛育園が62,927.5円、和光寮が14,934.6円です。

面積当たり施設コスト



	施設名	ポイント フォア 分析	延床面積	建築年	築 年数	老朽化 度	ハード 偏差値	面積当たり 施設コスト	面積当たり 施設コスト 偏差値	ソフト 偏差値
1	愛育園	C	3,212.41	平成 06年度	21	44.7	53.5	62,927.5	40.0	40.0
2	和光寮	B	924.23	昭和 50年度	40	85.1	47.3	14,934.6	60.0	60.0



4-16 保健施設・医療施設

(1) 概要

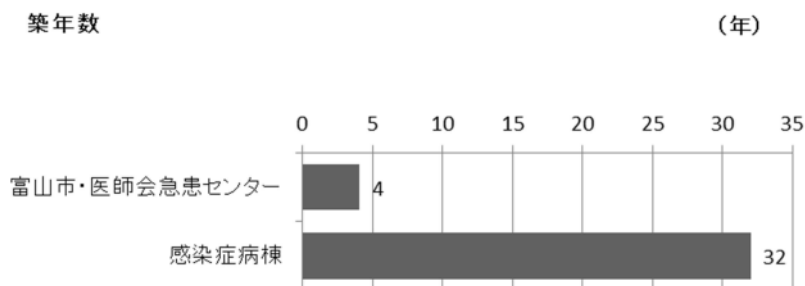
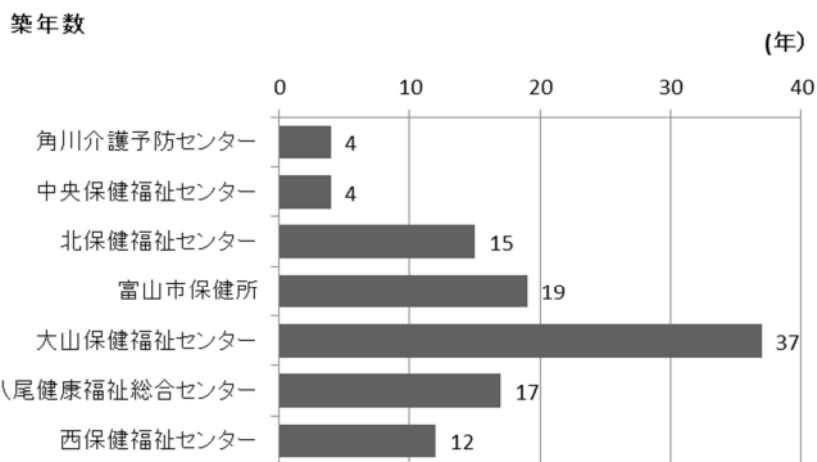
- ・保健施設は、富山市保健所、中央保健福祉センター、北保健福祉センター、大山保健福祉センター（平成28年4月に行政サービスセンター内に移転）、西保健福祉センター、八尾健康福祉総合センター、角川介護予防センターの7施設、医療施設は、富山市・医師会急患センター、感染症病棟の2施設です。
- ・角川介護予防センターは、全国初の温泉水による多機能温泉プールを活用して多様な介護予防プログラムを提供している施設です。
- ・富山市・医師会急患センター、感染症病棟は市の政策的な医療を支援する施設として設置されています。

(2) 施設の現状と課題

① 老朽化状況

保健施設の築年数は、平均15.4年です。大山保健福祉センターが移転したため、現在は築30年を超えない比較的新しい施設のみとなりました。

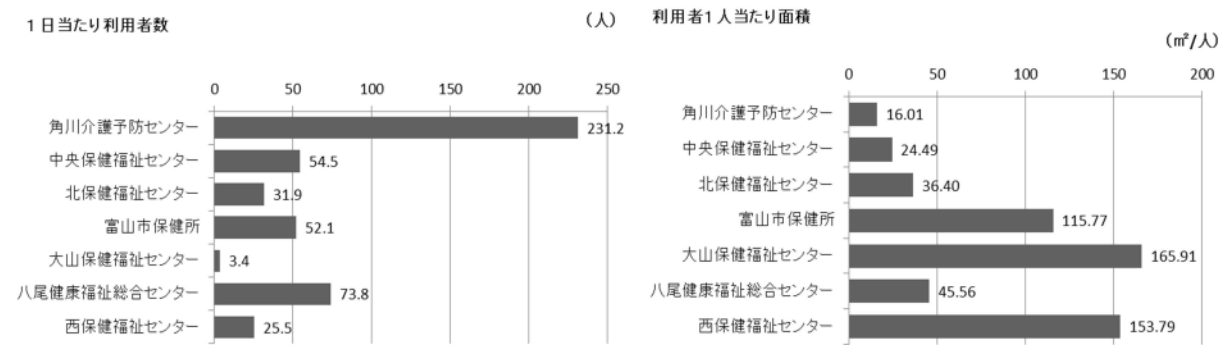
富山市・医師会急患センターの築年数は4年、感染症病棟の築年数は32年です。



② 利用状況

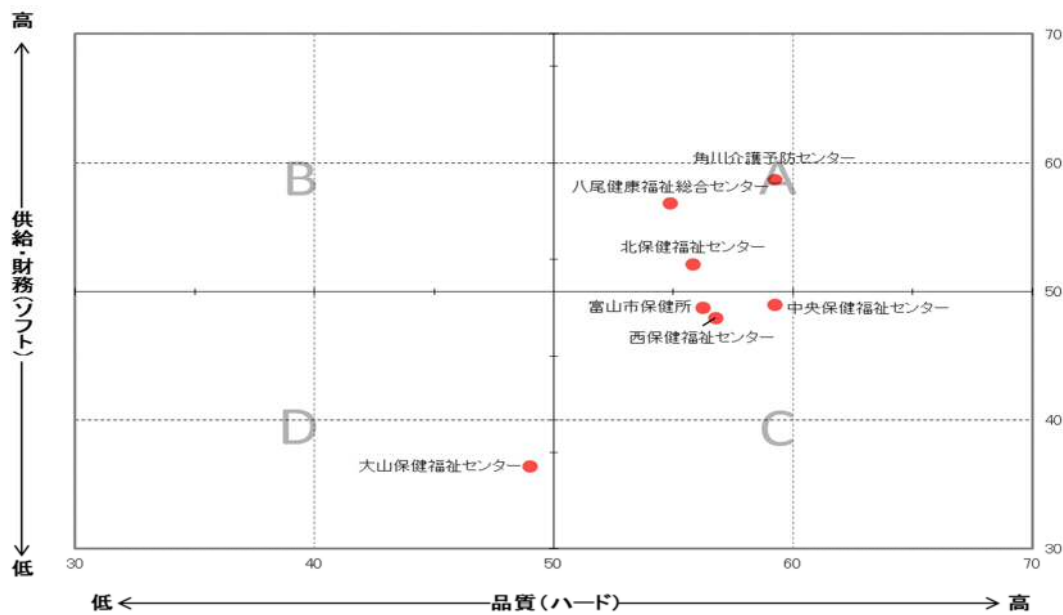
利用者1人当たり面積は、平均79.70㎡ですが、施設間での差が著しいです。移転した施設を除きますと、西保健福祉センターなどで大きくなっています。

また、1日当たりの利用者数は角川介護予防センターが最も多く、その後は横並びですが、八尾健康福祉総合センターや中央保健福祉センターなどが比較的多くなっています。



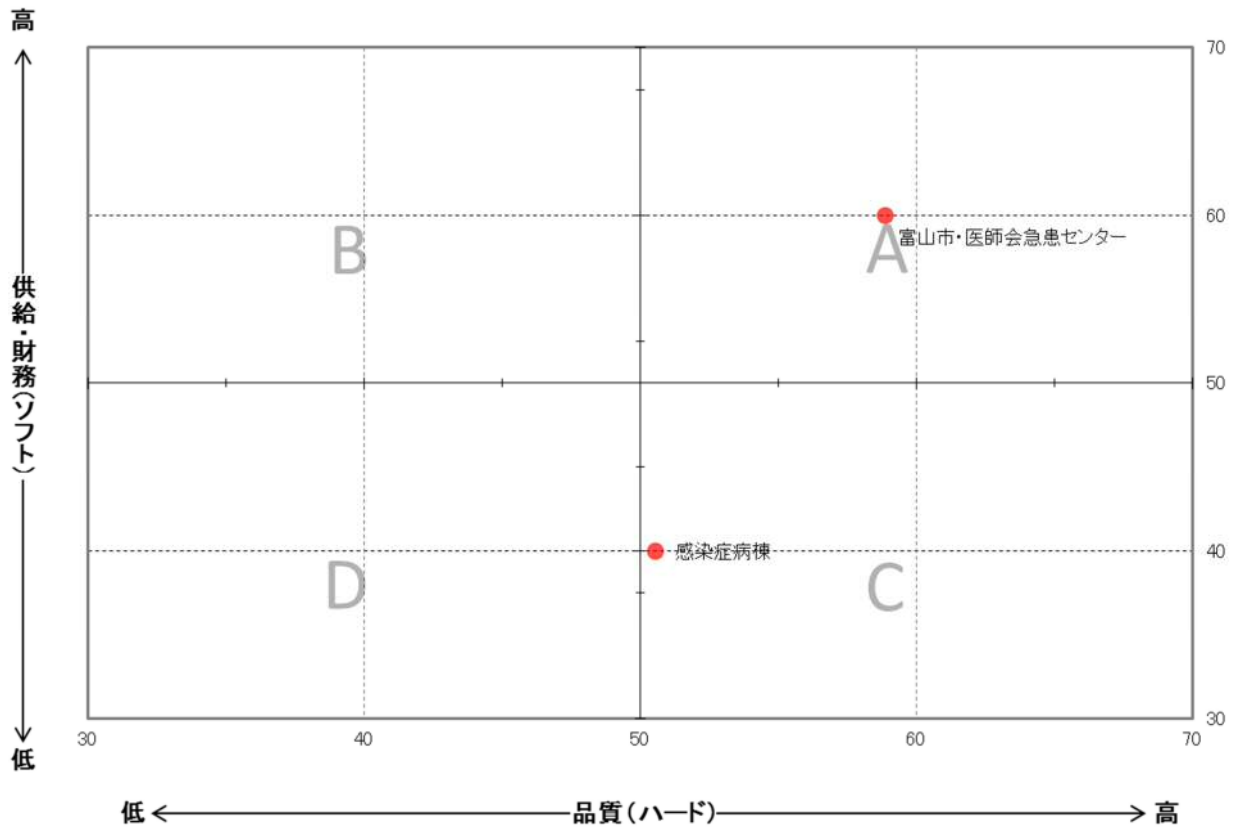
【保健施設】

	施設名	ポータル分析	延床面積	建築年	築年数	老朽化度	ハード偏差値	1日当たりの利用者数	1日当たりの利用者数偏差値	利用者1人当たり面積	利用者1人当たり面積偏差値	面積当たり施設コスト	面積当たり施設コスト偏差値	利用者1人当たり施設コスト	利用者1人当たり施設コスト偏差値	ソフト偏差値
1	角川介護予防センター	A	3,702.59	平成23年度	4	8.1	59.2	231.2	73.4	16.01	60.8	36,149.3	42.5	1,626.2	58.2	58.7
2	中央保健福祉センター	C	1,335.48	平成23年度	4	8.0	59.2	54.5	48.2	24.49	59.4	45,827.7	34.2	4,453.0	54.5	49.0
3	北保健福祉センター	A	1,160.61	平成12年度	15	30.1	55.8	31.9	44.9	36.40	57.3	26,277.6	51.1	3,825.6	55.3	52.2
4	富山市保健所	C	6,026.93	平成08年度	19	27.5	56.2	52.1	47.8	115.77	43.9	20,936.9	55.7	9,542.8	47.7	48.8
5	大山保健福祉センター	D	569.81	昭和53年度	37	74.0	49.0	3.4	40.9	165.91	35.4	36,571.8	42.2	24,867.5	27.4	36.4
6	八尾健康福祉総合センター	A	3,364.14	平成10年度	17	36.2	54.9	73.8	50.9	45.56	55.8	12,862.7	62.7	1,723.8	58.1	56.9
7	西保健福祉センター	C	3,929.09	平成15年度	12	24.0	56.8	25.5	44.0	153.79	37.4	13,983.6	61.7	8,671.6	48.9	48.0



【医療施設】

	施設名	ポ-ト フォ- 分析	延床 面積	建築年	築 年数	老朽化 度	ハード 偏差値	面積当たり 施設コスト	面積当たり 施設コスト 偏差値	ソフト 偏差値
1	富山市・医師会急患センター	A	1,532.86	平成 23年度	4	10.5	58.8	-27,281.0	60.0	60.0
2	感染症病棟	C	799.90	昭和 58年度	32	64.0	50.5	14,585.6	40.0	40.0



4-17 庁舎等

(1) 概要

- ・庁舎は富山市役所をはじめ 12 施設が整備されています。
- ・分室については、部局の書庫として利用されているものもあります。
(埋蔵文化財センターは平成 30 年 1 月に婦中行政サービスセンター内へ移転予定)

(2) 施設の現状と課題

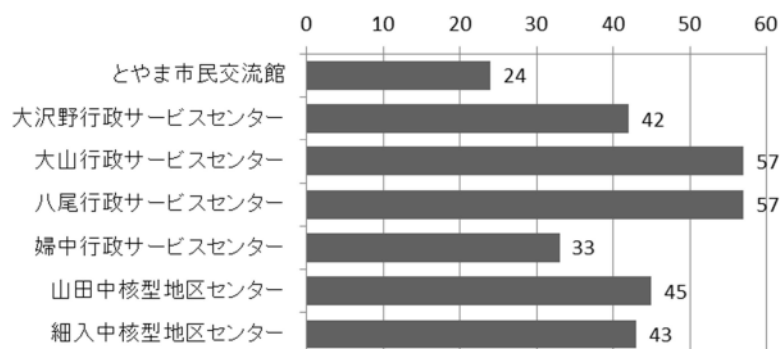
① 老朽化状況

富山市役所の築年数は 23 年、行政サービスセンター及び中核型地区センターの築年数は平均 43.0 年、事務所の築年数は平均 30.0 年です。

行政サービスセンター及び中核型地区センターは旧役場の庁舎を利用しており、すべて築 30 年を超えています。中には築 50 年を超えるような施設も存在し、耐震性が課題になっています。

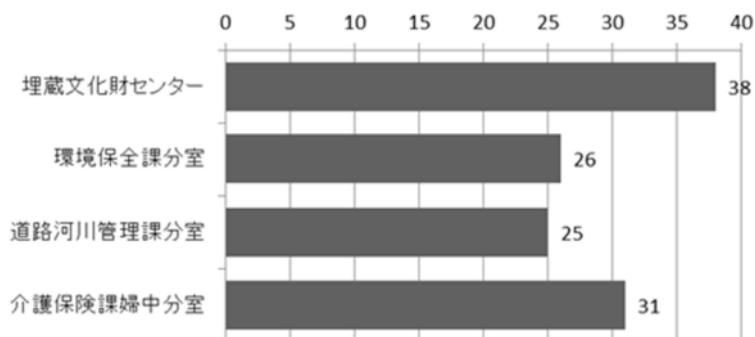
築年数

(年)



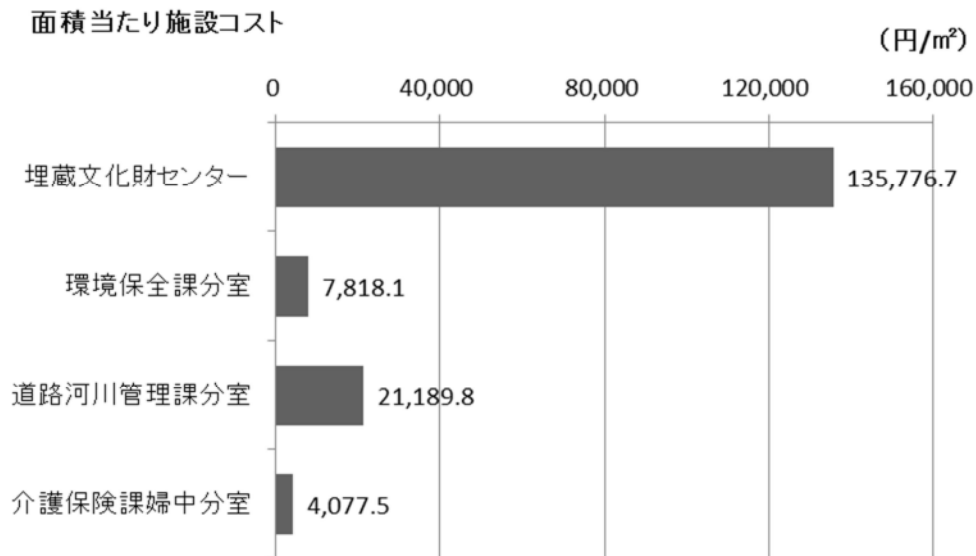
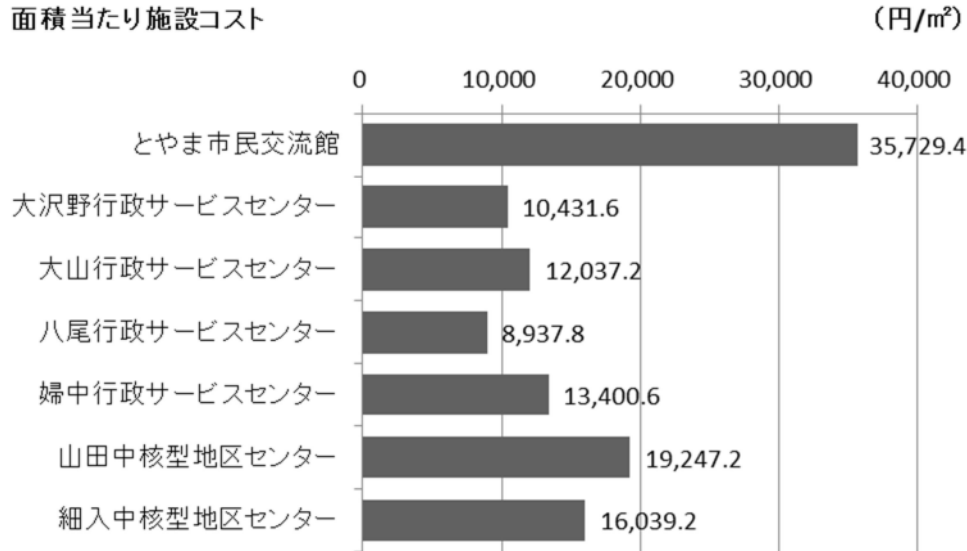
築年数

(年)



②コスト状況

面積1㎡当たり施設コストは、施設間で差がある状況です。
事務所の中では、埋蔵文化財センターが高くなっています。

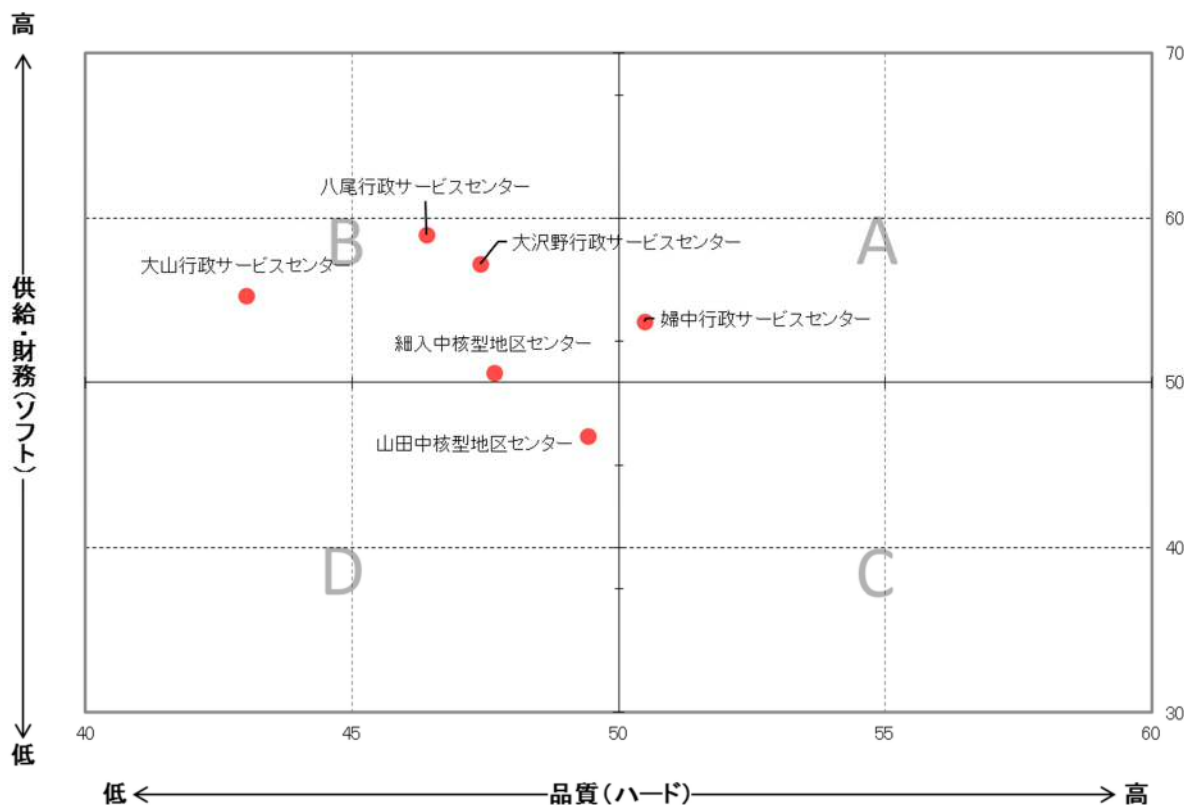


【本庁舎】

	施設名	ポ-ト フォ-オ 分析	延床 面積	建築年	築 年数	老朽化 度	ハード 偏差値	面積当たり 施設コスト	面積当たり 施設コスト 偏差値	ソフト 偏差値
1	富山市役所	-	43,471.32	平成 04年度	23	46.0	53.3	15,362.7	-	-

【支所】

	施設名	ポ-ト フォ-オ 分析	延床 面積	建築年	築 年数	老朽化 度	ハード 偏差値	面積当たり 施設コスト	面積当たり 施設コスト 偏差値	ソフト 偏差値
1	とやま市民交流館	C	2,483.56	平成 03年度	24	48.0	53.0	35,729.4	27.3	27.3
2	大沢野行政サービスセンター	B	4,450.88	昭和 48年度	42	84.2	47.4	10,431.6	57.2	57.2
3	大山行政サービスセンター	B	2,063.77	昭和 33年度	57	112.5	43.0	12,037.2	55.3	55.3
4	八尾行政サービスセンター	B	3,985.98	昭和 33年度	57	90.7	46.4	8,937.8	59.0	59.0
5	婦中行政サービスセンター	A	7,820.68	昭和 57年度	33	64.3	50.5	13,400.6	53.7	53.7
6	山田中核型地区センター	D	1,396.15	昭和 45年度	45	71.2	49.4	19,247.2	46.8	46.8
7	細入中核型地区センター	B	1,900.09	昭和 47年度	43	82.5	47.7	16,039.2	50.6	50.6

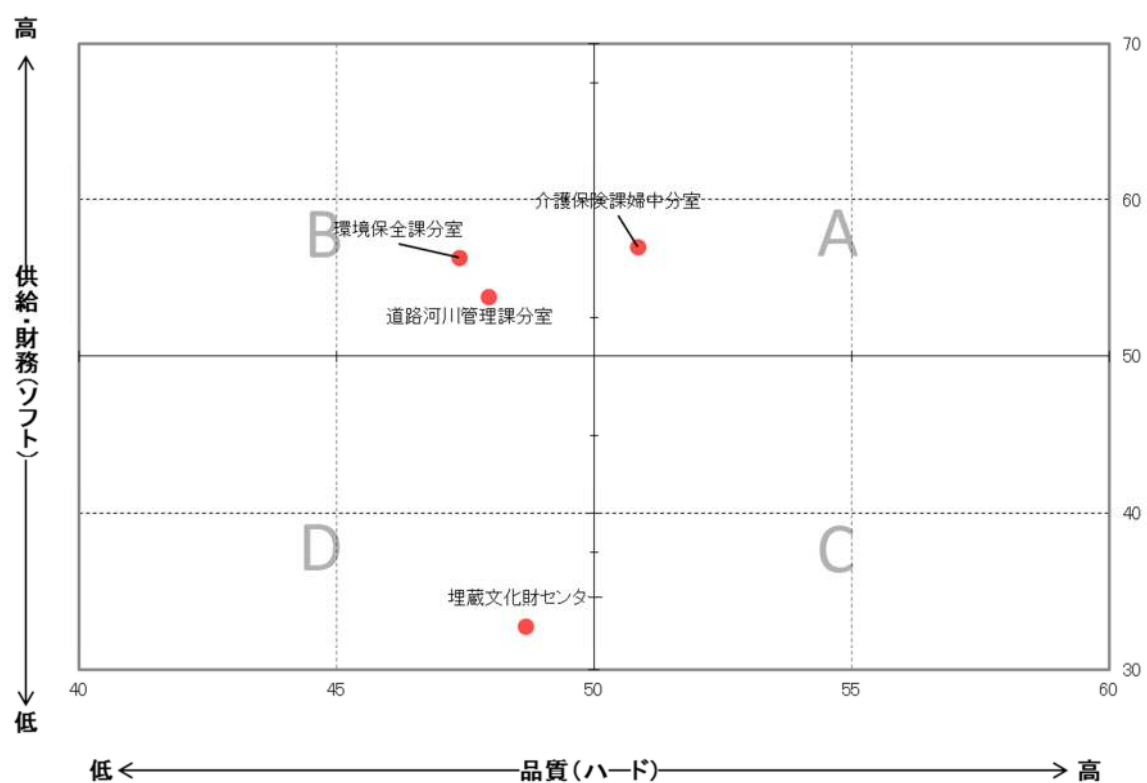


下記については、ソフト偏差値が30以下のため欄外

NO.	施設名	ハード偏差値	ソフト偏差値	分布
1	とやま市民交流館	53.0	27.3	C

【事務所】

	施設名	ポート フォリオ 分析	延床 面積	建築年	築 年数	老朽化 度	ハード 偏差値	面積当たり 施設コスト	面積当たり 施設コスト 偏差値	ソフト 偏差値
1	埋蔵文化財センター	D	752.64	昭和 52年度	38	76.0	48.7	135,776.7	32.8	32.8
2	環境保全課分室	B	399.33	平成 01年度	26	84.3	47.4	7,818.1	56.3	56.3
3	道路河川管理課分室	B	1,237.67	平成 02年度	25	80.7	48.0	21,189.8	53.9	53.9
4	介護保険課婦中分室	A	454.20	昭和 59年度	31	62.0	50.9	4,077.5	57.0	57.0



4-18 消防施設

(1) 概要

- ・消防署 8 施設と消防分署（出張所、分遣所含む） 9 施設が整備されています。
- ・国の指針に則り、適切な水準での消防力の確保が行われるように配置されています（和合出張所は平成 27 年 11 月に移転新築済み。八尾消防署は平成 29 年 9 月に移転新築済み。）

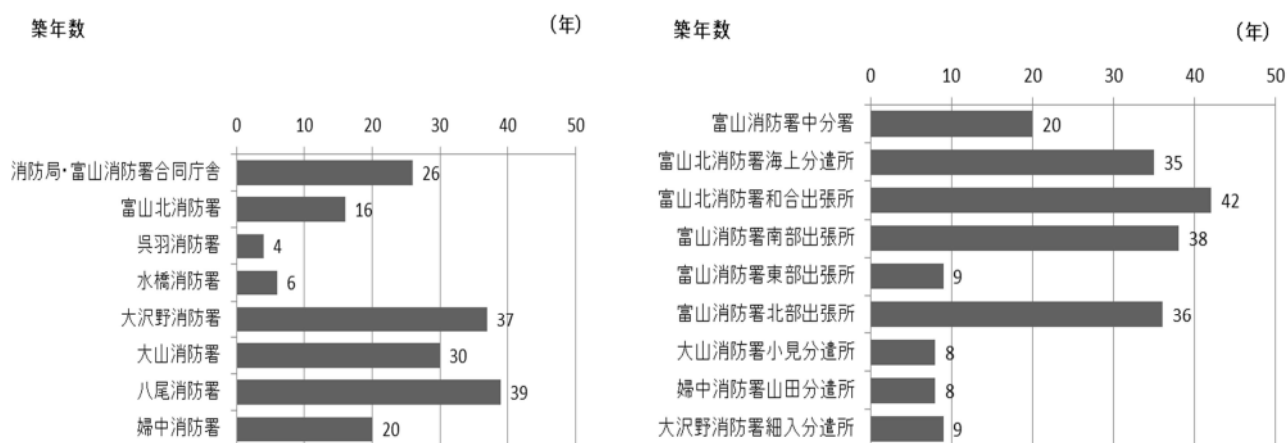
(2) 施設の現状と課題

① 老朽化状況

消防署の築年数は平均 22.3 年、消防分署の築年数は平均 22.8 年です。

築年数が 30 年以上の消防署は移転新築した施設を除きますと、2 施設あり、大沢野消防署、大山消防署です。

消防分署では、移転新築した施設を除きますと、北消防署海上分遣所、南部出張所、北部出張所の 3 施設です。



② コスト状況

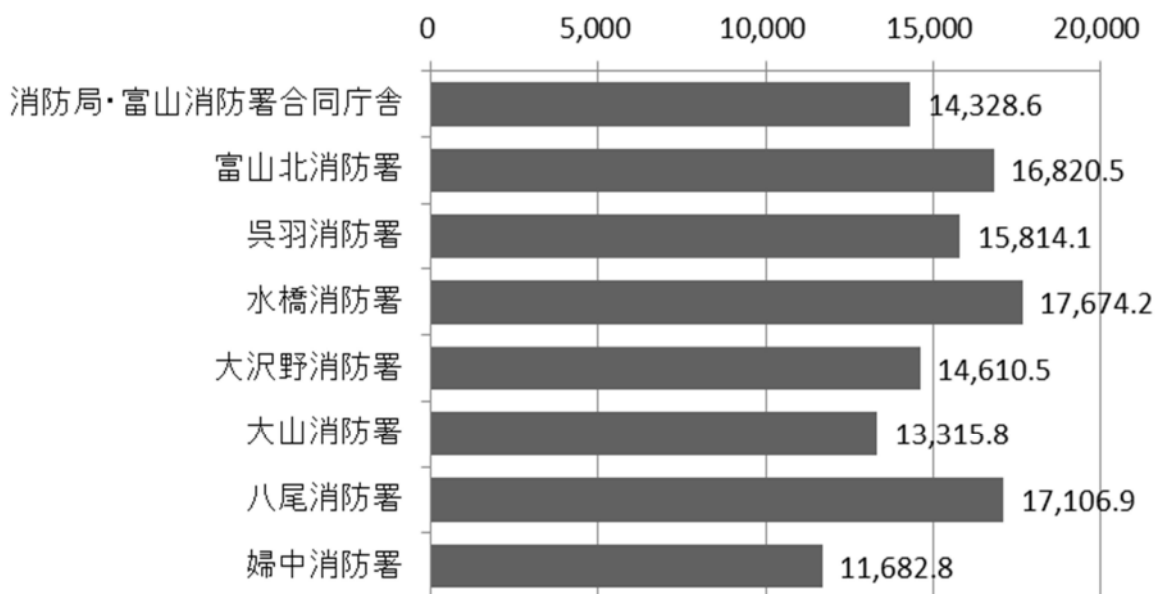
面積 1 m² 当たり施設コストは、消防署で平均 15,169.2 円、消防分署で平均 32,773.6 円です。

消防署については、全体的に横並びの状況になっています。

消防分署については、海上分遣所や、旧町村地区にある分遣所の施設コストがやや高めになっています。

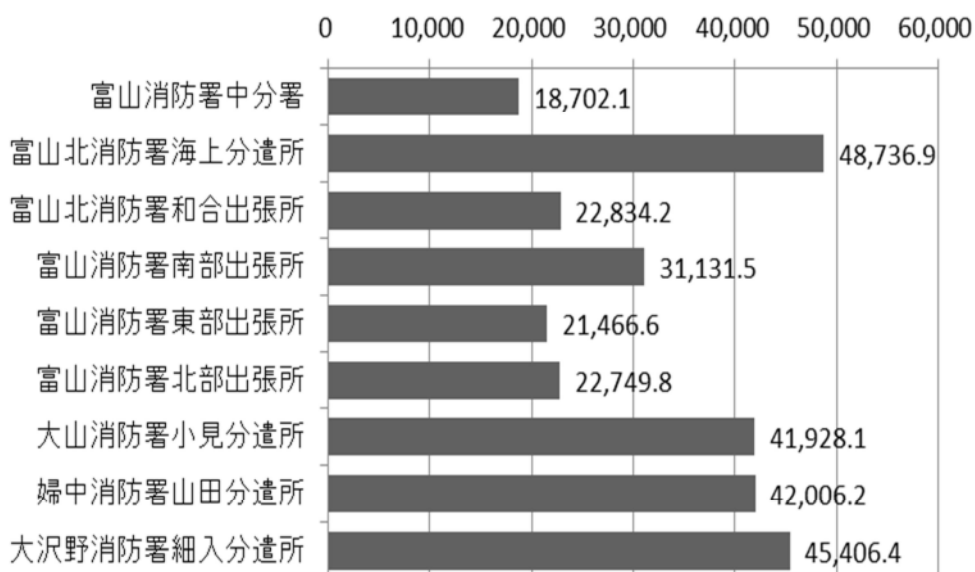
面積当たり施設コスト

(円/m²)



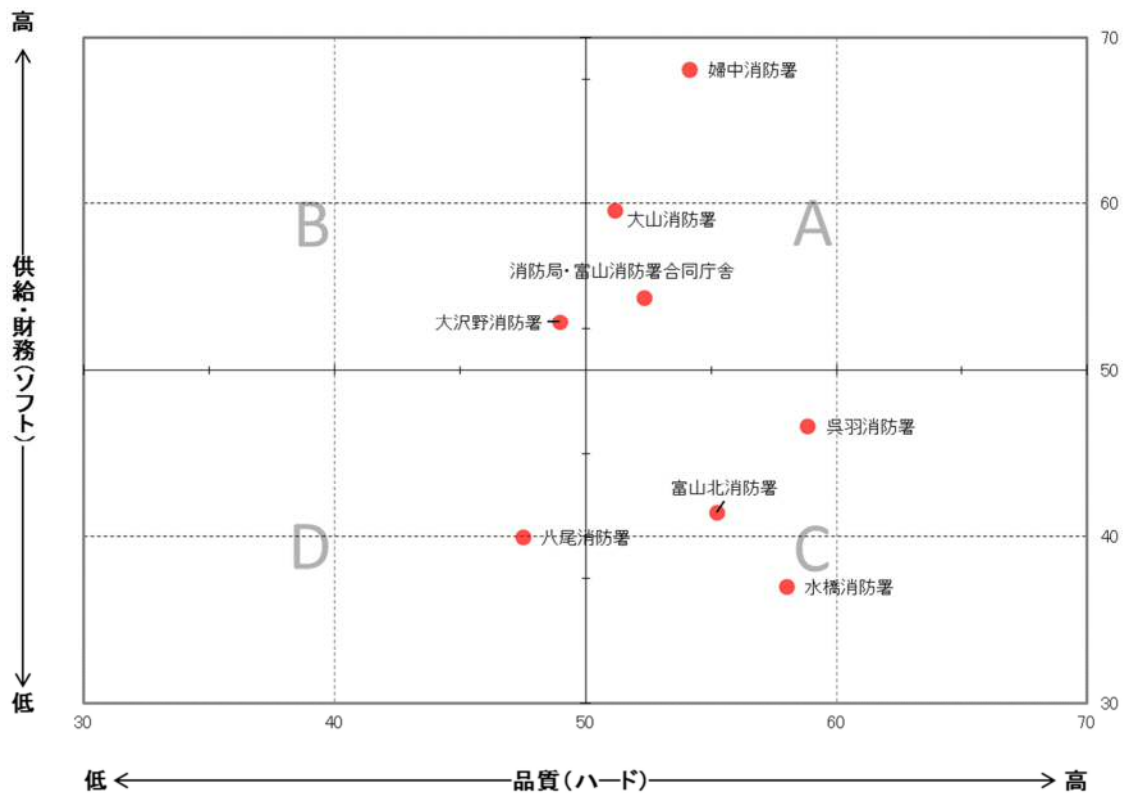
面積当たり施設コスト

(円/m²)



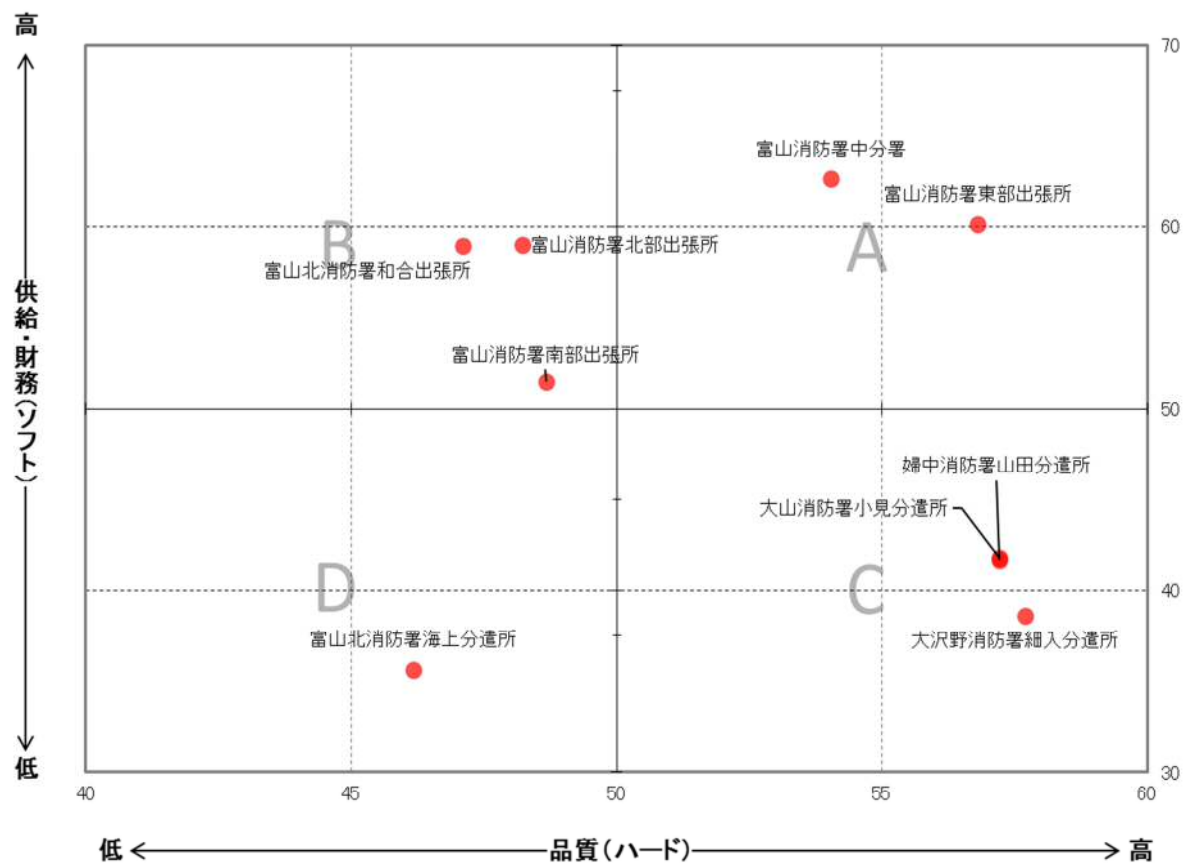
【消防署】

	施設名	ポ-ト フォ-オ 分析	延床 面積	建築年	築 年数	老朽化 度	ハード 偏差値	面積当たり 施設コスト	面積当たり 施設コスト 偏差値	ソフト 偏差値
1	消防局・富山消防署合同庁舎	A	4,491.29	平成 01年度	26	52.6	52.3	14,328.6	54.4	54.4
2	富山北消防署	C	1,708.75	平成 11年度	16	33.8	55.2	16,820.5	41.4	41.4
3	呉羽消防署	C	1,352.53	平成 23年度	4	10.5	58.8	15,814.1	46.7	46.7
4	水橋消防署	C	1,338.90	平成 21年度	6	16.0	58.0	17,674.2	37.0	37.0
5	大沢野消防署	B	1,194.55	昭和 53年度	37	74.0	49.0	14,610.5	52.9	52.9
6	大山消防署	A	1,487.26	昭和 60年度	30	60.0	51.2	13,315.8	59.6	59.6
7	八尾消防署	D	806.75	昭和 51年度	39	83.6	47.5	17,106.9	40.0	40.0
8	婦中消防署	A	2,441.80	平成 07年度	20	40.9	54.1	11,682.8	68.1	68.1



【消防分署】

	施設名	ポート フォリア 分析	延床 面積	建築年	築 年数	老朽化 度	ハード 偏差値	面積当たり 施設コスト	面積当たり 施設コスト 偏差値	ソフト 偏差値
1	富山消防署中分署	A	1,293.97	平成 07年度	20	41.5	54.0	18,702.1	62.7	62.7
2	富山北消防署海上分遣所	D	206.64	昭和 55年度	35	92.1	46.2	48,736.9	35.6	35.6
3	富山北消防署和合出張所	B	542.30	昭和 48年度	42	86.2	47.1	22,834.2	58.9	58.9
4	富山消防署南部出張所	B	393.62	昭和 52年度	38	76.0	48.7	31,131.5	51.5	51.5
5	富山消防署東部出張所	A	891.29	平成 18年度	9	23.7	56.8	21,466.6	60.2	60.2
6	富山消防署北部出張所	B	573.85	昭和 54年度	36	79.0	48.2	22,749.8	59.0	59.0
7	大山消防署小見分遣所	C	245.11	平成 19年度	8	21.1	57.2	41,928.1	41.8	41.8
8	婦中消防署山田分遣所	C	250.13	平成 19年度	8	21.1	57.2	42,006.2	41.7	41.7
9	大沢野消防署細入分遣所	C	219.22	平成 18年度	9	18.0	57.7	45,406.4	38.6	38.6



4-19 その他行政系施設

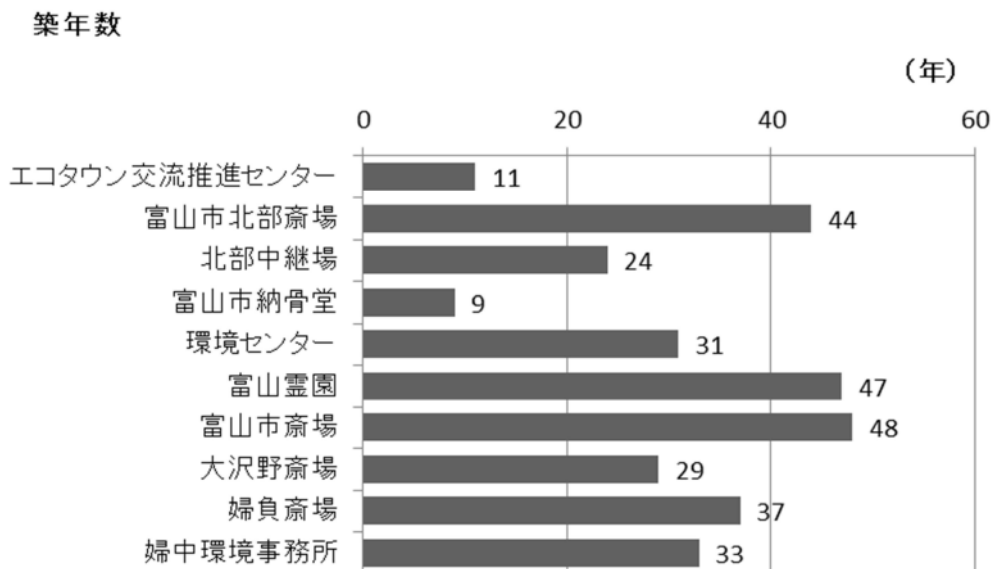
(1) 概要

- ・対象となる施設は、環境関連施設の斎場・納骨堂・霊園、エコタウン交流推進センター、環境センター、環境センター北部中継場（中継棟・管理棟）、婦中環境事務所です。
- ・エコタウン交流推進センターは、平成16年に建設されました。富山市エコタウン産業団地内にあり、市民への環境教育の場として、エコタウン内の見学受付、研修等を実施しています。
- ・環境センターは、家庭から排出される一般廃棄物の収集車両基地であり、災害時には災害ごみの収集拠点としての役割も担っています。
- ・環境センター北部中継場は、北部地域の可燃ごみの中間処理施設であり、婦中環境事務所は環境に係る業務を行う事務所です。

(2) 施設の現状と課題

① 老朽化状況

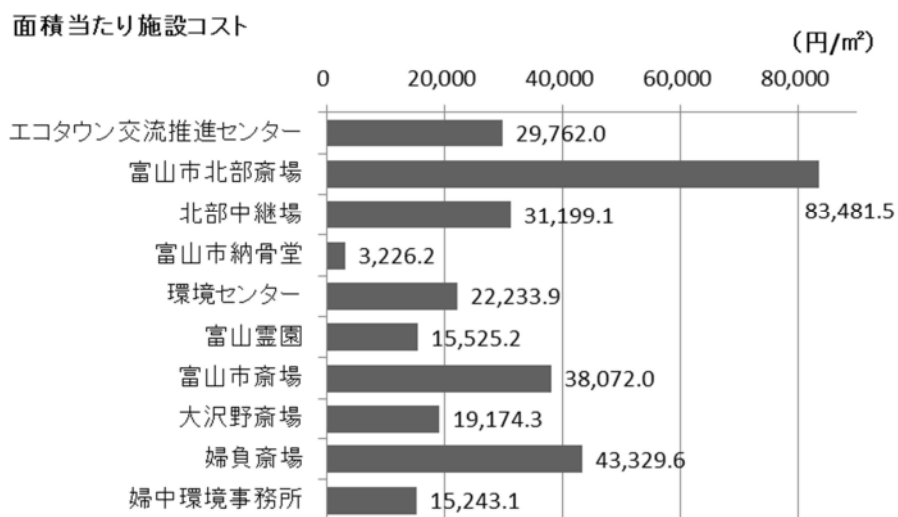
その他行政施設の築年数は平均31.3年です。環境センター北部中継場と婦中環境事務所は、老朽化が進んでおり、ごみ収集ルートの見直し、事務機能の統合を行うこととし、廃止が予定されています。斎場は4か所で、昭和40年代から50年代に建設された大沢野斎場以外の3施設の老朽化が進んでいます。



②コスト状況

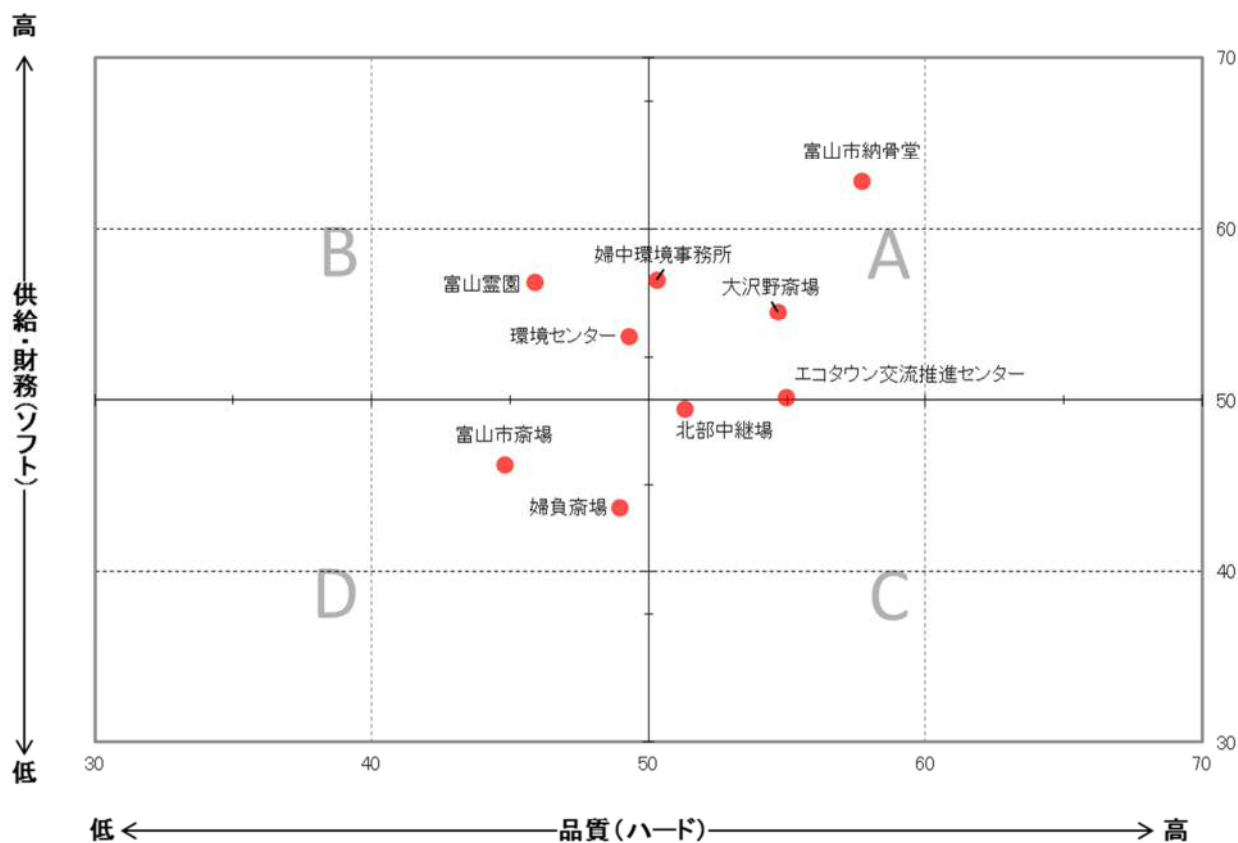
面積1㎡当たり施設コストの平均は、30,124.7円です。

施設ごとにみますと、北部斎場などが高くなっています。その他、婦負斎場、富山市斎場、エコタウン交流推進センターなどが高くなっています。



【環境関連施設】

	施設名	ポータル フォア 分析	延床 面積	建築年	築 年数	老朽化 度	ハード 偏差値	面積当たり 施設コスト	面積当たり 施設コスト 偏差値	ソフト 偏差値
1	エコタウン交流推進センター	A	1,155.60	平成 16年度	11	35.5	55.0	29,762.0	50.2	50.2
2	富山市北部斎場	D	398.28	昭和 46年度	44	88.0	46.8	83,481.5	24.6	24.6
3	北部中継場	C	1,669.63	平成 03年度	24	59.1	51.3	31,199.1	49.5	49.5
4	富山市納骨堂	A	517.02	平成 18年度	9	18.0	57.7	3,226.2	62.8	62.8
5	環境センター	B	3,716.48	昭和 59年度	31	72.0	49.3	22,233.9	53.8	53.8
6	富山霊園	B	270.85	昭和 43年度	47	94.0	45.9	15,525.2	56.9	56.9
7	富山市斎場	D	1,995.98	昭和 42年度	48	101.1	44.8	38,072.0	46.2	46.2
8	大沢野斎場	A	772.91	昭和 61年度	29	37.5	54.7	19,174.3	55.2	55.2
9	婦負斎場	D	795.00	昭和 53年度	37	74.4	48.9	43,329.6	43.7	43.7
10	婦中環境事務所	A	2,675.05	昭和 57年度	33	65.5	50.3	15,243.1	57.1	57.1



下記については、ソフト偏差値が30以下のため欄外

NO.	施設名	ハード偏差値	ソフト偏差値	分布
2	富山市北部斎場	46.8	24.6	D

4-20 公営住宅

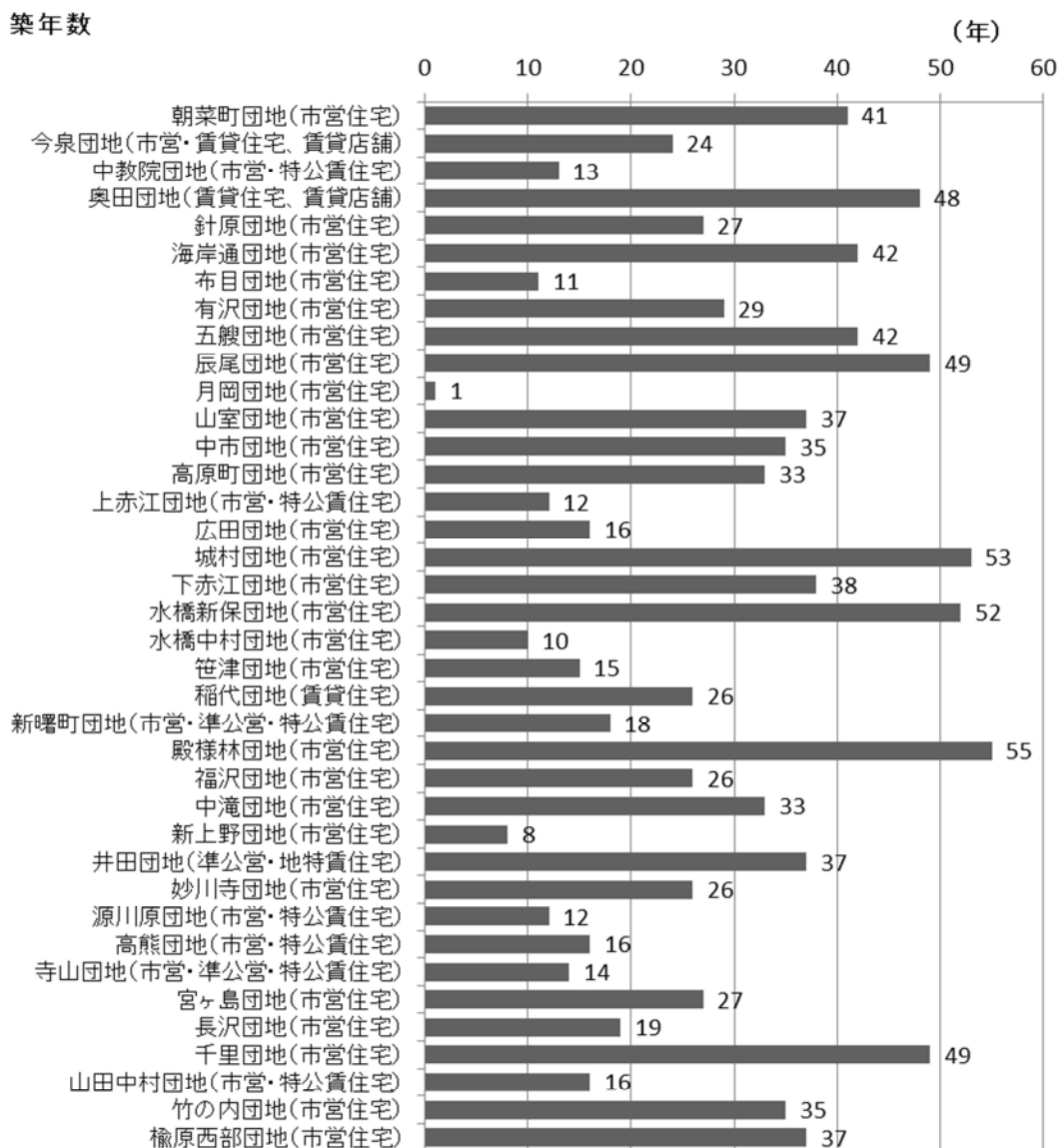
(1) 概要

- 平成 28 年 4 月 1 日現在、48 団地/4,761 戸を整備しており、その内訳は、公営住宅 45 団地/4,370 戸、特定公共賃貸住宅団地 7 団地/105 戸（うち、準特定優良賃貸住宅 2 団地/21 戸）、賃貸住宅 3 団地/274 戸、地域特別賃貸住宅 1 団地/12 戸（うち、準特定優良賃貸住宅 6 戸）となっています。また、公営住宅のうち、10 団地/257 戸は公民連携の新たな手法（借上公営住宅等）にて供給しています。
- 旧耐震基準で建設された団地については、入居停止や建替等の対策を実施中です。

(2) 施設の現状

① 老朽化状況

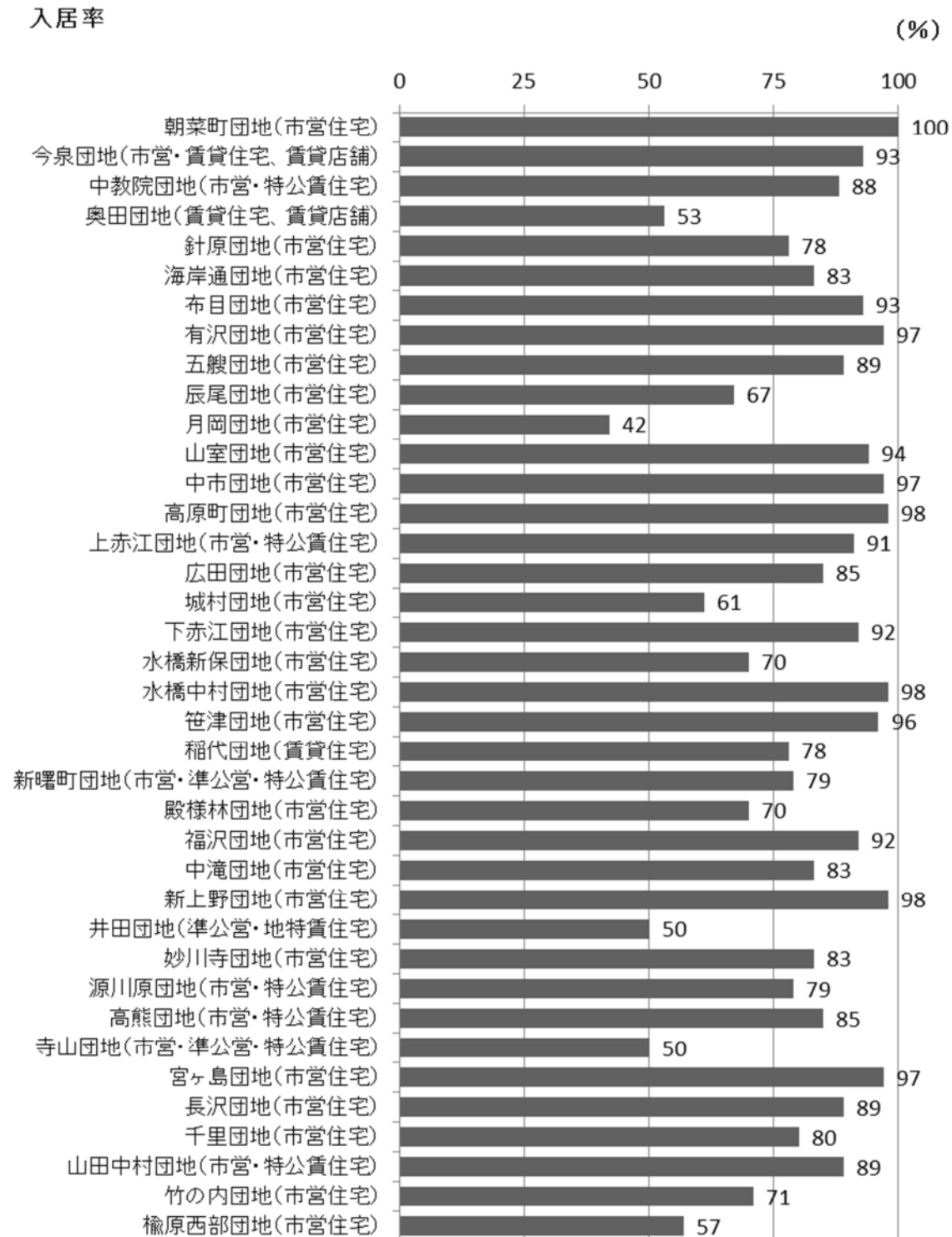
築年数の平均は 28.5 年です。公営住宅法により、耐用年数は 70 年と決められており、大規模修繕には国の補助と起債で対応しています。耐用年数の 70 年を超えている施設はありません。



②利用状況

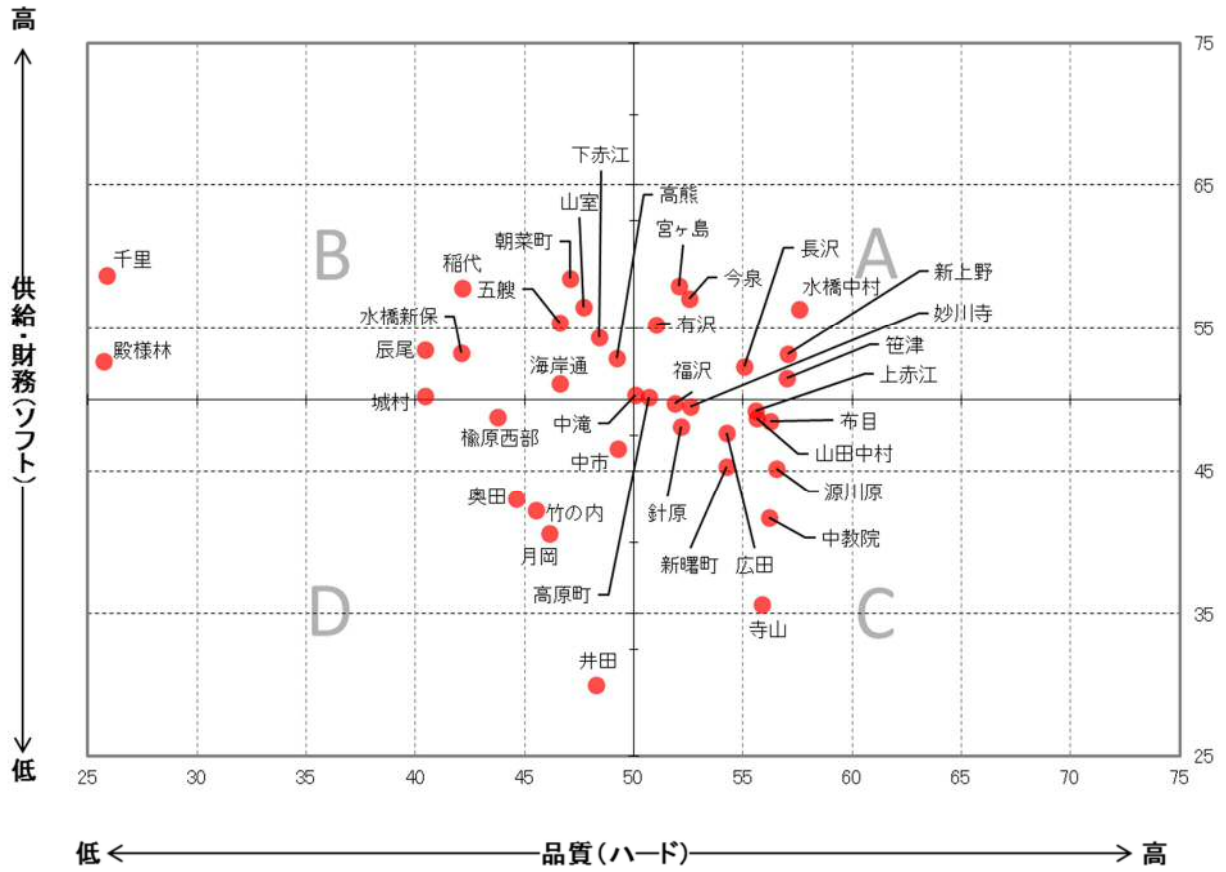
入居率(*)の平均は81.4%です。50%以下の市営住宅が存在しており、月岡団地、井田団地、寺山団地の3施設です。

(*) 入居率：入居戸数/管理戸数×100 (%) で算出。



【市営住宅】

	施設名	ポート フォリオ 分布	延床 面積	建築年	築 年数	老朽化 度	ハード 偏差値	入居率	入居率 偏差値	面積当たり 施設コスト	面積当たり 施設コスト 偏差値	ソフト 偏差値
1	朝菜町団地(市営住宅)	B	5,663.09	昭和 49年度	41	86.3	47.1	100.0	62.0	-785.8	55.0	58.5
2	今泉団地(市営・賃貸住宅、 賃貸店舗)	A	8,525.12	平成 03年度	24	51.1	52.6	93.0	57.5	-1233.9	56.8	57.1
3	中教院団地(市営・特公賃住 宅)	C	2,976.63	平成 14年度	13	27.7	56.2	88.0	54.2	5801.9	29.1	41.7
4	奥田団地(賃貸住宅、賃貸店 舗)	D	15,354.73	昭和 42年度	48	102.1	44.6	53.0	31.6	-648.7	54.5	43.0
5	針原団地(市営住宅)	C	26,691.97	昭和 63年度	27	53.6	52.2	78.0	47.8	893.7	48.4	48.1
6	海岸通団地(市営住宅)	B	564.01	昭和 48年度	42	89.4	46.6	83.0	51.0	161.3	51.3	51.1
7	布目団地(市営住宅)	C	10,739.89	平成 16年度	11	27.2	56.3	93.0	57.5	3147.1	39.6	48.5
8	有沢団地(市営住宅)	A	24,472.28	昭和 61年度	29	61.1	51.0	97.0	60.1	371.0	50.5	55.3
9	五艘団地(市営住宅)	B	914.01	昭和 48年度	42	89.4	46.6	89.0	54.9	-1035.0	56.0	55.4
10	辰尾団地(市営住宅)	B	9,990.81	昭和 41年度	49	129.1	40.4	67.0	40.6	-3689.5	66.4	53.5
11	月岡団地(市営住宅)	D	27,697.49	平成 26年度	1	92.3	46.1	42.0	24.5	-1221.0	56.7	40.6
12	山室団地(市営住宅)	B	5,404.13	昭和 53年度	37	82.3	47.7	94.0	58.1	-772.4	54.9	56.5
13	中市団地(市営住宅)	D	18,910.13	昭和 55年度	35	72.2	49.3	97.0	60.1	4814.9	33.0	46.5
14	高原町団地(市営住宅)	A	19,703.92	昭和 57年度	33	63.0	50.7	98.0	60.7	3135.2	39.6	50.2
15	上赤江団地(市営・特公賃住 宅)	C	11,467.16	平成 15年度	12	31.6	55.6	91.0	56.2	2473.2	42.2	49.2
16	広田団地(市営住宅)	C	22,085.75	平成 11年度	16	40.2	54.2	85.0	52.3	2244.5	43.1	47.7
17	城村団地(市営住宅)	B	11,052.40	昭和 37年度	53	129.1	40.4	61.0	36.8	-2997.0	63.7	50.2
18	下赤江団地(市営住宅)	B	16,839.02	昭和 52年度	38	77.7	48.4	92.0	56.8	-7.5	51.9	54.4
19	水橋新保団地(市営住宅)	B	3,576.60	昭和 38年度	52	118.4	42.1	70.0	42.6	-3088.4	64.0	53.3
20	水橋中村団地(市営住宅)	A	6,179.31	平成 17年度	10	18.9	57.6	98.0	60.7	-27.7	52.0	56.4
21	笹津団地(市営住宅)	A	9,401.64	平成 12年度	15	22.5	57.0	96.0	59.4	2117.3	43.6	51.5
22	稲代団地(賃貸住宅)	B	382.46	平成 01年度	26	118.2	42.1	78.0	47.8	-4091.9	68.0	57.9
23	新曙町団地(市営・準公営・ 特公賃住宅)	C	4,137.06	平成 09年度	18	40.3	54.2	79.0	48.4	2489.0	42.1	45.3
24	殿様林団地(市営住宅)	B	2,421.40	昭和 35年度	55	223.8	25.7	70.0	42.6	-2781.9	62.8	52.7
25	福沢団地(市営住宅)	C	849.78	平成 01年度	26	55.3	51.9	92.0	56.8	2355.9	42.7	49.8
26	中瀧団地(市営住宅)	A	3,845.63	昭和 57年度	33	67.1	50.1	83.0	51.0	582.0	49.6	50.3
27	新上野団地(市営住宅)	A	5,385.41	平成 19年度	8	22.2	57.0	98.0	60.7	1572.8	45.7	53.2
28	井田団地(準公営・地特賃住 宅)	D	1,104.10	昭和 53年度	37	78.7	48.3	50.0	29.6	5509.5	30.3	30.0
29	妙川寺団地(市営住宅)	C	6,860.77	平成 01年度	26	50.9	52.6	83.0	51.0	975.0	48.1	49.5
30	源川原団地(市営・特公賃住 宅)	C	4,319.48	平成 15年度	12	25.5	56.5	79.0	48.4	2531.3	42.0	45.2
31	高熊団地(市営・特公賃住 宅)	B	1,817.60	平成 11年度	16	72.6	49.2	85.0	52.3	-394.5	53.5	52.9
32	寺山団地(市営・準公営・特 公賃住宅)	C	1,765.57	平成 13年度	14	29.8	55.9	50.0	29.6	2618.4	41.6	35.6
33	宮ヶ島団地(市営住宅)	A	6,808.04	昭和 63年度	27	54.2	52.1	97.0	60.1	-1029.1	56.0	58.0
34	長沢団地(市営住宅)	A	8,579.01	平成 08年度	19	35.0	55.0	89.0	54.9	564.1	49.7	52.3
35	千里団地(市営住宅)	B	173.00	昭和 41年度	49	222.7	25.9	80.0	49.1	-4202.3	68.4	58.7
36	山田中村団地(市営・特公賃 住宅)	C	1,823.14	平成 11年度	16	31.3	55.6	89.0	54.9	2398.6	42.5	48.7
37	竹の内団地(市営住宅)	D	617.80	昭和 55年度	35	96.2	45.5	71.0	43.2	2735.5	41.2	42.2
38	楡原西部団地(市営住宅)	D	1,664.00	昭和 53年度	37	107.7	43.8	57.0	34.2	-2938.7	63.5	48.8



4-21 その他

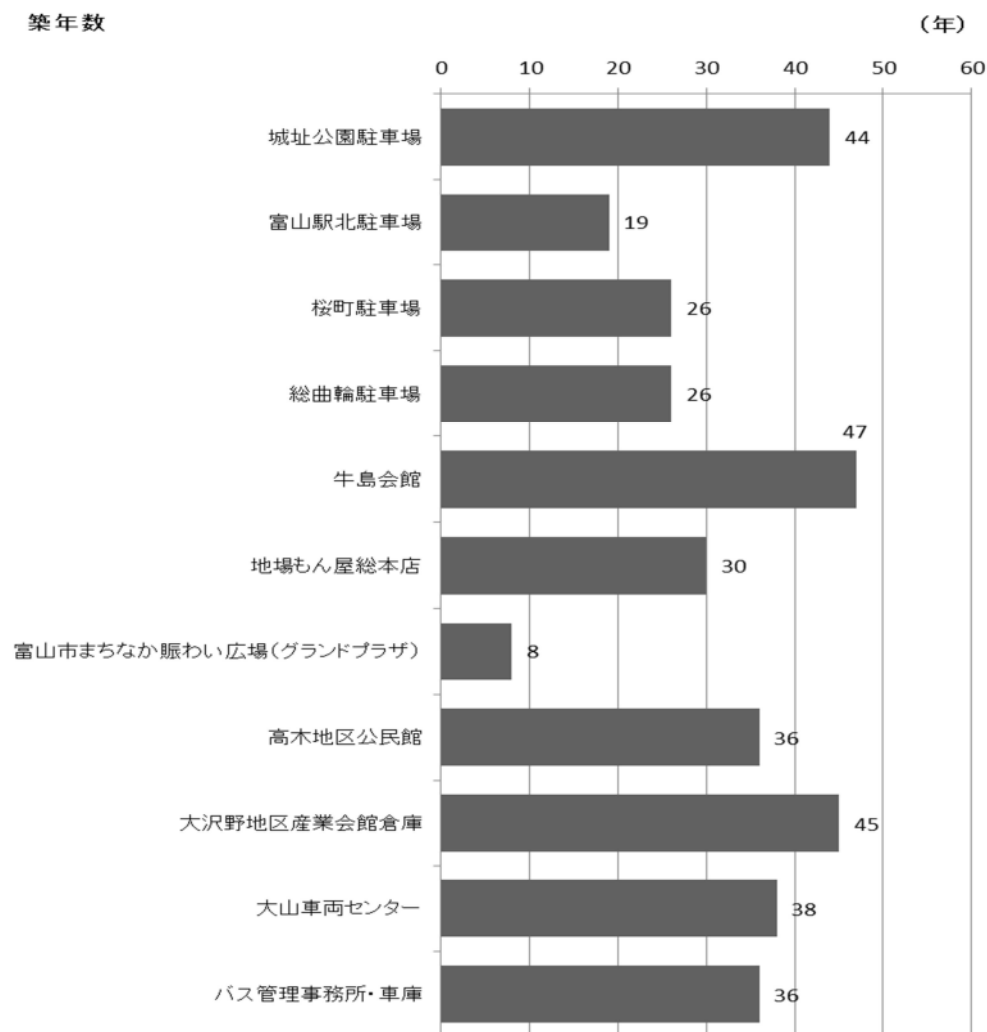
(1) 概要

- ・対象となる施設は駐車場が4施設（城址公園駐車場、富山駅北駐車場、桜町駐車場、総曲輪駐車場）、集会場として利用されている会館が2施設（牛島会館、高木地区公民館）、地場もん屋総本店、富山市まちなか賑わい広場（グランドプラザ）、大沢野地区産業会館倉庫、大山車両センター、バス管理事務所・車庫の合計11施設です。
- ・このうち、牛島会館については、平成28年3月に地元団体に譲渡されています。
- ・これらの施設は、その建物の目的や使われ方も多様であり、総合管理計画内で統一的な分類方針を定めることが困難であったため、「その他」の施設として分類しています。
- ・その他の施設についての施設評価は、その利用・コストの状態が様々であり、類型内で相対的に評価すべきでないことから、ハード偏差値（老朽化状況）のみで判断します。

(2) 施設の現状

①老朽化状況

築年数の平均は32.3年です。築30年以上の建物が7施設あります。



	施設名	ポ ー ト フ ォ リ オ 分 析	延床面積	建築年	築 年 数	老朽化 度	ハード 偏差値
1	城址公園駐車場	-	4,236.85	昭和 46年度	44	109.2	43.5
2	富山駅北駐車場	-	12,869.60	平成 08年度	19	61.3	51.0
3	桜町駐車場	-	7,128.94	平成 01年度	26	83.9	47.5
4	総曲輪駐車場	-	10,190.98	平成 01年度	26	83.9	47.5
5	牛島会館	-	113.45	昭和 43年度	47	195.8	30.1
6	地場もん屋総本店	-	653.13	昭和 60年度	30	60.0	51.2
7	富山市まちなか賑わい広場 (グランドプラザ)	-	1,552.27	平成 19年度	8	21.1	57.2
8	高木地区公民館	-	111.33	昭和 54年度	36	120.0	41.8
9	大沢野地区産業会館倉庫	-	192.15	昭和 45年度	45	118.4	42.1
10	大山車両センター	-	657.00	昭和 52年度	38	122.6	41.4
11	バス管理事務所・車庫	-	888.00	昭和 54年度	36	102.5	44.6

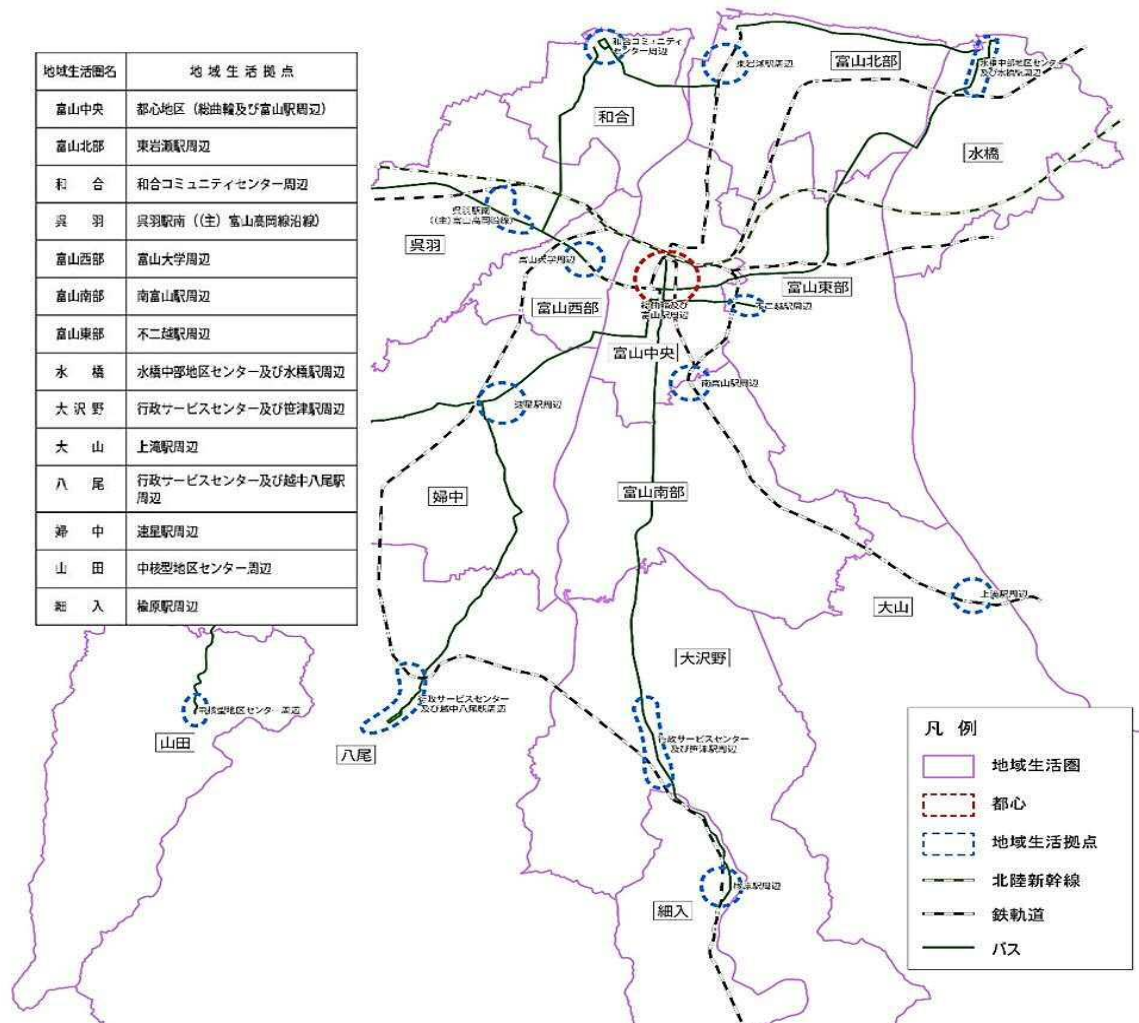
第5章 地域別の分析

5-1 基本的な方針

実行編の策定に当たっては、一定の地域内にあるすべての公共施設を視野に入れながら、施設の集約化や複合化といった手法を用いて、施設機能の様々な組み合わせを想定し、比較検討する必要があります。その過程において、ワークショップやオープンハウス等を通じ、市民の皆様と議論を重ねながら、将来を見据えて真に必要となる施設・機能は何かを検討し、実行編に反映します。

その取組は面的な視点も重要であることから、地域単位で適正配置を検討する必要があります。なお、地域区分については、各地域の特性や地域間の連携・調和を考慮する必要があるため、市域を富山市都市マスタープランに定める14の地域生活圏に区分し、その分析を行います。

【富山市都市マスタープランに基づく14地域生活圏】



5-2 地域別人口概要

※各地域の面積はGISを用いて算出しており、実際の数値とは多少のずれがあります。

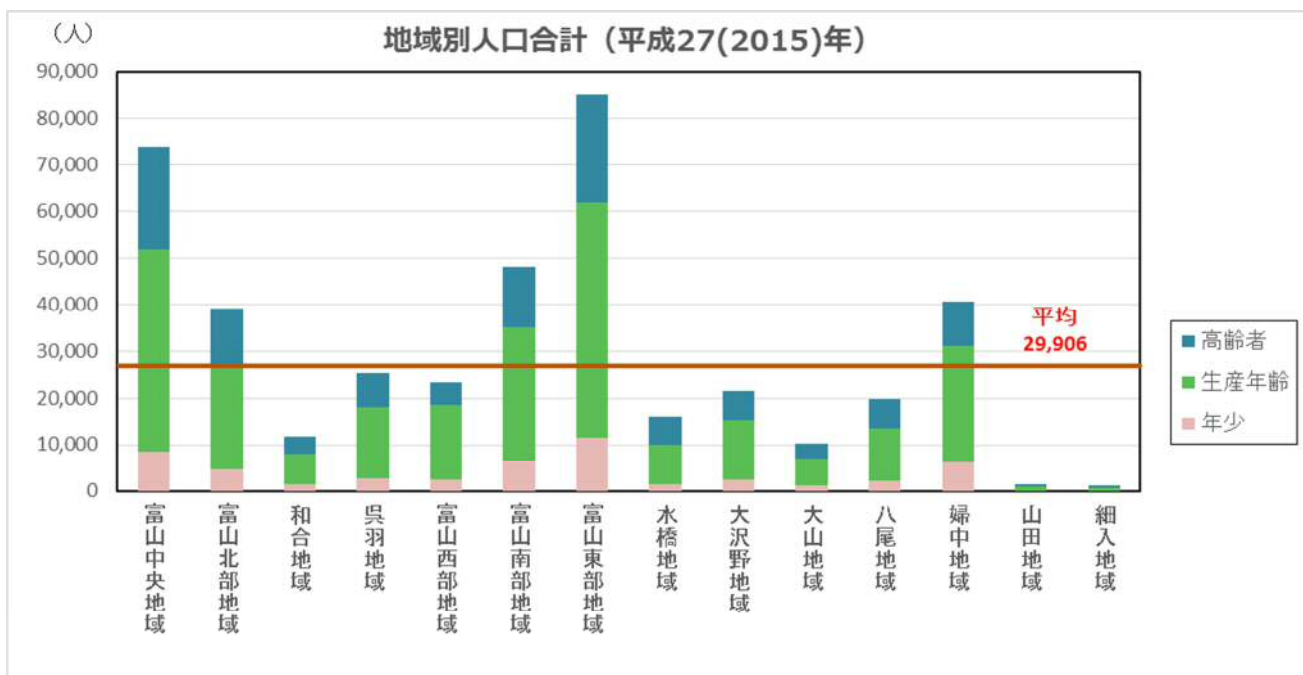
※各地域の人口推計については、本市で算出している将来人口推計「推計シミュレーション1」の算出方法に準じ、コーホート要因法を用いて算出しています。基準人口については直近の数値である平成27年10月1日現在の国勢調査の数値を使用し、純移動率については14地域ごとに算出しています。

※総合管理計画では、富山市民希望出生率（1.92）を用いたシミュレーション3を採用していましたが、アクションプランでは、一般的な人口推計に用いられるシミュレーション1の出生率を用いています。

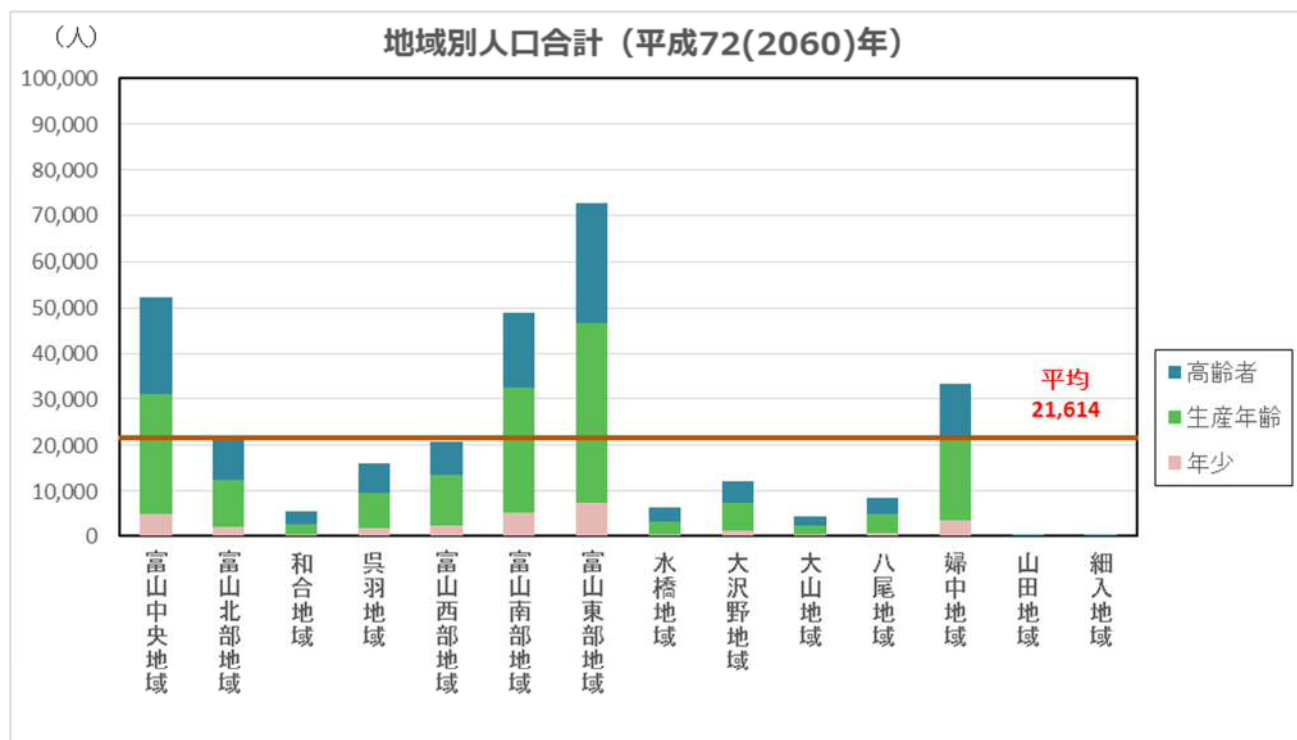
人口推計における設定条件は以下のとおり。

実施概要	コーホート要因法による富山市人口推計： シミュレーション1
	出生率は1.42～1.45程度で推移
基準人口	平成27年(2015)国勢調査
推計年次	平成27年(2015)～平成72年(2060) →基準年から45年後まで5年ごとに推計
出生性比	平成21年(2009)10月～平成26年(2014)9月 富山県出生数実績値より算出 →全期間で107.68
生残率	国立社会保障・人口問題研究所推計値 (富山市値)
純移動率	平成21年(2009)9月～平成26年(2014)9月 住民基本台帳人口から、移動率を14地域ごとに算出し、 将来にわたって傾向は変化しないと仮定(収束しない)
合計特殊出生率	平成22年(2010)の富山市出生率1.46と 全国出生率実績値1.3873の格差を求め、 国立社会保障・人口問題研究所推計の推計値に乗じる

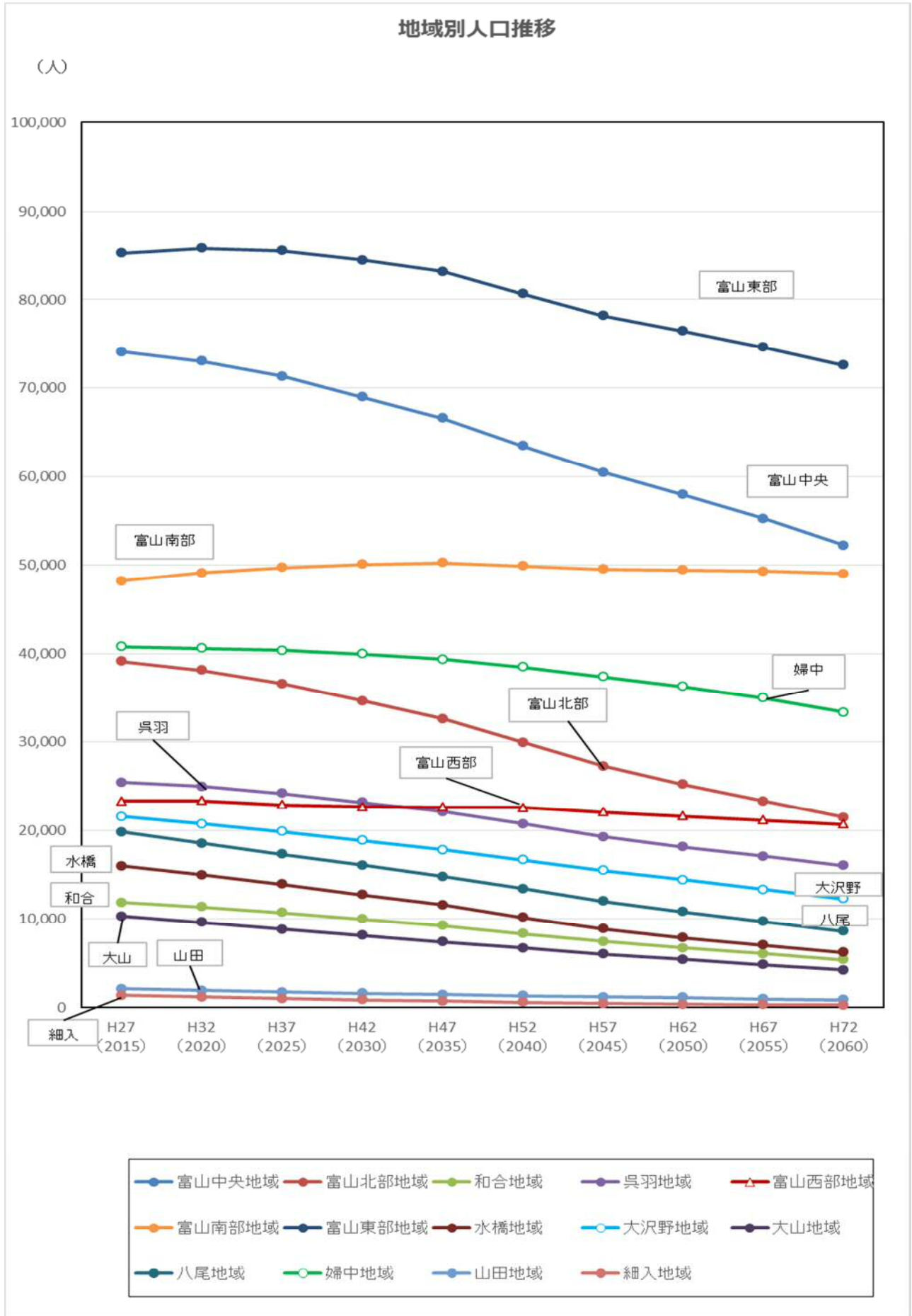
地域別人口合計(平成 27(2015)年)は平均 29,906 人で、最多は富山東部地域の 85,245 人、最少は細入地域の 1,342 人となっています。



地域別人口合計(平成 72(2060)年)は平均 21,614 人で、最多は富山東部地域の 72,581 人、最少は細入地域の 245 人となっています。

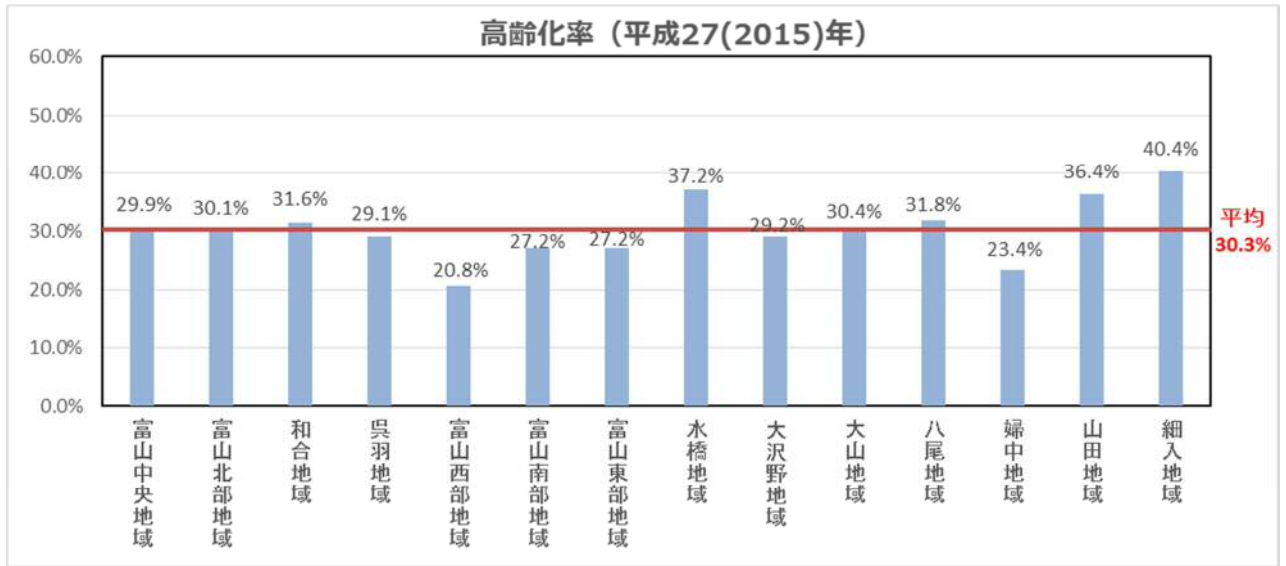


地域別人口推移は次のとおりです。

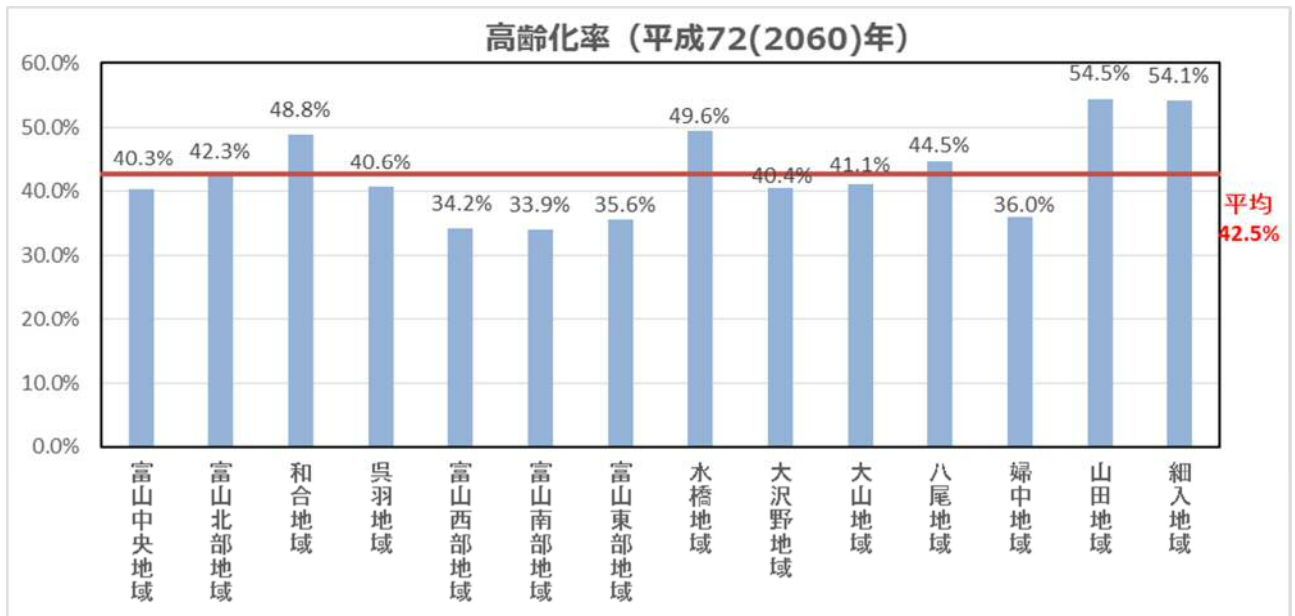


平成 27(2015)年の高齢化率（*）は平均 30.3%で、最高は細入地域の 40.4%、最低は富山西部地域の 20.8%となっています。

（*） 高齢化率：地域別高齢者人口/地域別人口×100（%）で算出。



平成 72(2060)年の高齢化率は平均 42.5%で、最高は山田地域の 54.5%、最低は富山南部地域の 33.9%となっています。



（参考）巻末に全 14 地域の平成 27(2015)年から平成 72(2060)年（45 年間）の人口推計表を掲載しています。

5-3 地域別公共施設保有量

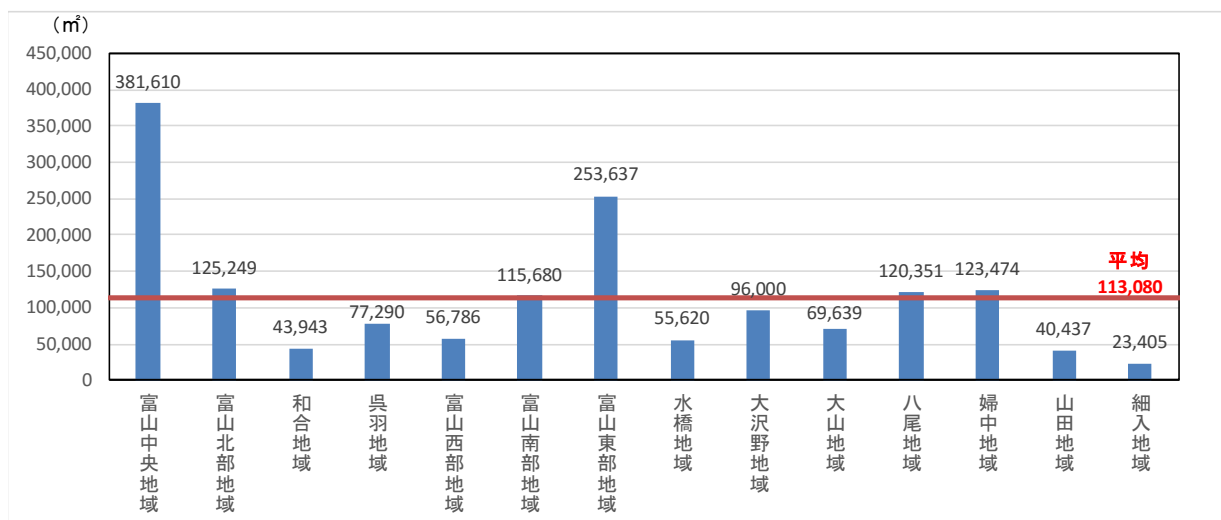
地域別の公共施設保有数、延床面積（㎡）、地域面積 1k ㎡当たり延床面積、地域人口 1 人当たり延床面積は次のとおりです。

※各項目の数字は端数処理の関係で一致しないことがあります。

地域	公共施設保有量(平成 27(2015)年 3 月 31 日現在)			
	保有数	延床面積(㎡)	地域面積 1k ㎡当 たり延床面積 (㎡/k ㎡)	地域人口1人当たり 延床面積 (㎡/人)
(1) 富山中央地域	74	381,610	18,503	5.15
(2) 富山北部地域	41	125,249	4,973	3.20
(3) 和合地域	16	43,943	3,063	3.71
(4) 呉羽地域	36	77,290	2,058	3.03
(5) 富山西部地域	24	56,786	5,439	2.43
(6) 富山南部地域	30	115,680	3,095	2.40
(7) 富山東部地域	51	253,637	6,494	2.98
(8) 水橋地域	31	55,620	2,384	3.48
(9) 大沢野地域	46	96,000	1,287	4.45
(10) 大山地域	42	69,639	122	6.76
(11) 八尾地域	55	120,351	508	6.07
(12) 婦中地域	50	123,474	1,815	3.03
(13) 山田地域	28	40,437	989	25.09
(14) 細入地域	19	23,405	572	17.44
平均	39	113,080	3,664	—
市全域	543	1,583,120	51,302	3.78

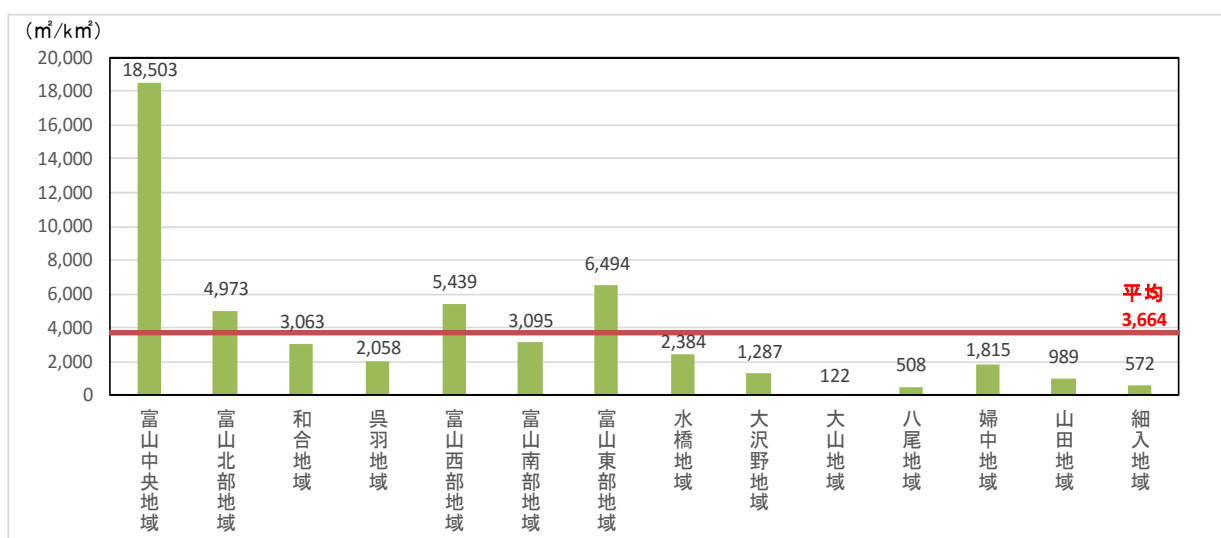
地域別にみた公共施設延床面積（平成 27(2015)年 3 月 31 日現在）は平均 113,080 m²で、最大は富山中央地域の 381,610 m²、最小は細入地域の 23,405 m²となっています。

地域別にみた公共施設延床面積(平成27(2015)年3月31日現在)



地域別にみた面積 1k m²当たり公共施設延床面積（平成 27(2015)年 3 月 31 日現在）は平均 3,664 m²で、最大は富山中央地域の 18,503 m²、最小は大山地域の 122 m²となっています。

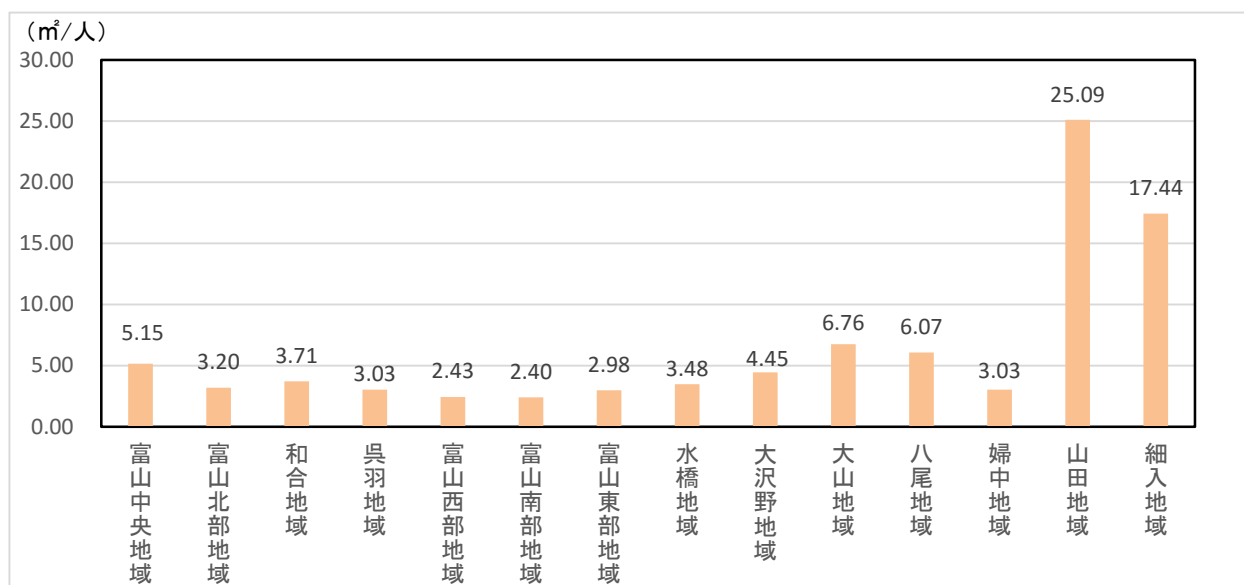
地域別にみた面積1km²当たり公共施設延床面積(平成27(2015)3月31日現在)



市全域の人口1人当たり公共施設延床面積（平成27(2015)年3月31日現在）は3.78 m²で、地域別にみますと最大は山田地域の25.09 m²、最小は富山南部地域の2.40 m²となっています。

山田地域、細入地域は公共施設延床面積、面積1k m²当たり公共施設延床面積が小さいですが、人口1人当たり公共施設延床面積が他地域に比較して大きく、公共施設延床面積に対する人口が非常に少ないことが分かります。

地域別にみた人口1人当たり公共施設延床面積(平成27(2015)年3月31日現在)



5-4 地域別現状分析

① 富山中央地域

【概要及び特性】

富山中央地域は、人口が74,073人、面積が約20.62km²の地域です。

富山駅には公共交通機関として、北陸新幹線、JR高山本線、富山地方鉄道、富山ライトレール、あいの風とやま鉄道が乗り入れ、市の玄関口となる機能を有しています。

中心部には、市役所、富山国際会議場、図書館などが設置されており、全市域及び周辺市町村を含む広域的な範囲における中核を担う拠点となっています。

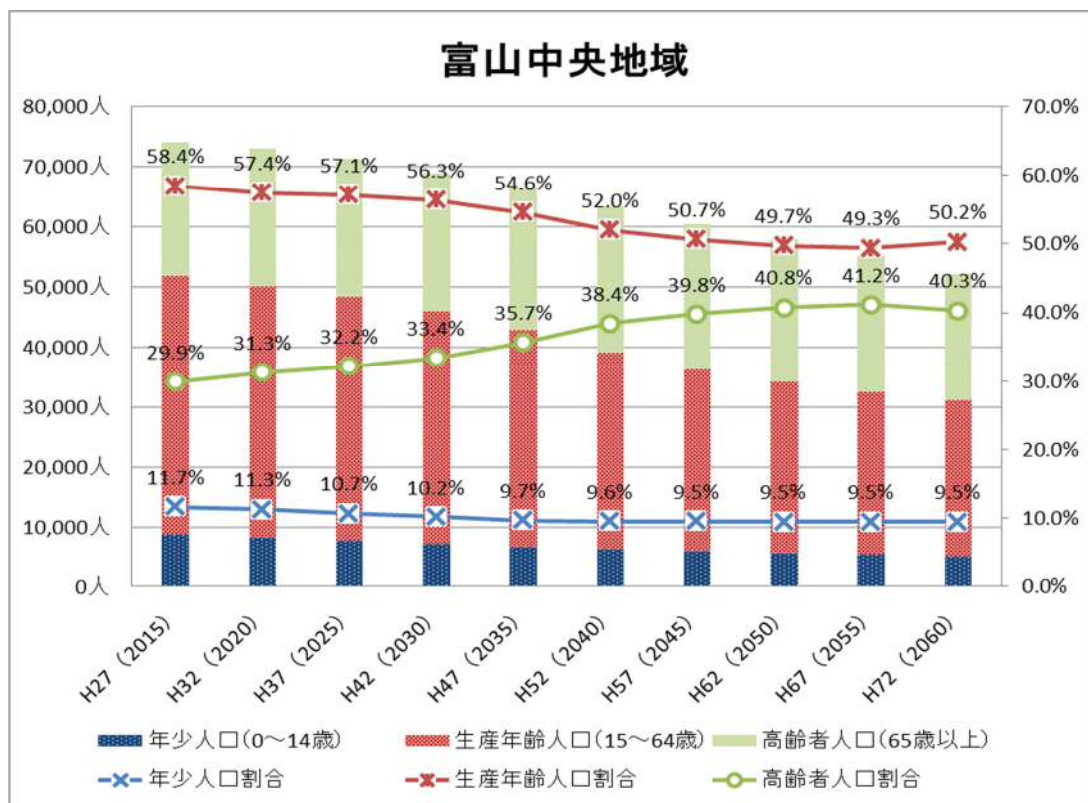
【人口の変化】

富山中央地域全体の人口は、減少傾向にあります。

今後の人口推計をみますと、平成72(2060)年に約2.2万人弱減少し、人口の約3割(29.5%)が減少すると予測されます。

人口構成をみますと、高齢者人口、生産年齢人口及び年少人口の、全人口区分で減少が見込まれています。人口区分別では、高齢者人口の減少率は5.1%ですが、65歳未満人口は生産年齢人口が39.4%、年少人口が42.8%と軒並み減少すると予測され、ますます高齢化が進行することが見込まれます。

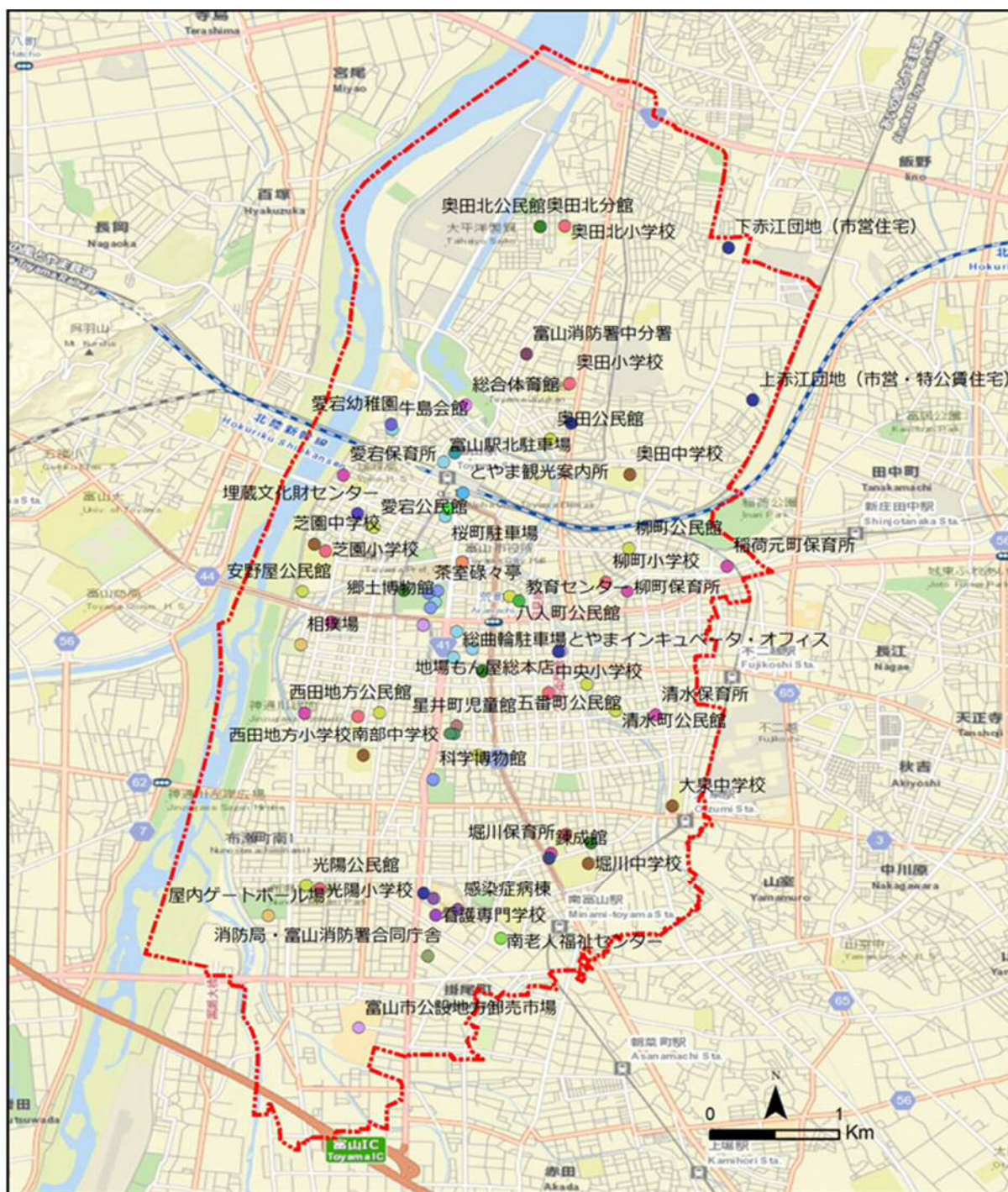
	H27 (2015)	H32 (2020)	H37 (2025)	H42 (2030)	H47 (2035)	H52 (2040)	H57 (2045)	H62 (2050)	H67 (2055)	H72 (2060)	増減(増減率)
富山中央地域全体	74,073人	73,042人	71,332人	69,006人	66,606人	63,462人	60,470人	57,930人	55,221人	52,214人	▲ 21,859人 ▲ 29.5%
高齢者(65歳以上)	22,150人	22,859人	22,964人	23,081人	23,777人	24,401人	24,070人	23,612人	22,731人	21,031人	▲ 1,119人 ▲ 5.1%
生産年齢(15~64歳)	43,272人	41,940人	40,734人	38,880人	36,357人	32,998人	30,635人	28,813人	27,241人	26,231人	▲ 17,041人 ▲ 39.4%
年少(14歳以下)	8,651人	8,243人	7,634人	7,045人	6,473人	6,064人	5,766人	5,504人	5,249人	4,952人	▲ 3,699人 ▲ 42.8%



【配置状況】

富山中央地域には、市役所、図書館及び文化施設等、市全体の行政サービスの中心となる大規模な施設が集積しており、富山市芸術文化ホール（オーバード・ホール）、総合体育館などの市を代表する施設から、集会施設、学校施設などの地域に密着した施設まで全用途の施設が配置されています。また、市が保有する施設の他、国や県などの施設も多く存在しています。

14 地域平均延床面積については、公民館は 3,908.03 m²、図書館は 1,170.97 m²、小学校は 29,671.69 m²、中学校は 15,028.38 m²、保育所 2,104.18 m²となっていますが、富山中央地域は公民館、図書館、小学校、中学校、保育所すべてについて平均を上回っています。



Sources : Esri, HERE, DeLorme, USGS, Intermap, increment P Corp., NRCAN, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), Esri (Thailand), TomTom, Mapbox, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community

凡例

- 本庁舎
- 支所
- 事務所
- ホール
- 公民館
- その他集会施設
- 図書館
- 博物館等
- その他文化施設
- 体育館
- プール
- 武道館
- 野球場
- 陸上競技場
- その他スポーツ施設
- 医療施設
- 保健施設
- 老人福祉センター
- 高齢者福祉施設
- 障害福祉施設
- 宿泊・入浴施設
- 観光施設
- 産業振興施設
- 環境関連施設
- 市営住宅
- 消防署
- 消防分署
- 保育所
- 児童館
- 児童福祉施設
- 幼稚園
- 小学校
- 中学校
- その他学校
- 給食センター
- 社会教育センター
- その他教育施設
- その他

【平成27(2015)年】	(1) 富山中央	中分類	小分類	施設数	延床面積 (㎡)
地域人口(人)	74,073	集会施設	公民館	12	6,124
地域面積(k㎡)	20.82		その他集会施設	0	0
面積1k㎡当たり公共施設保有量(㎡)	18,503.46	文化系施設	ホール	1	24,256
人口1人当たり公共施設保有量(㎡)	5.15		その他文化施設	0	0
			図書館	4	9,010
			博物館等	4	10,306
			社会教育センター	0	0
			体育館	1	28,682
			プール	0	0
			武道館	1	511
			野球場	0	0
			陸上競技場	0	0
			その他スポーツ施設	2	1,291
			レクリエーション施設・観光施設	1	51
			宿泊・入浴施設	0	0
			産業系施設	3	38,579
			小学校	8	72,524
			中学校	5	47,460
			その他学校	1	2,980
			その他教育施設	0	0
			給食センター	1	4,048
			その他教育施設	7	4,460
			保育所	1	687
			幼稚園	0	0
			認定こども園	1	549
			児童館	1	964
			高齢者福祉施設	0	0
			老人福祉センター	0	0
			障害福祉施設	0	0
			障害福祉施設	0	0
			児童福祉施設	0	0
			児童福祉施設	2	5,038
			保健施設	2	2,333
			医療施設	1	43,471
			本庁舎	1	2,484
			支所	1	753
			事務所	1	4,491
			消防署	1	1,294
			消防分署	0	0
			環境関連施設	1	36,745
			市営住宅	4	32,520
			市営住宅	7	36,745
			その他	7	36,745
		合計	合計	74	381,610

【整備状況】

地域内の公共施設は約 381,610 ㎡で、地域住民 1 人当たり 5.15 ㎡となっており、市全域の人口 1 人当たり公共施設延床面積 3.78 ㎡を上回っています。

② 富山北部地域

【概要及び特性】

富山北部地域は人口が 39,100 人、面積が約 25.18 km²です。

岩瀬大町・新川町通りは、北前船の寄港地として栄えてきた、歴史的街並みを残しています。

富山ライトレール富山港線沿線の地域であると同時に、あいの風とやま鉄道の東富山駅もあり、公共交通機関が整っています。

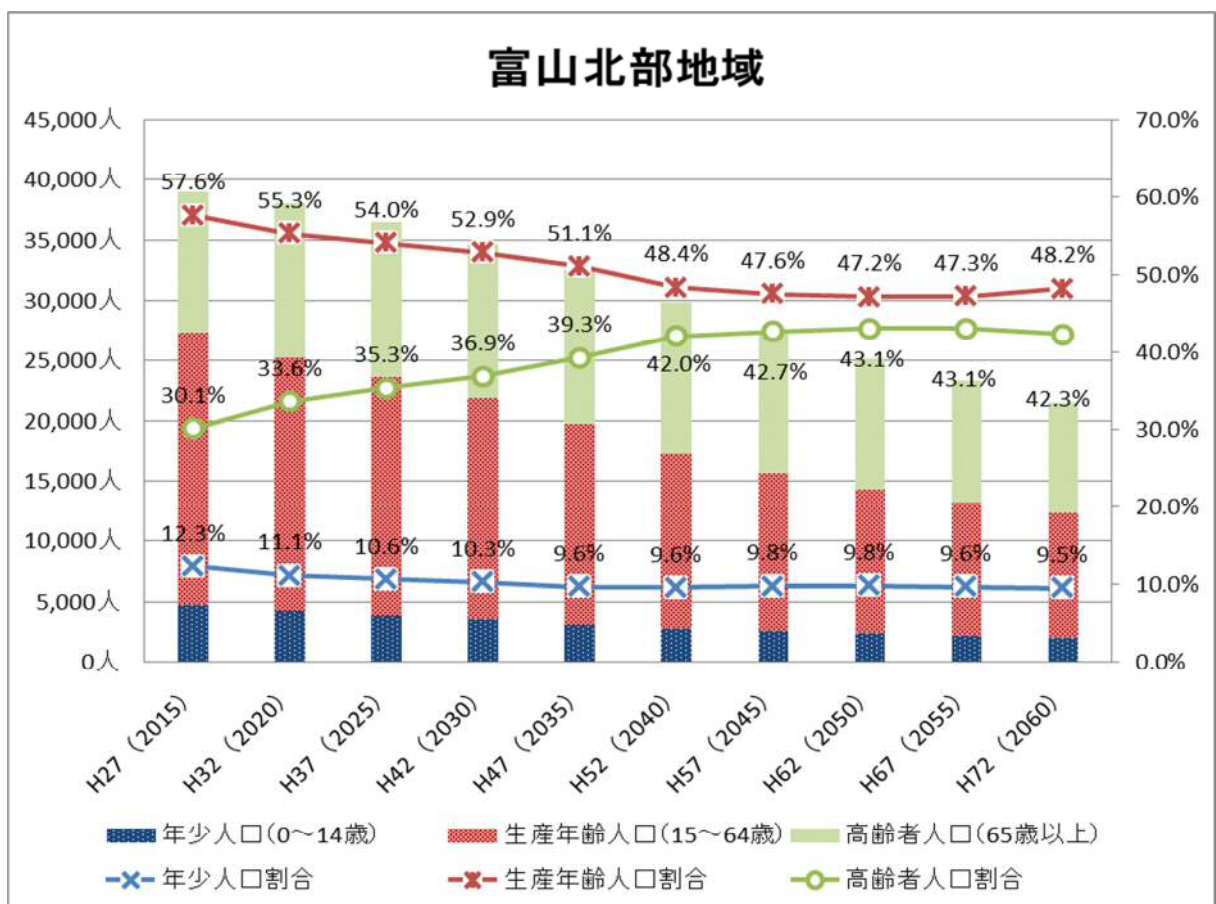
また、特定重要港湾に指定されている富山港は、本市の産業・経済活動の一翼を担う内外貿易の拠点港です。

【人口の変化】

今後の人口推計をみますと、平成 72(2060)年に 45.0%減少する見込みです。

人口区分別でみますと、高齢者人口は 22.7%減少ですが、生産年齢人口は 54.0%減少及び年少人口は 57.6%減少しています。特に年少人口の減少が予測され、平成 27(2015)年時点の半分以下になることが予想されます。この地域における少子高齢化は、大きく進行すると見込まれます。

	H27 (2015)	H32 (2020)	H37 (2025)	H42 (2030)	H47 (2035)	H52 (2040)	H57 (2045)	H62 (2050)	H67 (2055)	H72 (2060)	増減(増減率)	
富山北部地域全体	39,100人	38,071人	36,569人	34,632人	32,603人	29,936人	27,285人	25,215人	23,354人	21,501人	▲ 17,599人	▲ 45.0%
高齢者(65歳以上)	11,759人	12,794人	12,926人	12,764人	12,813人	12,587人	11,644人	10,857人	10,064人	9,092人	▲ 2,667人	▲ 22.7%
生産年齢(15~64歳)	22,533人	21,042人	19,755人	18,309人	16,651人	14,486人	12,978人	11,895人	11,038人	10,371人	▲ 12,162人	▲ 54.0%
年少(14歳以下)	4,807人	4,235人	3,888人	3,558人	3,139人	2,863人	2,662人	2,464人	2,252人	2,038人	▲ 2,769人	▲ 57.6%



【配置状況】

富山北部地域は富山港付近と富山ライトレール富山港線沿線周辺に公共施設が集中しています。

富山北部地域の公共施設の延床面積は14地域平均に比べ、公民館、図書館については平均を下回っていますが、小学校、中学校、保育所について平均を上回っています。

この地域には、市民球場やエコタウン交流推進センターなどがあります。



Sources : Esri, HERE, DeLorme, USGS, Intermap, increment P Corp., NRCAN, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), Esri (Thailand), TomTom, Mapbox, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community

【平成27(2015)年】	(2)富山北部	中分類	小分類	施設数	延床面積 (㎡)		
地域人口(人)	39,100	集會施設	公民館	6	2,516		
地域面積(k㎡)	25.18		その他集會施設	0	0		
面積1k㎡当たり公共施設保有量(㎡)	4,973.29	文化系施設	ホール	0	0		
人口1人当たり公共施設保有量(㎡)	3.20		その他文化施設	0	0		
		図書館	図書館	3	493		
		博物館等	博物館等	2	1,774		
		社会教育センター	社会教育センター	0	0		
		体育館	体育館	1	1,543		
		プール	プール	2	2,707		
		武道館	武道館	1	432		
		野球場	野球場	1	19,049		
		陸上競技場	陸上競技場	0	0		
		その他スポーツ施設	その他スポーツ施設	1	148		
		レクリエーション施設・観光施設	観光施設	1	191		
		宿泊・入浴施設	宿泊・入浴施設	0	0		
		産業系施設	産業振興施設	0	0		
		小学校	小学校	6	39,992		
		中学校	中学校	2	15,866		
		その他学校	その他学校	0	0		
		その他教育施設	給食センター	1	2,840		
			その他教育施設	0	0		
		幼保・こども園	保育所	3	2,291		
			幼稚園	0	0		
			認定こども園	0	0		
		幼児・児童施設	児童館	1	259		
		高齢者福祉施設	老人福祉センター	1	1,192		
			高齢者福祉施設	0	0		
			障害福祉施設	0	0		
			児童福祉施設	0	0		
			保健施設	1	1,161		
			医療施設	0	0		
		庁舎等	本庁舎	0	0		
			支所	0	0		
			事務所	1	399		
		消防施設	消防署	1	1,709		
			消防分署	1	207		
		その他行政系施設	環境関連施設	3	3,224		
			市営住宅	2	27,256		
			その他	0	0		
		合計				41	125,249

【整備状況】

地域内の公共施設の延床面積合計は125,249㎡です。地域住民1人当たり3.20㎡と、市全域の人口1人当たり公共施設延床面積3.78㎡よりも低くなっています。

③ 和合地域

【概要及び特性】

和合地域の人口は11,855人、面積は約14.35k㎡です。

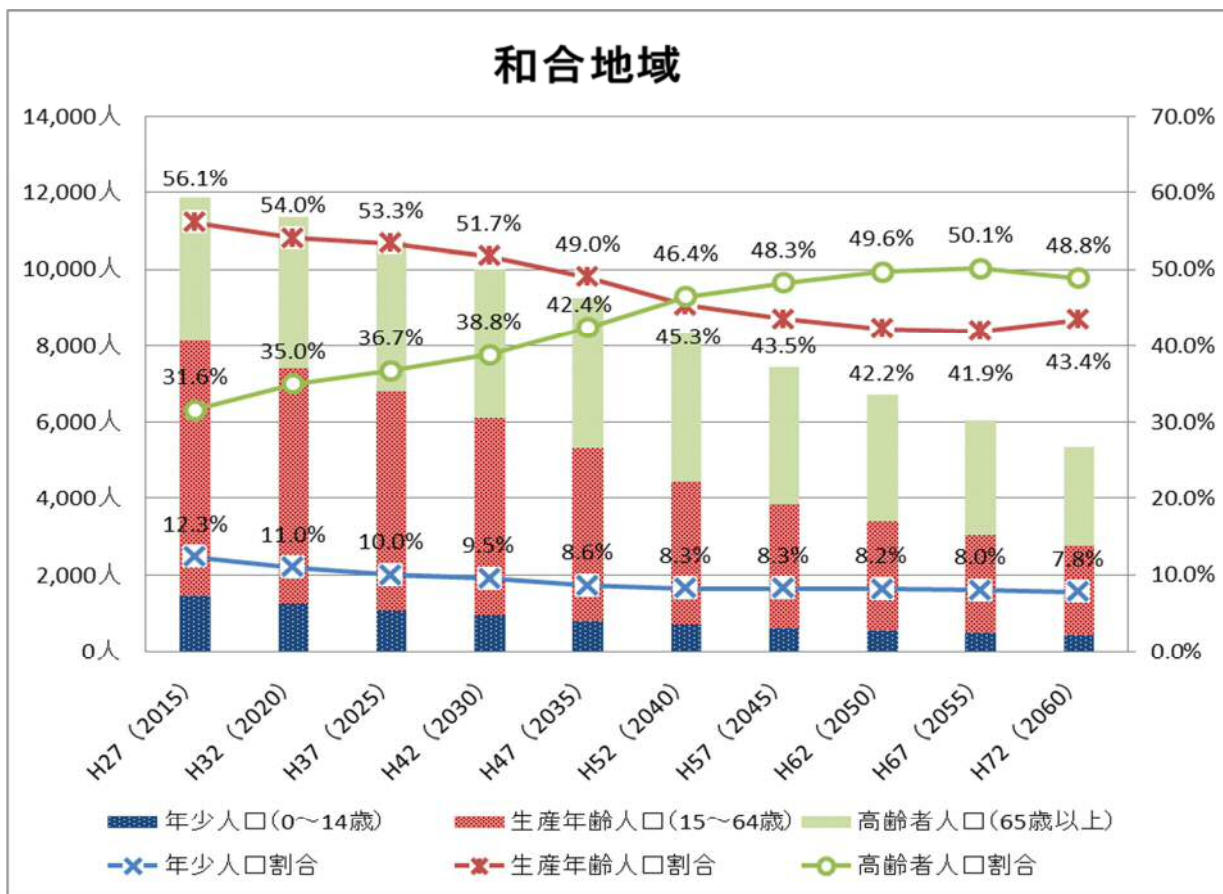
四方の旧市街地があり、海浜、海岸を身近に親しむことができる環境や旧市街地周辺の田園環境が調和している地域です。

臨海部には大規模な工場等も整備されています。海に面した地域であり、四方海浜公園、八重津浜等が整備され、地域資源が生かされています。

【人口の変化】

人口推計をみますと、平成72(2060)年までに54.9%減少し、半数以下になると予測されます。高齢者人口、生産年齢人口、年少人口の全人口区分において減少傾向となっています。高齢者人口の減少率は30.3%であるのに対して、生産年齢人口は65.1%の減少、年少人口は71.4%の減少と平成27(2015)年の半分以下になることが予想され、少子高齢化が進行することが予想されます。また、平成52(2040)年以降は、生産年齢人口を高齢者人口が上回ることが予想されます。

	H27 (2015)	H32 (2020)	H37 (2025)	H42 (2030)	H47 (2035)	H52 (2040)	H57 (2045)	H62 (2050)	H67 (2055)	H72 (2060)	増減(増減率)	
和合地域全体	11,855人	11,356人	10,700人	9,977人	9,221人	8,287人	7,408人	6,697人	6,034人	5,344人	▲ 6,511人	▲ 54.9%
高齢者(65歳以上)	3,744人	3,970人	3,924人	3,871人	3,908人	3,846人	3,576人	3,324人	3,023人	2,608人	▲ 1,136人	▲ 30.3%
生産年齢(15~64歳)	6,650人	6,137人	5,708人	5,155人	4,517人	3,756人	3,220人	2,826人	2,528人	2,318人	▲ 4,332人	▲ 65.1%
年少(14歳以下)	1,461人	1,249人	1,067人	950人	796人	685人	612人	547人	483人	418人	▲ 1,044人	▲ 71.4%



【配置状況】

地域全体で見ますと布目地区周辺に公共施設が比較的集積しています。

和合地域の公共施設の延床面積は14地域平均に比べ、公民館、図書館、小学校、中学校、保育所すべてについて平均を下回っています。

この地域には、富山市四方チャレンジ・ミニ企業団地などがあります。



Sources : Esri, HERE, DeLorme, USGS, Intermap, increment P Corp., NRCAN, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), Esri (Thailand), TomTom, MapmyIndia, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community

【平成27(2015)年】	(3)和合	中分類	小分類	施設数	延床面積(㎡)
地域人口(人)	11,855	集会所施設	公民館	4	2,568
地域面積(k㎡)	14.35		その他集会所施設	0	0
面積1k㎡当たり公共施設保有量(㎡)	3,063.17	文化系施設	ホール	0	0
人口1人当たり公共施設保有量(㎡)	3.71		その他文化施設	0	0
	図書館	図書館	1	132	
	博物館等	博物館等	0	0	
	社会教育センター	社会教育センター	0	0	
	体育館	体育館	0	0	
	プール	プール	1	107	
	武道館	武道館	0	0	
	野球場	野球場	0	0	
	陸上競技場	陸上競技場	0	0	
	その他スポーツ施設	その他スポーツ施設	0	0	
	レクリエーション施設・観光施設	観光施設	0	0	
	宿泊・入浴施設	宿泊・入浴施設	0	0	
	産業系施設	産業振興施設	1	2,358	
	小学校	小学校	4	18,254	
	中学校	中学校	1	7,503	
	その他学校	その他学校	0	0	
	その他教育施設	給食センター	0	0	
		その他教育施設	0	0	
	幼保・こども園	保育所	2	1,738	
		幼稚園	0	0	
		認定こども園	0	0	
	幼児・児童施設	児童館	0	0	
	高齢者福祉施設	老人福祉センター	0	0	
		高齢者福祉施設	0	0	
	障害福祉施設	障害福祉施設	0	0	
	児童福祉施設	児童福祉施設	0	0	
	保健施設	保健施設	0	0	
	医療施設	医療施設	0	0	
	庁舎等	本庁舎	0	0	
	支所	0	0		
	事務所	0	0		
消防施設	消防署	0	0		
	消防分署	1	542		
その他行政系施設	環境関連施設	0	0		
市営住宅	市営住宅	1	10,740		
その他	その他	0	0		
合計				16	43,943

【整備状況】

地域内の公共施設の延床面積合計は43,943㎡で、地域住民1人当たり3.71㎡となっており、市全域の人口1人当たり公共施設延床面積3.78㎡を下回っています。

④ 呉羽地域

【概要及び特性】

呉羽地域の人口は、25,472人、面積は約37.56km²です。あいの風とやま鉄道呉羽駅、都心と連絡するバス路線である県道富山・高岡線沿いは、公共交通沿線での居住が推進される地域です。

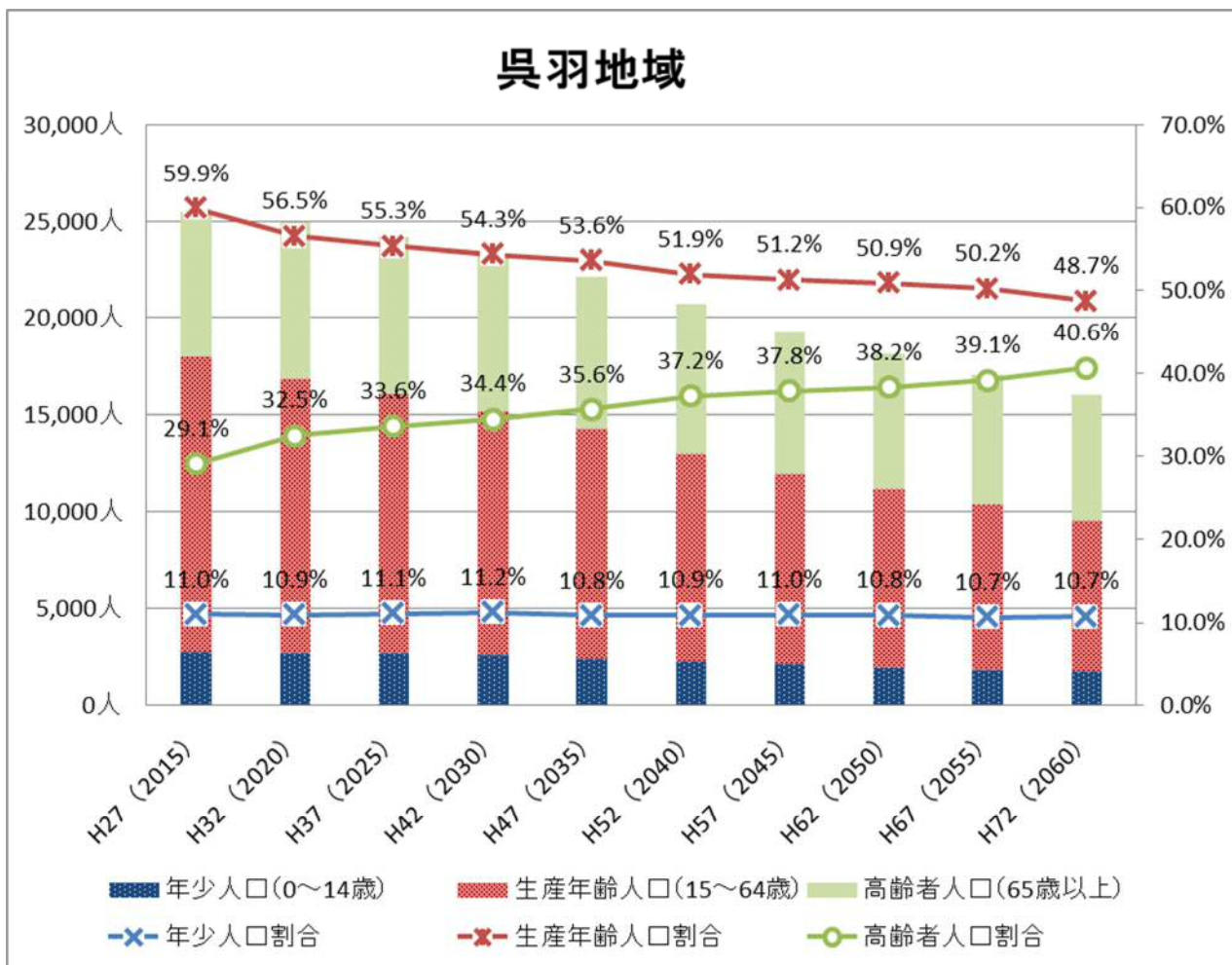
北陸自動車道の富山西IC周辺は、工業地区として位置付けられ、呉羽南部企業団地が整備されており、先端技術産業や流通業務施設の立地を誘導しています。

また、ガラス造形活動の拠点である富山ガラス造形研究所や、市民芸術創造センター等が整備されており、本市の芸術文化活動の拠点となる地域です。

【人口の変化】

人口推計をみますと、平成72(2060)年までに37.0%減少すると予測されます。高齢者人口、生産年齢人口、年少人口の全人口区分において減少傾向となっています。年少人口は、他の地域と比べると比較的緩やかに減少しています。

	H27 (2015)	H32 (2020)	H37 (2025)	H42 (2030)	H47 (2035)	H52 (2040)	H57 (2045)	H62 (2050)	H67 (2055)	H72 (2060)	増減(増減率)
呉羽地域全体	25,472人	24,973人	24,212人	23,219人	22,161人	20,758人	19,282人	18,131人	17,081人	16,048人	▲9,424人 ▲37.0%
高齢者(65歳以上)	7,424人	8,120人	8,136人	7,996人	7,892人	7,721人	7,287人	6,934人	6,680人	6,511人	▲913人 ▲12.3%
生産年齢(15~64歳)	15,252人	14,119人	13,394人	12,614人	11,869人	10,783人	9,881人	9,232人	8,577人	7,814人	▲7,438人 ▲48.8%
年少(14歳以下)	2,796人	2,734人	2,682人	2,610人	2,400人	2,254人	2,114人	1,965人	1,823人	1,723人	▲1,073人 ▲38.4%



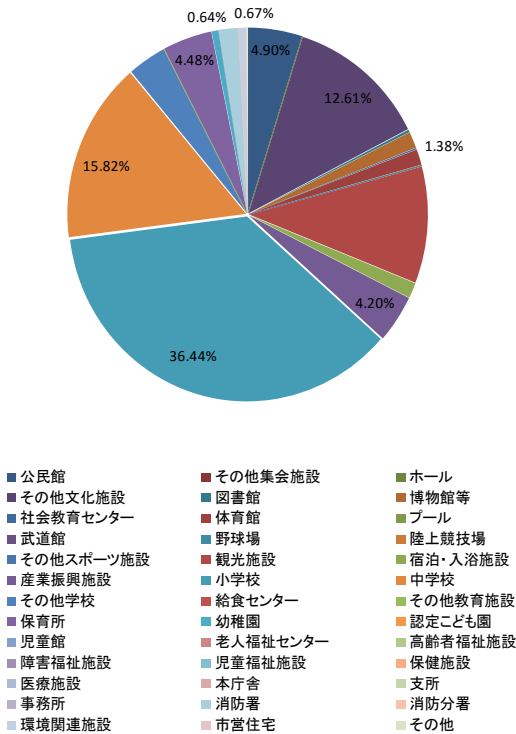
【配置状況】

地域全体で見ますと呉羽駅周辺と県道富山・小杉線周辺に公共施設が集積しています。呉羽地域の公共施設の延床面積は14地域平均に比べ公民館、図書館、小学校、中学校について下回っていますが、保育所については平均を上回っています。この地域には、城山公園内ファミリーパーク、富山ガラス工房などがあります。



Sources : Esri, HERE, DeLorme, USGS, Intermap, increment P Corp., NRCAN, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), Esri (Thailand), TomTom, Mapbox, and the GIS User Community

【平成27(2015)年】	(4) 呉羽	中分類	小分類	施設数	延床面積 (㎡)
地域人口(人)	25,472	集会施設	公民館	6	3,786
地域面積(k㎡)	37.56		その他集会施設	0	0
面積1k㎡当たり公共施設保有量(㎡)	2,058.01	文化系施設	ホール	0	0
人口1人当たり公共施設保有量(㎡)	3.03		その他文化施設	1	9,747
		図書館	図書館	1	173
		博物館等	博物館等	2	1,128
		社会教育センター	社会教育センター	1	107
		体育館	体育館	1	1,066
		プール	プール	1	86
		武道館	武道館	0	0
		野球場	野球場	0	0
		陸上競技場	陸上競技場	0	0
		その他スポーツ施設	その他スポーツ施設	0	0
		レクリエーション施設・観光施設	観光施設	3	7,856
		宿泊・入浴施設	宿泊・入浴施設	1	1,048
		産業系施設	産業振興施設	1	3,242
		小学校	小学校	6	28,164
		中学校	中学校	1	12,228
		その他学校	その他学校	1	2,725
		その他教育施設	給食センター	0	0
			その他教育施設	0	0
		幼保・こども園	保育所	6	3,460
			幼稚園	1	494
			認定こども園	0	0
		幼児・児童施設	児童館	0	0
		高齢者福祉施設	老人福祉センター	0	0
			高齢者福祉施設	0	0
			障害福祉施設	0	0
			障害福祉施設	0	0
			児童福祉施設	0	0
			児童福祉施設	0	0
			保健施設	0	0
			保健施設	0	0
			医療施設	0	0
			医療施設	0	0
		庁舎等	本庁舎	0	0
			支所	0	0
			支所	0	0
			事務所	1	1,353
		消防施設	消防署	1	1,353
			消防分署	0	0
		その他行政系施設	環境関連施設	1	517
			市営住宅	0	0
			市営住宅	0	0
			その他	1	111
		合計		36	77,290



【整備状況】

地域内の公共施設の延床面積合計は、77,290 ㎡であり、地域住民1人当たり 3.03 ㎡となっています。市全域の人口1人当たり公共施設延床面積 3.78 ㎡より下回っています。

⑤ 富山西部地域

【概要及び特性】

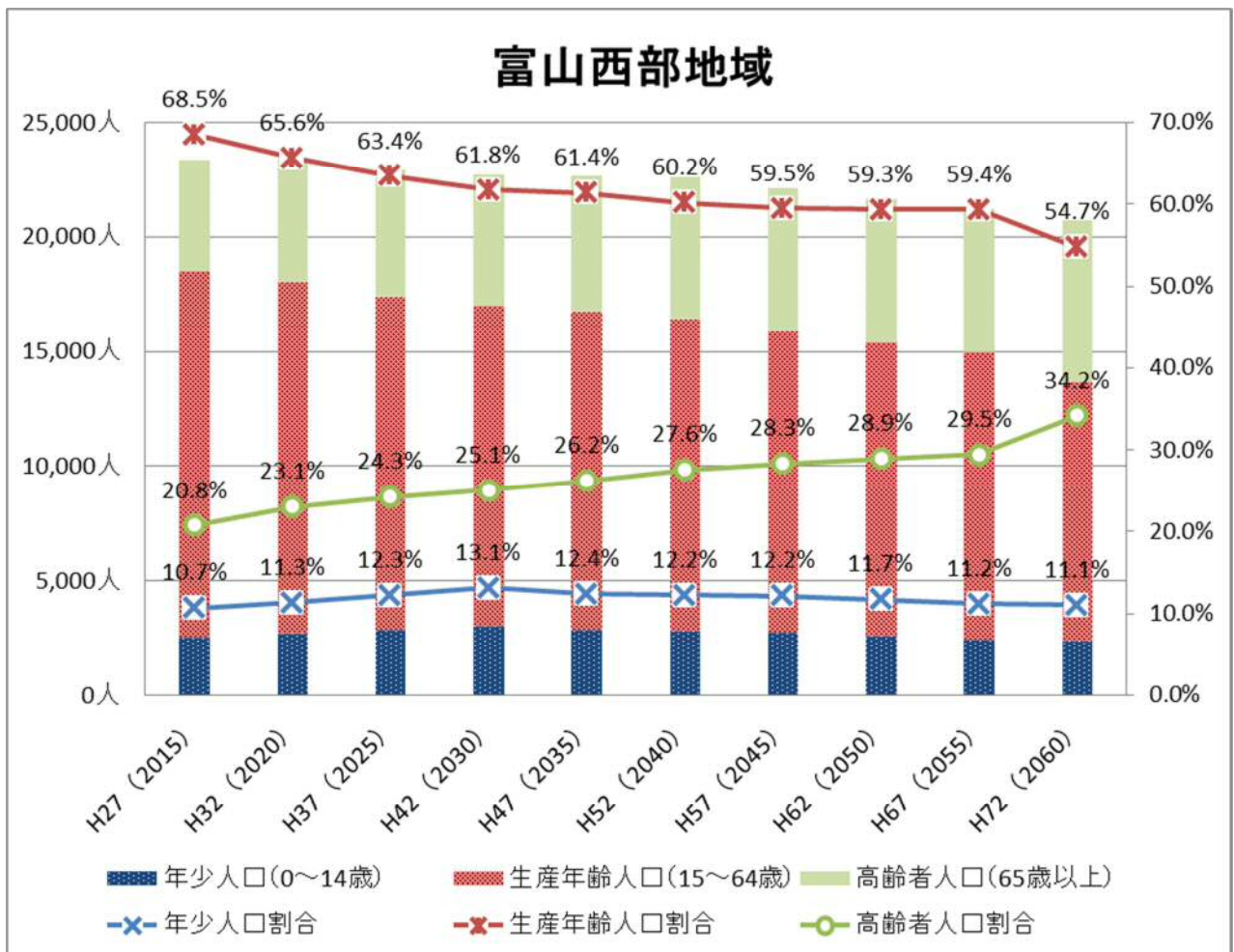
富山西部地域の人口は 23,350 人、面積は約 10.44 km²です。

J R 高山本線西富山駅周辺は、公共交通沿線での居住を推進している地区です。富山大学や産業振興施設があり、学術文化交流や産学官連携の拠点となっています。呉羽丘陵は、緑地環境や自然景観、生態系に恵まれており、自然を生かした交流機能の充実により、市民が自然に身近に親しむことができるレクリエーション拠点となっています。

【人口の変化】

人口推計をみますと、平成 72(2060)年までに 11.3%減少すると予測され、富山市内では 2 番目に人口減少の進行が遅い地域であるということが分かります。生産年齢人口の減少率は 29.2%、年少人口は 8.2%となっていますが、高齢者人口は逆に増加する見込みです。年少人口の減少率は、富山地域では最も低くなっています。

	H27 (2015)	H32 (2020)	H37 (2025)	H42 (2030)	H47 (2035)	H52 (2040)	H57 (2045)	H62 (2050)	H67 (2055)	H72 (2060)	増減(増減率)	
富山西部地域全体	23,350人	23,395人	22,919人	22,686人	22,656人	22,602人	22,087人	21,613人	21,181人	20,705人	▲ 2,645人	▲ 11.3%
高齢者(65歳以上)	4,848人	5,394人	5,564人	5,693人	5,941人	6,238人	6,257人	6,257人	6,242人	7,077人	2,229	46.0%
生産年齢(15~64歳)	16,003人	15,354人	14,540人	14,010人	13,909人	13,595人	13,135人	12,818人	12,573人	11,333人	▲ 4,670人	▲ 29.2%
年少(14歳以下)	2,500人	2,648人	2,814人	2,983人	2,805人	2,768人	2,695人	2,539人	2,366人	2,296人	▲ 204人	▲ 8.2%



【配置状況】

地域全体で見ますと、呉羽山周辺に博物館が集積しています。

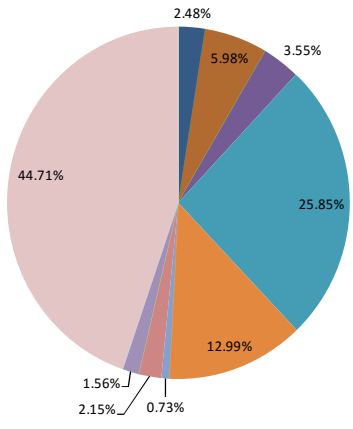
富山西部地域の公共施設の延床面積は14地域平均に比べ、公民館、小学校、中学校について平均を下回っています。

この地域には、民芸館等の民俗民芸村の施設などがあります。



Sources : Esri, HERE, DeLorme, USGS, Intermap, iPC, NRCAN, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), Esri (Thailand), TomTom, Mapbox, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community

【平成27(2015)年】	(5) 富山西部	中分類	小分類	施設数	延床面積 (㎡)
地域人口(人)	23,350	集会施設	公民館	3	1,410
地域面積(k㎡)	10.44		その他集会施設	0	0
面積1k㎡当たり公共施設保有量(㎡)	5,439.31	文化系施設	ホール	0	0
人口1人当たり公共施設保有量(㎡)	2.43		その他文化施設	0	0
		図書館	図書館	0	0
		博物館等	博物館等	11	3,396
		社会教育センター	社会教育センター	0	0
		体育館	体育館	0	0
		プール	プール	0	0
		武道館	武道館	0	0
		野球場	野球場	0	0
		陸上競技場	陸上競技場	0	0
		その他スポーツ施設	その他スポーツ施設	0	0
		レクリエーション施設・観光施設	観光施設	0	0
		宿泊・入浴施設	宿泊・入浴施設	0	0
		産業系施設	産業振興施設	1	2,016
		小学校	小学校	3	14,678
		中学校	中学校	1	7,375
		その他学校	その他学校	0	0
		その他教育施設	給食センター	0	0
			その他教育施設	0	0
		幼保・こども園	保育所	0	0
			幼稚園	0	0
			認定こども園	0	0
		幼児・児童施設	児童館	1	417
		高齢者福祉施設	老人福祉センター	1	1,221
			高齢者福祉施設	0	0
		障害福祉施設	障害福祉施設	1	885
			児童福祉施設	0	0
			児童福祉施設	0	0
			保健施設	0	0
			医療施設	0	0
		庁舎等	本庁舎	0	0
			支所	0	0
			事務所	0	0
		消防施設	消防署	0	0
			消防分署	0	0
		その他行政系施設	環境関連施設	0	0
			市営住宅	2	25,386
			その他	0	0
		合計		24	56,786



【整備状況】

地域内の公共施設の延床面積合計は 56,786 ㎡で、地域住民 1 人当たり 2.43 ㎡となっており、市全域の人口 1 人当たり公共施設延床面積 3.78 ㎡を下回っています。

⑥ 富山南部地域

【概要及び特性】

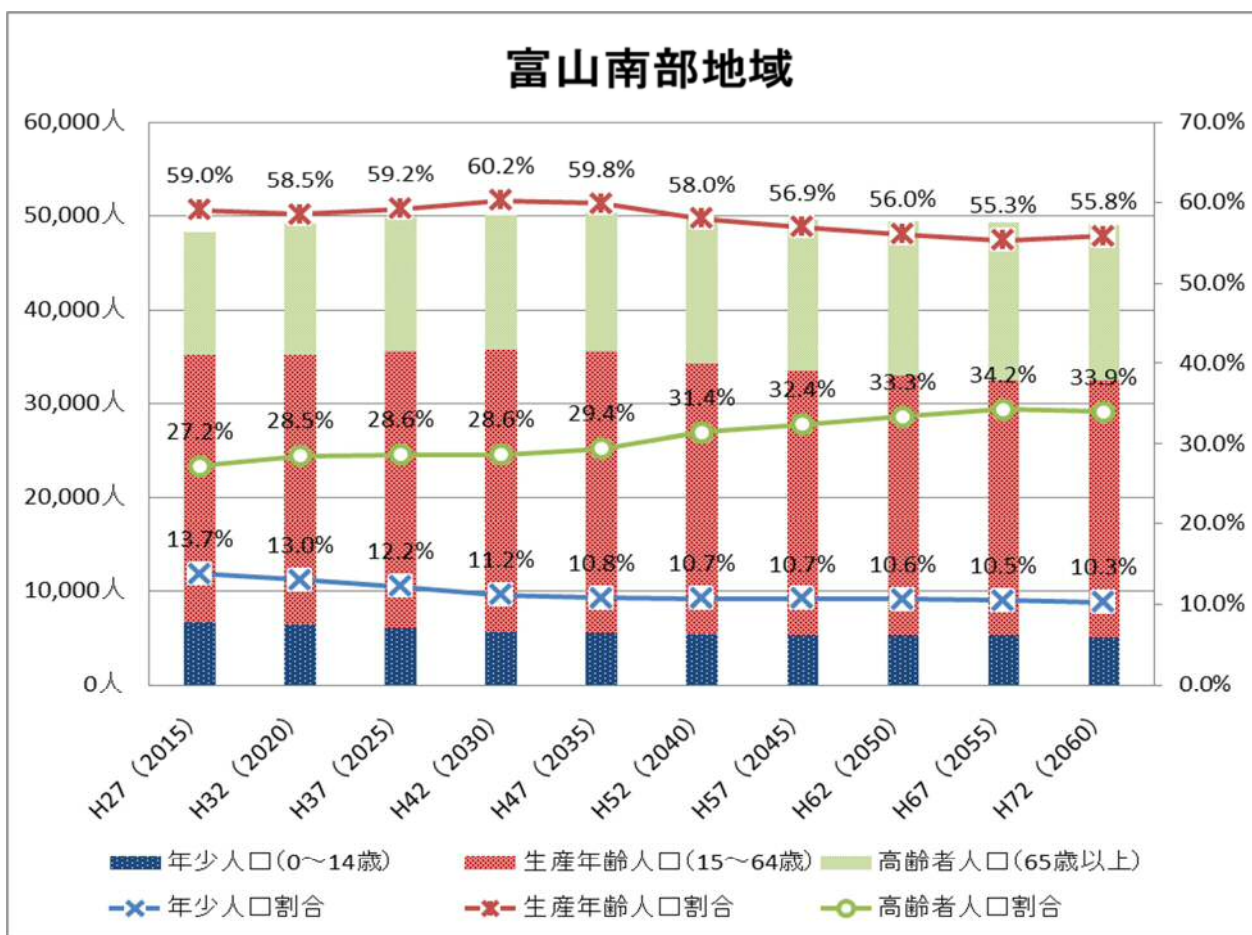
富山南部地域の人口は48,176人、面積は約37.38km²です。

南富山駅では、富山地方鉄道不二越・上滝線と市内電車の乗継ぎができ、富山駅へのアクセス手段が充実しています。南富山駅前商店街を中心に身近な商業をはじめとした生活関連機能も充実しています。富山地方鉄道不二越・上滝線沿線の地域は、公共交通沿線での居住を推進する地区として、南富山駅周辺での居住環境が整備されています。また、富山空港及び北陸自動車道富山ICの高速交通も充実している地域です。

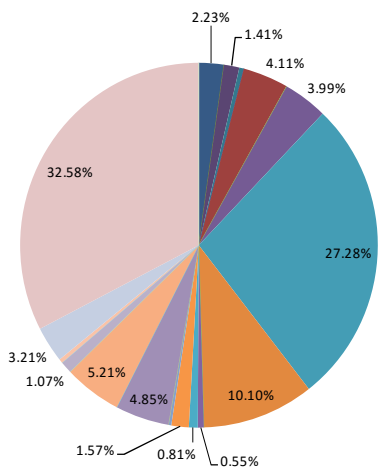
【人口の変化】

人口推計をみますと、平成72(2060)年までに1.7%増加すると予測され、全14地域の中で唯一人口が増加する地域と予想されます。これは他の地域に比べ、生産年齢の女性の流入が多いことが要因として考えられます。平成72(2060)年の高齢化率は33.9%と予想され、高齢化率においても、市内で最も低い地域となっています。

	H27 (2015)	H32 (2020)	H37 (2025)	H42 (2030)	H47 (2035)	H52 (2040)	H57 (2045)	H62 (2050)	H67 (2055)	H72 (2060)	増減(増減率)
富山南部地域全体	48,176人	49,073人	49,682人	50,034人	50,223人	49,875人	49,484人	49,403人	49,279人	48,978人	802 1.7%
高齢者(65歳以上)	13,119人	13,979人	14,230人	14,328人	14,766人	15,651人	16,045人	16,474人	16,870人	16,616人	3,497 26.7%
生産年齢(15~64歳)	28,435人	28,701人	29,404人	30,124人	30,041人	28,903人	28,162人	27,683人	27,236人	27,337人	▲1,098人 ▲3.9%
年少(14歳以下)	6,622人	6,393人	6,048人	5,582人	5,415人	5,322人	5,277人	5,246人	5,173人	5,025人	▲1,597人 ▲24.1%



【平成27(2015)年】	(6) 富山南部	中分類	小分類	施設数	延床面積(m ²)
地域人口(人)	48,176	集会施設	公民館	5	2,581
地域面積(km ²)	37.38		その他集会施設	0	0
面積1km ² 当たり公共施設保有量(m ²)	3,094.54	文化系施設	ホール	0	0
人口1人当たり公共施設保有量(m ²)	2.40		その他文化施設	1	1,627
		図書館	図書館	3	458
		博物館等	博物館等	0	0
		社会教育センター	社会教育センター	0	0
		体育館	体育館	1	4,755
		プール	プール	1	44
		武道館	武道館	0	0
		野球場	野球場	0	0
		陸上競技場	陸上競技場	0	0
		その他スポーツ施設	その他スポーツ施設	0	0
		レクリエーション施設・観光施設	観光施設	0	0
		宿泊・入浴施設	宿泊・入浴施設	0	0
		産業系施設	産業振興施設	1	4,616
		小学校	小学校	5	31,559
		中学校	中学校	2	11,886
		その他学校	その他学校	0	0
		その他教育施設	給食センター	0	0
			その他教育施設	0	0
		幼保・こども園	保育所	1	633
			幼稚園	1	934
			認定こども園	1	1,813
		幼児・児童施設	児童館	1	306
		高齢者福祉施設	老人福祉センター	0	0
			高齢者福祉施設	0	0
			障害福祉施設	1	5,606
			児童福祉施設	0	0
			保健施設	1	6,027
			医療施設	0	0
		庁舎等	本庁舎	0	0
			支所	0	0
			事務所	1	1,238
		消防施設	消防署	0	0
			消防分署	1	394
		その他行政系施設	環境関連施設	1	3,716
			市営住宅	2	37,688
			その他	0	0
		合計		30	115,880



【整備状況】

地域内の公共施設の延床面積合計は 115,680 m²で、地域住民 1 人当たり 2.40 m²となっており、市全域の人口 1 人当たり公共施設延床面積 3.78 m²を下回っています。

⑦ 富山東部地域

【概要及び特性】

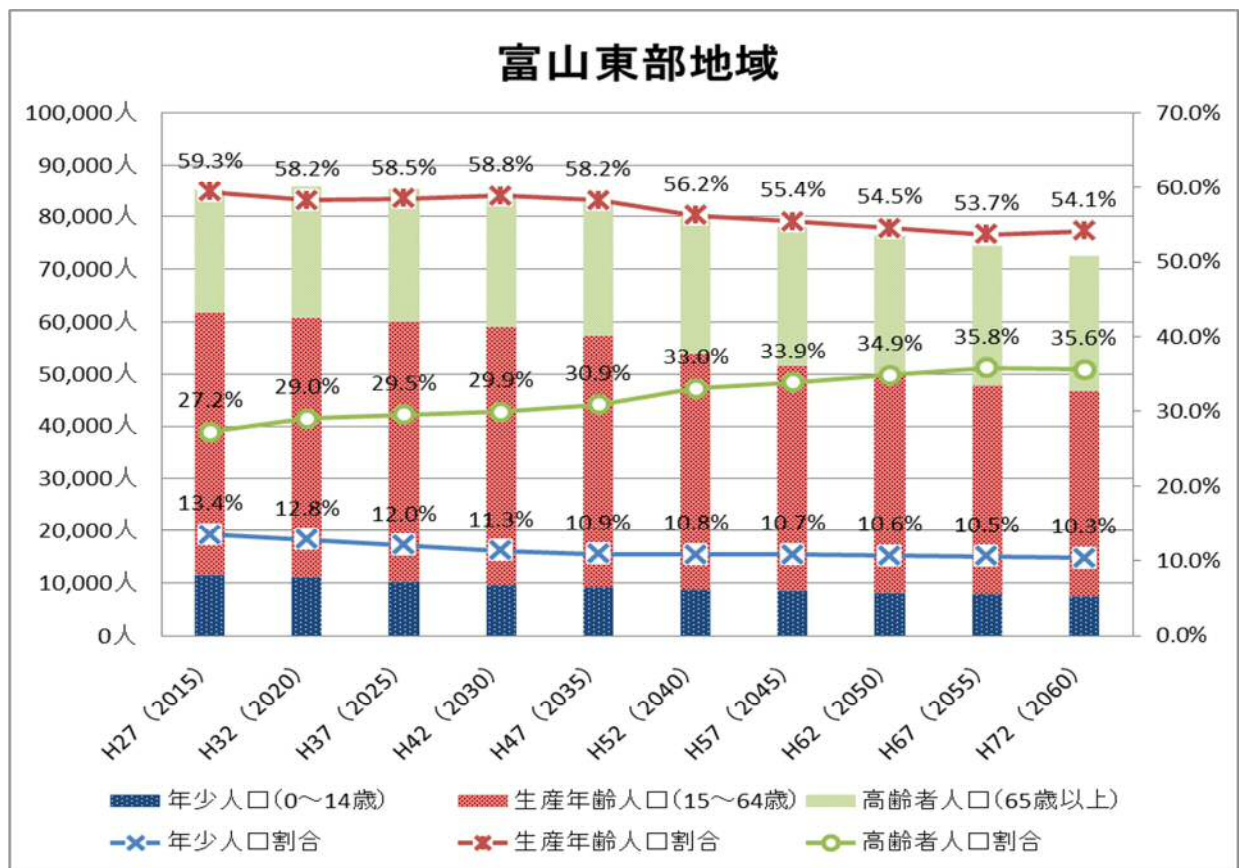
富山東部地域の人口は85,245人、面積は約39.06 km²です。14地域内で最も人口の多い地域です

富山地方鉄道不二越駅周辺には、安心・快適に歩きながら買い物を楽しむことができる商業空間があります。その他の地区も、富山地方鉄道本線や国道41号、県道富山立山公園線等のバス路線があり、公共交通沿線での居住を推進している地区です。また、自然豊かな常願寺川の河川敷もあります。

【人口の変化】

生産年齢人口、年少人口において減少傾向ですが、高齢者人口は11.3%増加する見込みです。平成72(2060)年までに全体で14.9%減少すると予測され、富山地域では南部地域、西部地域に次いで3番目に人口減少の進行が遅い地域であるといえます。平成72(2060)年の高齢化率も、南部地域、西部地域に続いて3番目に低い地域となっています。

	H27 (2015)	H32 (2020)	H37 (2025)	H42 (2030)	H47 (2035)	H52 (2040)	H57 (2045)	H62 (2050)	H67 (2055)	H72 (2060)	増減(増減率)	
富山東部地域全体	85,245人	85,801人	85,513人	84,499人	83,208人	80,660人	78,191人	76,455人	74,590人	72,581人	▲12,664人	▲14.9%
高齢者(65歳以上)	23,214人	24,894人	25,245人	25,292人	25,727人	26,644人	26,501人	26,679人	26,714人	25,843人	2,628人	11.3%
生産年齢(15~64歳)	50,566人	49,956人	49,992人	49,666人	48,439人	45,322人	43,286人	41,643人	40,036人	39,263人	▲11,303人	▲22.4%
年少(14歳以下)	11,465人	10,951人	10,276人	9,540人	9,043人	8,694人	8,404人	8,133人	7,839人	7,475人	▲3,990人	▲34.8%



【配置状況】

地域全体で見ますと不二越駅周辺、富山地方鉄道本線沿いや国道 41 号沿いに公共施設が集積しています。

富山東部地域の公共施設の延床面積は 14 地域平均に比べ、公民館、小学校、中学校、保育所について平均を上回っています。図書館については平均を下回っています。

最も人口の多い地域のため、公民館や図書館等の地域に密着した施設が多く設置されています。また、この地域には、市民プールや富山市職業訓練センターなどがあります。



Sources : Esri, HERE, DeLorme, USGS, Intermap, increment P Corp., NRCAN, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), Esri (Thailand), TomTom, MapmyIndia, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community

【平成27(2015)年】	(7)富山東部	中分類	小分類	施設数	延床面積 (㎡)				
地域人口(人)	85,245	集会施設	公民館	8	3,967				
地域面積(k㎡)	39.06		其他集会施設	1	1,261				
面積1k㎡当たり公共施設保有量(㎡)	6,493.82	文化系施設	ホール	0	0				
人口1人当たり公共施設保有量(㎡)	2.98		其他文化施設	0	0				
						図書館	図書館	4	512
						博物館等	博物館等	1	586
						社会教育センター	社会教育センター	0	0
						体育館	体育館	1	2,562
						プール	プール	1	9,261
						武道館	武道館	0	0
						野球場	野球場	0	0
						陸上競技場	陸上競技場	0	0
						其他スポーツ施設	其他スポーツ施設	0	0
						レクリエーション施設・観光施設	観光施設	0	0
						宿泊・入浴施設	宿泊・入浴施設	0	0
						産業系施設	産業振興施設	1	2,340
						小学校	小学校	8	69,583
						中学校	中学校	4	37,764
						其他学校	其他学校	0	0
						其他教育施設	給食センター	1	2,504
							其他教育施設	1	571
						幼保・こども園	保育所	3	2,960
							幼稚園	0	0
							認定こども園	0	0
						幼児・児童施設	児童館	2	1,098
						高齢者福祉施設	老人福祉センター	1	579
							高齢者福祉施設	1	4,757
						障害福祉施設	障害福祉施設	0	0
						児童福祉施設	児童福祉施設	2	4,137
						保健施設	保健施設	0	0
						医療施設	医療施設	0	0
						庁舎等	本庁舎	0	0
							支所	0	0
	事務所	0	0						
消防施設	消防署	0	0						
	消防分署	2	1,465						
其他行政系施設	環境関連施設	2	2,267						
	市営住宅	7	105,463						
其他	其他	0	0						
合計				51	253,637				

【整備状況】

地域内の公共施設の延床面積合計は253,637㎡で、地域住民1人当たり2.98㎡となっており、市全域の人口1人当たり公共施設延床面積3.78㎡を下回っています。

⑧ 水橋地域

【概要及び特性】

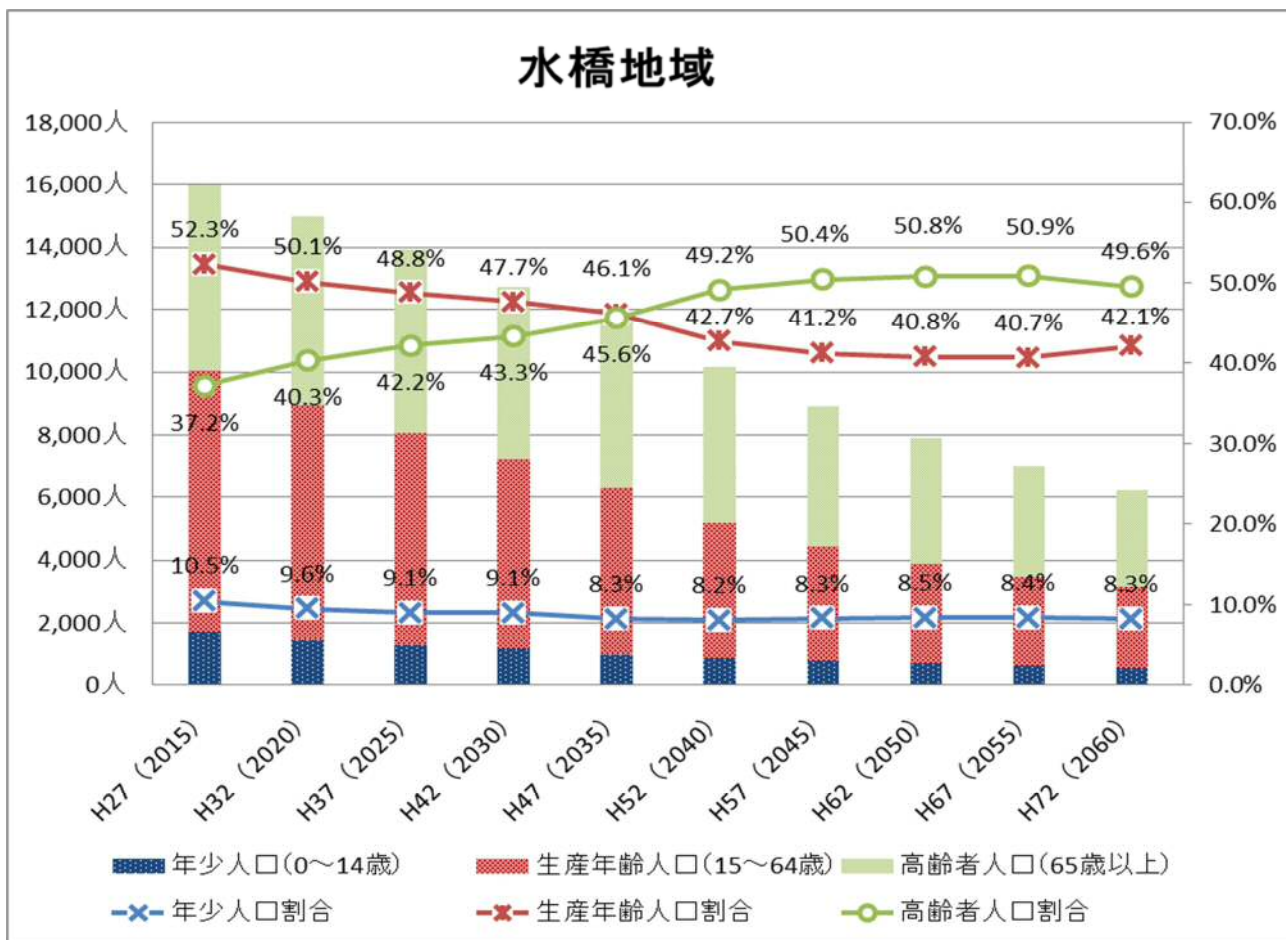
水橋地域の人口は 15,977 人、面積は約 23.33 km²で、あいの風とやま鉄道水橋駅を中心とする地域です。

水橋の旧市街地における歴史的な街並みと商店街が充実しています。水橋漁港や水辺の資源等を生かし、水橋漁港でのレクリエーション機能も充実しています。また、白岩川での親水性のある水辺空間の整備や、地域住民が楽しむことができる海岸環境の整備がされています。

【人口の変化】

人口推計をみますと、平成 72(2060)年までに 61.2%減少すると予測され、平成 27(2015)年の半数以下になると予想されます。富山地域では、最も大きく減少する地域ということになります。高齢者人口、生産年齢人口、年少人口の全人口区分において減少傾向となっており、平成 52(2040)年以降、高齢者人口が生産年齢人口を上回ることが予想されます。

	H27 (2015)	H32 (2020)	H37 (2025)	H42 (2030)	H47 (2035)	H52 (2040)	H57 (2045)	H62 (2050)	H67 (2055)	H72 (2060)	増減(増減率)
水橋地域全体	15,977人	14,972人	13,910人	12,717人	11,557人	10,150人	8,874人	7,862人	6,993人	6,195人	▲ 9,782人 ▲ 61.2%
高齢者(65歳以上)	5,938人	6,036人	5,866人	5,505人	5,267人	4,990人	4,476人	3,992人	3,559人	3,070人	▲ 2,868人 ▲ 48.3%
生産年齢(15~64歳)	8,363人	7,506人	6,782人	6,060人	5,331人	4,332人	3,657人	3,204人	2,845人	2,610人	▲ 5,753人 ▲ 68.8%
年少(14歳以下)	1,676人	1,430人	1,262人	1,151人	959人	827人	741人	665人	589人	515人	▲ 1,162人 ▲ 69.3%



【配置状況】

地域全体で見ますと水橋駅周辺や国道8号沿いに公共施設が集積しています。特に、水橋駅より海沿いに集積しています。

水橋地域の公共施設の延床面積は14地域平均に比べ、公民館、図書館、小学校、中学校、保育所すべてについて平均を下回っています。

この地域には、水橋フィッシャリーナなどがあります。



Sources : Eri, HERE, DeLorme, USGS, Intermap, increment P Corp., NRCAN, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), Esri (Thailand), TomTom, Mapbox, Inc., © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community

【平成27(2015)年】	(8)水橋	中分類	小分類	施設数	延床面積 (㎡)				
地域人口(人)	15,977	集会施設	公民館	5	2,983				
地域面積(k㎡)	23.33		その他集会施設	1	96				
面積1k㎡当たり公共施設保有量(㎡)	2,383.59	文化系施設	ホール	0	0				
人口1人当たり公共施設保有量(㎡)	3.48		その他文化施設	0	0				
						図書館	図書館	1	132
						博物館等	博物館等	1	616
						社会教育センター	社会教育センター	0	0
						体育館	体育館	1	1,022
						プール	プール	1	72
						武道館	武道館	1	595
						野球場	野球場	0	0
						陸上競技場	陸上競技場	0	0
						その他スポーツ施設	その他スポーツ施設	0	0
						レクリエーション施設・観光施設	観光施設	1	156
						宿泊・入浴施設	宿泊・入浴施設	0	0
						産業系施設	産業振興施設	2	1,285
						小学校	小学校	5	21,710
						中学校	中学校	2	12,822
						その他学校	その他学校	0	0
						その他教育施設	給食センター	0	0
							その他教育施設	0	0
						幼保・こども園	保育所	4	1,646
							幼稚園	1	618
							認定こども園	0	0
						幼児・児童施設	児童館	1	323
						高齢者福祉施設	老人福祉センター	1	450
							高齢者福祉施設	0	0
							障害福祉施設	0	0
							児童福祉施設	0	0
							保健施設	0	0
							医療施設	0	0
						庁舎等	本庁舎	0	0
							支所	0	0
	事務所	0	0						
消防施設	消防署	1	1,339						
	消防分署	0	0						
その他行政系施設	環境関連施設	0	0						
市営住宅	市営住宅	2	9,756						
その他	その他	0	0						
合計				31	55,620				

【整備状況】

地域内の公共施設の延床面積合計は 55,620 ㎡で、地域住民 1 人当たり 3.48 ㎡となっており、市全域の人口 1 人当たり公共施設延床面積 3.78 ㎡を下回っています。

⑨ 大沢野地域

【概要及び特性】

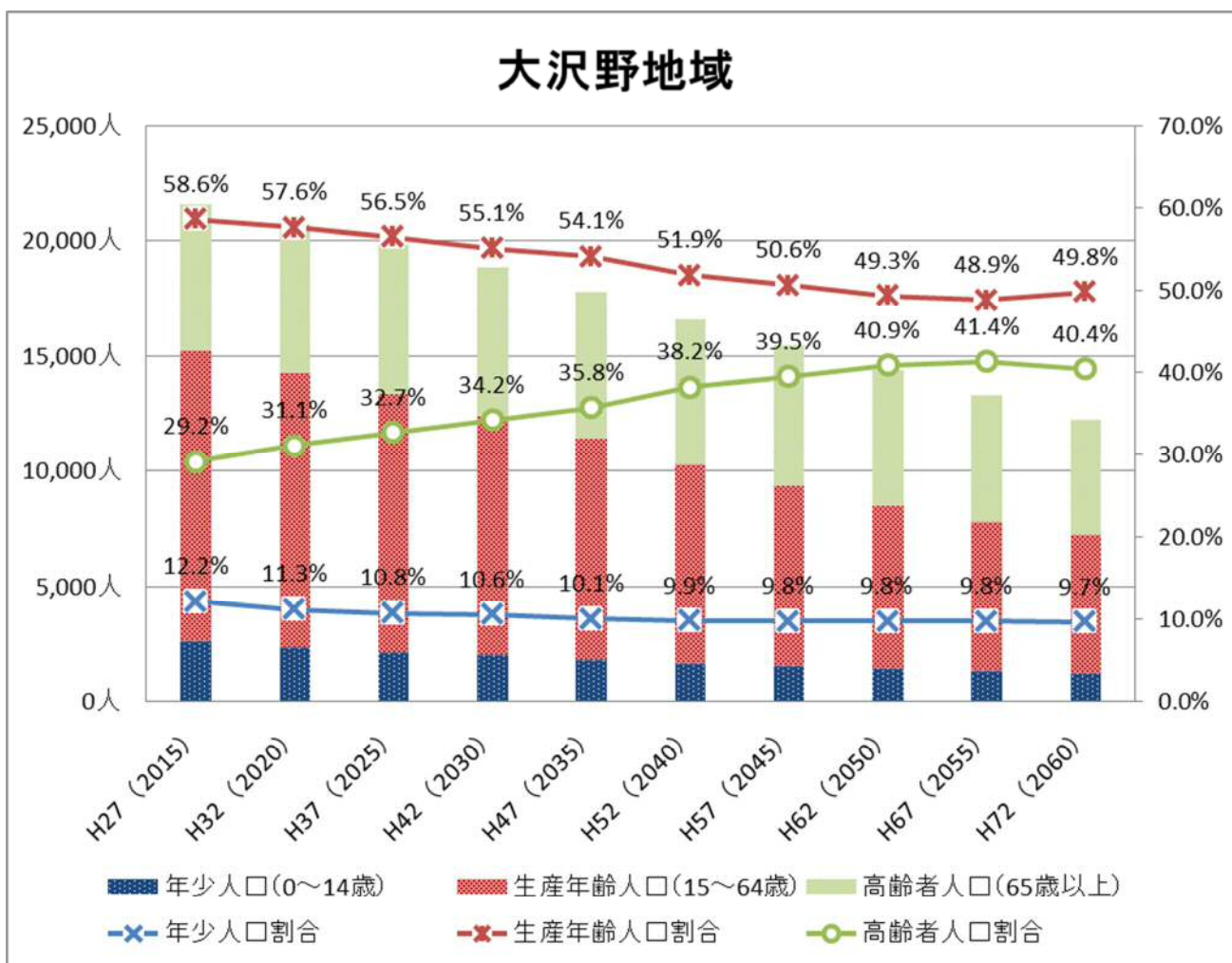
大沢野地域の人口は21,582人、面積は約74.58km²です。

JR高山本線の笹津駅周辺は、駅前商店街等を中心に身近な商業をはじめとした生活関連機能が充実しています。国道41号を中心にバス路線も同様に充実しています。神通川沿いや猿倉山森林公園や寺家公園等の一帯は、豊かな自然環境があります。

【人口の変化】

人口推計をみますと、平成72(2060)年までに43.3%減少すると予測されます。高齢者人口、生産年齢人口、年少人口、全人口区分において減少傾向となり、特に生産年齢人口と年少人口は平成27(2015)年の半数以下になると予想されます。今後少子高齢化が進行することが予想されます。

	H27 (2015)	H32 (2020)	H37 (2025)	H42 (2030)	H47 (2035)	H52 (2040)	H57 (2045)	H62 (2050)	H67 (2055)	H72 (2060)	増減(増減率)
大沢野地域全体	21,582人	20,745人	19,871人	18,891人	17,812人	16,648人	15,488人	14,397人	13,320人	12,240人	▲9,342人 ▲43.3%
高齢者(65歳以上)	6,299人	6,454人	6,500人	6,469人	6,371人	6,367人	6,125人	5,883人	5,510人	4,949人	▲1,351人 ▲21.4%
生産年齢(15~64歳)	12,641人	11,954人	11,222人	10,417人	9,638人	8,638人	7,843人	7,104人	6,508人	6,099人	▲6,542人 ▲51.8%
年少(14歳以下)	2,641人	2,338人	2,149人	2,005人	1,803人	1,643人	1,520人	1,410人	1,302人	1,192人	▲1,449人 ▲54.9%



【平成27(2015)年】	(9) 大沢野	中分類	小分類	施設数	延床面積 (㎡)		
地域人口(人)	21,582	集会施設	公民館	6	1,666		
地域面積(k㎡)	74.58		その他集会施設	6	1,150		
面積1k㎡当たり公共施設保有量(㎡)	1,287.21	文化系施設	ホール	2	8,939		
人口1人当たり公共施設保有量(㎡)	4.45		その他文化施設	0	0		
		図書館	図書館	1	1,042		
		博物館等	博物館等	0	0		
		社会教育センター	社会教育センター	1	3,518		
		体育館	体育館	4	10,120		
		プール	プール	1	218		
		武道館	武道館	1	468		
		野球場	野球場	1	220		
		陸上競技場	陸上競技場	1	752		
		その他スポーツ施設	その他スポーツ施設	0	0		
		レクリエーション施設・観光施設	観光施設	1	816		
		宿泊・入浴施設	宿泊・入浴施設	1	8,384		
		産業系施設	産業振興施設	0	0		
		小学校	小学校	3	22,595		
		中学校	中学校	1	10,877		
		その他学校	その他学校	0	0		
		その他教育施設	給食センター	0	0		
			その他教育施設	0	0		
		幼保・こども園	保育所	4	3,480		
			幼稚園	2	2,412		
			認定こども園	0	0		
		幼児・児童施設	児童館	2	1,609		
		高齢者福祉施設	老人福祉センター	2	1,341		
			高齢者福祉施設	0	0		
		障害福祉施設	障害福祉施設	0	0		
		児童福祉施設	児童福祉施設	0	0		
		保健施設	保健施設	0	0		
		医療施設	医療施設	0	0		
		庁舎等	本庁舎	0	0		
			支所	1	4,451		
		消防施設	事務所	0	0		
			消防署	1	1,195		
			消防分署	0	0		
		その他行政系施設	環境関連施設	1	773		
		市営住宅	市営住宅	2	9,784		
		その他	その他	1	192		
		合計				46	96,000

【整備状況】

地域内の公共施設の延床面積合計は96,000㎡で、地域住民1人当たり4.45㎡となっており、市全域の人口1人当たり公共施設延床面積3.78㎡を上回っています。

⑩ 大山地域

【概要及び特性】

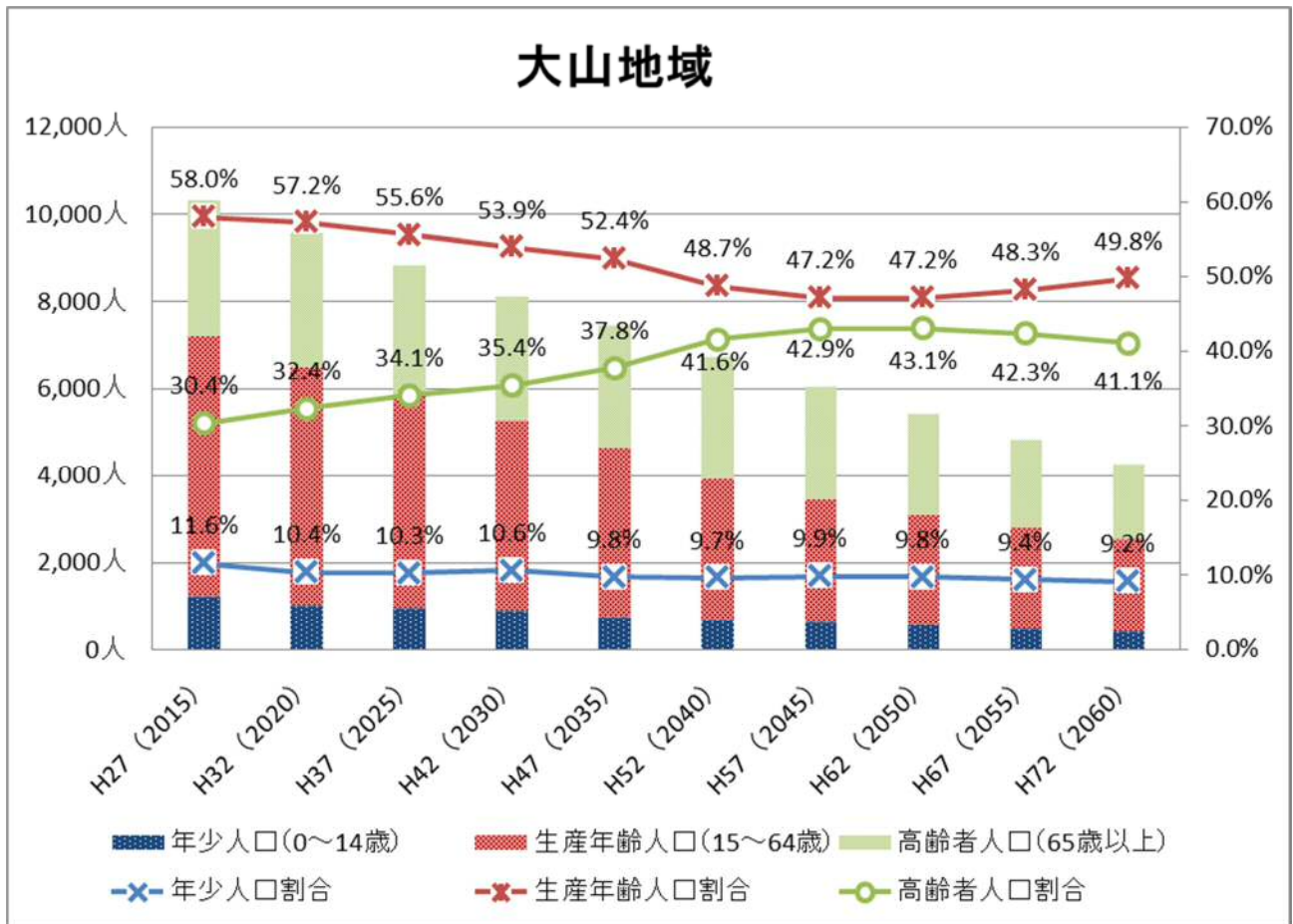
大山地域の人口は10,300人、面積は約571.99km²です。

富山地方鉄道不二越・上滝線の上滝駅周辺の居住環境が整備されています。富山国際大学周辺は、学術文化機能も集積しています。常願寺川沿いでスポーツ・レクリエーション拠点及び治水に関わる歴史景観拠点でもあります。

【人口の変化】

人口推計をみますと、平成72(2060)年までに58.9%減少し、平成27(2015)年の半数以下になることが予測されます。高齢者人口、生産年齢人口、年少人口の全人口区分において大きく減少傾向となっています。

	H27 (2015)	H32 (2020)	H37 (2025)	H42 (2030)	H47 (2035)	H52 (2040)	H57 (2045)	H62 (2050)	H67 (2055)	H72 (2060)	増減(増減率)	
大山地域全体	10,300人	9,568人	8,828人	8,100人	7,402人	6,694人	6,005人	5,392人	4,801人	4,230人	▲ 6,070人	▲ 58.9%
高齢者(65歳以上)	3,130人	3,097人	3,007人	2,870人	2,795人	2,784人	2,579人	2,321人	2,032人	1,736人	▲ 1,393人	▲ 44.5%
生産年齢(15~64歳)	5,975人	5,478人	4,908人	4,369人	3,881人	3,263人	2,834人	2,544人	2,317人	2,106人	▲ 3,869人	▲ 64.8%
年少(14歳以下)	1,195人	993人	913人	861人	726人	648人	593人	526人	453人	388人	▲ 808人	▲ 67.6%



【配置状況】

地域全体で見ますと富山地方鉄道不二越・上滝線の上滝駅周辺に公共施設が集積しています。

大山地域の公共施設の延床面積は14地域平均に比べ、公民館について平均を上回っており、図書館、小学校、中学校、保育所について平均を下回っています。

この地域には、大山歴史民俗資料館などがあります。



Sources: Esri, HERE, DeLorme, USGS, Intermap, iqc, NRCAN, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), Esri (Thailand), TomTom, Mapbox, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community

【平成27年】	(10)大山	中分類	小分類	施設数	延床面積(㎡)
地域人口(人)	10,300	集会施設	公民館	8	4,216
地域面積(k㎡)	571.99		その他集会施設	2	2,610
面積1k㎡当たり公共施設保有量(㎡)	121.75	文化施設	ホール	1	2,658
人口1人当たり公共施設保有量(㎡)	6.76		その他文化施設	0	0
		図書館	図書館	1	855
		博物館等	博物館等	2	897
		社会教育センター	社会教育センター	0	0
		スポーツ施設	体育館	3	3,630
			プール	1	958
			武道館	1	1,777
			野球場	0	0
			陸上競技場	0	0
		その他スポーツ施設	0	0	
		レクリエーション・観光施設	観光施設	1	1,727
			宿泊・入浴施設	1	3,729
		産業系施設	産業振興施設	1	830
		学校	小学校	4	19,532
			中学校	1	6,392
			その他学校	0	0
その他教育施設	給食センター	0	0		
	その他教育施設	0	0		
幼保・こども園	保育所	2	763		
	幼稚園	3	1,748		
	認定こども園	0	0		
幼児・児童施設	児童館	0	0		
	老人福祉センター	1	1,038		
高齢者福祉施設	高齢者福祉施設	0	0		
	障害福祉施設	0	0		
児童福祉施設	障害福祉施設	0	0		
	児童福祉施設	0	0		
保健施設	保健施設	1	570		
	医療施設	0	0		
庁舎等	本庁舎	0	0		
	支所	1	2,064		
	事務所	0	0		
消防施設	消防署	1	1,487		
	消防分署	1	245		
その他行政系施設	環境関連施設	0	0		
公営住宅	市営住宅	4	11,254		
その他	その他	1	657		
		合計		42	69,639

【整備状況】

地域内の公共施設の延床面積合計は69,639㎡で、地域住民1人当たり6.76㎡となっており、市全域の人口1人当たり公共施設延床面積3.78㎡を上回っています。

⑪ 八尾地域

【概要及び特性】

八尾地域の人口は 19,824 人、面積は約 236.85 km²です。

J R 高山本線の越中八尾駅周辺は、駅前商店街等での身近な商業など生活関連機能が充実しており、骨格となる道路網の整備など居住環境整備も整っています。また、福島上野地区では、町屋風建築を進めたことにより、八尾らしい住宅地景観が形成されています。

旧町地区では、歴史的街並みや石垣景観が保全・継承されています。地域の中心部を流れる井田川沿いでは、河川空間の緑の保全・活用がされており、自然とのふれあいの場としての環境整備が進んでいます。

【人口の変化】

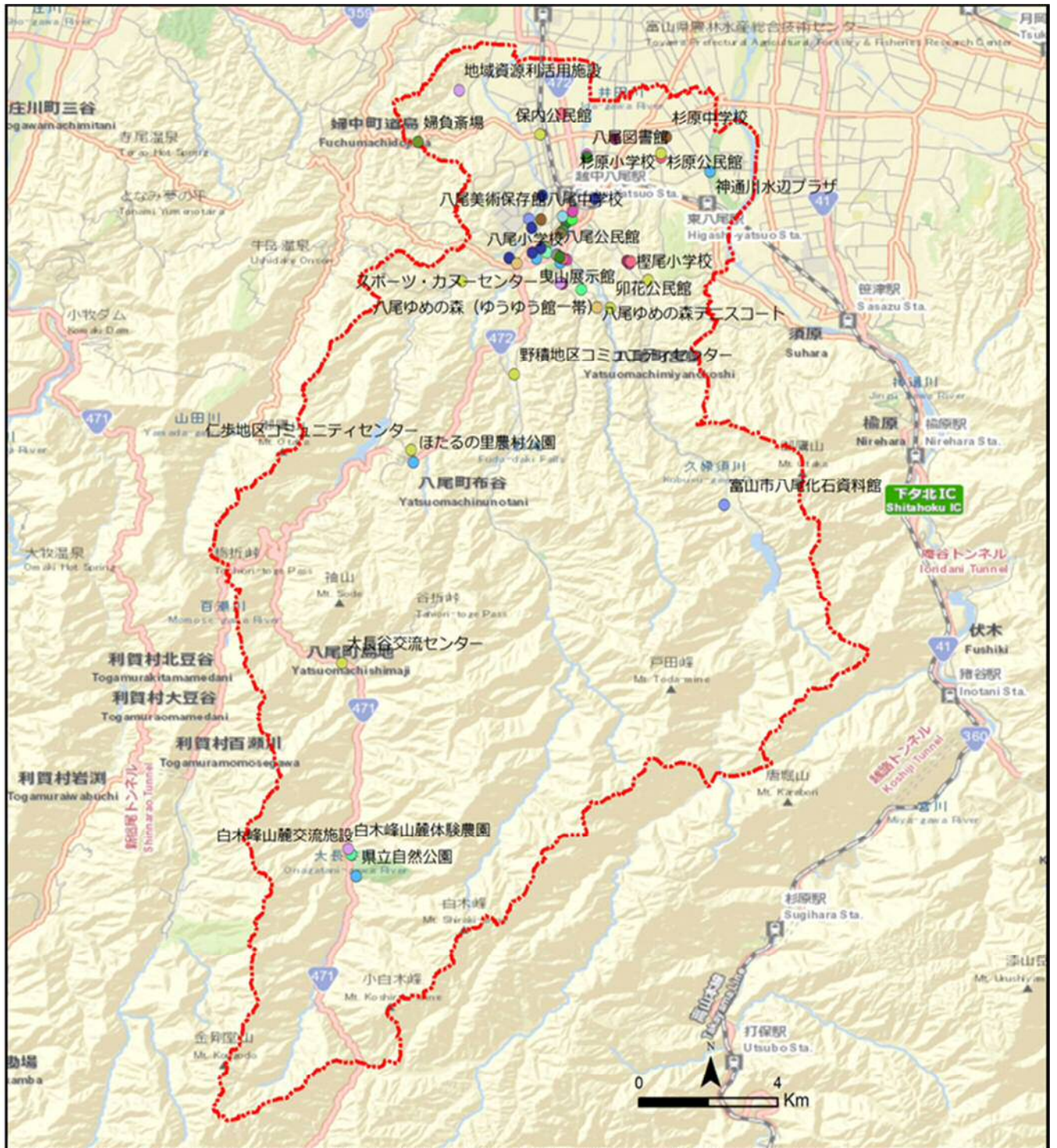
人口推計をみますと、平成 72(2060)年までに 56.7%減少し、平成 27(2015)年の半数以下になると予測されます。高齢者人口、生産年齢人口、年少人口の全人口区分において減少傾向となっています。平成 62(2050)年から高齢者人口が生産年齢人口を上回ることが予想され、高齢化が進行することが予想されます。

	H27 (2015)	H32 (2020)	H37 (2025)	H42 (2030)	H47 (2035)	H52 (2040)	H57 (2045)	H62 (2050)	H67 (2055)	H72 (2060)	増減(増減率)
八尾地域全体	19,824人	18,555人	17,320人	16,061人	14,769人	13,384人	11,989人	10,766人	9,662人	8,583人	▲ 11,241人 ▲ 56.7%
高齢者(65歳以上)	6,314人	6,505人	6,357人	6,148人	5,933人	5,834人	5,420人	4,956人	4,464人	3,819人	▲ 2,495人 ▲ 39.5%
生産年齢(15~64歳)	11,115人	10,027人	9,196人	8,310人	7,460人	6,347人	5,487人	4,835人	4,330人	4,007人	▲ 7,108人 ▲ 63.9%
年少(14歳以下)	2,395人	2,024人	1,768人	1,602人	1,376人	1,203人	1,082人	975人	868人	757人	▲ 1,638人 ▲ 68.4%



【配置状況】

地域全体で見ますと越中八尾駅周辺や旧町地区に公共施設が集積しています。八尾地域の公共施設の延床面積は14地域平均に比べ公民館、図書館、保育所について、平均を上回っています。小学校、中学校について平均を下回っています。この地域には、富山市おわら資料館や曳山展示館などがあります。



Sources : Esri, HERE, DeLorme, USGS, Intermap, increment P Corp., NRCAN, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), Esri (Thailand), TomTom, Mapbox, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community

【平成27(2015)年】	(11)八尾	中分類	小分類	施設数	延床面積 (㎡)						
地域人口(人)	19,824	集会施設	公民館	9	10,497						
地域面積(k㎡)	236.85		その他集会施設	4	3,304						
面積1k㎡当たり公共施設保有量(㎡)	508.12	文化系施設	ホール	1	3,447						
人口1人当たり公共施設保有量(㎡)	6.07		その他文化施設	1	345						
						図書館	図書館	3	1,909		
						博物館等	博物館等	3	2,132		
						社会教育センター	社会教育センター	0	0		
						体育館	体育館	1	5,684		
						プール	プール	1	1,593		
						武道館	武道館	0	0		
						野球場	野球場	0	0		
						陸上競技場	陸上競技場	0	0		
						その他スポーツ施設	その他スポーツ施設	2	1,031		
						レクリエーション施設・観光施設	観光施設	5	4,809		
						宿泊・入浴施設	宿泊・入浴施設	2	4,272		
						産業系施設	産業振興施設	3	7,284		
						小学校	小学校	4	25,199		
						中学校	中学校	2	14,423		
						その他学校	その他学校	0	0		
						その他教育施設	給食センター	0	0		
							その他教育施設	0	0		
						幼保・こども園	保育所	3	3,328		
							幼稚園	0	0		
							認定こども園	0	0		
						幼児・児童施設	児童館	0	0		
						高齢者福祉施設	老人福祉センター	0	0		
							高齢者福祉施設	0	0		
						障害福祉施設	障害福祉施設	0	0		
						児童福祉施設	児童福祉施設	0	0		
						保健施設	保健施設	1	3,364		
						医療施設	医療施設	0	0		
						庁舎等	本庁舎	0	0		
							支所	1	3,986		
							事務所	0	0		
						消防施設	消防署	1	807		
							消防分署	0	0		
						その他行政系施設	環境関連施設	1	795		
							市営住宅	6	21,253		
							その他	1	888		
						合計				55	120,351

【整備状況】

地域内の公共施設の延床面積合計は 120,351 ㎡で、地域住民 1 人当たり 6.07 ㎡となっており、市全域の人口 1 人当たり公共施設延床面積 3.78 ㎡を上回っています。

⑫ 婦中地域

【概要及び特性】

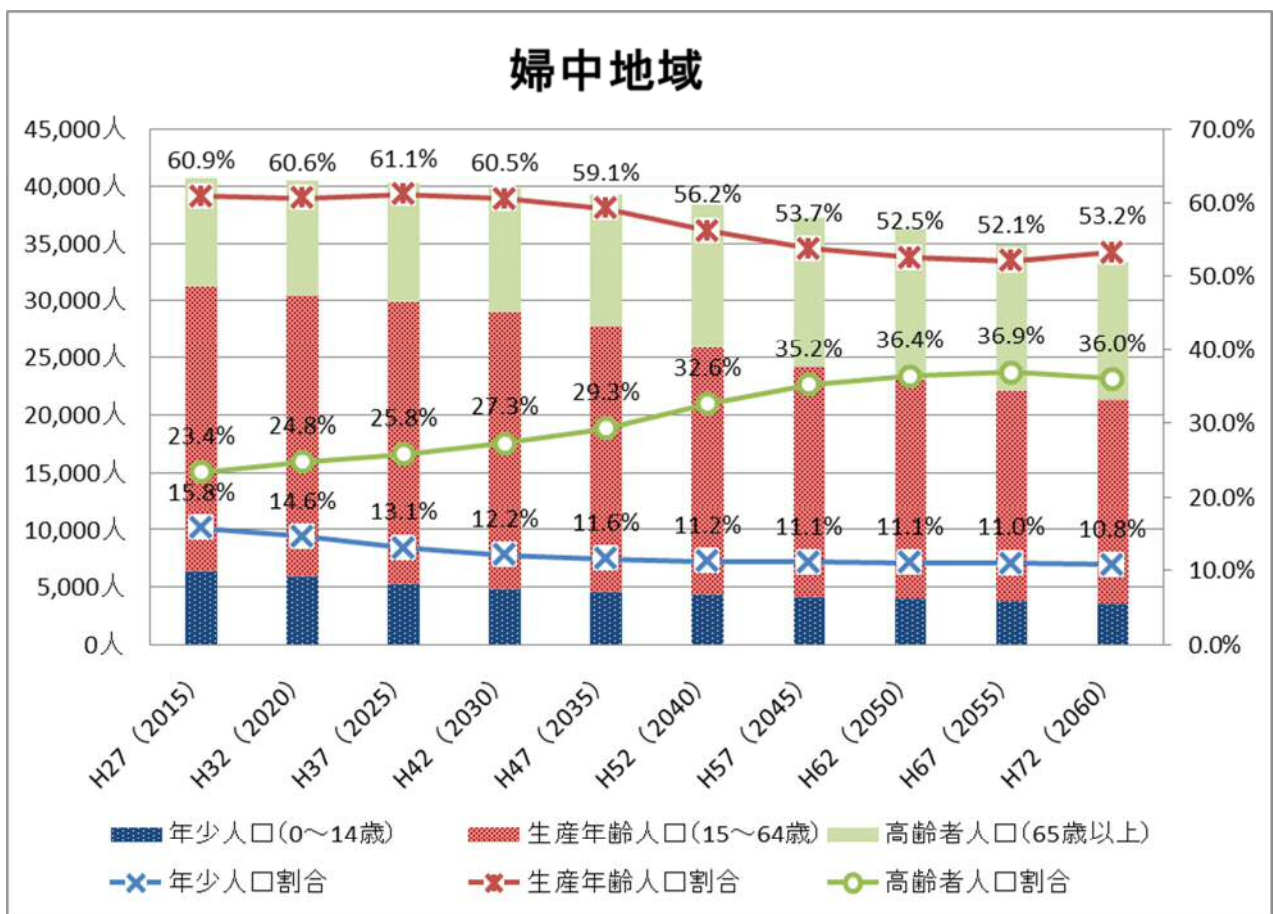
婦中地域の人口は40,778人、面積は約68.05km²です。

JR高山本線の速星駅周辺は大規模小売店舗等の商業集積を核とした生活関連機能が充実しています。また、羽根地区には健康・福祉施設等の立地を活かした健康福祉拠点があります。

【人口の変化】

人口推計をみますと、平成72(2060)年までに18.2%減少すると予測されます。生産年齢人口、年少人口においては減少傾向となっています。高齢者人口は25.8%の増加率です。

	H27 (2015)	H32 (2020)	H37 (2025)	H42 (2030)	H47 (2035)	H52 (2040)	H57 (2045)	H62 (2050)	H67 (2055)	H72 (2060)	増減(増減率)	
婦中地域全体	40,778人	40,570人	40,343人	39,915人	39,345人	38,444人	37,336人	36,258人	34,974人	33,371人	▲7,407人	▲18.2%
高齢者(65歳以上)	9,537人	10,063人	10,415人	10,911人	11,521人	12,540人	13,136人	13,181人	12,907人	12,000人	2,464	25.8%
生産年齢(15~64歳)	24,815人	24,569人	24,642人	24,151人	23,272人	21,593人	20,042人	19,050人	18,211人	17,761人	▲7,054人	▲28.4%
年少(14歳以下)	6,426人	5,939人	5,286人	4,854人	4,552人	4,311人	4,157人	4,028人	3,856人	3,609人	▲2,817人	▲43.8%



【配置状況】

地域全体で見ますと速星駅周辺と国道 359 号沿いに公共施設が集積しています。婦中地域の公共施設の延床面積は 14 地域平均に比べ、公民館、小学校、中学校、保育所すべてについて平均を上回っています。図書館については平均を下回っています。この地域には、ストリートスポーツパークなどがあります。



Sources : Esri, HERE, DeLorme, USGS, Intermap, increment P Corp., NRCAN, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), Esri (Thailand), TomTom, Mapbox, and the OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community

【平成27(2015)年】	(12) 場中	中分類	小分類	施設数	延床面積(m ²)
地域人口(人)	40,778	集会施設	公民館	8	7,624
地域面積(km ²)	68.05		その他集会施設	5	884
面積1km ² 当たり公共施設保有量(m ²)	1,814.56	文化系施設	ホール	1	3,934
人口1人当たり公共施設保有量(m ²)	3.03		その他文化施設	0	0
		図書館	図書館	1	976
		博物館等	博物館等	3	1,378
		社会教育センター	社会教育センター	0	0
		体育館	体育館	2	4,445
		プール	プール	1	1,153
		武道館	武道館	1	799
		野球場	野球場	0	0
		陸上競技場	陸上競技場	0	0
		その他スポーツ施設	その他スポーツ施設	1	240
		レクリエーション施設・観光施設	観光施設	1	149
		宿泊・入浴施設	宿泊・入浴施設	0	0
		産業系施設	産業振興施設	0	0
		小学校	小学校	7	45,744
		中学校	中学校	2	18,059
		その他学校	その他学校	0	0
		その他教育施設	給食センター	0	0
			その他教育施設	0	0
		幼保・こども園	保育所	5	3,241
			幼稚園	1	574
			認定こども園	0	0
		幼児・児童施設	児童館	2	884
		高齢者福祉施設	老人福祉センター	0	0
			高齢者福祉施設	0	0
			障害福祉施設	1	509
			児童福祉施設	0	0
			児童福祉施設	0	0
			保健施設	1	3,929
			医療施設	0	0
		庁舎等	本庁舎	0	0
			支所	1	7,821
			事務所	1	454
		消防施設	消防署	1	2,442
			消防分署	0	0
		その他行政系施設	環境関連施設	1	2,675
		市営住宅	市営住宅	3	15,560
		その他	その他	0	0
		合計		50	123,474

【整備状況】

地域内の公共施設の延床面積合計は123,474 m²で、地域住民1人当たり3.03 m²となっており、市全域の人口1人当たり公共施設延床面積3.78 m²を下回っています。

⑬ 山田地域

【概要及び特性】

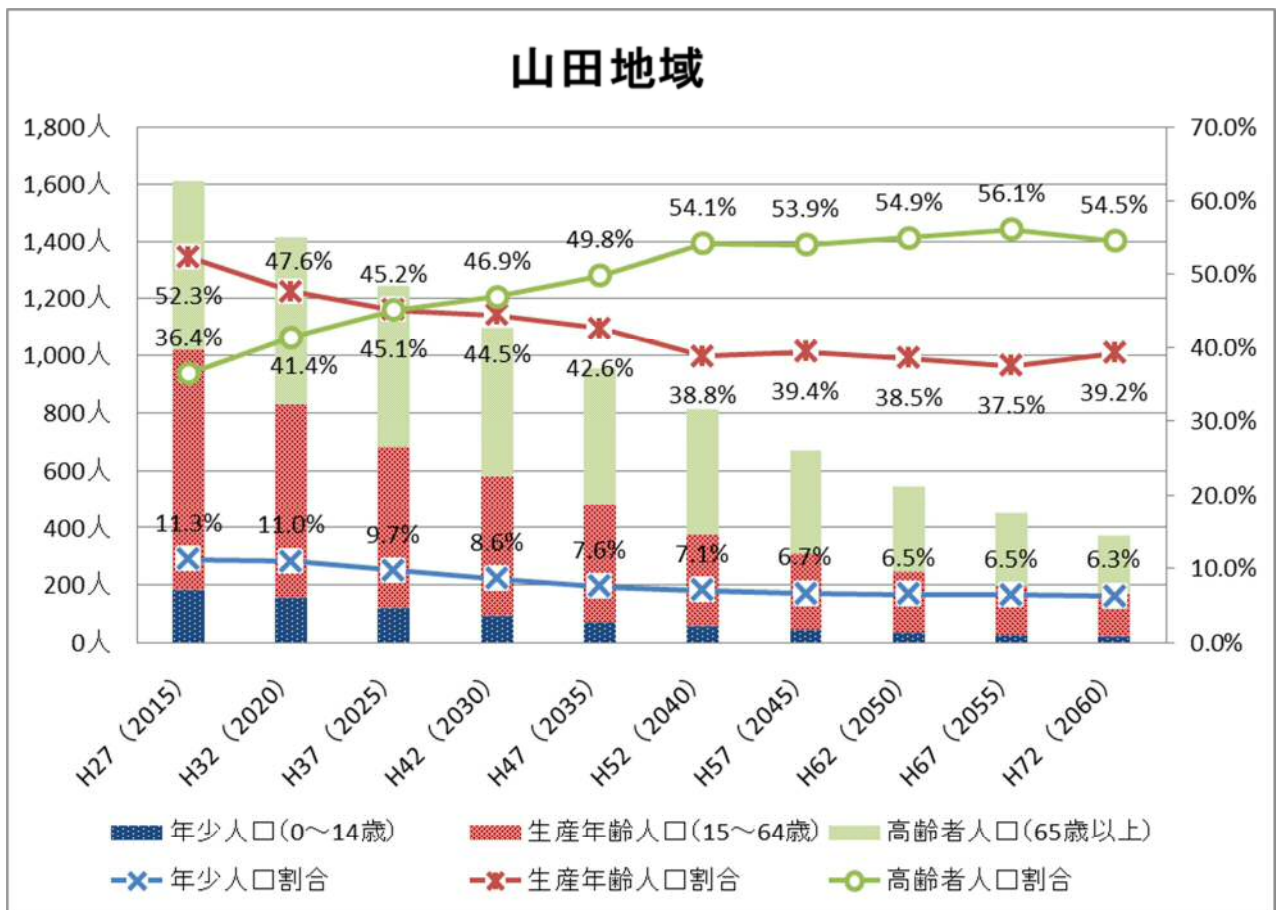
山田地域の人口は1,612人、面積は約40.90km²です。

恵まれた自然環境であり、スキー場やキャンプ場などのレクリエーション施設も整備されています。牛岳山麓をはじめとする森林や山田川沿いの棚田景観は、特徴的な景観のみならず、災害の防止にも役立っています。

【人口の変化】

人口推計をみますと、平成72(2060)年までに77.1%減少し、平成27(2015)年の3割程度になると予想され、全地域の中で2番目に人口減少の進む地域であると予想されています。高齢者人口、生産年齢人口、年少人口において減少傾向となり、中でも年少人口の減少率は14地域中最も大きくなっています。そのため、平成72(2060)年の高齢化率についても、全地域中最も高くなっています。また、平成37(2025)年という比較的早い時期から、生産年齢人口を高齢者人口が上回ることが予想されます。

	H27 (2015)	H32 (2020)	H37 (2025)	H42 (2030)	H47 (2035)	H52 (2040)	H57 (2045)	H62 (2050)	H67 (2055)	H72 (2060)	増減(増減率)	
山田地域全体	1,612人	1,414人	1,244人	1,097人	958人	815人	670人	547人	451人	370人	▲1,242人	▲77.1%
高齢者(65歳以上)	587人	585人	562人	515人	477人	441人	362人	301人	253人	201人	▲386人	▲65.7%
生産年齢(15~64歳)	843人	674人	561人	488人	408人	316人	264人	211人	169人	145人	▲698人	▲82.8%
年少(14歳以下)	182人	156人	121人	95人	73人	58人	45人	36人	29人	23人	▲159人	▲87.1%

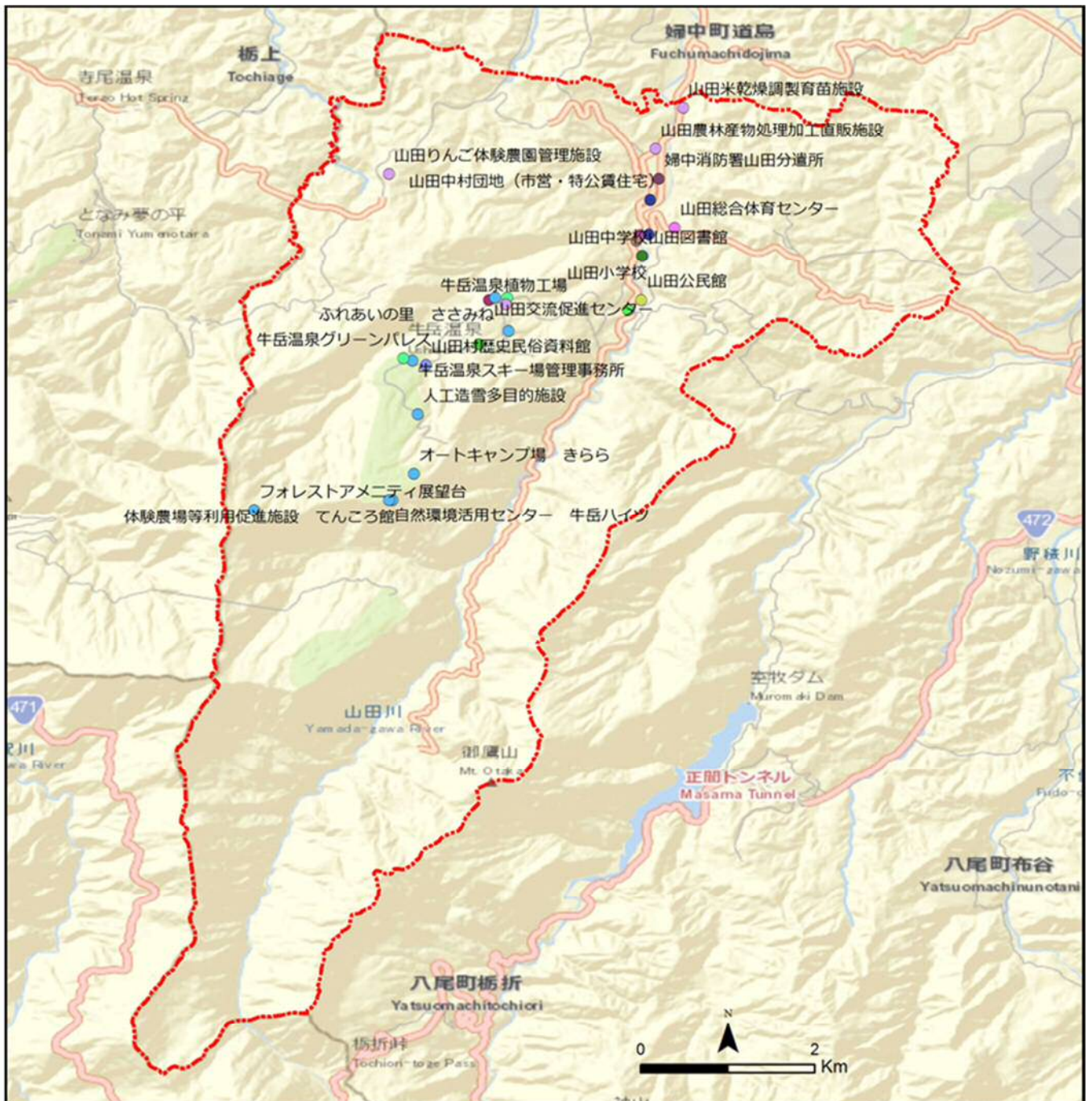


【配置状況】

地域全体でみますと、県道富山・庄川線沿いに公民館等の公共施設が集積しています。また、自然環境を生かしたキャンプ場やスキー場なども整備されており、牛岳温泉スキー場周辺には、レクリエーション・観光施設が集中しています。

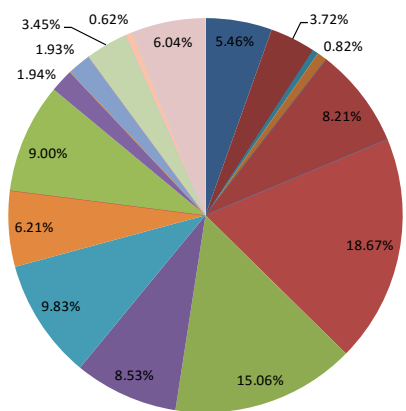
山田地域の公共施設の延床面積は14地域平均に比べ公民館、図書館、小学校、中学校、保育所すべてについて平均を下回っています。

この地域には、牛岳温泉スキー場などがあります。



Sources : Esri, HERE, DeLorme, USGS, Intermap, increment P Corp., NRCAN, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), Esri (Thailand), TomTom, Mapbox, India, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community

【平成27(2015)年】	(13)山田	中分類	小分類	施設数	延床面積(m ²)
地域人口(人)	1,612		公民館	1	2,206
地域面積(km ²)	40.90	集会施設	その他集会施設	1	1,506
面積1km ² 当たり公共施設保有量(m ²)	988.67	文化系施設	ホール	0	0
人口1人当たり公共施設保有量(m ²)	25.09		その他文化施設	0	0
		図書館	図書館	1	200
		博物館等	博物館等	1	331
		社会教育センター	社会教育センター	0	0
		体育館	体育館	1	3,320
		プール	プール	0	0
		武道館	武道館	0	0
		野球場	野球場	0	0
		陸上競技場	陸上競技場	0	0
		その他スポーツ施設	その他スポーツ施設	0	0
		レクリエーション施設・観光施設	観光施設	8	7,551
		宿泊・入浴施設	宿泊・入浴施設	2	6,091
		産業系施設	産業振興施設	4	3,451
		小学校	小学校	1	3,976
		中学校	中学校	1	2,512
		その他学校	その他学校	0	0
		その他教育施設	給食センター	0	0
			その他教育施設	1	3,641
		幼保・こども園	保育所	1	783
			幼稚園	0	0
			認定こども園	0	0
		幼児・児童施設	児童館	1	781
		高齢者福祉施設	老人福祉センター	0	0
			高齢者福祉施設	0	0
		障害福祉施設	障害福祉施設	0	0
		児童福祉施設	児童福祉施設	0	0
			保健施設	0	0
			医療施設	0	0
			本庁舎	0	0
			支所	1	1,396
			事務所	0	0
		消防施設	消防署	0	0
			消防分署	1	250
		その他行政系施設	環境関連施設	0	0
			市営住宅	2	2,441
			その他	0	0
		合計		28	40,437



【整備状況】

地域内の公共施設の延床面積合計は 40,437 m²で、地域住民 1 人当たり 25.09 m²となっています。レクリエーション施設等の影響で、市全域の人口 1 人当たり公共施設延床面積 3.78 m²を大きく上回っています。

⑭ 細入地域

【概要及び特性】

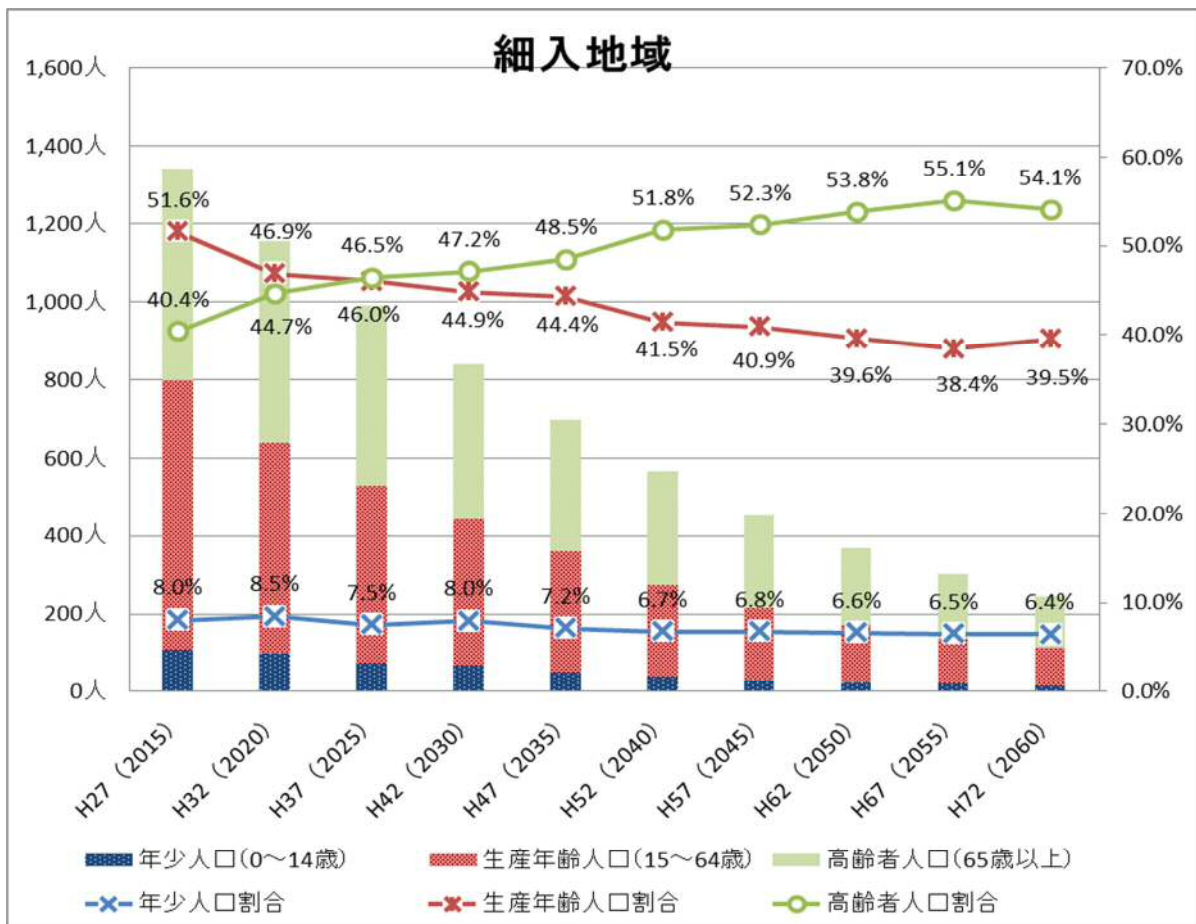
細入地域の人口は1,342人、面積は約40.9km²です。

J R 高山本線の楡原駅及び猪谷駅周辺に公共施設が集積しています。県定公園神通峡等に代表される雄大な自然環境があり、その自然を生かしたレクリエーション施設があります。また、旧飛騨街道等の歴史的街道もあり、それらは、観光・レクリエーションの拠点となっています。

【人口の変化】

人口推計をみますと、平成72(2060)年までに81.7%減少し、平成27(2015)年の2割程度になると予想されます。これは全地域中、最も人口減少の進行する地域となります。高齢者人口、生産年齢人口、年少人口においてはすべて減少傾向で、中でも生産年齢人口の減少は全地域中最も進んでおり、平成27(2015)年の約15%になると見られています。また、平成37(2025)年には高齢者人口が生産年齢人口を上回ることが予想されます。

	H27 (2015)	H32 (2020)	H37 (2025)	H42 (2030)	H47 (2035)	H52 (2040)	H57 (2045)	H62 (2050)	H67 (2055)	H72 (2060)	増減(増減率)
細入地域全体	1,342人	1,157人	990人	839人	698人	568人	455人	370人	304人	245人	▲1,097人 ▲81.7%
高齢者(65歳以上)	542人	517人	460人	396人	339人	294人	238人	199人	167人	133人	▲409人 ▲75.5%
生産年齢(15~64歳)	692人	542人	456人	377人	310人	235人	186人	146人	117人	97人	▲595人 ▲86.0%
年少(14歳以下)	108人	98人	74人	67人	50人	38人	31人	24人	20人	16人	▲92人 ▲85.4%



【配置状況】

地域全体で見ますと、J R高山本線沿い、国道 41 号沿いに公民館等の公共施設が集積しています。

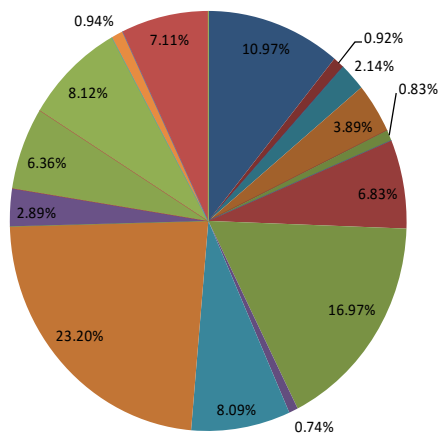
細入地域の公共施設の延床面積は 14 地域平均に比べ公民館、図書館、小学校、中学校、保育所すべてについて平均を下回っています。

この地域には、割山森林公園「天湖森」などがあります。



Sources : Esri, HERE, DeLorme, USGS, Intermap, increment P Corp., NRCAN, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), Esri (Thailand), TomTom, MapmyIndia, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community

【平成27(2015)年】	(14) 細入	中分類	小分類	施設数	延床面積 (㎡)
地域人口(人)	1,342	集会施設	公民館	2	2,567
地域面積(k㎡)	40.90		その他集会施設	1	216
面積1k㎡当たり公共施設保有量(㎡)	572.24	文化系施設	ホール	0	0
人口1人当たり公共施設保有量(㎡)	17.44		その他文化施設	0	0
		図書館	図書館	1	501
		博物館等	博物館等	1	910
		社会教育センター	社会教育センター	0	0
		体育館	体育館	0	0
		プール	プール	2	195
		武道館	武道館	0	0
		野球場	野球場	0	0
		陸上競技場	陸上競技場	0	0
		その他スポーツ施設	その他スポーツ施設	0	0
		レクリエーション施設・観光施設	観光施設	2	1,600
		宿泊・入浴施設	宿泊・入浴施設	1	3,972
		産業系施設	産業振興施設	2	172
		小学校	小学校	1	1,893
		中学校	中学校	1	5,431
		その他学校	その他学校	0	0
		その他教育施設	給食センター	0	0
			その他教育施設	0	0
		幼保・こども園	保育所	1	675
			幼稚園	0	0
			認定こども園	0	0
		幼児・児童施設	児童館	0	0
		高齢者福祉施設	老人福祉センター	0	0
			高齢者福祉施設	1	1,489
		障害福祉施設	障害福祉施設	0	0
		児童福祉施設	児童福祉施設	0	0
			保健施設	0	0
		医療施設	医療施設	0	0
		庁舎等	本庁舎	0	0
			支所	1	1,900
			事務所	0	0
		消防施設	消防署	0	0
			消防分署	1	219
		その他行政系施設	環境関連施設	0	0
		市営住宅	市営住宅	1	1,664
		その他	その他	0	0
		合計		19	23,405



【整備状況】

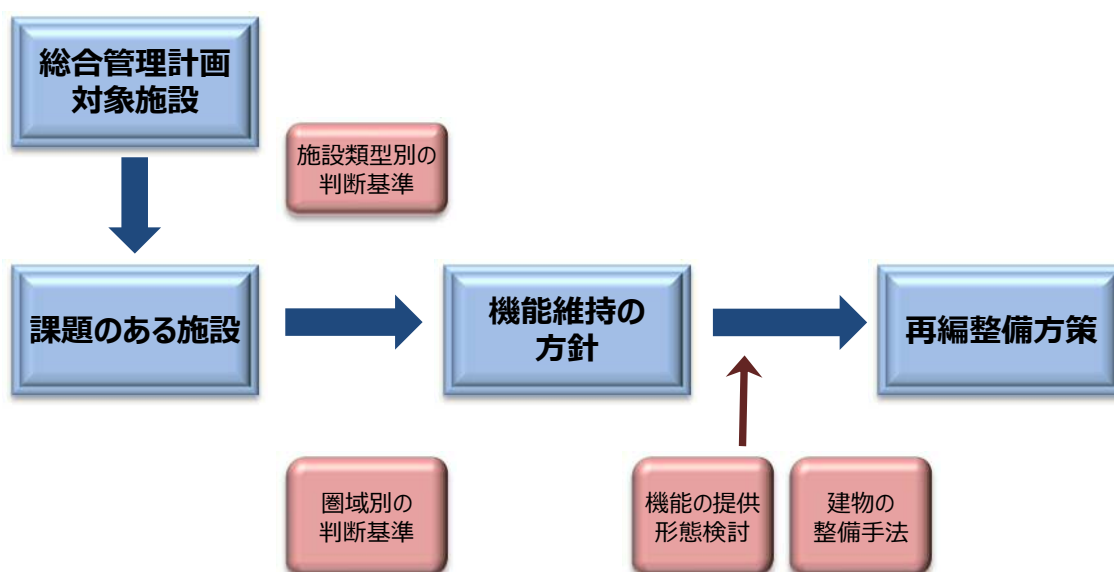
地域内の公共施設の延床面積合計は、23,405 ㎡であり、地域住民1人当たり 17.44 ㎡となっています。レクリエーション施設等の影響で、市全域の人口1人当たり公共施設延床面積 3.78 ㎡を大きく上回っています。

第6章 アクションプラン（実行編）の進め方

6-1 戦略編の活用

戦略編においては、公共施設の再編整備や適正配置を戦略的に進めるための判断基準として、個々の施設ごとに、施設用途別の相対的な分析（ポートフォリオ分析）や地域別の人口概要・公共施設保有量などの分析を行いました。

実行編では、これらの分析結果を踏まえ、個々の施設ごとに、市として提供する機能と施設の両面について、それぞれ客観的・政策的な判断の上、最終的に計画期間内に取り組みべく具体的な見直しの方向性を定め、公共施設の再編整備や適正配置を進めていくこととします。



6-2 具体的見直し検討プロセス

(1)課題のある施設の抽出(実行編の対象施設)

総合管理計画でアクションプランの対象とした施設から、ポートフォリオ分析や地域別の分析結果、建物の劣化状況（経過年数）に加え、政策的な判断基準により、アクションプランの各期において、集中的に見直しを進める必要がある施設（以下、「課題のある施設」という。）を抽出します。

(2)機能維持の方針決定

抽出された課題のある施設の機能について、施設類型別の判断基準や地域別の判断基準により、今後も維持していく必要があるか、維持しないかを総合的に判断します。

(3)再編整備方策の決定

施設の具体的な見直しの方向性として、機能の提供形態と整備手法の観点について、

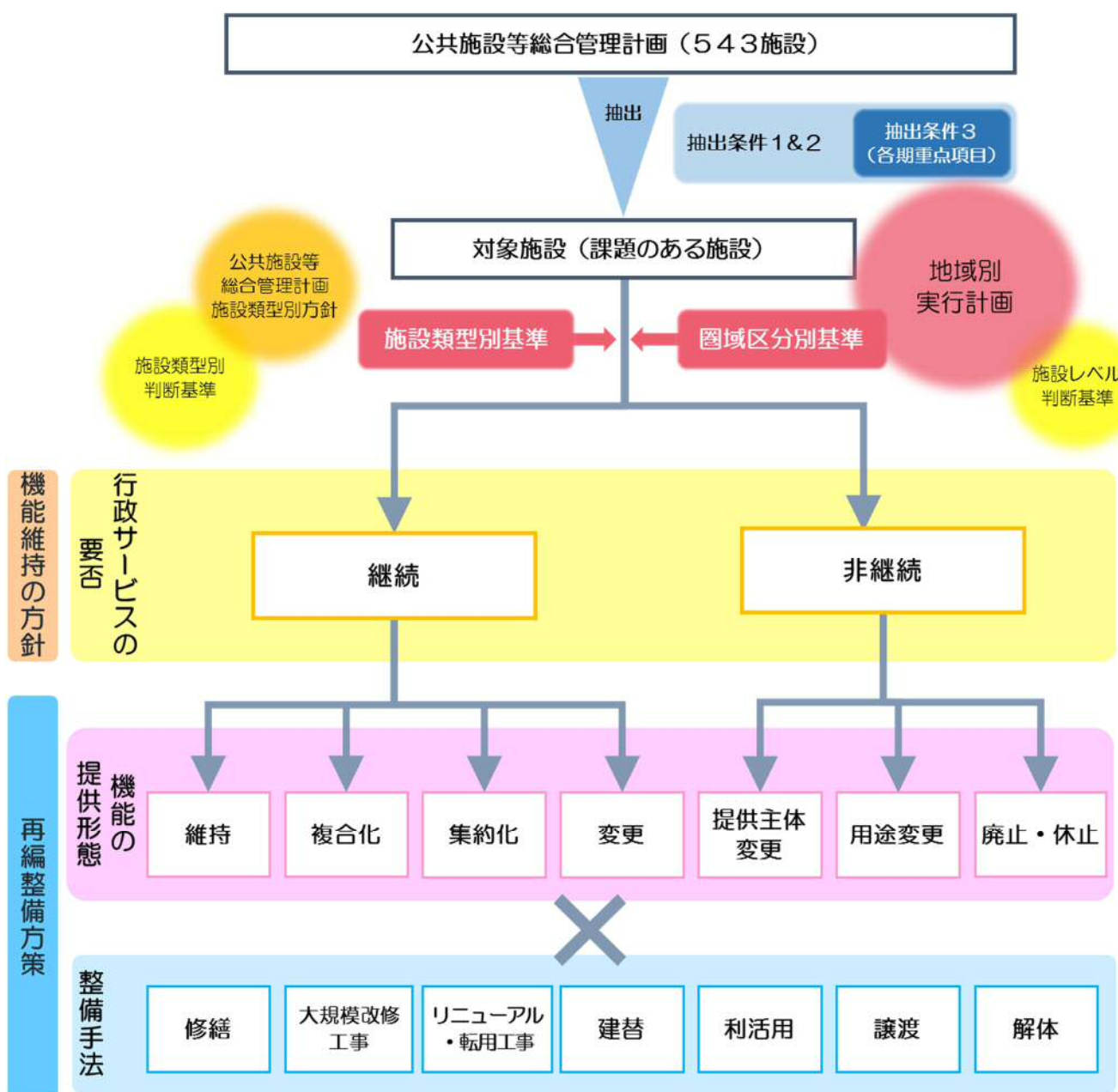
それぞれ最適な方策を定めます。計画の進捗に合わせて最も効率的な方策を取っていくことが求められることから、再編整備方策の決定当初は、想定される複数の方策が併記されることがあります。

① 機能の提供形態

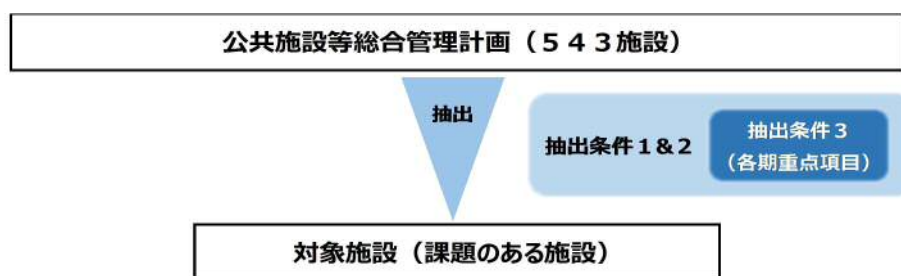
機能の継続・非継続の判断を踏まえ、その提供のあり方について、現状維持、複合化、集約化、廃止などの方針を示します。

② 整備手法

機能維持方針及び機能の提供形態を踏まえ、修繕、建替、譲渡、解体など、施設をハード面からどう再編していくのか整備手法について方針を示します。



6-3 課題のある施設の抽出条件



抽出条件1

築年数が30年以上経過した施設、かつ、ポートフォリオ分析においてD分類となったすべての施設（なお、ポートフォリオ分析を行っていない施設は、「品質」、「供給・財務」のどちらか一方の偏差値が50未満と読み替える。）

- ✓ 建物の耐用年数を60年としますと、一般に30年経過時点で大規模改修等の抜本的な施設機能の維持方策が必要となることが多いため、これを超える施設については、今後施設を維持して利用していくかどうかについて検討することが課題となります。
- ✓ ポートフォリオのD分類の施設は、他の施設と比較して、建物老朽度の進行が進み、利用状況やコスト状況等にも課題が多いため、その対策を検討することが課題となります。
- ✓ この条件は、すべての期で共通とします。

抽出条件2

施設の複合化・集約化、統廃合や利活用等、公共施設マネジメントの視点で見直しの方向性が決定している施設であって、既に継続して見直しに取り組んでいる施設

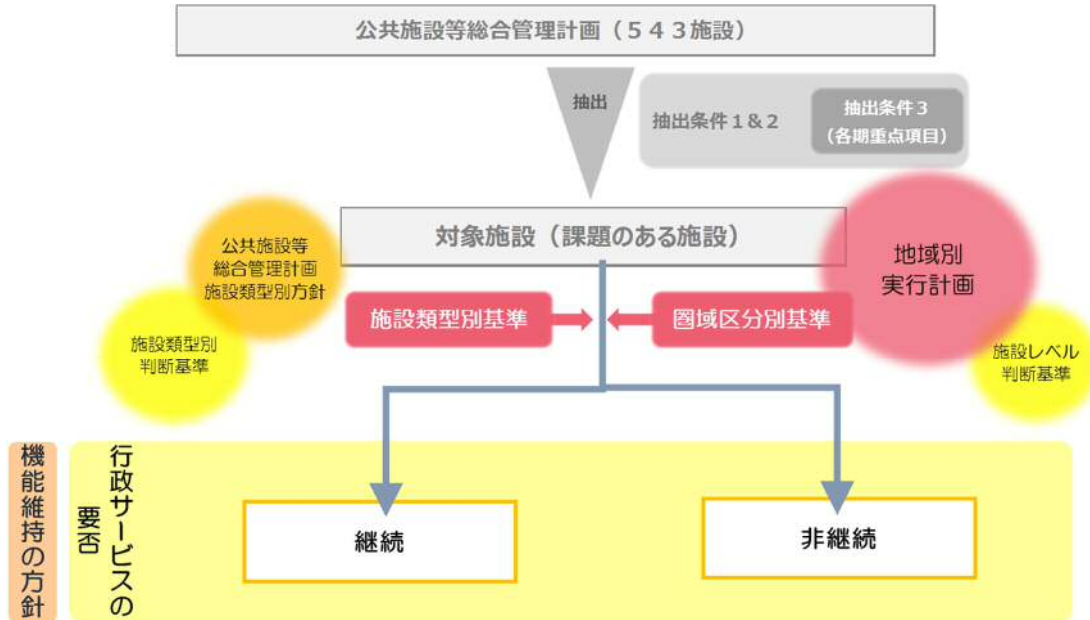
- ✓ 各アクションプランの期間内に見直しが完了しなかった施設は、次期計画でも見直しを継続して取り組んでいく必要があります。
- ✓ 政策決定された公共施設マネジメントに資する見直しの方向性については、継続して取り組んでいく必要があります。
- ✓ この条件は、すべての期で共通とします。

抽出条件3

アクションプランの各期において、個別にテーマを設定し、重点的に取り組む必要があると決定された施設

6-4 機能維持の方針

課題があるとされた施設について、施設が提供している行政サービス機能に着目し、当該機能の今後の方針を決定します。



方針	内容
継続	施設で実施されている現行の機能について、行政が引き続きサービス提供を続けることが効果的と考えられるもの。
非継続	施設で実施されている現行の機能について、行政がサービスの提供を行う必要がない（なくなっている）と思われるもの。サービス提供主体を民間等に変更してサービス提供を続けるものや、機能を変更して類似のサービスを提供する場合も含む。

6-4-1 今後の方針を決定するための判断基準

方針を決定するための判断基準として、施設類型別、圏域区分別のそれぞれの観点から基準を定めます。

「施設類型別基準」は総合管理計画内で定めた類型別の方針と、次頁で定める施設類型別判断基準とで構成されています。

「圏域区分別基準」は、客観的な指標である「施設レベル判断基準」と住民の意見や地域の課題を反映した「地域別実行計画」から構成されます。

「施設類型別基準」と「圏域区分別基準」それぞれにおける判定によって、どちらか一方の方針が「継続」に該当した場合は、「継続」の方針とすることとします。

ただし、「圏域区分別基準」内の「施設レベル判断基準」において、圏域区分を「地域」、「地区」と定めたものに対しては、地域に密着した施設であると判断され、再編に当たってはより地域の意見を反映することが必要であると考えられます。そのため、これらの施設に対しては、「地域別実行計画」で決定された方針を「施設類型別基準」、「施設レベル別判断基準」に優先することにします。

(1)施設類型別基準

総合管理計画における施設類型別の方針及び以下の「施設類型別判断基準」に基づき、総合的に方針を決定します。

【施設類型別判断基準】

施設類型	判断基準	機能についての方針
集会施設 文化施設 図書館 博物館等 その他社会教育施設 スポーツ施設 レクリエーション・ 観光施設 産業系施設 幼児・児童施設	1) 他の施設と集約・複合化を図ることにより利用状況の改善が期待できるもの 2) 特別な政策目的を達成するために機能を維持することが必須であるもの 3) アクションプラン各期において定められる特段の政策目的を達成するために機能を維持することが必要なもの	継続
	4) 1) 2) 3) に該当しないもの	非継続
学校	1) 児童生徒数が増加しているもの又は減少による教育機能の提供に大きく支障がないもの 2) 著しく児童生徒数が減少し又は減少が予想され、教育機能の提供に大きな支障が生じているもので、同一地域内で集約を行うことによりその解消が図れるもの	継続
	3) 1) 2) に該当しないもの	非継続
その他教育施設	1) 特別な政策目的を達成するために機能を維持することが必要なもの 2) アクションプラン各期において定められる特段の政策目的を達成するために機能を維持することが必要なもの	継続
	3) 1) 2) に該当しないもの	非継続
幼保・こども園	1) 園児数が増加しているもの又は減少による保育・教育機能の提供に大きく支障がないもの 2) 著しく園児数が減少し又は減少が予想され、保育・教育機能の提供の大きな支障が生じているもので、同一地域内で集約を行うことによりその解消が図れるもの	継続
	3) 1) 2) に該当しないもの	非継続

高齢者福祉施設 障害福祉施設 児童福祉施設 保健施設・医療施設	1) 特別な政策目的を達成するために機能を維持することが必要なもの	継続
	2) アクションプラン各期において定められる特段の政策目的を達成するために機能を維持することが必要なもの	
	3) 1) 2) に該当しないもの	非継続
庁舎等 消防施設 その他行政系施設 その他	1) 法律で定められる行政サービス提供のために機能を維持することが必要なもの	継続
	2) アクションプラン各期において定められる特段の政策目的を達成するために機能を維持することが必要なもの	
	3) 1) 2) に該当しないもの	非継続
公営住宅	1) サービス供給上必要な個数を確保するために機能を維持することが必要なもの	継続
	2) アクションプラン各期において定められる特段の政策目的を達成するために機能を維持することが必要なもの	
	3) 1) 2) に該当しないもの	非継続

(2) 圏域区分別判断基準

① 施設レベル別判断基準

市域をエリアの観点から3区分に分け、それぞれの判断基準に基づき客観的に方針を決定します。

圏域区分	判断基準	機能についての方針
広域・市域レベル (広域・市域拠点施設)	1) 市に唯一の機能であって又は同一圏域内の他の施設機能でも代替ができないもの	継続
	2) 1) に該当しないもの	非継続
地域レベル (地域生活圏拠点施設)	1) 地域に唯一の機能であり、同一圏域内の他の施設機能でも代替ができないもの	継続
	2) 1) に該当しないもの	非継続
地区レベル (生活圏拠点施設)	1) 地区に唯一の機能であり、同一圏域内の他の施設機能でも代替ができないもの	継続
	2) 1) に該当しないもの	非継続

② 地域別実行計画における検討

地域別実行計画とは、14の地域ごとに、それぞれの地域生活圏域にある「地域」「地区」を対象圏域とする施設について、住民の意見や地域の課題を踏まえ、施設へのアクセスや提供するサービスなどが最適になるように、施設機能の複合化・集約化や、転用、廃止など検討するものです。したがって、地域の実情やニーズを踏まえ、方針を決定することが可能になります。

○策定対象地域

✓14 地域別(富山市都市マスタープランで定めた地域)に計画を策定します。

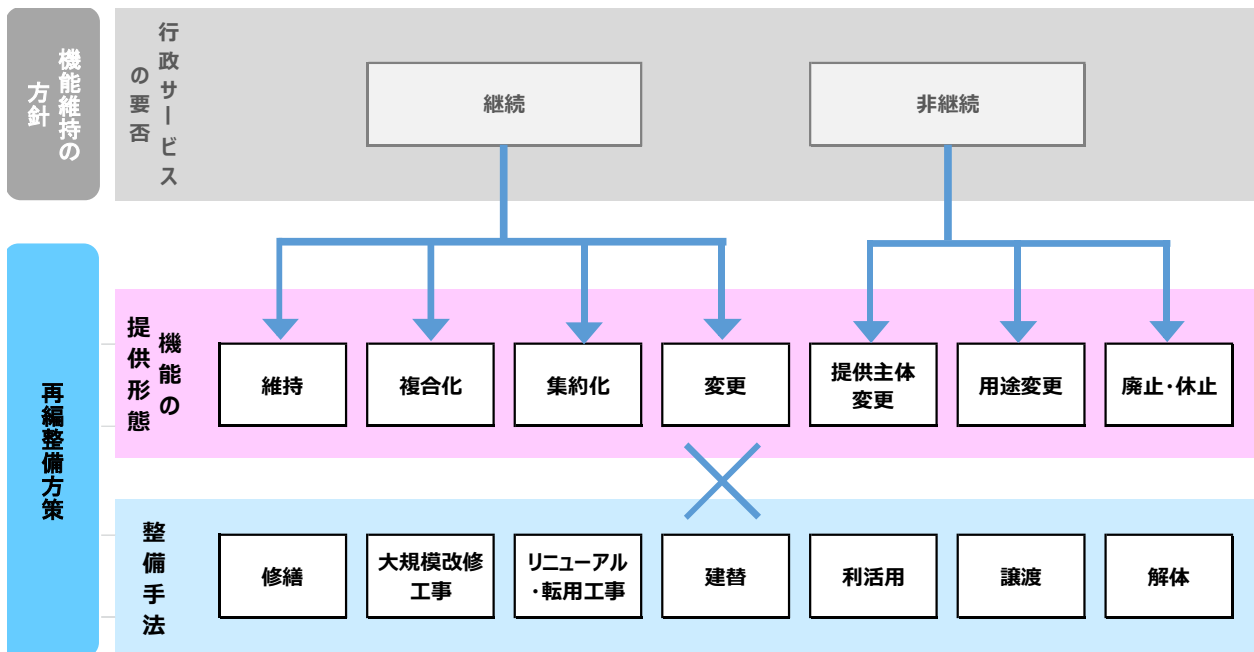
○策定の内容

- ✓地域内の公共施設の個別施設ごとの整備方針とスケジュールを策定します。
- ✓地域の特性を反映させた機能配置とすること、住民の合意を円滑に進めることから、地域ごとに、住民参画の手法を用いて計画策定を遂行します。

○策定方法

- ✓住民代表によるワークショップや広報誌発行等の多様なコミュニケーション手段を用いて、住民の意向を反映させた計画を作成します。
- ✓地域の課題、まちづくりの課題を十分に反映させた計画とするために、富山市立地適正化計画との整合を図りながら計画づくりを行います。
- ✓計画策定は5つのステップで実施します。
 - I 進め方の決定
 - II 公共施設・まちづくりの課題の抽出の整理と総量縮減目標の設定
 - III 課題の解決と目標実現のための施設再編案(複数案)の作成
 - IV 再編案の比較検討
 - V 再編案の絞り込みと計画策定

6-5 再編整備方策



再編整備方策について、機能の提供形態(ソフト)と整備手法(ハード)それぞれの観点において、再編整備の方策を検討しますが、方策は一つとは限りません。

方針	再編整備方針	内容
機能の提供形態に関わる方策 (ソフト)	維持	現状の機能をそのまま提供する。
	複合化	他の施設における異なる機能を受け入れる又は移転して、一体又は同一敷地・建物において機能提供を行う。
	集約化	他の施設における同一機能を受け入れる又は移転して、一体又は同一敷地・建物において機能提供を行う。
	変更	機能の一部を改変（改良）し、機能提供を行う。
	提供主体変更	機能の提供主体を民間や地元団体等、市以外に変更する。
	用途変更	機能の全部を改変（改良）し、他の機能として提供を行う。
	廃止・休止	機能提供を停止又は一時停止する。
建物整備に関わる方策 (ハード)	修繕	建物設備に障害が発生している場合は適時修繕を行う。
	大規模改修工事	機能向上や老朽化への抜本的な対応を行うための工事を行う。躯体の中性化や腐食を抑止し長期間にわたり建物を使用することを目的とした長寿命化も含む。
	リニューアル・転用工事	建物の機能を変更することに伴う、内装や設備の変更を行う。
	建替	建替を行う。
	利活用	当該施設の空スペース等を活用し、別用途等で使用する。
	譲渡	建物を譲渡・売却する。
	解体	解体を行う。

6-6 実行編の進捗管理

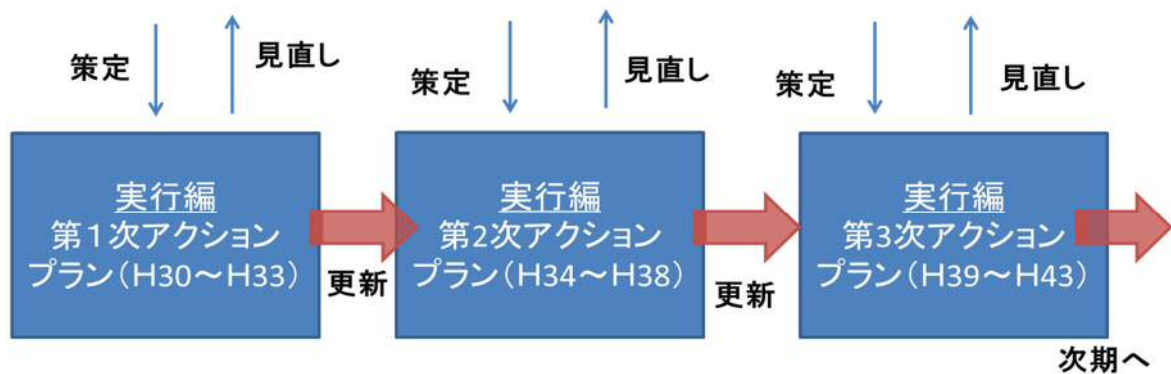
全8次の実行編については、5年間（第1次は4年間）のプランとなっています。5年ごとに前次のプランの進捗状況を確認しながら内容を更新し、戦略編の方針等を基本としながら次期プランを策定します。

ただし、戦略編についても、必要に応じて見直しを行うべきところがあれば、内容の改定を行います。

また、各次のアクションプランの中では、1年を一つの進捗管理期間として、PDC Aサイクルにより進捗管理を行うこととなります。

富山市公共施設等総合管理計画

富山市公共施設マネジメントアクションプラン(戦略編)



各次のプランについては、PDCAサイクルによる進捗状況の点検管理を毎年実施します。



※「天皇の退位等に関する皇室典範特例法」が平成31年4月30日に施行されますが、本プランの作成時点においては、「元号を改める政令」が公布されていないことから、同日以降の表記についても、便宜上「平成」の元号を使用しています。

人口推計(平成27～平成72年、14地域別)

14地域	人口指標																			
	平成27(2015)年				平成32(2020)年				平成37(2025)年				平成42(2030)年				平成47(2035)年			
	年少 (0～14歳)	生産年齢 (15～64歳)	高齢者 (65歳以上)	合計	年少 (0～14歳)	生産年齢 (15～64歳)	高齢者 (65歳以上)	合計	年少 (0～14歳)	生産年齢 (15～64歳)	高齢者 (65歳以上)	合計	年少 (0～14歳)	生産年齢 (15～64歳)	高齢者 (65歳以上)	合計	年少 (0～14歳)	生産年齢 (15～64歳)	高齢者 (65歳以上)	合計
(1)富山中央地域	8,651	43,272	22,150	74,073	8,243	41,940	22,859	73,042	7,634	40,734	22,964	71,332	7,045	38,880	23,081	69,006	6,473	36,357	23,777	66,606
(2)富山北部地域	4,807	22,533	11,759	39,100	4,235	21,042	12,794	38,071	3,888	19,755	12,926	36,569	3,558	18,309	12,764	34,632	3,139	16,651	12,813	32,603
(3)和合地域	1,461	6,650	3,744	11,855	1,249	6,137	3,970	11,356	1,067	5,708	3,924	10,700	950	5,155	3,871	9,977	796	4,517	3,908	9,221
(4)呉羽地域	2,796	15,252	7,424	25,472	2,734	14,119	8,120	24,973	2,682	13,394	8,136	24,212	2,610	12,614	7,996	23,219	2,400	11,869	7,892	22,161
(5)富山西部地域	2,500	16,003	4,848	23,350	2,648	15,354	5,394	23,395	2,814	14,540	5,564	22,919	2,983	14,010	5,693	22,686	2,805	13,909	5,941	22,656
(6)富山南部地域	6,622	28,435	13,119	48,176	6,393	28,701	13,979	49,073	6,048	29,404	14,230	49,682	5,582	30,124	14,328	50,034	5,415	30,041	14,766	50,223
(7)富山東部地域	11,465	50,566	23,214	85,245	10,951	49,956	24,894	85,801	10,276	49,992	25,245	85,513	9,540	49,666	25,292	84,499	9,043	48,439	25,727	83,208
(8)水橋地域	1,676	8,363	5,938	15,977	1,430	7,506	6,036	14,972	1,262	6,782	5,866	13,910	1,151	6,060	5,505	12,717	959	5,331	5,267	11,557
(9)大沢野地域	2,641	12,641	6,299	21,582	2,338	11,954	6,454	20,745	2,149	11,222	6,500	19,871	2,005	10,417	6,469	18,891	1,803	9,638	6,371	17,812
(10)大山地域	1,195	5,975	3,130	10,300	993	5,478	3,097	9,568	913	4,908	3,007	8,828	861	4,369	2,870	8,100	726	3,881	2,795	7,402
(11)八尾地域	2,395	11,115	6,314	19,824	2,024	10,027	6,505	18,555	1,768	9,196	6,357	17,320	1,602	8,310	6,148	16,061	1,376	7,460	5,933	14,769
(12)婦中地域	6,426	24,815	9,537	40,778	5,939	24,569	10,063	40,570	5,286	24,642	10,415	40,343	4,854	24,151	10,911	39,915	4,552	23,272	11,521	39,345
(13)山田地域	182	843	587	1,612	156	674	585	1,414	121	561	562	1,244	95	488	515	1,097	73	408	477	958
(14)細入地域	108	692	542	1,342	98	542	517	1,157	74	456	460	990	67	377	396	839	50	310	339	698
平均	3,780	17,654	8,472	29,906	3,531	17,000	8,947	29,478	3,284	16,521	9,011	28,817	3,065	15,924	8,988	27,977	2,829	15,149	9,109	27,087
合計	52,927	247,156	118,604	418,686	49,431	237,997	125,264	412,692	45,981	231,294	126,157	403,431	42,905	222,930	125,838	391,673	39,611	212,083	127,526	379,220

14地域	人口指標																				高齢化率・増減率		
	平成52(2040)年				平成57(2045)年				平成62(2050)年				平成67(2055)年				平成72(2060)年				平成27(2015)年 高齢化率	平成72(2060)年 高齢化率	平成27(2015)年 → 平成72(2060)年 増減率
	年少 (0～14歳)	生産年齢 (15～64歳)	高齢者 (65歳以上)	合計	年少 (0～14歳)	生産年齢 (15～64歳)	高齢者 (65歳以上)	合計	年少 (0～14歳)	生産年齢 (15～64歳)	高齢者 (65歳以上)	合計	年少 (0～14歳)	生産年齢 (15～64歳)	高齢者 (65歳以上)	合計	年少 (0～14歳)	生産年齢 (15～64歳)	高齢者 (65歳以上)	合計			
(1)富山中央地域	6,064	32,998	24,401	63,462	5,766	30,635	24,070	60,470	5,504	28,813	23,612	57,930	5,249	27,241	22,731	55,221	4,952	26,231	21,031	52,214	29.9%	40.3%	-29.5%
(2)富山北部地域	2,863	14,486	12,587	29,936	2,662	12,978	11,644	27,285	2,464	11,895	10,857	25,215	2,252	11,038	10,064	23,354	2,038	10,371	9,092	21,501	30.1%	42.3%	-45.0%
(3)和合地域	685	3,756	3,846	8,287	612	3,220	3,576	7,408	547	2,826	3,324	6,697	483	2,528	3,023	6,034	418	2,318	2,608	5,344	31.6%	48.8%	-54.9%
(4)呉羽地域	2,254	10,783	7,721	20,758	2,114	9,881	7,287	19,282	1,965	9,232	6,934	18,131	1,823	8,577	6,680	17,081	1,723	7,814	6,511	16,048	29.1%	40.6%	-37.0%
(5)富山西部地域	2,768	13,595	6,238	22,602	2,695	13,135	6,257	22,087	2,539	12,818	6,257	21,613	2,366	12,573	6,242	21,181	2,296	11,333	7,077	20,705	20.8%	34.2%	-11.3%
(6)富山南部地域	5,322	28,903	15,651	49,875	5,277	28,162	16,045	49,484	5,246	27,683	16,474	49,403	5,173	27,236	16,870	49,279	5,025	27,337	16,616	48,978	27.2%	33.9%	1.7%
(7)富山東部地域	8,694	45,322	26,644	80,660	8,404	43,286	26,501	78,191	8,133	41,643	26,679	76,455	7,839	40,036	26,714	74,590	7,475	39,263	25,843	72,581	27.2%	35.6%	-14.9%
(8)水橋地域	827	4,332	4,990	10,150	741	3,657	4,476	8,874	665	3,204	3,992	7,862	589	2,845	3,559	6,993	515	2,610	3,070	6,195	37.2%	49.6%	-61.2%
(9)大沢野地域	1,643	8,638	6,367	16,648	1,520	7,843	6,125	15,488	1,410	7,104	5,883	14,397	1,302	6,508	5,510	13,320	1,192	6,099	4,949	12,240	29.2%	40.4%	-43.3%
(10)大山地域	648	3,263	2,784	6,694	593	2,834	2,579	6,005	526	2,544	2,321	5,392	453	2,317	2,032	4,801	388	2,106	1,736	4,230	30.4%	41.1%	-58.9%
(11)八尾地域	1,203	6,347	5,834	13,384	1,082	5,487	5,420	11,989	975	4,835	4,956	10,766	868	4,330	4,464	9,662	757	4,007	3,819	8,583	31.8%	44.5%	-56.7%
(12)婦中地域	4,311	21,593	12,540	38,444	4,157	20,042	13,136	37,336	4,028	19,050	13,181	36,258	3,856	18,211	12,907	34,974	3,609	17,761	12,000	33,371	23.4%	36.0%	-18.2%
(13)山田地域	58	316	441	815	45	264	362	670	36	211	301	547	29	169	253	451	23	145	201	370	36.4%	54.5%	-77.1%
(14)細入地域	38	235	294	568	31	186	238	455	24	146	199	370	20	117	167	304	16	97	133	245	40.4%	54.1%	-81.7%
平均	2,670	13,898	9,310	25,877	2,550	12,972	9,122	24,645	2,433	12,286	8,926	23,645	2,307	11,695	8,658	22,660	2,173	11,249	8,192	21,614	30.3%	42.5%	-42.0%
合計	37,378	194,567	130,338	362,284	35,700	181,610	127,715	345,024	34,061	172,005	124,970	331,036	32,302	163,726	121,216	317,245	30,425	157,493	114,684	302,603			

※各項目の数字は端数処理の関係で一致しないことがあります。

**富山市公共施設マネジメント
アクションプラン戦略編**

平成 30 年 3 月

編集・発行 富山市企画管理部行政管理課
〒930-8510 富山市新桜町 7 番 38 号
TEL 076(431)6111 (代表)